

令和3年度
鳥取県青少年育成意識調査
報告書

令和4年3月
鳥取県

目次

第1章 鳥取県青少年育成意識調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査主体	1
3 調査範囲	1
4 調査対象者の抽出方法（無作為抽出）	1
5 調査方法	1
6 調査の基準日	2
7 調査期間	2
8 調査内容	2
9 回収結果等	2
第2章 調査結果	4
1 青少年について（単純集計）	4
（1）属性	4
ア 性別（調査対象：小2、小5、中2、高2、青年）	4
イ 子どもの性別（調査対象：保護者）	4
ウ 青年の年齢（調査対象：青年）	5
エ 青年の職業（調査対象：青年）	5
オ 青年の就職、進学希望（調査対象：青年）	5
（2）家族・家庭	6
ア 同居家族	6
イ 家族構成	8
ウ 家庭生活（満足度）	9
エ 家庭生活（満足している理由）	10
オ 家庭生活（不満足の原因）	11
カ 青年の家族への意識	12
キ 家族との会話の頻度	13
ク 保護者から見た子どもとの会話の頻度	13
ケ 家族と夕食を食べる頻度	14
コ 家族へ望むこと	15
サ 家庭での指導の内容	16
（3）ヤングケアラー、ケアラーの状況	18
ア ヤングケアラー、ケアラーへの該当（家事や家族の世話などの経験）	18
イ ケアによる生活への影響	19
ウ ヤングケアラーが希望するサポート	20
エ ケアの相手	21
オ ケアの相手の状況	21
カ ケアの内容	22
キ ケアの頻度	22
ク ケアを行う時間	23
ケ ケアによる就労等への影響	23
コ ケアの協力者	24
サ ケアラーの相談窓口・機関	24
シ ケアラーの悩み	25

ス	ケアラーに必要な支援.....	26
セ	ヤングケアラー、ケアラーに関する意見.....	27
(4)	生活.....	28
ア	基本的な生活習慣の状況.....	28
イ	こづかいの使途.....	39
ウ	休日の過ごし方.....	40
エ	青年が普段自宅でよくしていること.....	42
オ	打ち込んでやれることの有無.....	43
カ	打ち込んでやれることの内容.....	43
キ	青年が充実していると感じるとき.....	44
(5)	友人関係.....	45
ア	交友関係.....	45
イ	交友関係のきっかけ.....	46
(6)	インターネット利用.....	47
ア	インターネット機器の利用状況.....	47
イ	インターネットの利用目的.....	48
ウ	インターネットの利用時間.....	50
エ	SNSの利用.....	51
オ	インターネットへの依存.....	52
カ	インターネットへの依存傾向とインターネットの利用時間.....	53
(7)	学校生活.....	54
ア	学校生活（満足度）.....	54
イ	学校生活（満足している理由）.....	55
ウ	学校生活（不満足の原因）.....	55
エ	学校へ行きたくないと思った経験.....	56
オ	学校へ行きたくないと思った時の行動.....	57
カ	学校へ行きたくないと思った理由.....	58
キ	いじめの経験（加害経験）.....	59
ク	いじめの経験（被害経験）.....	60
(8)	進路・職業観.....	61
ア	希望する職業や仕事の有無.....	61
イ	職業選択の基準.....	61
ウ	青年の職業選択の基準.....	62
エ	希望する最終学歴.....	63
オ	子どもの最終学歴に関する保護者の意向.....	63
カ	青年の働くことについての考え方.....	64
(9)	地域との関わり・地域での活動.....	65
ア	地域活動への参加状況.....	65
イ	ボランティア活動への参加.....	66
ウ	ボランティア活動への関心.....	67
エ	関心のあるボランティア活動の内容.....	68
オ	青年が関心のあるボランティア活動の内容.....	69
カ	地域の大人との親密度.....	70
キ	保護者の地域の子どもの親密度.....	71

ク	体験的活動の経験	72
ケ	青年の体験的活動の経験	73
コ	地域への居留意向	74
サ	子どもの居住先についての保護者の意向	75
シ	青年と保護者から見た地域の良い点	76
ス	青年と保護者が考える地域を良くするために必要なこと	77
セ	青年のサークル活動への参加	78
ソ	青年が参加するサークル活動の内容	78
タ	青年のサークル活動参加のきっかけ	79
チ	選挙における投票に対する意識	80
ツ	青年の選挙における投票に対する意識	80
(10)	心の状態	81
ア	自己肯定感	81
イ	不安等	82
ウ	疲労	83
エ	悩み	84
オ	悩みの内容	85
カ	青年の悩みの内容	86
キ	悩みの相談先	87
ク	自死を考えた経験	89
ケ	青年の対人関係に関する意識	90
コ	やればできると思った体験の有無	91
サ	青年の自分自身に関する意識	91
シ	やればできると思った体験の内容	92
ス	青年と保護者が考える若いうちにすべきこと	93
セ	居心地が良いと思う「場所、時間」	94
ソ	ひきこもりに係る親和性	95
タ	外出頻度	97
チ	外出頻度（現在の状態となった期間）	97
ツ	外出頻度（現在の状態となったきっかけ）	98
テ	外出頻度（現在の状態となったきっかけ・人間関係）	98
ト	外出頻度（関係機関への相談）	99
ナ	外出頻度（関係機関への相談希望）	100
(11)	不良行為・非行等	101
ア	不良行為等	101
イ	非行等	110
ウ	恋愛（交際）関係にある者との行動	116
(12)	被害の経験	117
2	青少年について（クロス集計）	120
(1)	「自己肯定感」に係るクロス集計	120
ア	「基本的生活習慣の状況」による細分化	120
イ	「心の状態」による細分化	121
ウ	「家族・家庭」、「学校生活」による細分化	122
(2)	「地域活動への参加状況」に係るクロス集計	123

「自己肯定感」による細分化.....	123
(3)「青年の体験的活動の経験（調査対象：青年）」に係るクロス集計	123
「自己肯定感」による細分化.....	123
(4)「インターネットの利用時間」に係るクロス集計	124
ア 「心の状態」による細分化.....	124
イ 「家族・家庭」、「学校生活」による細分化.....	126
(5)「学校へ行きたくないと思った経験」に係るクロス集計	127
ア 「心の状態」による細分化.....	127
イ 「家族・家庭」、「学校生活」による細分化.....	129
(6)「いじめの経験（被害経験）」に係るクロス集計	130
ア 「心の状態」による細分化.....	130
イ 「家族・家庭」、「学校生活」による細分化.....	131
(7)「ケアラーへの該当（調査対象：青年）」に係るクロス集計	132
ア 「心の状態」による細分化.....	132
イ 「家族・家庭」による細分化.....	133
3 保護者について.....	134
(1) 属性.....	134
ア 回答の対象とした子どもの学年.....	134
イ 回答した保護者の続柄.....	134
ウ 回答した保護者の年齢.....	134
(2) 悩み	135
ア 子どもについての保護者の悩み.....	135
イ 保護者の悩みの対応法.....	136
(3) 保護者から見た子どもの様子	137
ア 保護者が把握する子どもの交友関係.....	137
イ 保護者が考える子どもの悩みの相談先.....	138
(4) 保護者から見た家庭環境	139
ア 保護者が感じる家庭の状況.....	139
イ 保護者が家庭で心がけていること.....	140
ウ ペアレンタル・コントロールの状況.....	141
(5) 青少年に関する問題	142
ア 青少年に関する問題への保護者の関心.....	142
イ 保護者が考える非行の理由.....	143
ウ 保護者が考える子どもの非行傾向.....	144
エ 子どもの行為について保護者がしても良いと考える年齢.....	145
(6) 学校や地域との関わり	156
ア 保護者活動への参加意識.....	156
イ 保護者の地域活動への参加状況.....	157

第1章 鳥取県青少年育成意識調査の概要

1 調査目的

青少年及び成人の意識並びに行動を調査することにより、その実態を的確に把握し、過去に実施した調査結果との時間的変容を解明し、もって青少年施策の基礎資料を得る。

また、調査結果は、子ども・若者育成支援推進法（平成21年法律第71号）に基づき作成している本県の子ども・若者の育成支援に係る取組方針である「とっとり若者自立応援プラン」の改訂における基礎資料とする。

2 調査主体

鳥取県

3 調査範囲

(1) 地域

鳥取県全域

(2) 対象者

小学2年、小学5年、中学2年、高校2年の児童生徒及びその保護者並びに青年（19歳から29歳までの者。）

(3) 必要となる調査数

統計上、一定の信頼水準等を満たすために必要となる下表の数を調査数とした。

区分	小2	小5	中2	高2	保護者	青年（19-29歳）
調査数	400人	400人	400人	400人	1,600人	1,700人

4 調査対象者の抽出方法（無作為抽出）

(1) 小学2年、小学5年及び中学2年の児童生徒

鳥取県の東・中・西部地区別の対象学年の児童生徒数に応じ調査数を比例配分し、鳥取県教育委員会が有する学校一覧から対象となる学校（学級）を系統抽出した。（学級単位で抽出し、当該学級の児童生徒を調査対象者とした。）

(2) 高校2年の生徒

鳥取県の公立、私立、課程、学科の生徒数に応じ調査数を比例配分し、鳥取県教育委員会が有する学校一覧から対象となる学校（学級）を系統抽出した。（学級単位で抽出し、当該学級の生徒を調査対象者とした。）

(3) 保護者

4（1）及び4（2）により抽出した児童生徒の保護者を調査対象者とした。

(4) 青年

鳥取県内各市町村の19～29歳の人口に応じて調査数を比例配分し、住民基本台帳をもとに調査対象者を系統抽出した。

5 調査方法

(1) 小学2年、小学5年、中学2年、高校2年の児童生徒及び保護者

抽出した学校（学級）を通じ、調査対象者の児童生徒及び保護者に調査票を配布し、回収を行う方法により調査を行った。

(2) 青年

鳥取県から調査対象者に対して調査票を郵送し、調査対象者が調査票を鳥取県に返送する方法又は調査対象者がとっとり電子申請サービス（オンライン）を利用し回答する方法により調査を行った。

6 調査の基準日

令和3年7月1日

7 調査期間

令和3年7月1日から31日まで

8 調査内容

(主な調査内容)

- 家族・家庭、生活：家庭生活、家族への意識、基本的な生活習慣の状況
- ヤングケアラー、ケアラー¹の状況：ヤングケアラー、ケアラーへの該当、ケアの内容、ケアの頻度
- インターネット利用：インターネットの利用目的、インターネットの利用時間、SNSの利用
- 学校生活、進路・職業観：学校生活、いじめ、希望する職業や仕事の有無
- 地域との関わり・地域での活動：地域活動への参加状況、地域への居住意向、選挙投票への意識
- 心の状態：自己肯定感、悩み、悩みの相談先
- 不良行為・非行等：喫煙、深夜徘徊

9 回収結果等

区分	調査票配布数 A	調査票回収数 B	回収率 (%) B/A
小学2年	471	450	95.5
小学5年	458	420	91.7
中学2年	435	416	95.6
高校2年	420	413	98.3
保護者	1,784	1,577	88.4
青年	1,681	397	23.6
合計	5,249	3,673	70.0

※小学2年、小学5年、中学2年、高校2年分は、学級単位（当該学級の児童生徒の全てを調査の対象）で調査対象者を抽出しているため、調査票配布数Aは「3（3）必要となる調査数」と異なる。（保護者の調査配布数は児童生徒分への調査配布数と同じ）

※青年分の調査票配布数は、調査票不達数を除いた数（1,700-19(不達数)=1,681）

¹ ヤングケアラー：高齢、身体上又は精神上の障がい又は疾病等により援助を必要とする親族、友人、その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助（以下「ケア」という。）を提供する18歳未満の方。

ケアラー：ケアを提供する18歳以上の方。

(本報告書における表記等について)

○文中、図表に示すnは、回答率算出上の調査数である。

※n =有効回答者数(無効回答を除いた回答者の数)

○各選択肢の回答率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入しており、単一回答の間では、合計が100%にならない場合がある。複数回答の間では、回答者数を回答率算出の基礎とし、選択肢の構成比を表すものではないため、各選択肢の回答率の合計が100%を超える場合がある。

○経年比較は次の平成28年度調査(平成28年度鳥取県青少年育成意識調査)との比較である。

なお、報告書本文において平成28年度調査結果をグラフ又は表(割合のみ表示)で示しているものがある。

(調査対象者)

小学2年、小学5年、中学2年、高校2年の児童生徒及びその保護者並びに青年(19歳から29歳までの者。)

(調査基準日)

平成28年7月1日

(調査期間)

平成28年7月1日から31日まで

(回答者数)

区分	小2	小5	中2	高2	保護者	青年(19-29歳)
回答者数	448人	470人	468人	438人	1,683人	383人

第2章 調査結果

1 青少年について（単純集計）

（1）属性

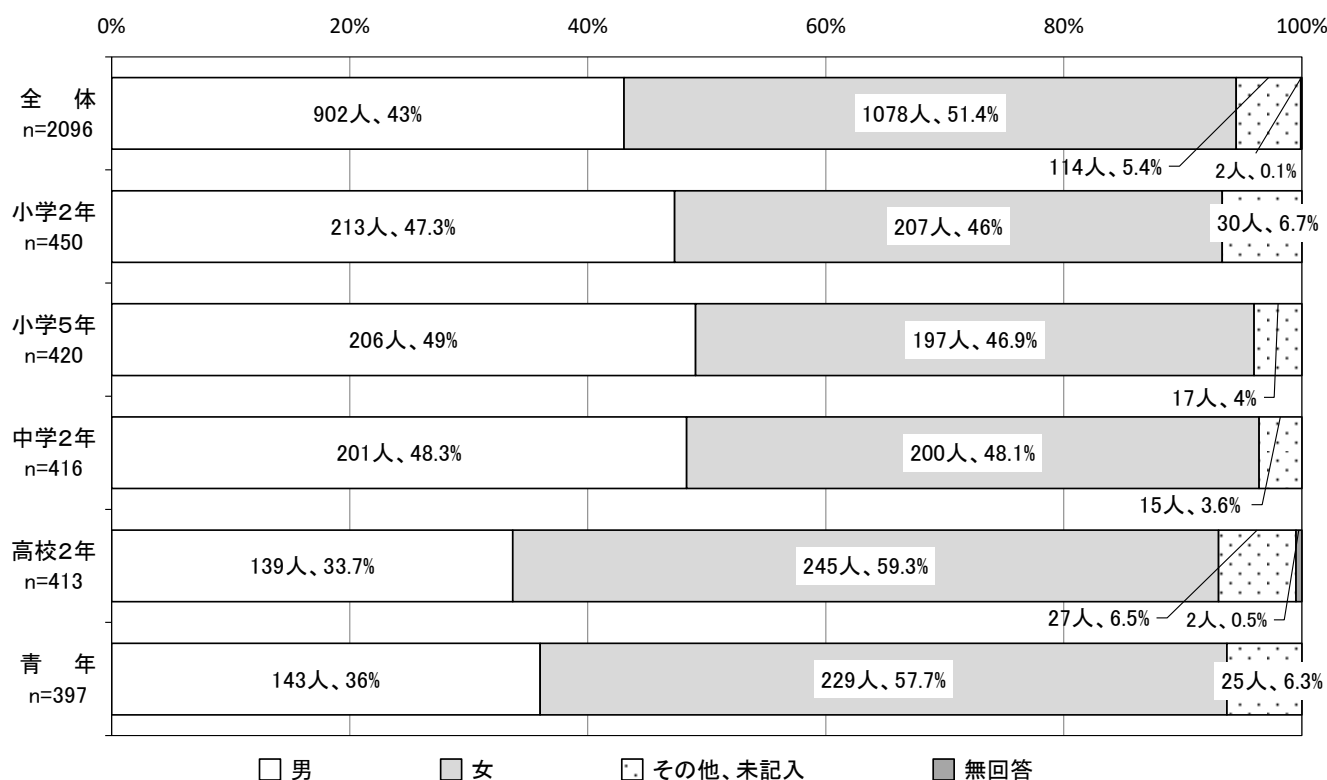
ア 性別（調査対象：小2、小5、中2、高2、青年）

問 あなたの性別を教えてください。

※答えたくない人は書かなくても構いません。

※回答は選択式ではなく記述式とした。

【図表】

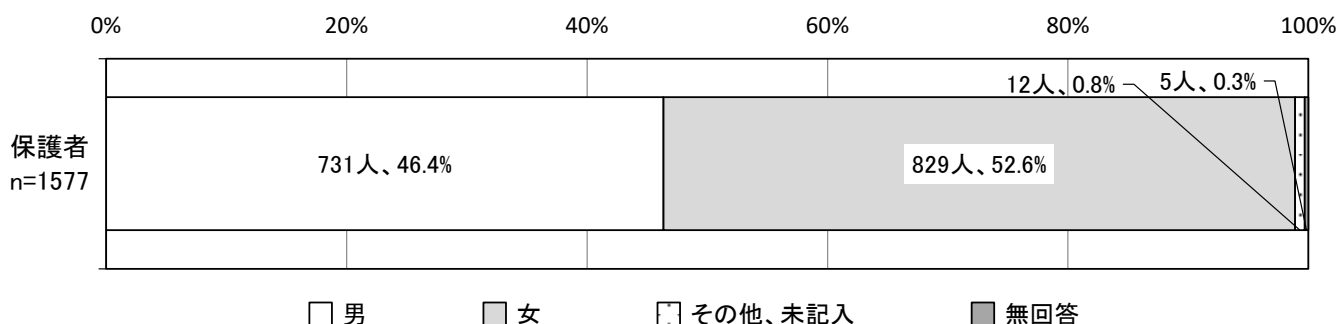


イ 子どもの性別（調査対象：保護者）

問 あなたのお子さんの性別を記入してください。

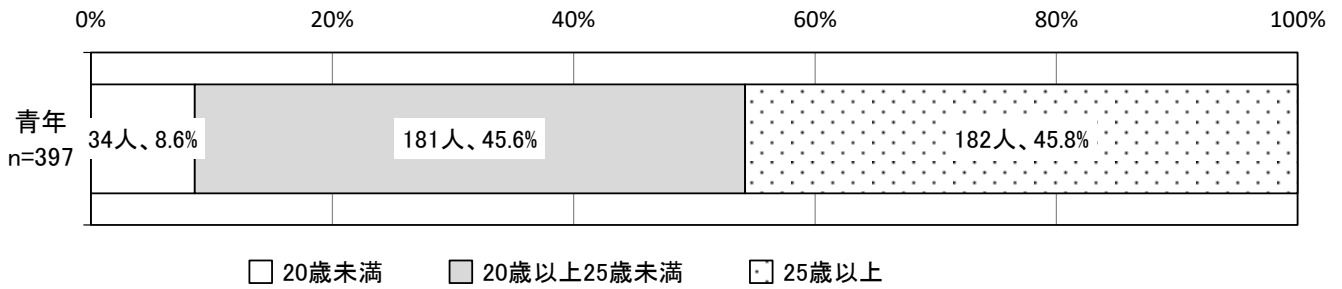
※回答は選択式ではなく記述式とした。

【図表】



ウ 青年の年齢（調査対象：青年）

【図表】



エ 青年の職業（調査対象：青年）

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度	
	青年(n=397)		青年(n=383)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
学生	82	20.7	67	17.5
浪人として予備校などに通っている	0	0.0	1	0.3
勤めている(正社員)	215	54.2	200	52.2
勤めている(契約社員)	19	4.8	26	6.8
勤めている(派遣社員)	2	0.5	3	0.8
勤めている(パート・アルバイト(学生のアルバイトは除く))	40	10.1	32	8.4
自分で店、会社を営んでいる	4	1.0	0	0
自由業(個人で専門知識や技術を生かした職業)をしている	3	0.8	6	1.6
専業主婦・主夫	6	1.5	10	2.6
家事手伝いをしている	1	0.3	1	0.3
その他の仕事	5	1.3	11	2.9
派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない	0	0.0	4	1
無職	16	4.0	17	4.4
無回答	4	1.0	5	1.3

オ 青年の就職、進学希望（調査対象：青年）

「無職」、または「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」と回答した方に、今後の就職・進学などの希望を聞いた結果は次のとおりであった。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度	
	青年(n=16)		青年(n=21)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
就職希望	10	62.5	16	76.2
進学希望	1	6.3	0	0.0
どちらも希望していない	3	18.8	3	14.3
無回答	2	12.5	2	9.5

(2) 家族・家庭

(調査対象：小2、小5、中2、高2、青年)

ア 同居家族

問 今、あなたといっしょに住んでいるのは誰ですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

※「小2、小5、中2、高2」と「青年」で問に対する回答の選択肢が異なるため、「集計結果の概要」及び図表を分けて記載している。

<小2、小5、中2、高2>

【集計結果の概要】

「父と同居」は小学2年で9割、小学2年以外の年代で8割を占めている。「母と同居」は全ての年代で9割を占めている。

「祖父・祖母と同居」は各年代で、2割弱から3割弱を占め、平成28年度調査と比較すると全ての年代で割合が減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
父	413	91.8	365	86.9	344	82.7	331	80.1
母	441	98.0	409	97.4	407	97.8	384	93.0
祖父	99	22.0	84	20.0	70	16.8	80	19.4
祖母	133	29.6	118	28.1	103	24.8	109	26.4
兄	158	35.1	109	26.0	87	20.9	63	15.3
姉	137	30.4	122	29.0	95	22.8	61	14.8
弟	135	30.0	171	40.7	138	33.2	122	29.5
妹	109	24.2	122	29.0	141	33.9	130	31.5
その他の人	18	4.0	16	3.8	13	3.1	21	5.1
無回答	3	0.7	0	0.0	4	1.0	3	0.7

※参考（平成28年度）

選択肢	平成28年度			
	小学2年 (n=448)	小学5年 (n=470)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
父	88.6	85.7	83.5	78.1
母	98.2	97.2	96.4	95.0
祖父	25.7	25.7	26.1	18.0
祖母	33.0	33.6	38.2	30.4
兄	27.9	34.9	25.6	14.2
姉	34.2	22.3	24.1	14.6
弟	32.4	31.5	30.8	32.6
妹	31.0	30.6	28.8	28.5
その他の人	7.4	6.0	4.3	5.3

<青年>

【集計結果の概要】

「母と同居（51.6%）」が最も高く、次に「父と同居（44.3%）」、「同居家族はいない（単身世帯）（24.9%）」の順に高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度
	青年(n=397)		青年(n=383)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
父	176	44.3	46.2
母	205	51.6	59.3
兄	18	4.5	9.9
姉	24	6.0	7.8
弟	52	13.1	12.0
妹	49	12.3	10.2
祖父	39	9.8	12.8
祖母	73	18.4	22.5
配偶者	72	18.1	-
ご自身のお子さん	53	13.4	-
その他の人	20	5.0	60.6
同居家族はいない(単身世帯)	99	24.9	-
無回答	4	1.0	-

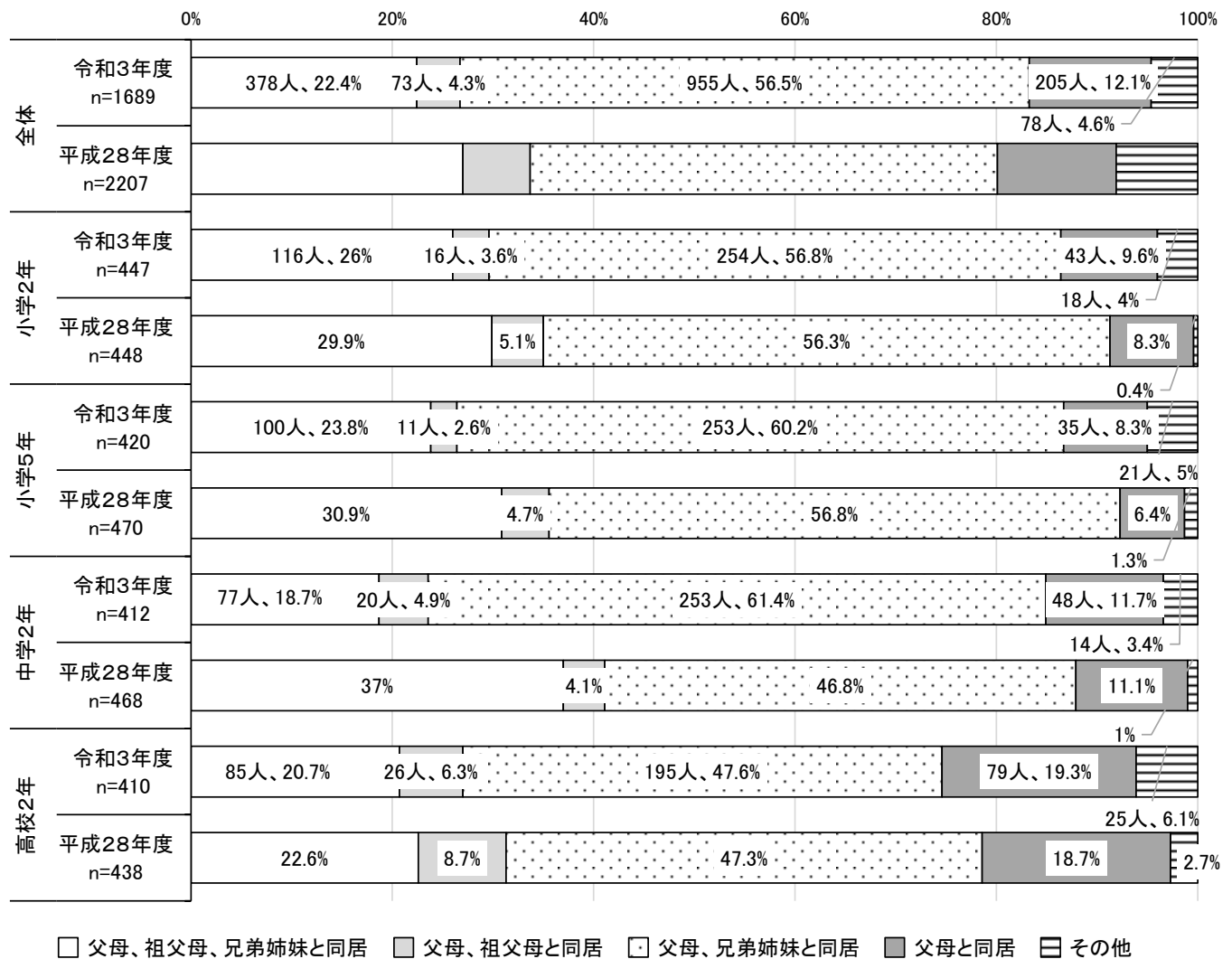
イ 家族構成

【集計結果の概要】

1 (2) ア「同居家族」について、「父母、祖父母、兄弟姉妹と同居」「父母、祖父母と同居」「父母、兄弟姉妹と同居」「父母と同居」「同居家族無し（単身世帯）」「その他」の6つに分類し、家族構成のパターン別に集計を行った。

小学2年から高校2年の各年代で、「父母、兄弟姉妹と同居」が4～6割と最も高く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹と同居」が2割弱～2割となっている。

【図表】



ウ 家庭生活（満足度）

問 あなたは、家庭での生活に満足していますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

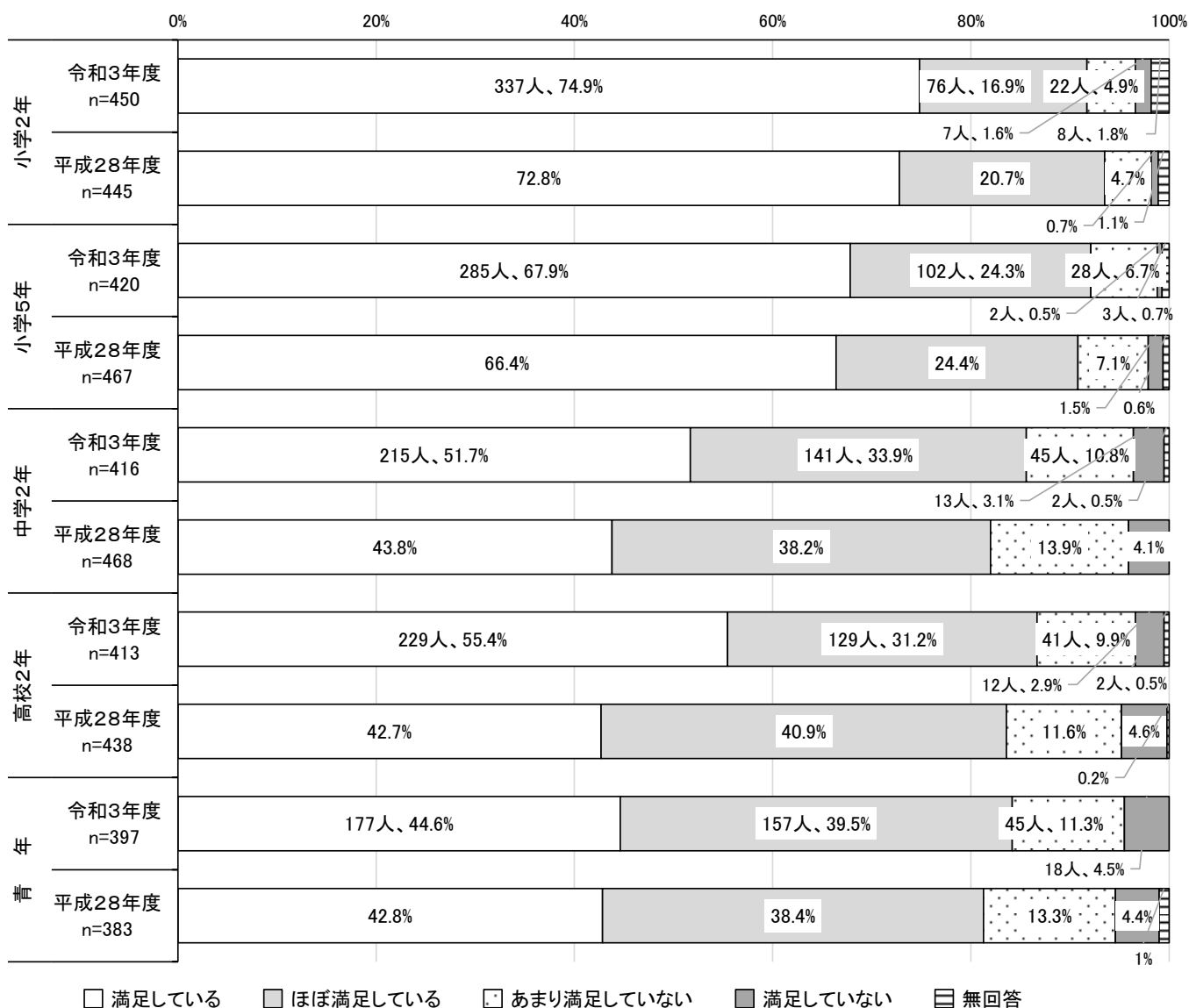
【集計結果の概要】

「満足している」と「ほぼ満足している」の合計割合は、小学生で9割、中学生以上の年代で8割を占めている。

平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「満足している」を選んでいる割合が増加している。

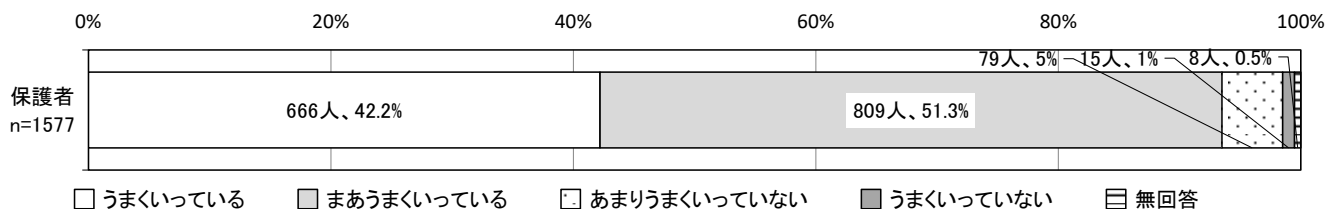
【図表】

<小2、小5、中2、高2、青年>



□ 満足している □ ほぼ満足している □ あまり満足していない □ 満足していない □ 無回答

<保護者>



□ うまくいっている □ まあうまくいっている □ あまりうまくいっていない □ うまくいっていない □ 無回答

エ 家庭生活（満足している理由）

問 1 (2) ウ「家庭生活（満足度）」で「1 満足している」、「2 ほぼ満足している」を選んだ人に質問します。

満足している理由は何ですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

※「小2、小5」と「中2、高2」で問に対する回答の選択肢が異なるため、「集計結果の概要」及び図表を分けて記載している。

<小2、小5>

【集計結果の概要】

小学2年で「家族みんなで過ごすことが多いから（51.6%）」、小学5年で「家族が自分のことを大切にしてくれるから（62.8%）」が最も高くなっている。

平成28年度調査と比較すると、小学2年、小学5年ともに「家族みんなで過ごすことが多いから」と回答した割合が増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度				平成28年度	
	小学2年(n=413)		小学5年(n=387)		小学2年 (n=416)	小学5年 (n=424)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
家族みんなで過ごすことが多いから	213	51.6	220	56.8	47.6	54.7
家族が自分のことを大切にしてくれるから	200	48.4	243	62.8	50.7	57.5
家族の仲がよいから	158	38.3	189	48.8	37.7	48.6
その他	31	7.5	43	11.1	21.6	11.1
無回答	6	1.5	2	0.5	0.5	0.9

<中2、高2>

【集計結果の概要】

中学2年、高校2年で「家族の団らんや会話があるから」が最も高い。中学2年、高校2年とも、「家族の団らんや会話があるから」、「家族が自分を大切にしてくれるから」、「家族が自分を理解しているから」の順に高く、5～6割を占めている。

平成28年度調査と比較すると、中学2年、高校2年ともに「家の収入が多いから」と回答した割合が減少し、「家族が自分を大切にしてくれるから」、「家族が自分を理解しているから」、「家族の団らんや会話があるから」の割合が増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度				平成28年度	
	中学2年(n=356)		高校2年(n=358)		中学2年 (n=384)	高校2年 (n=366)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
家の収入が多いから	33	9.3	30	8.4	11.7	16.4
家庭内で争いごとがないから	138	38.8	141	39.4	39.1	41.3
家族が自分を大切にしてくれるから	217	61.0	216	60.3	53.4	50.3
家族が自分を理解しているから	191	53.7	202	56.4	51.6	42.6
家族の団らんや会話があるから	239	67.1	233	65.1	58.9	54.4
その他	34	9.6	22	6.1	9.1	6.6
無回答	4	1.1	5	1.4	0.8	1.9

オ 家庭生活（不満足の原因）

問 1 (2) ウ「家庭生活（満足度）」で「3 あまり満足していない」、「4 満足していない」を選んだ人に質問します。

満足していない理由は何ですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

※「小2」と「小5、中2、高2」で問に対する回答の選択肢が異なるため、「集計結果の概要」及び図表を分けて記載している。

<小2>

【集計結果の概要】

小学2年で「よくおこられるから (37.9%)」が最も高く、次に「家族の仲が良くないから (27.6%)」が高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度
	小学2年(n=29)		小学2年 (n=24)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
よくおこられるから	11	37.9	37.5
家族の仲が良くないから	8	27.6	33.3
家族が仕事やその他の理由で家にいないことが多いから	5	17.2	12.5
その他	6	20.7	20.8
無回答	0	0.0	4.2

<小5、中2、高2>

【集計結果の概要】

小学5年、高校2年で「家族の仲が良くないから」が3割を占め、最も高く、中学2年で「家族が勉強や成績のことを気にしすぎるから」が5割を占め、最も高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	小学5年(n=30)		中学2年(n=58)		高校2年(n=53)		小学5年 (n=40)	中学2年 (n=84)	高校2年 (n=71)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
家の収入が少ないから	-	-	14	24.1	10	18.9	-	17.9	32.4
家族の仲が良くないから	11	36.7	13	22.4	20	37.7	27.5	28.6	36.6
家の人に冷たくされるから	2	6.7	8	13.8	3	5.7	12.5	22.6	12.7
家族が私に気を遣いすぎるから	4	13.3	2	3.4	1	1.9	7.5	3.6	7.0
家族が仕事やその他の理由で家にいないことが多いから	2	6.7	6	10.3	3	5.7	10.0	10.7	9.9
家族が勉強や成績のことを気にしすぎるから	5	16.7	30	51.7	17	32.1	17.5	51.2	31.0
兄弟、姉妹と気が合わないから	7	23.3	20	34.5	11	20.8	37.5	20.2	22.5
兄弟、姉妹と比較されるから	4	13.3	20	34.5	8	15.1	10.0	29.8	15.5
その他	11	36.7	11	19.0	11	20.8	12.5	31.0	19.7
無回答	2	6.7	0	0.0	0	0.0	5.0	1.2	0.0

カ 青年の家族への意識

問 次の問に関して、あなた自身に当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

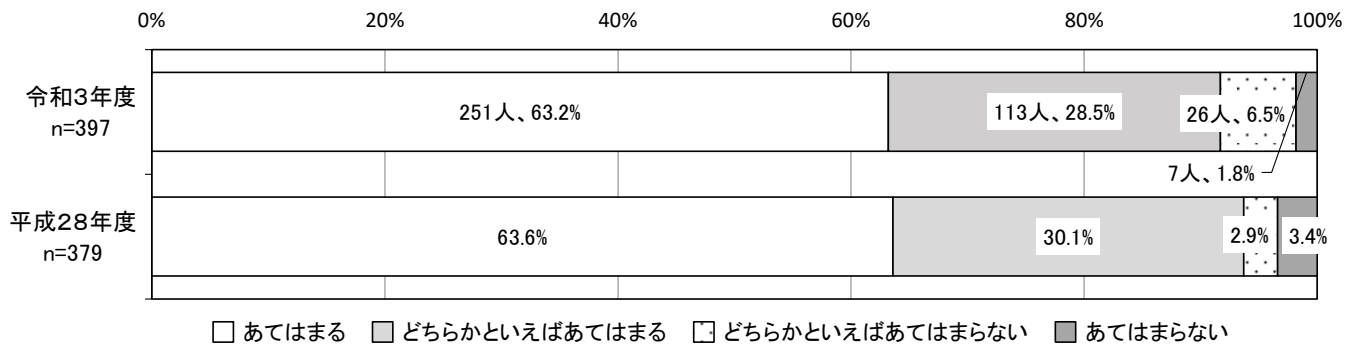
- ・私の家族は温かい
- ・私たち家族は、仲が良いと思う
- ・家族から十分に愛されていると思う

【集計結果の概要】

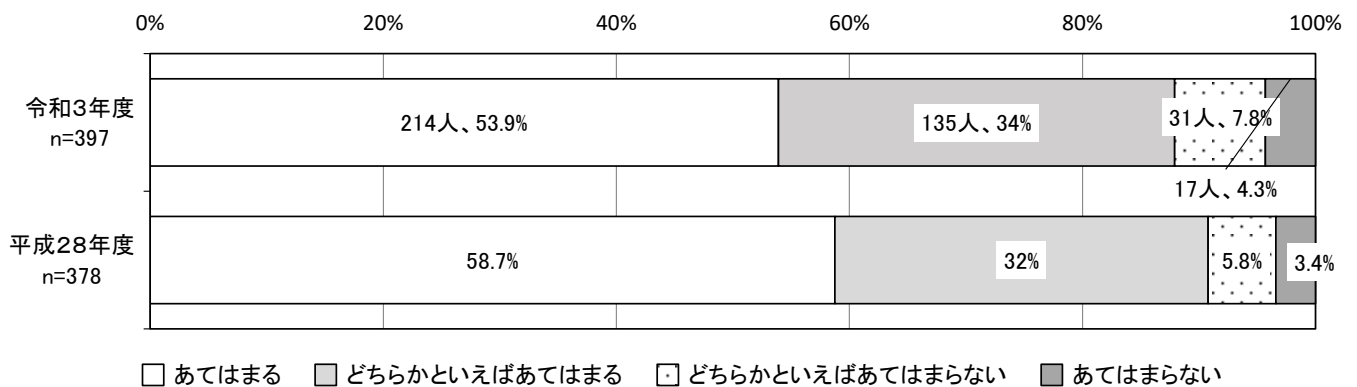
「私の家族は温かい」、「私たち家族は、仲が良いと思う」、「家族から十分に愛されていると思う」の各問について、6割前後が「あてはまる」と回答し、「どちらかといえばあてはまる」と合わせると9割前後を占めている。

【図表】

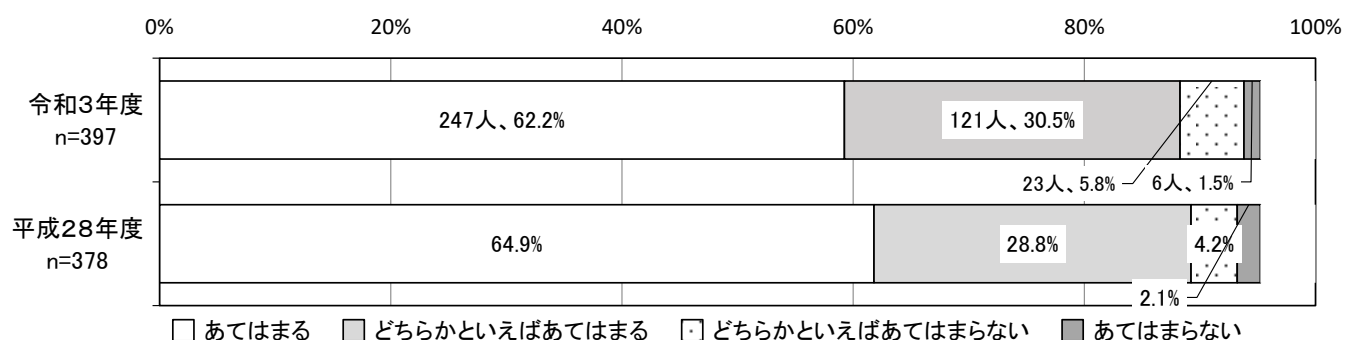
<私の家族は温かい>



<私たち家族は、仲が良いと思う>



<家族から十分に愛されていると思う>



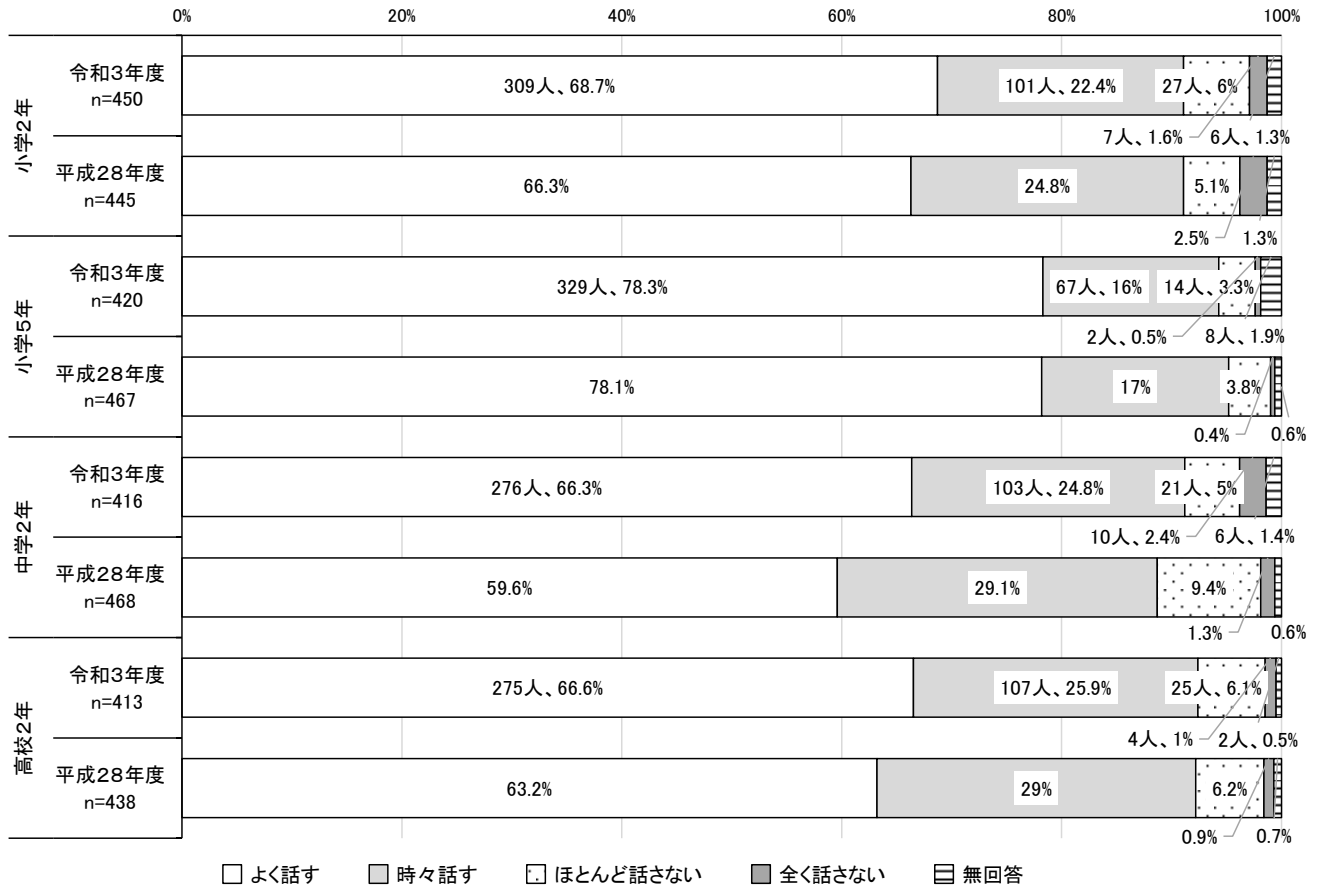
キ 家族との会話の頻度

問 あなたは、大人の家族（兄弟、姉妹以外の家族）とどれくらい話をしますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。 ※青年の問は「家族とはよく話をしているか」。

【集計結果の概要】

「よく話す」は、全ての年代で6～7割を占めている。
平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「よく話す」の割合が増加している。

【図表】



(調査対象：保護者)

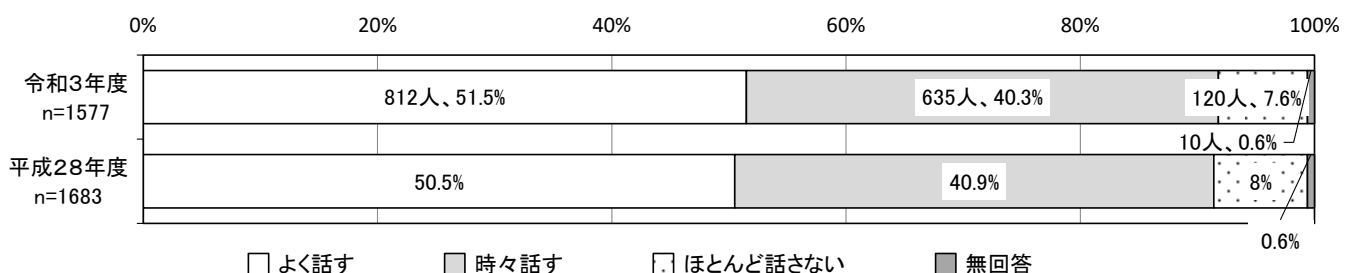
ク 保護者から見た子どもとの会話の頻度

問 お子さんは学校や友達のことを、よく話しますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【集計結果の概要】

「よく話す (51.5%)」が最も高く、「時々話す (40.3%)」と合わせると9割を占めている。

【図表】



ケ 家族と夕食を食べる頻度

問 あなたは、大人の家族（兄弟、姉妹以外の家族）と一緒に夕食を食べますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「ほとんど毎日一緒に食べる」が小学2年、小学5年、中学2年で7割、高校2年で7割弱を占め、最も高くなっている。

平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「ほとんど毎日一緒に食べる」の割合が増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ほとんど毎日一緒に食べる	324	72.0	329	78.3	309	74.3	287	69.5
一緒に食べる日が時々ある	90	20.0	67	16.0	65	15.6	81	19.6
一緒に食べる日がほとんどない	19	4.2	14	3.3	22	5.3	25	6.1
一緒に食べない	7	1.6	2	0.5	12	2.9	13	3.1
無回答	10	2.2	8	1.9	8	1.9	7	1.7

※参考（平成28年度）

選択肢	平成28年度			
	小学2年 (n=448)	小学5年 (n=469)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
ほとんど毎日一緒に食べる	54.7	68.0	65.2	62.8
一緒に食べる日が時々ある	25.9	14.9	18.6	18.3
一緒に食べる日がほとんどない	15.0	13.6	13.0	13.7
一緒に食べない	2.9	2.1	3.2	4.6
無回答	1.6	1.3	0.0	0.7

コ 家族へ望むこと

問 あなたは、大人の家族（兄弟、姉妹以外の家族）に何を望みますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

小学2年で「愛情をもって接してほしい」、小学5年、中学2年、高校2年で「特になし」がそれぞれ3割程度を占め、最も高い。

また、「頑張ったことを褒めてほしい」がそれぞれ1割程度を占め、中学2年、高校2年では2番目に高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
愛情を持って接してほしい	155	34.4	69	16.4	24	5.8	33	8.0
厳しくしてほしい	20	4.4	8	1.9	1	0.2	3	0.7
干渉しないでほしい	9	2.0	30	7.1	15	3.6	22	5.3
相談相手になってほしい	15	3.3	14	3.3	8	1.9	14	3.4
信用してほしい	-	-	-	-	28	6.7	21	5.1
人生経験(生い立ちや世間のこと等)を話してほしい	12	2.7	23	5.5	6	1.4	8	1.9
意見を聞いてほしい	3	0.7	3	0.7	14	3.4	23	5.6
一緒に遊んでほしい	85	18.9	56	13.3	-	-	-	-
頑張ったことを褒めてほしい	58	12.9	42	10.0	58	13.9	49	11.9
特になし	44	9.8	134	31.9	159	38.2	130	31.5
その他	9	2.0	9	2.1	5	1.2	8	1.9
無回答	40	8.9	32	7.6	98	23.6	102	24.7

※参考（平成28年度）

選択肢	平成28年度			
	小学2年 (n=440)	小学5年 (n=420)	中学2年 (n=416)	高校2年 (n=413)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
愛情を持って接してほしい	33.4	17.9	7.2	8.9
厳しくしてほしい	9.1	1.6	2.4	0.7
干渉しないでほしい	3.6	6.8	6.0	11.6
相談相手になってほしい	8.0	4.3	4.1	5.9
信用してほしい	-	-	9.7	6.4
人生経験(生い立ちや世間のこと等)を話してほしい	4.5	8.6	1.9	5.2
意見を聞いてほしい	1.1	4.8	16.2	6.7
一緒に遊んでほしい	26.6	20.0	-	-
頑張ったことを褒めてほしい	10.7	34.0	47.8	51.5
特になし	10.7	34.0	47.8	51.5
その他	1.4	0.5	4.6	3.0
無回答	1.6	1.6	0.0	0.0

サ 家庭での指導の内容

問 あなたが、大人の家族（兄弟、姉妹以外の家族）からよく注意されるのはどんなことですか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

※青年と保護者の問は「あなたが家庭で受けたしつけのうち、特に良かったと思うこと」。

※「小2」と「小5、中2、高2、青年、保護者」で問に対する回答の選択肢が異なるため、図表を分けて記載している。

【集計結果の概要】

小学生、中学生、高校生で「勉強のこと」、「整理・整頓のこと」が高く、青年、保護者では、「礼儀正しくすること（挨拶、言葉遣い、返事など）」、「社会のルールを守り人に迷惑をかけること」が高くなっている。

- ・小学2年：「勉強のこと（38.2%）」、「整理・整頓のこと（38.0%）」、「時間を守ること（37.6%）」
- ・小学5年：「整理・整頓のこと（33.6%）」、「勉強のこと（32.1%）」、「時間を守ること（26.4%）」
- ・中学2年：「勉強のこと（55.8%）」、「整理・整頓のこと（30.3%）」、「時間を守ること（20.4%）」
- ・高校2年：「勉強のこと（40.0%）」、「整理・整頓のこと（31.0%）」
- ・青年：「礼儀正しくすること（41.1%）」、「社会のルールを守り人に迷惑をかけること（29.7%）」
- ・保護者：「礼儀正しくすること（45.6%）」、「社会のルールを守り人に迷惑をかけること（37.0%）」

【図表】

<小2>

選択肢	小学2年(n=450)	
	人数(人)	割合(%)
勉強のこと	172	38.2
整理・整頓のこと	171	38.0
時間を守ること	169	37.6
身だしなみを整えること	58	12.9
金銭や物を大切にすること	94	20.9
礼儀正しくすること(挨拶、言葉遣い、返事など)	109	24.2
自分のことは自分ですること	136	30.2
自分が言ったことに責任を持つこと	129	28.7
ねばり強く物事をやり通すこと	108	24.0
集団の一員として助け合うこと	60	13.3
社会のルールを守り人に迷惑をかけること	111	24.7
注意をされない	38	8.4
その他	27	6.0
無回答	7	1.6

【図表】

<小5、中2、高2、青年、保護者>

選択肢	小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		青年(n=397)		保護者(n=1577)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
勉強のこと	135	32.1	232	55.8	165	40.0	46	11.6	80	5.1
整理・整頓のこと	141	33.6	126	30.3	128	31.0	35	8.8	97	6.2
時間を守ること	111	26.4	85	20.4	73	17.7	68	17.1	332	21.1
身だしなみを整えること	18	4.3	11	2.6	11	2.7	35	8.8	130	8.2
金銭や物を大切にすること	55	13.1	48	11.5	50	12.1	91	22.9	391	24.8
礼儀正しくすること(挨拶、言葉使い、返事など)	57	13.6	44	10.6	50	12.1	163	41.1	719	45.6
自分のことは自分ですること	68	16.2	68	16.3	89	21.5	51	12.8	349	22.1
自分が言ったことに責任を持つこと	41	9.8	34	8.2	38	9.2	33	8.3	206	13.1
ねばり強く物事をやり通すこと	21	5.0	14	3.4	18	4.4	45	11.3	207	13.1
進んで新しい考えや方法を見付けること	4	1.0	2	0.5	5	1.2	10	2.5	39	2.5
落ち着いて行動すること	37	8.8	25	6.0	16	3.9	12	3.0	24	1.5
相手の立場を理解し、自分と異なる意見を尊重すること	3	0.7	8	1.9	15	3.6	52	13.1	223	14.1
集団の一員として助け合うこと	14	3.3	1	0.2	5	1.2	14	3.5	91	5.8
社会のルールを守り人に迷惑をかけること	22	5.2	22	5.3	34	8.2	118	29.7	583	37.0
正しいことを行うこと	26	6.2	21	5.0	16	3.9	46	11.6	107	6.8
働くことを嫌がらないこと	16	3.8	4	1.0	5	1.2	9	2.3	78	4.9
注意をされない	32	7.6	23	5.5	36	8.7	38	9.6	123	7.8
その他	19	4.5	14	3.4	9	2.2	8	2.0	33	2.1
無回答	18	4.3	57	13.7	46	11.1	39	9.8	34	2.2

(3) ヤングケアラー、ケアラーの状況

(調査対象：小5、中2、高2、青年)

ア ヤングケアラー、ケアラーへの該当（家事や家族の世話などの経験）

問 あなたは自分が「ヤングケアラー、ケアラー」にあてはまる、または過去にあてはまっていたと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※本調査におけるヤングケアラー、ケアラーの意味は、次のとおりとしています。

<ヤングケアラー>

高齢、身体上又は精神上の障がい又は疾病等により援助を必要とする親族、友人、その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助（以下「ケア」という。）を提供する18歳未満の方。（本調査の調査対象は小学5年生、中学2年生、高校2年生）

<ケアラー>

ケアを提供する18歳以上の方。（本調査の調査対象は19歳から29歳の方）

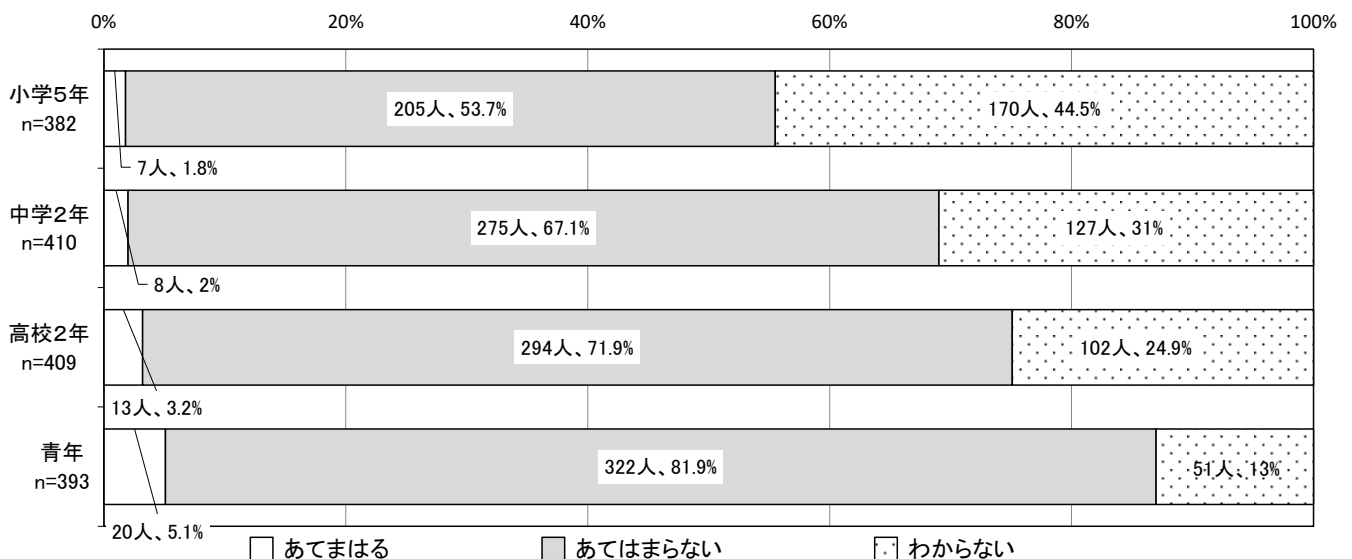
【集計結果の概要】

ヤングケアラー、ケアラーに「あてはまる」との回答は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：1.8%(7人/382人)
- ・中学2年：2.0%(8人/410人)
- ・高校2年：3.2%(13人/409人)
- ・青年：5.1%(20人/393人)

また、小学5年生で44.5%(170人/382人)、中学2年生で31.0%(127人/410人)、高校2年で24.9%(102人/409人)が「分からない」と回答しており、年代が低いほど認知度が低い。

【図表】



イ ケアによる生活への影響

問 1 (3) ア「(ヤング) ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 家族のケアをしているために、自分の生活にどんな影響が出ています(出ていました)か。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

各年代で回答が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「勉強の時間が十分に取れない(42.9%)」、「特に影響はない(42.9%)」
- ・中学2年：「ストレスを感じている(37.5%)」、「体がだるい(37.5%)」、「特に影響はない(37.5%)」
- ・高校2年：「特に影響はない(38.5%)」、「ストレスを感じている(30.8%)」

【図表】

選択肢	小学5年(n=7)		中学2年(n=8)		高校2年(n=13)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
学校を休みがちになっている	2	28.6	1	12.5	1	7.7
学校への遅刻が多い	2	28.6	1	12.5	0	0.0
クラブ活動、部活が出来ない	1	14.3	0	0.0	2	15.4
勉強の時間が十分に取れない	3	42.9	2	25.0	2	15.4
授業に集中出来ない	1	14.3	2	25.0	0	0.0
成績が落ちた	-	-	1	12.5	1	7.7
友人と遊ぶことが出来ない	1	14.3	2	25.0	3	23.1
周囲の人と会話や話題が合わない	0	0.0	1	12.5	2	15.4
ケアについて話せる人がいなくて、孤独を感じる	0	0.0	0	0.0	1	7.7
ストレスを感じている	-	-	3	37.5	4	30.8
睡眠不足	2	28.6	1	12.5	1	7.7
しっかり食事が出来ない	1	14.3	0	0.0	0	0.0
体がだるい	0	0.0	3	37.5	1	7.7
自分の時間が取れない	1	14.3	2	25.0	3	23.1
進路についてしっかり考える余裕がない	-	-	0	0.0	0	0.0
受験の準備が出来ない	-	-	0	0.0	1	7.7
アルバイトが出来ない	-	-	-	-	0	0.0
学校の勉強が分からない	1	14.3	-	-	-	-
体の具合が良くない	0	0.0	-	-	-	-
特に影響はない	3	42.9	3	37.5	5	38.5

ウ ヤングケアラーが希望するサポート

問 1 (3) ア「(ヤング) ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 こんなサポートがあったらいいと思う項目はありますか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

各年代で回答が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「信頼して見守ってくれる大人がいること (42.9%)」
- ・中学2年：「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人がいる (場所がある) こと (37.5%)」、「学校で宿題や勉強をサポートしてくれること (37.5%)」、「自分の自由になる時間が増えるようなサポートがあること (37.5%)」
- ・高校2年：「特になし (38.5%)」、「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人がいる (場所がある) こと (30.8%)」

【図表】

選択肢	小学5年(n=7)		中学2年(n=8)		高校2年(n=13)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
家族の病状が悪化するなど、困った時に相談できる人(や場所)がいる(ある)こと	0	0.0	3	37.5	4	30.8
家族のケアをしている他のヤングケアラーと話し合えること	-	-	1	12.5	2	15.4
学校で宿題や勉強をサポートしてくれること	0	0.0	3	37.5	1	7.7
自分がケアしている相手の病気や障がいについて分かりやすく説明してもらえること	0	0.0	0	0.0	0	0.0
福祉サービスに関する情報が分かりやすく得られること	-	-	0	0.0	0	0.0
福祉サービスの人に会って話をする事が出来ること	-	-	0	0.0	0	0.0
自分の代わりに家事やケアをしてくれる人がいること	0	0.0	2	25.0	2	15.4
信頼して見守ってくれる大人がいること	3	42.9	2	25.0	1	7.7
学校の先生や他の生徒がヤングケアラーについて知り、理解を深める機会があること	0	0.0	1	12.5	1	7.7
将来のことを相談できる場があること	0	0.0	1	12.5	1	7.7
自分の自由になる時間が増えるようなサポート	2	28.6	3	37.5	3	23.1
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特になし	2	28.6	1	12.5	5	38.5

エ ケアの相手

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 ケアの相手は誰ですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「祖母 (30.0%)」が最も高く、次に「兄弟姉妹 (25.0%)」が高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=20)	
	人数(人)	割合(%)
父	1	5.0
母	4	20.0
祖父	4	20.0
祖母	6	30.0
夫	0	0.0
妻	0	0.0
子	1	5.0
兄弟姉妹	5	25.0
おじ・おば	0	0.0
おい・めい	1	5.0
その他	1	5.0

(調査対象：青年)

オ ケアの相手の状況

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 ケアをしている相手の状況について、当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「身体障がい (40.0%)」が最も高く、次に「高齢・老化による心身機能の低下 (40.0%)」が高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=20)	
	人数(人)	割合(%)
病気	3	15.0
難病	1	5.0
身体障がい	8	40.0
知的障がい	4	20.0
精神障がい	3	15.0
高次脳機能障がい(脳損傷に起因する認知障がい全般)	0	0.0
依存症	0	0.0
認知症	2	10.0
高齢・老化による心身機能の低下	8	40.0
その他	0	0.0

カ ケアの内容

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 あなたが行っているケアの内容について、当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「本人の気持ちを支えるために、話しかけたり、そばにいたり、見守りをしている（精神的介護）（50.0%）」が最も高く、次に「買い物、食事の用意や後片付け、洗濯、掃除などの家事をしている（30.0%）」、「通院の援助をしている（30.0%）」、「屋内の移動、入浴、排泄、着替え、食事などの身体的な介護をしている（身体的介護）（30.0%）」が高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=20)	
	人数(人)	割合(%)
買い物、食事の用意や後片付け、洗濯、掃除などの家事をしている	6	30.0
買い物同行などの外出の援助をしている	4	20.0
通院の援助をしている	6	30.0
ATMでの入出金や各種料金の支払いなどの金銭管理をしている(金銭管理)	1	5.0
屋内の移動、入浴、排泄、着替え、食事などの身体的な介護をしている(身体的介護)	6	30.0
本人の気持ちを支えるために、話しかけたり、そばにいたり、見守りをしている(精神的介護)	10	50.0
徘徊や昼夜逆転などの認知症の行動への対応やその防止のための見守りをしている	0	0.0
服薬の声かけや準備、体温や血圧測定などの医療関連の手助けをしている	4	20.0
経管栄養(胃や消化管に通したチューブによる栄養剤の投与)の管理や痰の吸引などの医療的ケアをしている	1	5.0
役所や事務所等との連絡や書類の諸手続きをしている	2	10.0
その他	1	5.0

(調査対象：青年)

キ ケアの頻度

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 あなたが行っているケアの頻度について、当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「毎日（42.1%）」が最も高く、次に「月に数日（26.3%）」が高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=19)	
	人数(人)	割合(%)
毎日	8	42.1
週4～6日	1	5.3
週2～3日	2	10.5
週1日	2	10.5
月に数日	5	26.3
その他	1	5.3

ク ケアを行う時間

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 あなたが1日に行っているケアの時間について、当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「1時間未満 (33.3%)」、「2時間以上3時間未満 (33.3%)」が最も高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=18)	
	人数(人)	割合(%)
1時間未満	6	33.3
1時間以上2時間未満	3	16.7
2時間以上3時間未満	6	33.3
3時間以上4時間未満	0	0.0
4時間以上6時間未満	1	5.6
6時間以上8時間未満	1	5.6
8時間以上	1	5.6

(調査対象：青年)

ケ ケアによる就労等への影響

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 ケアにより就労(学生の方は就学)状況は変化しましたか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「変化はない (78.9%)」が最も高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=19)	
	人数(人)	割合(%)
ケアのために退職(退学)した	0	0.0
ケアのために勤務(就学)時間を減らした	1	5.3
ケアのために転職(転学)した	2	10.5
ケアのために休職(休学)した	0	0.0
ケアのために就労経験がない	0	0.0
ケアのために進学をあきらめた	1	5.3
ケアによる就労(就学)状況の変化はない	15	78.9

コ ケアの協力者

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 あなた以外で、ケアに協力してくれる人について、当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「母(85.0%)」が最も高く、次に「父(40.0%)」、「医療者やサービス事業所の人(30.0%)」の順に高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=20)	
	人数(人)	割合(%)
父	8	40.0
母	17	85.0
祖父	0	0.0
祖母	0	0.0
夫	2	10.0
妻	1	5.0
兄弟姉妹	5	25.0
親戚	2	10.0
近所の人や知人	2	10.0
医療者やサービス事業所の人	6	30.0
協力してくれる人は、いない	0	0.0
その他	1	5.0

(調査対象：青年)

サ ケアラーの相談窓口・機関

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
 あなたが信頼して相談できる人や窓口・機関について、当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「家族・親戚(85.0%)」が最も高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=20)	
	人数(人)	割合(%)
家族・親戚	17	85.0
家族会(病気や障がいのある方などを家族に持つ方たちが運営する当事者会、自助グループ)	0	0.0
地域包括支援センター(地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防に係る援助等を行う市町村の施設)	1	5.0
ケアマネジャー(要介護者や要支援者の人の相談や介護サービス等の提供に係る計画の作成、市町村等との連絡調整を行う方)	2	10.0
障がい者(児)相談支援事業所(障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営ことができるよう相談・支援等を行う事業所)	0	0.0
民生委員・児童委員	0	0.0
医療者やサービス事業所の人	2	10.0
職場や学校	1	5.0
鳥取県ヤングケアラー相談窓口(児童相談所に設けているヤングケアラーやその家族の方などに向けた相談窓口)	1	5.0
電話相談窓口	0	0.0
相談できる人や機関・窓口はない	2	10.0
その他	0	0.0

シ ケアラーの悩み

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。
自身の生活や人生に関する悩みについて、当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「将来の見通しが持てない (45.0%)」が最も高く、次に「経済的な問題 (40.0%)」、「家族関係 (35.0%)」の順に高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=20)	
	人数(人)	割合(%)
心身の健康	5	25.0
経済的な問題	8	40.0
仕事に就けない	1	5.0
職場の人間関係	3	15.0
仕事とケアと自分の生活のバランスがとれない	2	10.0
ケアをしている相手との関係	2	10.0
家族関係	7	35.0
近隣との関係	0	0.0
医療機関や介護事業者との関係	0	0.0
自分の自由な時間が取れない	2	10.0
ケアをしている相手へのサービスの質・量の不足	0	0.0
緊急時のサービス	0	0.0
将来への見通しが持てない	9	45.0
悩みはない	4	20.0
その他	0	0.0

ス ケアラーに必要な支援

問 1 (3) ア「ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人に質問します。

ケアラーである自分に必要と思われる支援について、当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「ケアラーに役立つ情報の提供 (38.9%)」が最も高く、次に「親や家族が亡くなった後の被介護者のケアと生活の継続 (27.8%)」が高くなっている。

【図表】

選択肢	青年(n=18)	
	人数(人)	割合(%)
電話や訪問による相談体制の整備	2	11.1
ケアラーに役立つ情報の提供	7	38.9
気軽に休息や睡眠がとれる機会の確保	2	11.1
気軽に情報交換できる環境の紹介・提供	3	16.7
勤務しやすい柔軟な働き方	3	16.7
就労及び再就職への支援	1	5.6
24時間対応の在宅サービスの提供	1	5.6
入居施設等の生活の場の整備・充実	3	16.7
災害時も含め、緊急時に利用できてケアをしている相手の生活を変えないサービス	2	11.1
親や家族が亡くなった後の被介護者のケアと生活の継続	5	27.8
社会的なケアラー支援への理解	2	11.1
専門職や行政職員のケアラー支援への理解	1	5.6
経済的支援	3	16.7
ケアラーの健康管理への支援	3	16.7
その他	2	11.1

セ ヤングケアラー、ケアラーに関する意見

問 1 (3) ア「ヤングケアラー、ケアラーへの該当」で「1 あてはまる」を選んだ人にお聞きします。

ヤングケアラー、ケアラーに関して、ご意見などがあればご自由にご記入ください。

【主な意見】

ヤングケアラー、ケアラーに関して、次のとおり自由意見の回答があった。

区分	回答内容(概要)
小学5年	(回答者なし)
中学2年	ケアが大変である。
高校2年	問題の解決には、職場の理解が必要。
青年	ケアの実施について、他の家族からの協力が十分でない。老人ホームの利用は、金銭的に難しい。 障がい者入居施設の利用について、県や市町村などから経済支援があるとありがたい。自分の親が対象者をケアしているが、親が面倒をみられなくなった後、ケアラーになるのは、対象者の兄弟になるので負担を少しでも減らしてほしい。 医療費や通院費を無償化してほしい。 自分の生活もあり、ケアを継続するのが難しい。

(4) 生活

ア 基本的な生活習慣の状況

問 ・あなたは以下のことをどの程度していますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(調査対象：小2、小5、中2、高2、青年)

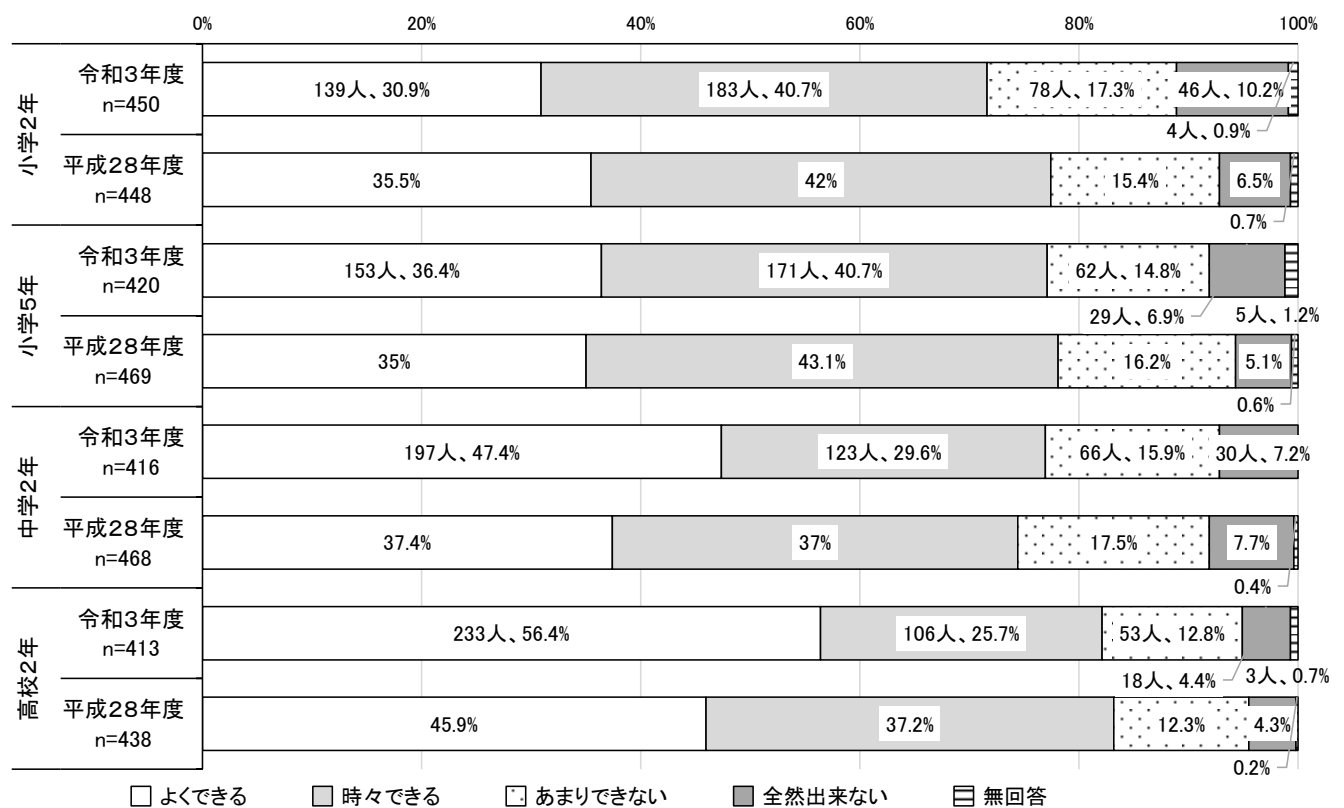
・お子さんの日常生活で以下のことについて、一番近いと思う番号を1つ選んで○をつけてください。(調査対象：保護者)

(ア) - a 朝起きる時、自分一人で起きる (調査対象：小2、小5、中2、高2)

【集計結果の概要】

「よくできる」と「時々できる」の合計割合は、全ての年代で7割を超えている。「よくできる」を選択している割合は、年代が上がるにつれ、増加している。

【図表】

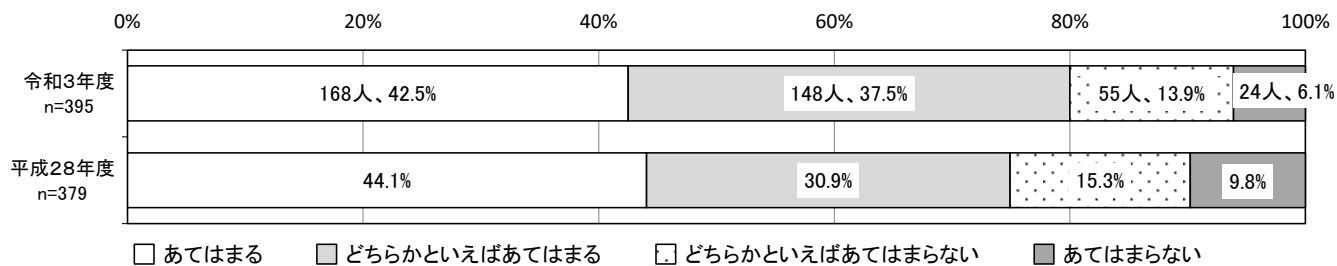


(ア) - b 朝、決まった時間に起きられる (調査対象：青年)

【集計結果の概要】

青年では、「あてはまる (42.5%)」が最も高くなっている。

【図表】

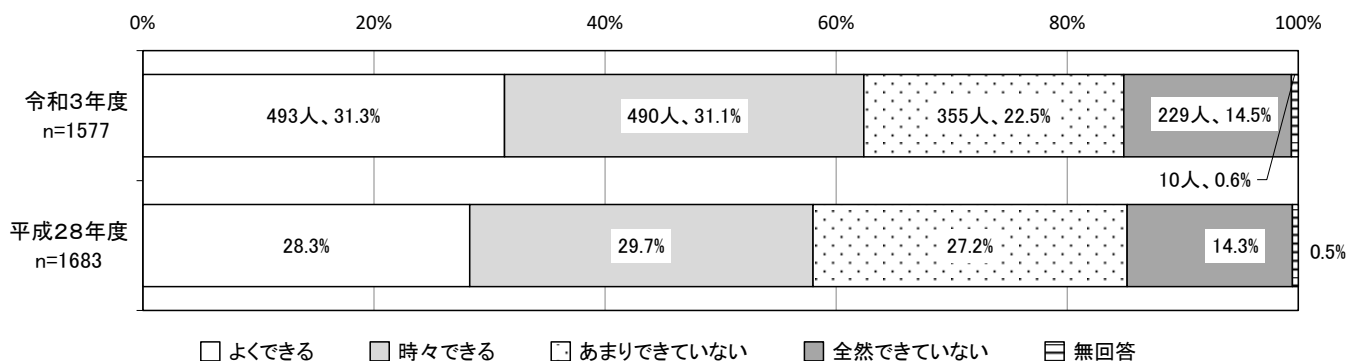


(ア) - c 朝、自分で起きる (調査対象：保護者)

【集計結果の概要】

保護者から見た子どもの日常生活 (朝、自分で起きること) は、「よくできる」と「時々できる」の合計割合が6割を占め、子ども自身の回答 (7割) より1割程度低くなっている。

【図表】

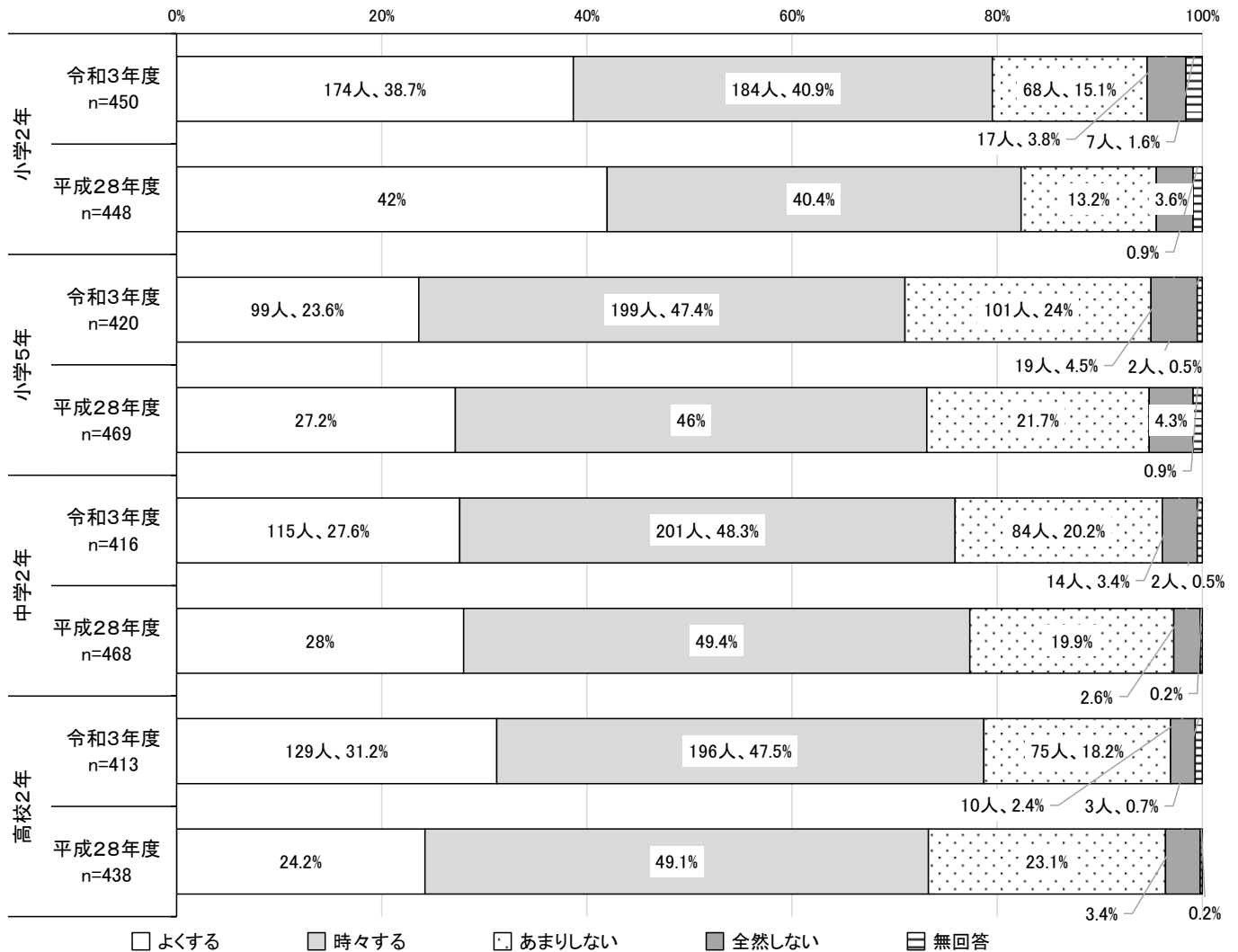


(イ) - a 身の回りや部屋の片づけをする (調査対象：小2、小5、中2、高2)

【集計結果の概要】

「よくする」と「時々する」の合計割合は、全ての年代で7割を超えている。

【図表】

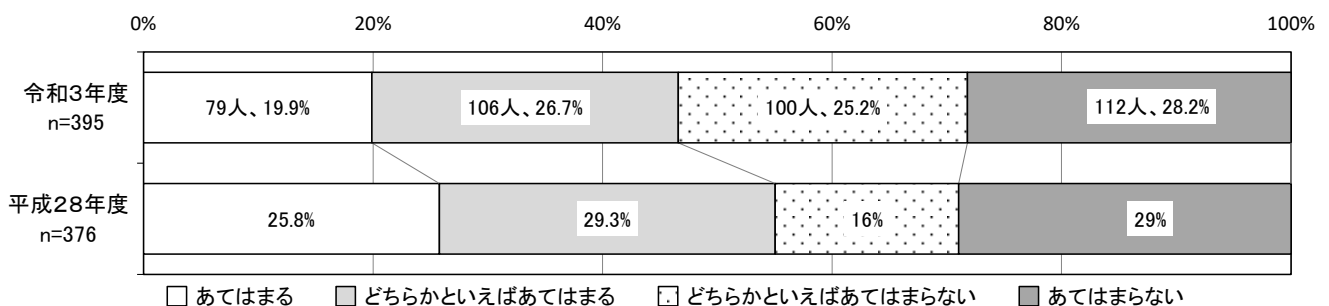


(イ) - b 食事や掃除は親まかせである (調査対象：青年)

【集計結果の概要】

青年では、「あてはまらない (28.2%)」が最も高くなっている。

【図表】

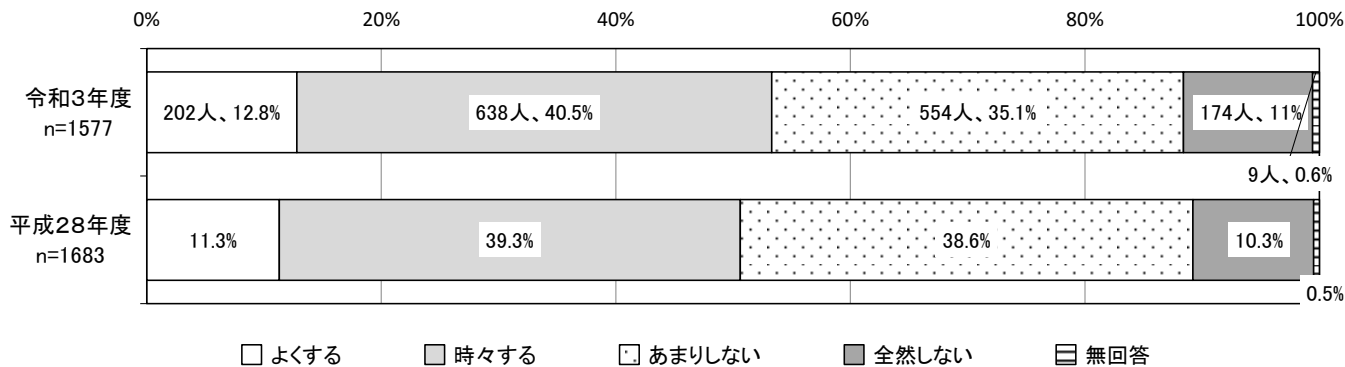


(イ) - c 身の回りや部屋の片づけをする（調査対象：保護者）

【集計結果の概要】

保護者から見た子どもの日常生活（身の回りや部屋の片づけをする）は、「よくする」と「時々する」の合計割合が5割を占め、子ども自身の回答（7割）より2割程度低くなっている。

【図表】

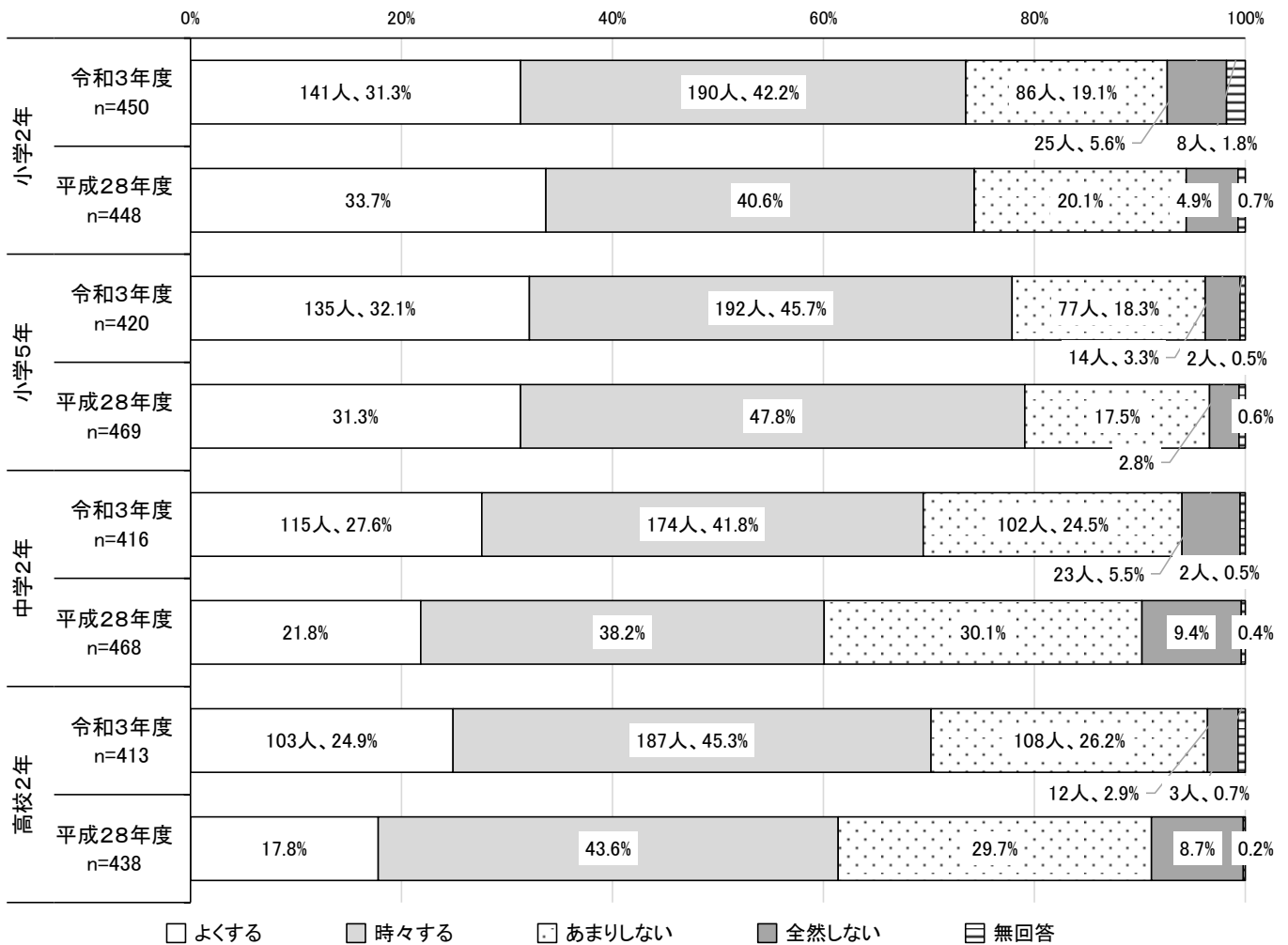


(ウ) - a 家の手伝いをする (調査対象：小2、小5、中2、高2)

【集計結果の概要】

「よくする」と「時々する」の合計割合は、各年代で7割弱から7割を占めている。

【図表】

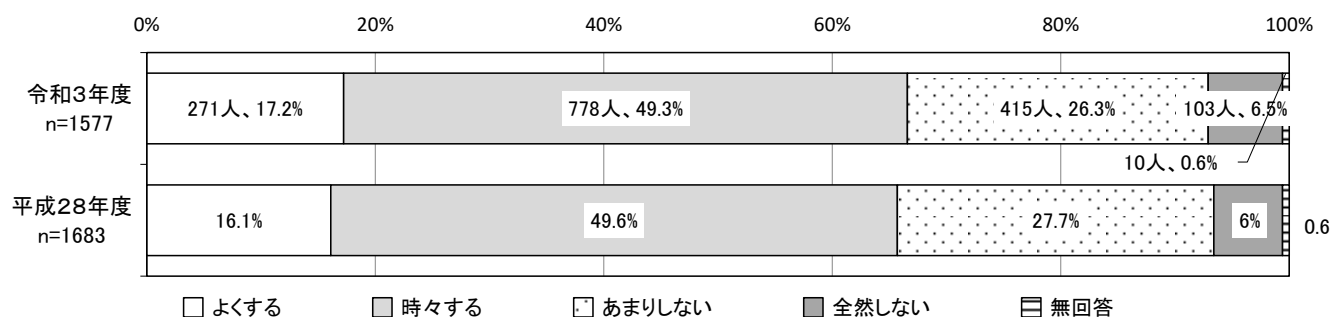


(ウ) - b 家の手伝いをする (調査対象：保護者)

【集計結果の概要】

保護者から見た子どもの日常生活 (家の手伝いをする) は、「よくする」と「時々する」の合計割合が6割を占め、子ども自身の回答 (7割弱から7割) より低い傾向となっている。

【図表】

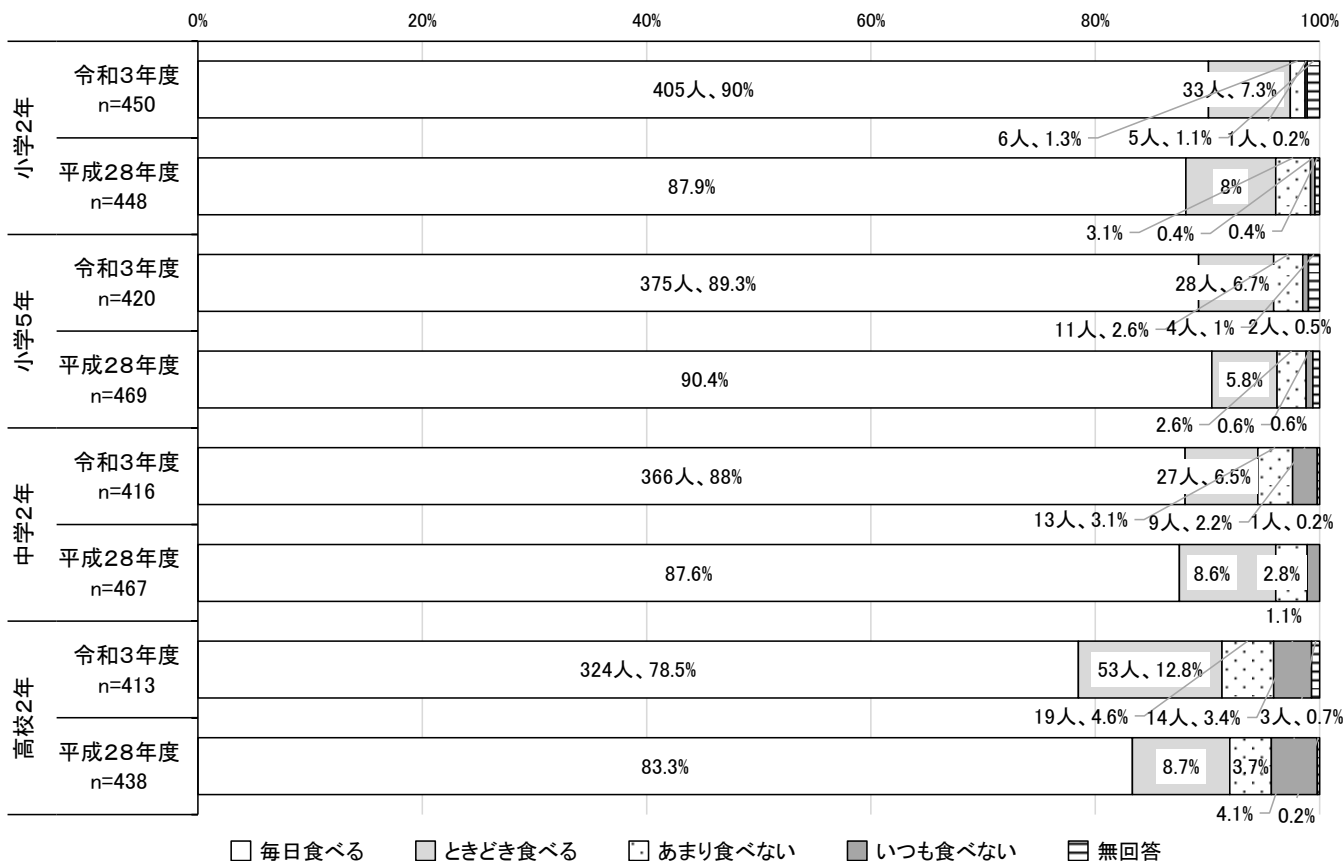


(工) - a 朝ご飯を食べる (調査対象：小2、小5、中2、高2)

【集計結果の概要】

「毎日食べる」が小学2年で9割、小学5年、中学2年で9割弱、高校2年で8割弱を占め、最も高くなっている。

【図表】

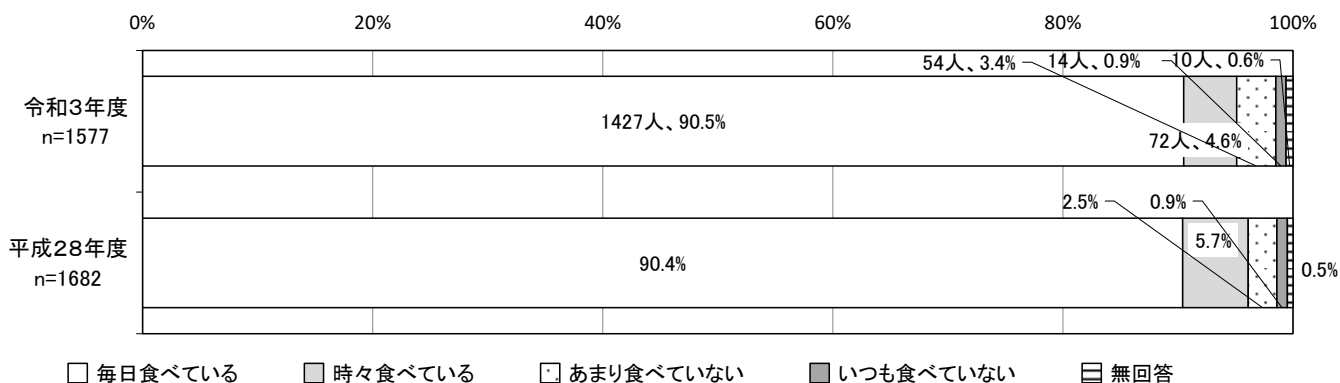


(工) - b 朝ご飯を食べる (調査対象：保護者)

【集計結果の概要】

保護者から見た子どもの日常生活 (朝ご飯を食べる) は、「毎日食べている (90.5%)」が最も高くなっている。

【図表】



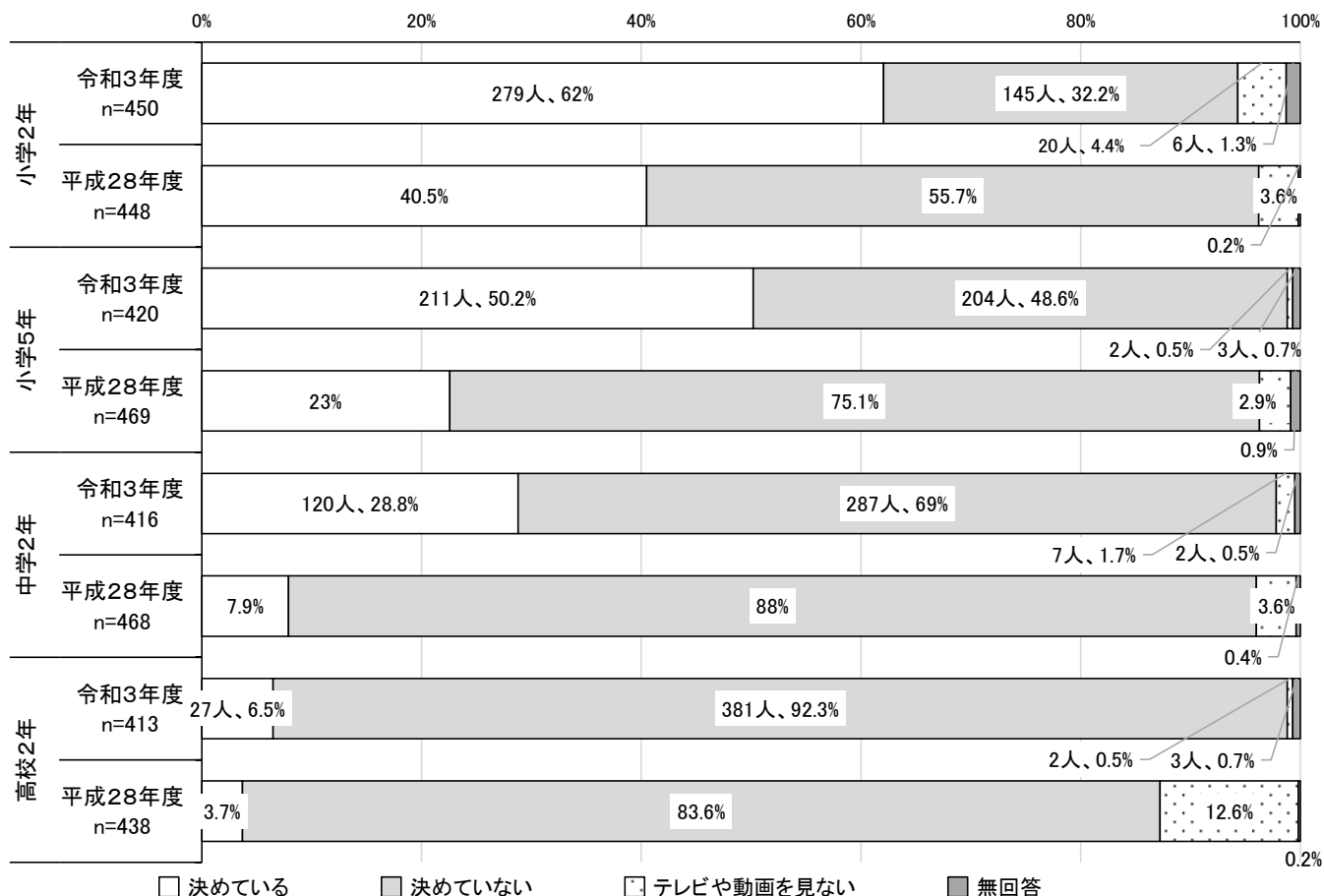
(オ) - a テレビや動画を見る時間を決めている（調査対象：小2、小5、中2、高2）

※平成28年度調査の問は、「テレビを見る時間を決めている」。

【集計結果の概要】

年代が上がるにつれ、「決めている」の割合が減少している。
 問の内容が異なるため単純に比較できないが、平成28年度調査より「決めている」の割合は増加している。

【図表】

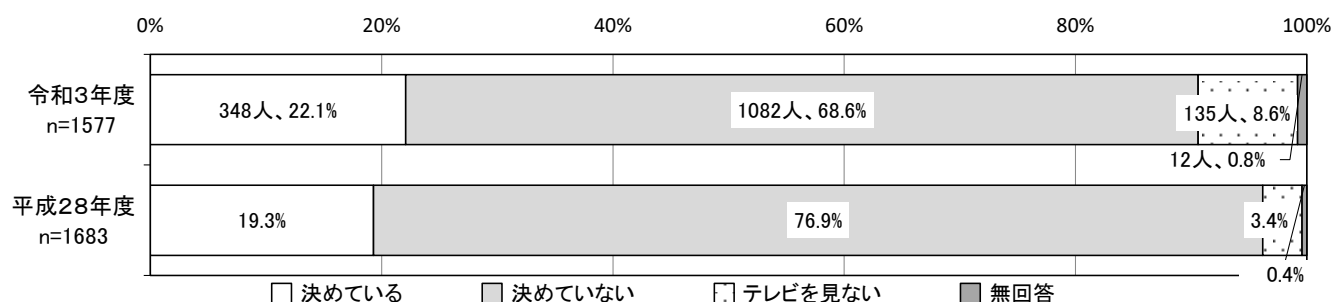


(オ) - b テレビを見る時間を決めている（調査対象：保護者）

【集計結果の概要】

保護者から見た子どもの日常生活（テレビを見る時間を決めている）は、「決めている（22.1%）」、「決めていない（68.6%）」、「テレビを見ない（8.6%）」となっている。
 平成28年度調査と比較すると、「決めている」とともに、「テレビを見ない」の割合も増加している。

【図表】



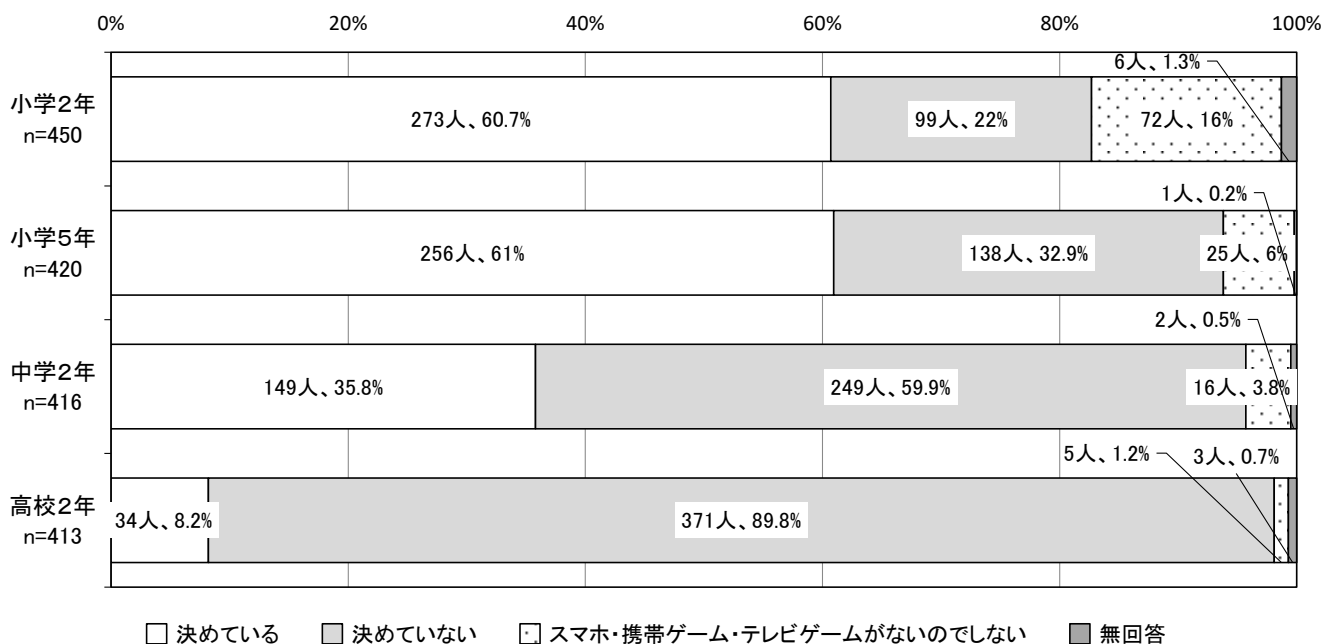
(カ) - a 自分の家でスマホゲーム・携帯ゲーム・テレビゲームをする時間を決めている (R3：新規設問)

(調査対象：小2、小5、中2、高2)

【集計結果の概要】

小学2年、小学5年は「決めている」が最も高く、中学2年、高校2年は「決めていない」が最も高くなっている。

【図表】



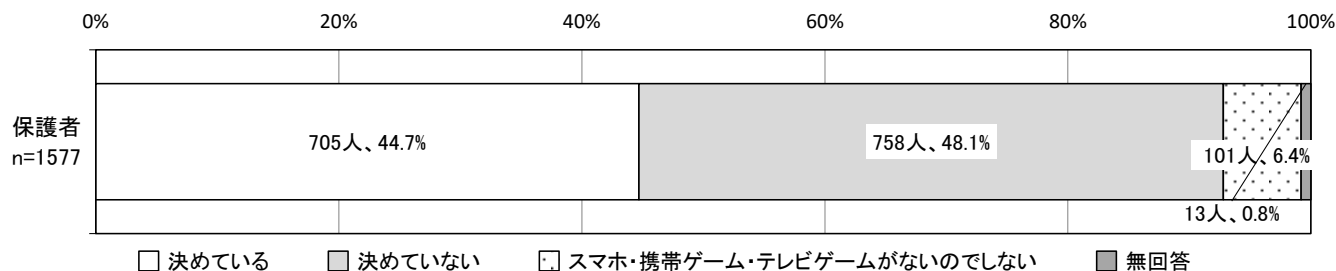
(カ) - b スマホゲーム・携帯ゲーム・テレビゲームをする時間を決めている (R3：新規設問)

(調査対象：保護者)

【集計結果の概要】

保護者から見た子どもの日常生活（スマホゲーム・携帯ゲーム・テレビゲームをする時間を決めている）は、「決めている（44.7%）」と「決めていない（48.1%）」がそれぞれ5割弱を占め、拮抗している。

【図表】



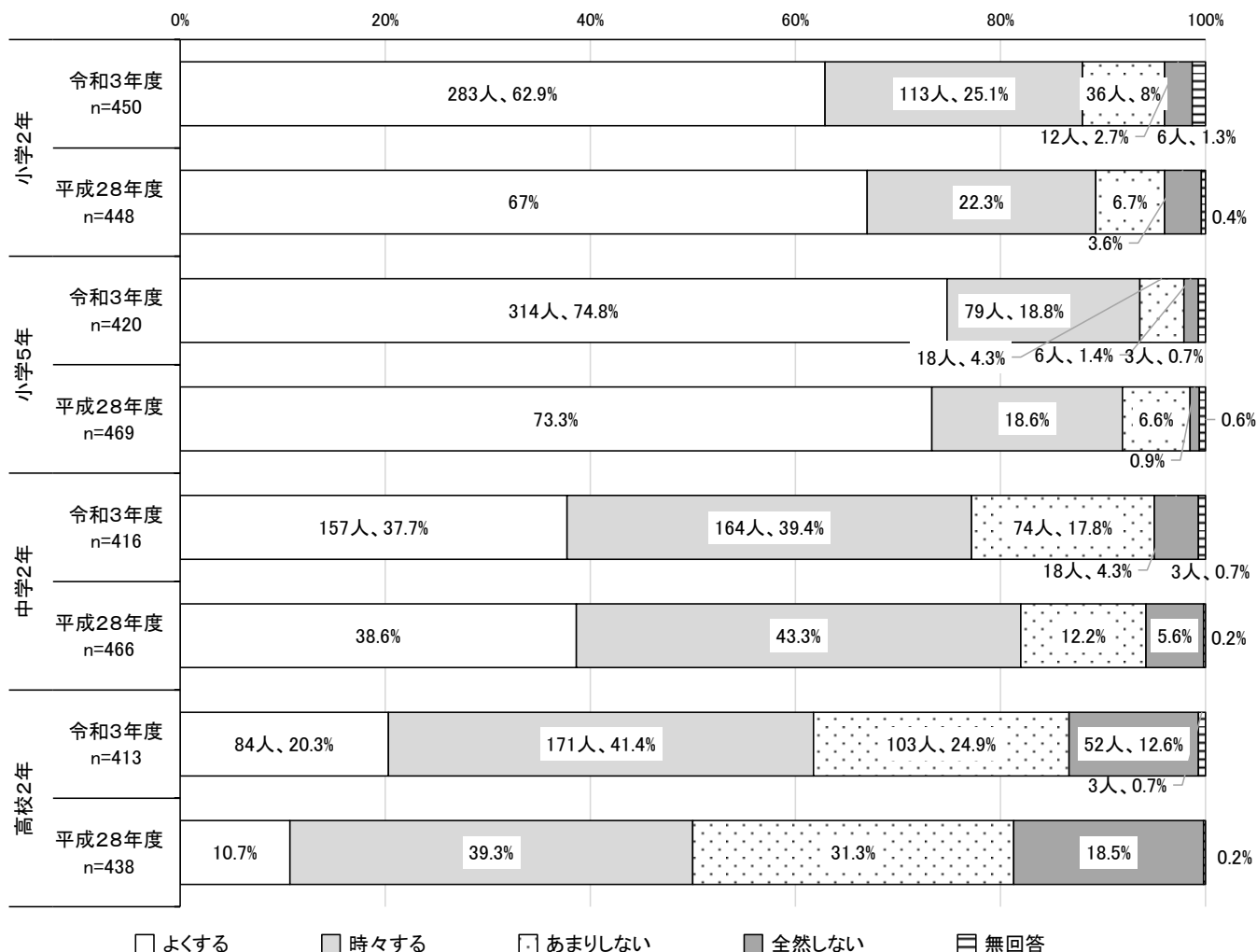
(キ) - a 家で勉強する（調査対象：小2、小5、中2、高2）

【集計結果の概要】

小学2年、小学5年は「よくする」が6～7割で最も高く、中学2年、高校2年は「時々する」が4割前後で最も高くなっている。

平成28年度調査と比較すると小学2年、小学5年、中学2年では大きな変化はないが、高校2年で「よくする」の割合が増加し、「あまりしない」の割合が減少している。

【図表】

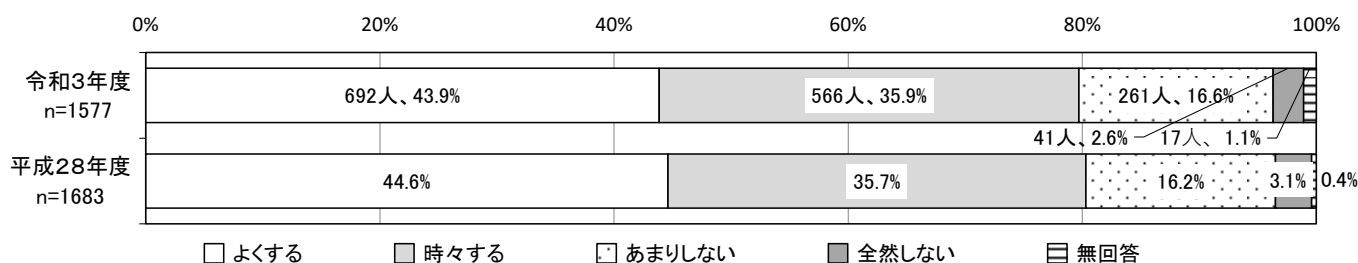


(キ) - b 家で勉強する（調査対象：保護者）

【集計結果の概要】

保護者から見た子どもの日常生活（家で勉強をする）は、「よくする」と「時々する」の合計割合が8割弱を占めている。

【図表】

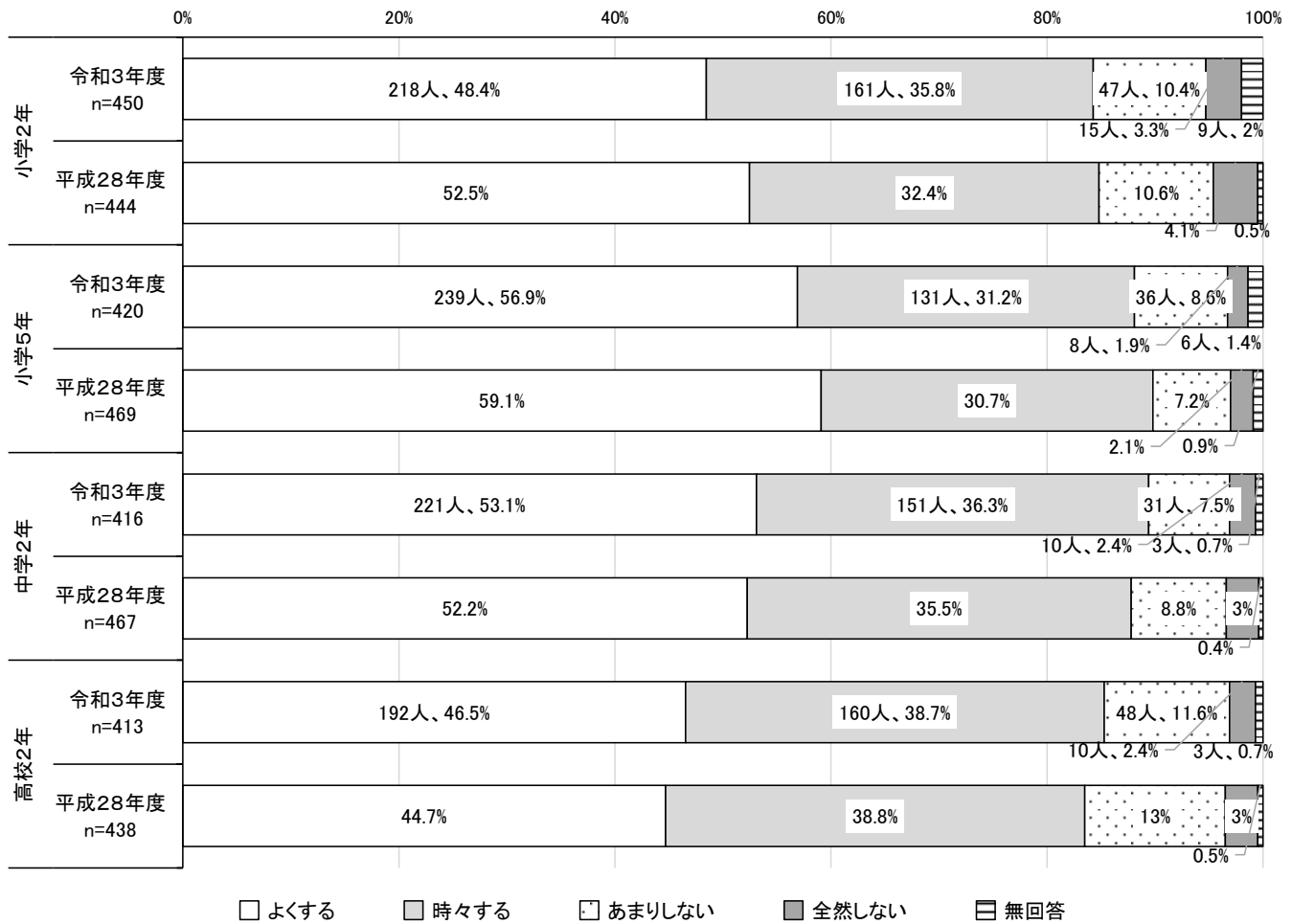


(ク) - a 近所の人や知り合いにあいさつをする (調査対象：小2、小5、中2、高2)

【集計結果の概要】

「よくする」と「時々する」の合計割合は、全ての年代で8割を超えている。

【図表】

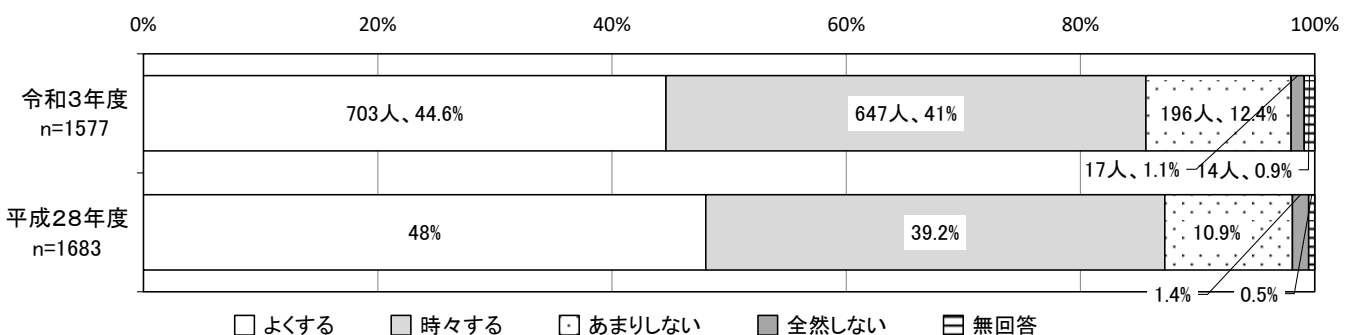


(ク) - b 近所の人や知り合いにあいさつする (調査対象：保護者)

【集計結果の概要】

保護者から見た子どもの日常生活 (近所の人や知り合いにあいさつする) は、「よくする」と「時々する」の合計割合が8割を超えている。

【図表】



(ケ) 友達といっしょに遊ぶ (調査対象：小2，小5)

※平成28年度調査の問は、「おおぜいの友達といっしょに遊ぶ」。

【集計結果の概要】

「よくする」と「時々する」の合計割合は、小学2年で9割、小学5年で8割を占めている。

【図表】

選択肢	令和3年度			
	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
よくする	316	70.2	275	65.5
時々する	104	23.1	90	21.4
あまりしない	20	4.4	39	9.3
しない	5	1.1	13	3.1
無回答	5	1.1	3	0.7

※参考 (平成28年度)

選択肢	平成28年度	
	小学2年 (n=446)	小学5年 (n=469)
	割合(%)	割合(%)
よくする	70.2	65.5
時々する	23.1	21.4
あまりしない	4.4	9.3
しない	1.1	3.1
無回答	1.1	0.7

イ こづかいの使途

問 あなたは、こづかいを、主にどのように使っていますか。多く使うものの番号を3つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

小学2年、小学5年で「貯金」が3～4割を占め、最も高く、中学2年で「趣味のこと（30.8%）」、高校2年で「食べ物、飲み物（46.2%）」が最も高くなっている。

【図表】

選択肢	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
食べ物、飲み物	79	17.6	79	18.8	18	28.4	91	46.2
学用品	52	11.6	71	16.9	23	5.5	16	3.9
マンガ、雑誌、本	30	6.7	77	18.3	24	29.8	78	18.9
スポーツ	15	3.3	19	4.5	23	5.5	19	4.6
ボードゲーム、ゲーム機、ゲームソフト	43	9.6	64	15.2	46	11.1	27	6.5
音楽、映画	5	1.1	4	1.0	21	5.0	23	5.6
趣味のこと	-	-	-	-	28	30.8	59	38.5
衣料、装飾品、化粧品	10	2.2	17	4.0	46	11.1	103	24.9
プリクラ、写真	6	1.3	6	1.4	47	11.3	57	13.8
電話代、ポケット通信代(スマートフォン・携帯電話)	-	-	-	-	2	0.5	0	0.0
カラオケ	-	-	-	-	13	3.1	24	5.8
貯金	63	36.2	88	44.8	13	27.2	75	18.2
コレクションアイテム(切手、シール、バッジ、カードなど)	16	3.6	22	5.2	-	-	-	-
プラモデル、おもちゃ	56	12.4	26	6.2	-	-	-	-
こづかいはもらっていない	49	33.1	93	22.1	95	22.8	66	16.0
その他	30	6.7	16	3.8	15	3.6	9	2.2
無回答	15	3.3	7	1.7	23	5.5	26	6.3

ウ 休日の過ごし方

問 あなたは、休日は主にどのように過ごしていますか。よくすることの番号を3つまで選んで○をつけてください。

※「小2、小5、中2、高2」と「青年」で問に対する回答の選択肢が異なるため、図表を分けて記載している。

【集計結果の概要】

小学2年で「勉強をする」、小学5年で「コンピューターゲーム、オンラインゲームをする」、中学2年、高校2年、青年で「インターネットでホームページやYouTube²を見る」が最も高くなっている。

【図表】

<小2、小5、中2、高2>

選択肢	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
勉強をする	198	44.0	-	-	90	21.6	57	13.8
読書をする	100	22.2	55	13.1	25	6.0	31	7.5
音楽を鑑賞する	20	4.4	52	12.4	68	16.3	61	14.8
コンピューターゲーム、オンラインゲームをする	141	31.3	207	49.3	152	36.5	122	29.5
家でテレビやDVDを見る	79	17.6	70	16.7	74	17.8	54	13.1
インターネットでホームページやYouTubeを見る	33	7.3	110	26.2	159	38.2	184	44.6
動物を可愛がる	30	6.7	44	10.5				
家の手伝いをする	55	12.2	26	6.2	12	2.9	14	3.4
家族と過ごす	47	10.4	110	26.2	57	13.7	55	13.3
ゆっくり休む	62	13.8	54	12.9				
SNSをする	-	-	-	-	54	13.0	87	21.1
ボードゲーム、カードゲームをする	-	-	-	-	9	2.2	4	1.0
友達と電話やスマホでやり取りをする	-	-	4	1.0	18	4.3	59	14.3
友達と遊ぶ	100	22.2	104	24.8				
家にいて特に何もしない	-	-			8	1.9	22	5.3
部活動※	-	-	65	15.5	141	33.9	152	36.8
部活動※以外のスポーツをする	57	12.7	25	6.0	37	8.9	11	2.7
グループ活動、サークル活動に参加する	-	-	-	-	-	-	-	-
塾や習い事に行く	66	14.7	72	17.1	22	5.3	14	3.4
地域の行事に参加する	6	1.3	3	0.7	1	0.2	0	0.0
図書館や美術館などの公共施設に行く	23	5.1	5	1.2	5	1.2	0	0.0
子ども会活動をする	-	-	0	0.0	-	-	-	-
人前で歌ったり楽器を演奏する	-	-	7	1.7	2	0.5	3	0.7
登山、ハイキング、釣りを	-	-	-	-	7	1.7	3	0.7
買い物に行く	82	18.2	63	15.0	62	14.9	60	14.5
カラオケへ行く	-	-	0	0.0	6	1.4	7	1.7
ゲームセンターに行く	21	4.7	5	1.2	10	2.4	4	1.0
映画や遊園地に行く	3	0.7	6	1.4	1	0.2	2	0.5
ファストフード店等の飲食店や繁華街に行く	-	-	-	-	6	1.4	8	1.9
アルバイトをする	-	-	-	-	-	-	12	2.9
その他	22	4.9	17	4.0	21	5.0	15	3.6
無回答	19	4.2	26	6.2	42	10.1	31	7.5

※小学5年生はスポーツ少年団

² YouTube: インターネット上で動画を自由に投稿・閲覧できるサービスの一つ。

【図表】

<青年>

選択肢	青年(n=397)	
	人数(人)	割合(%)
勉強をする	75	18.9
音楽を鑑賞する	128	32.2
コンピューターゲーム、オンラインゲームをする	140	35.3
家でテレビやDVDを見る	161	40.6
インターネットでホームページやYouTubeを見る	305	76.8
家の手伝いをする	62	15.6
SNSをする	198	49.9
ボードゲーム、カードゲームをする	14	3.5
友達と電話やスマホでやり取りをする	52	13.1
部活動以外のスポーツをする	72	18.1
グループ活動、サークル活動に参加する	25	6.3
塾や習い事に行く	7	1.8
地域の行事に参加する	6	1.5
図書館や美術館などの公共施設に行く	30	7.6
人前で歌ったり楽器を演奏する	27	6.8
登山、ハイキング、釣りをする	18	4.5
買い物に行く	214	53.9
カラオケへ行く	27	6.8
ゲームセンターに行く	18	4.5
映画や遊園地に行く	33	8.3
ファストフード店等の飲食店や繁華街に行く	31	7.8
マーじゃんをする	8	2.0
ドライブに行く	90	22.7
クラブ(ディスコ)に行く	1	0.3
お酒を飲む	47	11.8
その他	61	15.4
無回答	2	0.5

エ 青年が普段自宅をよくしていること

問 あなたが、普段ご自宅にいるときによくしていることを、次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

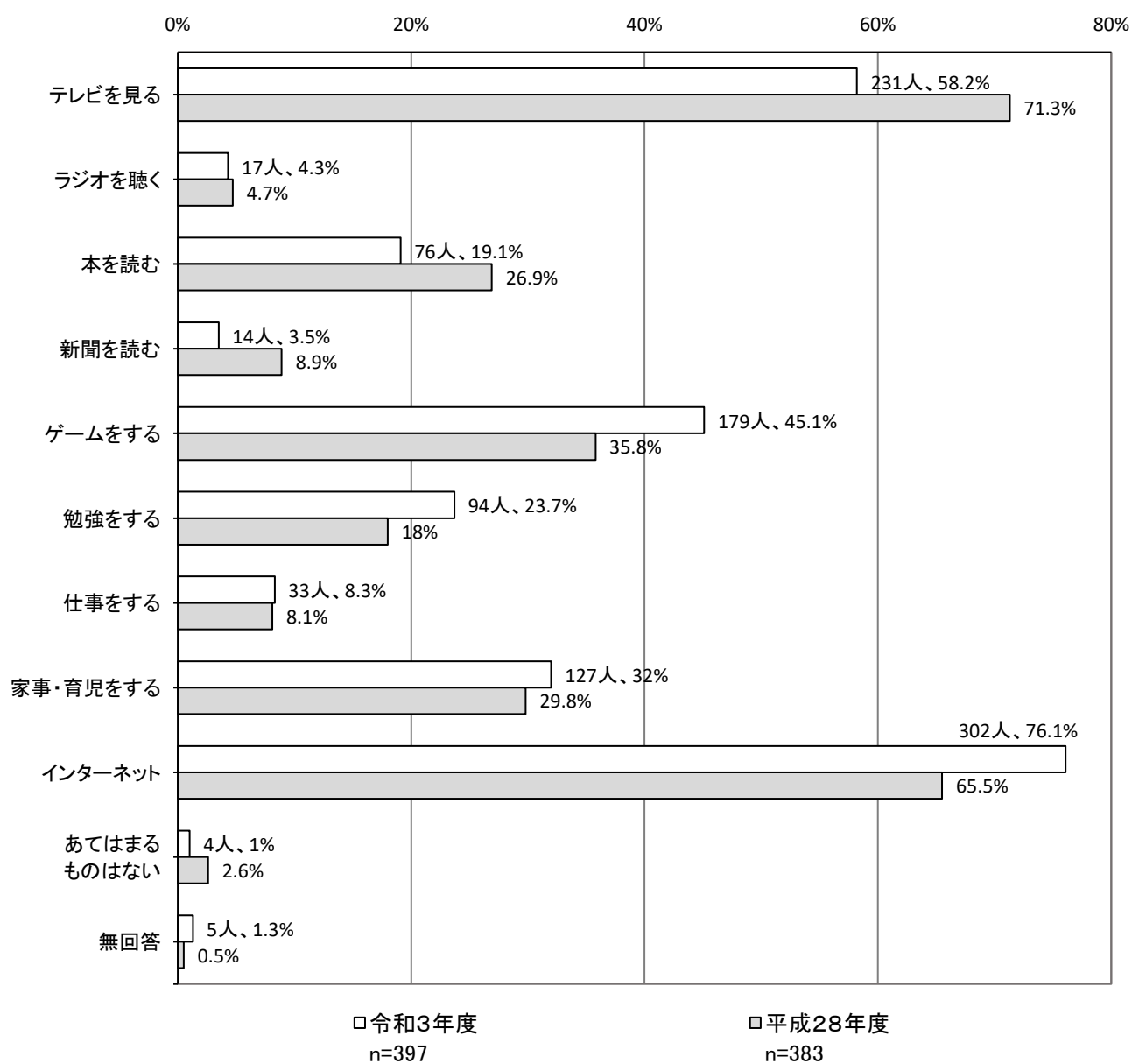
【集計結果の概要】

青年では、「インターネット（76.1%）」が最も高く、次に「テレビを見る（58.2%）」、「ゲームをする（45.1%）」が高くなっている。

平成28年度調査と比較すると「インターネット」、「ゲームをする」の割合が増加している。

また、平成28年度調査では、「テレビを見る」が最も高く、次に「インターネット」の順であったが、令和3年度調査では回答割合の高い順番が逆転している。

【図表】



(調査対象：中2、高2)

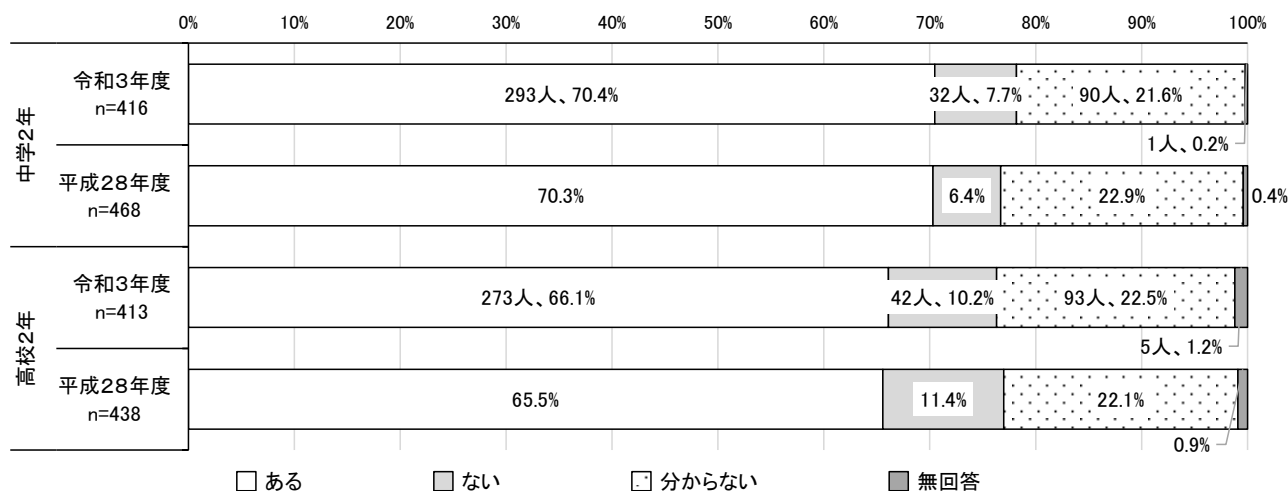
オ 打ち込んでやれることの有無

問 あなたは、何か打ち込んでやれることを持っていますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「ある」が中学2年で7割、高校2年で6割を占めている。

【図表】



(調査対象：中2、高2)

カ 打ち込んでやれることの内容

問 1(4)オ「打ち込んでやれることの有無」で「1 ある」を選んだ人に質問します。それはどんなことについてですか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※選択肢「ゲーム」、「TwitterやLINEなどのSNS³」は令和3年度調査から新設。

【集計結果の概要】

中学2年、高校2年どちらの年代においても、「スポーツ（運動）」が最も高く、次に「ゲーム」が高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度				平成28年度	
	中学2年(n=293)		高校2年(n=273)		中学2年(n=317)	高校2年(n=282)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
勉強・学習のこと	19	6.5	24	8.8	8.2	5.0
スポーツ(運動)	110	37.5	109	39.9	57.7	54.6
文化的活動(将棋、演劇、料理など)	7	2.4	12	4.4	4.4	8.9
音楽鑑賞・演奏	34	11.6	34	12.5	16.1	17.7
ゲーム	49	16.7	41	15.0	-	-
TwitterやLINEなどのSNS	16	5.5	16	5.9	-	-
その他	22	7.5	20	7.3	12.6	11.0
無回答	36	12.3	17	6.2	0.9	2.8

³ SNS: Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイト (ホームページのサービスを提供しているシステム等) の会員制サービス。主なものは、LINE (ライン)、Twitter (ツイッター)、Facebook (フェイスブック)、Instagram (インスタグラム) などがある。

(調査対象：青年)

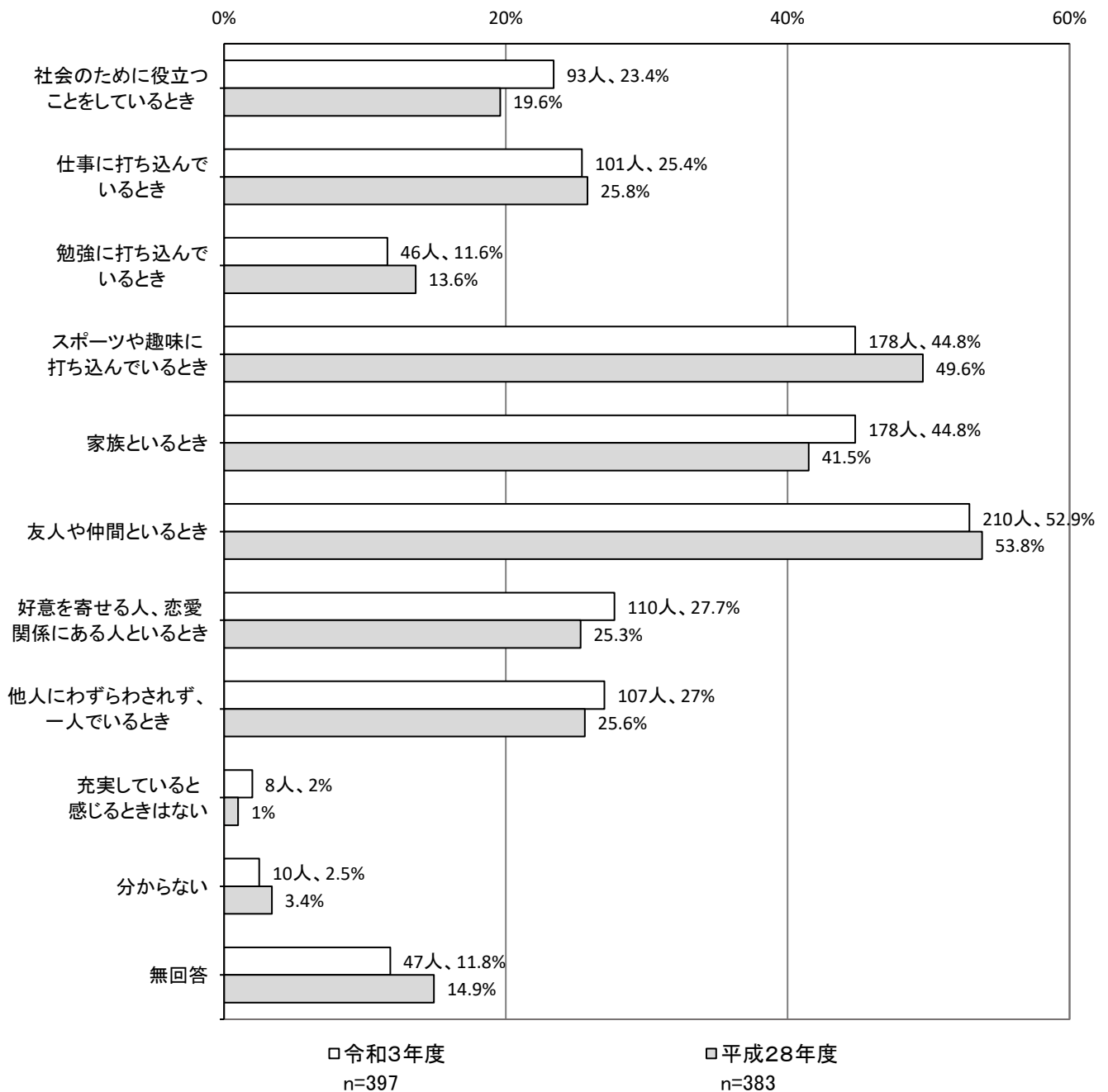
キ 青年が充実していると感じるとき

問 あなたは、どんなときに充実していると感じますか。次の中からあてはまるものを、いくつでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「友人や仲間といるとき (52.9%)」が最も高く、次に「スポーツや趣味に打ち込んでいるとき (44.8%)」、「家族といるとき (44.8%)」が高くなっている。

【図表】



(5) 友人関係

(調査対象：小2、小5、中2、高2)

ア 交友関係

問 あなたには友達がありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※「小2」と「小5、中2、高2」で問に対する回答の選択肢が異なるため、「集計結果の概要」及び図表を分けて記載している。

<小2>

【集計結果の概要】

「すごく仲の良い友達がいる」が、小学2年で68.4%と最も高くなっているが、平成28年度調査と比較すると、10ポイント近く減っている。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度
	小学2年 (n=450)		小学2年 (n=447)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
すごく仲の良い友達がいる	308	68.4	77.2
仲の良い友達がいる	131	29.1	21.5
友達は、今はいない	6	1.3	1.1
無回答	5	1.1	0.2

<小5、中2、高2>

【集計結果の概要】

「親友(どんなことでも話せる友達)がいる」が、小学5年で41.9%、中学2年で54.6%、高校2年で55.4%と最も高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		小学5年 (n=464)	中学2年 (n=464)	高校3年 (n=438)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
親友(どんなことでも話せる友達)がいる	176	41.9	227	54.6	229	55.4	35.8	48.5	55.9
親友はいないが、遊び友達ならいる	63	15.0	53	12.7	51	12.3	15.7	13.3	11.9
親友も遊び友達もいる	154	36.7	112	26.9	113	27.4	44.6	33.7	26.9
親友や遊び友達はいないが、少し話をする程度の友達ならいる	8	1.9	10	2.4	12	2.9	1.5	3.4	4.1
今は友達はいないが、これからつくりたい	3	0.7	3	0.7	2	0.5	0.4	0.4	0.7
今は友達はいないが、これからもいらない	4	1.0	3	0.7	1	0.2	1.1	0.4	0
無回答	12	2.9	8	1.9	5	1.2	0.9	0.2	0.5

イ 交友関係のきっかけ

問 1 (5) ア「交友関係」で「1 親友（どんなことでも話せる友達）がいる」、「2 親友はいないが、遊び友達ならいる」、「3 親友も遊び友達もいる」、「4 親友や遊び友達はいないが、少し話をする程度の友達ならいる」を選んだ人に質問します。

どんなきっかけで友達になりましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※「小2、小5」と「中2、高2」で問に対する回答の選択肢が異なるため、「集計結果の概要」及び図表を分けて記載している。

<小2、小5>

【集計結果の概要】

小学2年、小学5年で「同じクラス」、「同じ学年」の回答割合が高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度				平成28年度	
	小学2年(n=439)		小学5年(n=401)		小学2年 (n=441)	小学5年 (n=453)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
同じクラス	330	75.2	296	73.8	70.7	74.4
同じ学年	-	-	265	66.1	-	67.1
同じクラブ活動	-	-	55	13.7	-	13.2
同じ塾、習い事、スポーツのクラブ、カブスカウト、ガールスカウトなど	76	17.3	96	23.9	14.5	27.8
近所に住んでいる	163	37.1	113	28.2	40.1	28.5
ゲームセンターやショッピングセンターなど街中で知り合った	-	-	6	1.5	-	2.0
インターネット(スマートフォン・オンラインゲーム)でのやり取りを通じて知り合った	-	-	13	3.2	-	0.7
その他	67	15.3	49	12.2	18.8	13.0
無回答	3	0.7	4	1.0	1.4	1.1

(参考)カブスカウト：子どもの成長段階に合わせて設定されているボーイスカウト運動の各部門で、ビーバースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト、バンチャースカウト等がある。ガールスカウト：ボーイスカウトは男性、女性とも対象だが、ガールスカウトは女性を対象とする。

<中2、高2>

【集計結果の概要】

中学2年、高校2年で「同じクラス」、「同じ学年」、「学校の部活動」、「以前の学校の友達」の回答割合が高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度				平成28年度	
	中学2年(n=402)		高校2年(n=405)		中学2年(n=461)	高校2年(n=433)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
同じクラス	335	83.3	305	75.3	78.3	69.3
同じ学年	283	70.4	231	57.0	75.7	53.8
学校の部活動	210	52.2	171	42.2	52.1	47.6
塾や習い事	71	17.7	27	6.7	10.4	7.6
学校外のグループ活動	48	11.9	23	5.7	9.1	4.8
以前の学校の友達	152	37.8	204	50.4	33.4	48.3
近所に住んでいる	98	24.4	67	16.5	20.4	15.5
街で知り合った	6	1.5	5	1.2	2	0.7
インターネットやオンラインゲーム	35	8.7	22	5.4	-	-
SNS(LINE、Twitter等)	35	8.7	37	9.1	6.9	8.1
スマートフォン・携帯電話の出会い系アプリなど	3	0.7	-	-	2.8	0.5
その他	16	4.0	10	2.5	3.9	3.5
無回答	2	0.5	3	0.7	0.7	0.2

(6) インターネット利用

(調査対象：小5、中2、高2、青年)

ア インターネット機器の利用状況

問 あなたは、答えにある機器でインターネットを利用（学校の授業での利用を除く）していますか。ふだん利用しているものすべてに○をつけてください。

※インターネットを利用する際の機器を尋ねており、本人が所有する機器の間ではない。

【集計結果の概要】

各年代で回答が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「ゲーム機（67.4%）」、「タブレット（36.4%）」、「スマートフォン（35.7%）」
- ・中学2年：「スマートフォン（60.1%）」、「ゲーム機（56.0%）」
- ・高校2年：「スマートフォン（96.1%）」
- ・青年：「スマートフォン（95.2%）」、「パソコン（46.6%）」

また、「どれも利用しない」の割合は、小学5年で6.9%、中学2年で4.1%、高校2年と青年では、1割未満となっている。

平成28年度調査と比較すると、中学2年で「スマートフォン」と回答した割合が38.7%から60.1%へと大きく増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		青年(n=397)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
携帯電話	32	7.6	32	7.7	33	8.0	40	10.1
スマートフォン	150	35.7	250	60.1	397	96.1	378	95.2
パソコン	57	13.6	89	21.4	66	16.0	185	46.6
タブレット(ipadなど)	153	36.4	173	41.6	62	15.0	107	27.0
携帯音楽プレーヤー(ipodなど)	21	5.0	61	14.7	26	6.3	18	4.5
ゲーム機(ニンテンドーSwitchやXbox、Playstationなど)	283	67.4	233	56.0	118	28.6	103	25.9
どれも利用しない	29	6.9	17	4.1	1	0.2	1	0.3
無回答	6	1.4	1	0.2	4	1.0	0	0.0

※参考（平成28年度）

選択肢	平成28年度			
	小学5年 (n=470)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)	青年 (n=383)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
携帯電話	11.5	12.2	12.3	14.4
スマートフォン	30.0	38.7	93.4	89.6
パソコン	25.5	36.3	36.5	57.7
タブレット(ipadなど)	32.6	37.4	17.8	16.4
携帯音楽プレーヤー(ipodなど)	8.5	38.5	19.9	7.0
携帯ゲーム機(ニンテンドー3ds、PSPなど)	40.9	42.7	15.1	5.5
据置型ゲーム機(WiiやXbox、Playstationなど)	21.7	29.3	14.2	7.6
無回答	17.9	6.6	0.7	1.6

イ インターネットの利用目的

問 1 (6) ア「インターネット機器の利用状況」で「7 どれも利用しない」以外を選んだ人に質問します。

インターネットを利用して何をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※選択肢「塾や学校などが提供するオンライン授業」、「YouTubeを見る」、「YouTubeを作る」は令和3年度調査から新設。

【集計結果の概要】

各年代で回答が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「ゲーム (55.8%)」、「YouTubeを見る (50.1%)」
- ・中学2年：「YouTubeを見る (65.3%)」、「動画・画像視聴 (56.0%)」
- ・高校2年：「LINE (59.6%)」、「YouTubeを見る (58.6%)」、「動画・画像視聴 (51.0%)」
- ・青年：「LINE (60.6%)」、「YouTubeを見る (57.8%)」、「動画・画像視聴 (54.0%)」

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学5年(n=385)		中学2年(n=398)		高校2年(n=408)		青年(n=396)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
通話	60	15.6	132	33.2	170	41.7	147	37.1
メール	43	11.2	90	22.6	73	17.9	97	24.5
音楽鑑賞	110	28.6	182	45.7	153	37.5	158	39.9
カメラ	57	14.8	109	27.4	116	28.4	99	25.0
動画・画像視聴	147	38.2	223	56.0	208	51.0	214	54.0
動画・画像投稿	3	0.8	46	11.6	53	13.0	50	12.6
ゲーム	215	55.8	185	46.5	149	36.5	140	35.4
情報検索	75	19.5	147	36.9	132	32.4	166	41.9
LINE(ライン)	53	13.8	178	44.7	243	59.6	240	60.6
Facebook(フェイスブック)	3	0.8	13	3.3	13	3.2	38	9.6
Twitter(ツイッター)	7	1.8	67	16.8	122	29.9	145	36.6
Instagram(インスタグラム)	9	2.3	104	26.1	203	49.8	163	41.2
小説・マンガなどの電子書籍	30	7.8	67	16.8	76	18.6	96	24.2
ショッピング・オークション	6	1.6	26	6.5	66	16.2	124	31.3
地図・ナビゲーション	14	3.6	21	5.3	25	6.1	103	26.0
塾や学校などが提供するオンライン授業	13	3.4	12	3.0	23	5.6	23	5.8
YouTube(ユーチューブ)を見る	193	50.1	260	65.3	239	58.6	229	57.8
YouTube(ユーチューブ)を作る	5	1.3	7	1.8	5	1.2	5	1.3
わからない	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	6	1.6	3	0.8	2	0.5	2	0.5
無回答	107	27.8	105	26.4	148	36.3	123	31.1

※参考（平成28年度）

選択肢	平成28年度			
	小学5年 (n=386)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)	青年 (n=383)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
通話	18.9	25.6	55.3	46.5
メール	10.4	16.7	39.0	48.8
音楽鑑賞	27.2	47.2	60.5	40.2
カメラ	22.3	28.4	46.8	37.6
動画・画像視聴	52.8	65.8	76.9	66.3
ゲーム	72.5	61.5	65.3	48.8
情報検索	24.6	42.7	56.8	65.0
LINE(ライン)	16.6	40.6	87.0	82.5
Facebook(フェイスブック)	3.4	5.1	6.8	40.7
Twitter(ツイッター)	2.8	15.2	64.4	38.6
Instagram(インスタグラム)	-	7.7	25.8	26.6
小説・マンガなどの電子書籍	7.5	16.0	24.4	18.5
ショッピング・オークション	3.4	9.6	24.0	39.7
地図	7.3	7.9	21.0	40.2
その他	5.4	6.2	2.1	3.1
わからない	1.3	0.6	0.0	0.0
無回答	1.8	6.8	0.7	0.8

ウ インターネットの利用時間

問 1 (6) ア「インターネット機器の利用状況」で「7 どれも利用しない」以外を選んだ人に質問します。

あなたは、一日平均どれくらいの時間インターネットを利用していますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

各年代で回答が最も高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「1時間以上2時間未満 (27.3%)」
- ・中学2年：「2時間以上3時間未満 (19.1%)」、「4時間以上 (19.1%)」
- ・高校2年：「4時間以上 (22.3%)」
- ・青年：「4時間以上 (28.0%)」

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学5年(n=385)		中学2年(n=398)		高校2年(n=408)		青年(n=396)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
30分よりも少ない	29	7.5	5	1.3	2	0.5	0	0.0
30分以上～1時間未満	70	18.2	35	8.8	7	1.7	17	4.3
1時間以上～2時間未満	105	27.3	68	17.1	49	12.0	57	14.4
2時間以上～3時間未満	52	13.5	76	19.1	72	17.6	81	20.5
3時間以上～4時間未満	29	7.5	44	11.1	40	9.8	43	10.9
4時間以上	34	8.8	76	19.1	91	22.3	111	28.0
無回答	66	17.1	94	23.6	147	36.0	87	22.0

※参考 (平成28年度)

選択肢	平成28年度			
	小学5年 (n=385)	中学2年 (n=437)	高校2年 (n=435)	青年 (n=377)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
30分よりも少ない	26.8	14.0	2.3	3.7
30分以上～1時間未満	32.7	17.8	9.0	19.4
1時間以上～2時間未満	20.3	27.2	29.4	26.3
2時間以上～3時間未満	7.3	14.9	20.7	22.8
3時間以上～4時間未満	4.4	10.5	13.8	12.5
4時間以上	6.5	15.3	24.8	15.1
無回答	2.1	0.2	0.0	0.3

エ SNSの利用

問 あなたは、SNS（※1）を利用する場合の注意点やその内容（※2）を知っていますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。（R3：新規設問）

※1 ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。主なものは、LINE（ライン）、Twitter（ツイッター）、Facebook（フェイスブック）、Instagram（インスタグラム）など。

※2 主な注意点の内容

- ・自分や他人の情報が分かる内容を書込まない。
- ・他人が写った写真や情報をのせるときは、あらかじめその人の許可を得る。
- ・他人が嫌がることや悪口、嘘や不確かな情報を書込まない。
- ・SNSの利用条件（利用できる年齢など）を確認する。
- ・SNSで知り合った相手と気軽に会わない。

【集計結果の概要】

「SNS自体を知らない」が小学5年で41.0%、「注意点があることを知っており内容もよく知っている」が中学2年で63.5%、高校2年で71.2%と最も高くなっている。

また、「注意点があることは知っているが内容はよく知らない」は小学5年で18.8%、中学2年で24.0%、高校2年で26.2%であり、中学2年と高校2年では2番目に高くなっている。

【図表】

選択肢	小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
注意点があることを知っており内容もよく知っている	119	28.3	264	63.5	294	71.2
注意点があることは知っているが内容はよく知らない	79	18.8	100	24.0	108	26.2
注意点があることを知らない	19	4.5	7	1.7	3	0.7
SNS自体をよく知らない	172	41.0	45	10.8	5	1.2
無回答	31	7.4	0	0.0	3	0.7

オ インターネットへの依存

問 1 (6) ア「インターネット機器の利用状況」で「7 どれも利用しない」以外を選んだ人に質問します。次の①～⑧について、当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(R3：新規設問)

【インターネットへの依存に係る問】

- ① あなたはインターネットに夢中になっていると感じていますか(たとえば、インターネットでしたことを考えたり、インターネットをすることを待ち望んでいたり、など)。
- ② あなたは、満足するために、インターネットを使う時間をだんだん長くしていかなければならないと感じていますか。
- ③ あなたは、インターネット利用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしても、うまくいかなかったことが何回もありましたか。
- ④ インターネットの利用時間を短くしたり、完全にやめようとした時、落ち着かなかったり、不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感じましたか。
- ⑤ あなたは、使い始めに予定していた時間よりも長い時間インターネットを使うことがありますか。
- ⑥ あなたは、インターネットのために大切な人間関係、仕事のことや学校のことを台無しにしたり、あやうくするようなことがありましたか。
- ⑦ あなたは、インターネットへの熱中のしすぎをかくすために、家族、職場の人やその他の人たちにうそをついたことがありましたか。
- ⑧ あなたは、問題から逃げるためにまたは、絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどといったいやな気持ちから逃げるために、インターネットを使いますか。

※①～⑧の間は、厚生労働省の調査・研究を参考とした。

平成29年度飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究(研究代表者：鳥取大学 尾崎米厚 教授)

【集計結果の概要】

インターネット依存に係る①～⑧の間内、「はい(当てはまる)」が高いものは、次のとおりとなっている。

- ① あなたはインターネットに夢中になっていると感じていますか(たとえば、インターネットでしたことを考えたり、インターネットをすることを待ち望んでいたり、など)。
→「はい(当てはまる)」(50.8%)
- ⑤ あなたは、使い始めに予定していた時間よりも長い時間インターネットを使うことがありますか。
→「はい(当てはまる)」(62.6%)

【図表】

選択肢	青年(n=396)					
	はい		いいえ		無回答	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
① インターネットへの依存	201	50.8	114	28.8	81	20.5
② インターネットの利用時間の長時間化	29	7.3	288	72.7	79	19.9
③ インターネットの利用制限	81	20.5	237	59.8	78	19.7
④ インターネットの利用制限による不満	44	11.1	273	68.9	79	19.9
⑤ インターネットの利用時間の超過	248	62.6	71	17.9	77	19.4
⑥ インターネットの利用による危局	25	6.3	297	75.0	74	18.7
⑦ インターネットの利用の隠蔽	23	5.8	296	74.7	77	19.4
⑧ インターネットの利用による現実逃避	114	28.8	207	52.3	75	18.9

カ インターネットへの依存傾向とインターネットの利用時間

1 (6) オ「インターネットへの依存」に係る8つの問について、5つ以上「はい(あてはまる)」と回答した場合を「依存傾向有」、4つ以下を「依存傾向無」と分類し、インターネットの1日の利用時間を比較した。

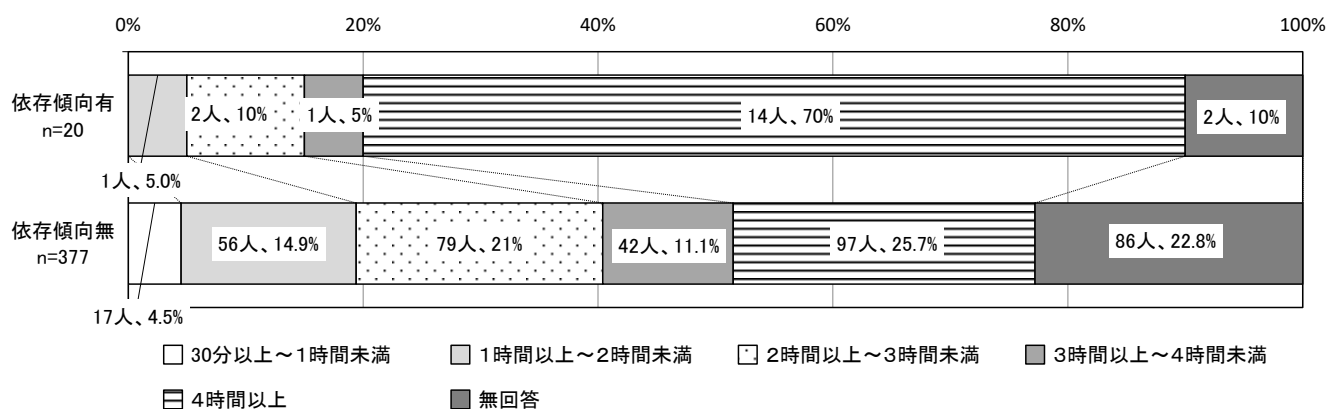
※依存傾向の有無の分類方法は、厚生労働省の調査・研究を参考とした。

平成29年度飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究(研究代表者：鳥取大学 尾崎米厚 教授)

【集計結果の概要】

インターネットの利用時間について、「依存傾向有」、「依存傾向無」双方で、「4時間以上」との回答が最も高いが、回答割合は「依存傾向有」の方が高くなっている。

【図表】



【参考：小学生、中学生、高校生との比較】

区分		30分よりも少ない	30分以上～1時間未満	1時間以上～2時間未満	2時間以上～3時間未満	3時間以上～4時間未満	4時間以上	無回答等
依存傾向有	青年 n=20	0.0%	0.0%	5.0%	10.0%	5.0%	70.0%	10.0%
		—	—	1人	2人	1人	14人	2人
	高校2年 n=52	3.8%	0.0%	21.2%	21.2%	17.3%	32.7%	3.8%
		2人	—	11人	11人	9人	17人	2人
	中学2年 n=31	0.0%	6.5%	12.9%	9.7%	12.9%	51.6%	6.5%
	—	2人	4人	3人	4人	16人	2人	
	小学6年 n=24	8.3%	16.7%	12.5%	29.2%	8.3%	16.7%	8.3%
		2人	4人	3人	7人	2人	4人	2人
依存傾向無	青年 n=377	0.0%	4.5%	14.9%	21.0%	11.1%	25.7%	22.8%
		—	17人	56人	79人	42人	97人	86人
	高校2年 n=413	2.9%	10.4%	20.6%	22.5%	15.5%	23.2%	4.8%
		12人	43人	85人	93人	64人	96人	20人
	中学2年 n=425	9.2%	17.6%	26.8%	20.0%	7.5%	10.4%	8.5%
	39人	75人	114人	85人	32人	44人	36人	
	小学6年 n=416	13.7%	21.4%	23.6%	17.8%	8.7%	5.5%	9.4%
		57人	89人	98人	74人	36人	23人	39人

※令和3年度鳥取県青少年育成意識調査における本項目の調査対象は「青年」だけだが、参考として「令和元年度インターネットの利用に関するアンケート(鳥取県県教育委員会実施)における調査結果(小学6年、中学2年、高校2年のインターネット利用時間)と比較した。

(7) 学校生活

(調査対象：小2、小5、中2、高2、青年)

ア 学校生活 (満足度)

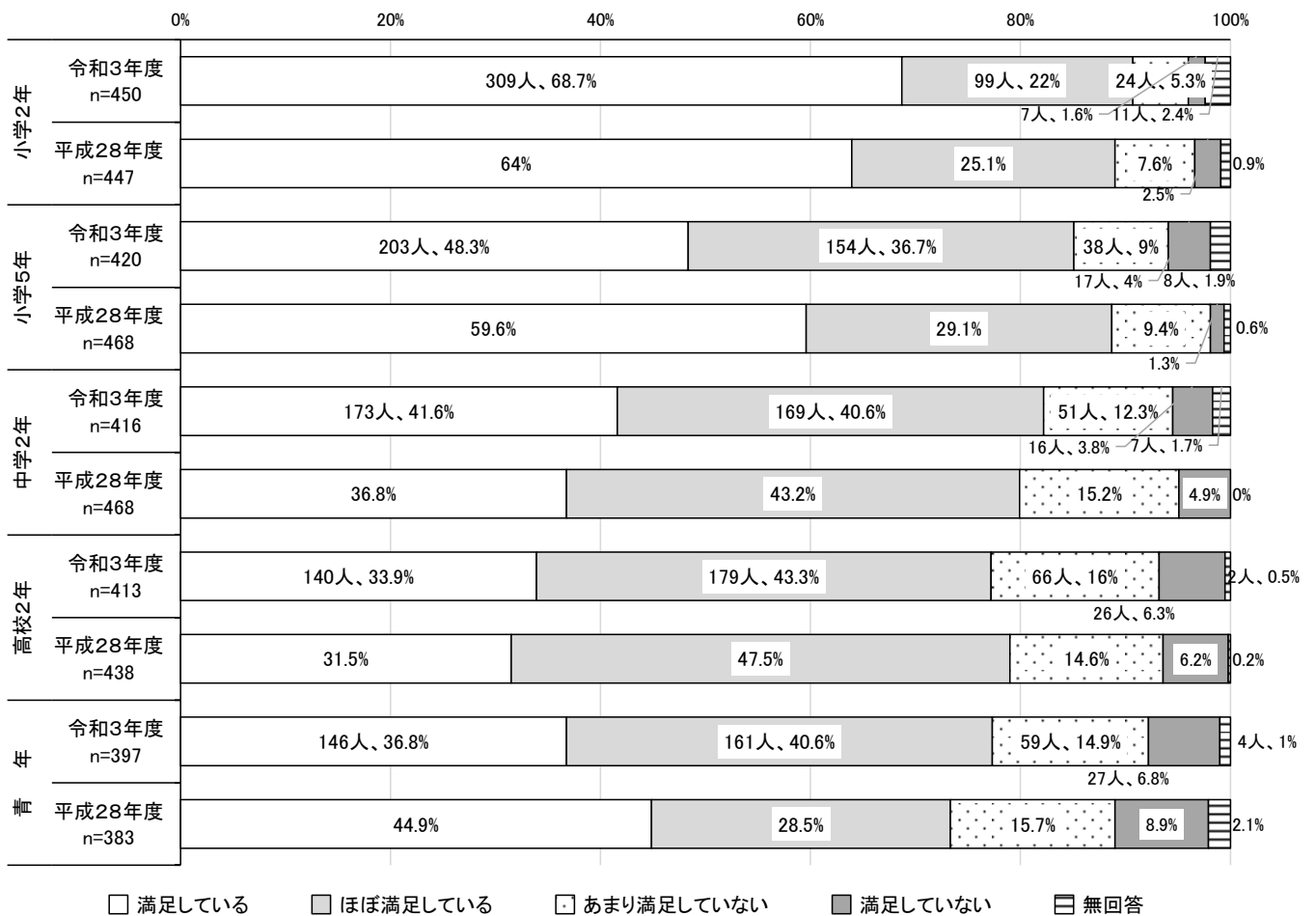
問 あなたは、学校生活(※)に満足していますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

(※) 青年の間は「卒業した、又は現在の学校生活」。

【集計結果の概要】

「満足している」と「ほぼ満足している」の合計割合は、小学2年で9割、小学5年、中学2年で8割、高校2年で8割弱を占め、年代が上がるにつれ減少している。

【図表】



イ 学校生活（満足している理由）

問 1 (7) ア「学校生活（満足度）」で「1 満足している」、「2 ほぼ満足している」を選んだ人に質問します。

満足している理由は何ですか。当てはまる番号を選んで○をつけてください。

※小2：複数回答、小5、中2、高2：単一回答

【集計結果の概要】

全ての年代で、「友達がいるから」が最も高くなっている。

【図表】

選択肢	小学2年(n=408)		小学5年(n=357)		中学2年(n=342)		高校2年(n=319)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
施設や設備が良いから	88	21.6	6	1.7	5	1.5	6	1.9
友達がいるから	323	79.2	261	73.1	188	55.0	193	60.5
信頼出来る先生がいるから	-	-	-	-	3	0.9	1	0.3
学校の勉強が好きだから	183	44.9	41	11.5	3	0.9	3	0.9
部活動がおもしろいから	-	-	-	-	14	4.1	21	6.6
進学、就職指導が充実しているから	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0
自分のことを分かってくれる先生がいるから	-	-	-	-	2	0.6	1	0.3
好きな先生がいるから	104	25.5	4	1.1	-	-	-	-
その他	28	6.9	12	3.4	10	2.9	5	1.6
無回答	7	1.7	33	9.2	117	34.2	89	27.9

(調査対象：小2、小5、中2、高2)

ウ 学校生活（不満足の原因）

問 1 (7) ア「学校生活（満足度）」で「3 あまり満足していない」、「4 満足していない」を選んだ人に質問します。

満足していない理由は何ですか。当てはまる番号を選んで○をつけてください。

※小2：複数回答、小5、中2、高2：単一回答

【集計結果の概要】

小学2年、小学5年、高校2年では、「勉強が嫌いだから」、中学2年で「部活動が面白くないから」が高くなっている。

【図表】

選択肢	小学2年(n=31)		小学5年(n=55)		中学2年(n=67)		高校2年(n=92)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
施設や設備が十分でないから	5	16.1	0	0.0	4	6.0	4	4.3
友達がいらないから	3	9.7	3	5.5	5	7.5	2	2.2
規則が厳しいから	9	29.0	-	-	6	9.0	6	6.5
先生の教え方が分かりにくいから	-	-	0	0.0	3	4.5	6	6.5
授業の内容が難すぎるから	-	-	4	7.3	4	6.0	1	1.1
進学、就職指導が良くないから	-	-	-	-	0	0.0	3	3.3
部活動がおもしろくないから	-	-	0	0.0	8	11.9	5	5.4
先生が煩く注意するから	5	16.1	3	5.5	0	0.0	1	1.1
学校のきまりを守らない生徒が多いから	-	-	2	3.6	3	4.5	8	8.7
自分のことを分かってくれる先生がいらないから	-	-	2	3.6	2	3.0	10	1.1
勉強が嫌いだから	15	48.4	16	29.1	5	7.5	10	10.9
好きな先生がいらないから	2	6.5	2	3.6	-	-	-	-
その他	12	38.7	15	27.3	11	16.4	14	15.2
無回答	1	3.2	8	14.5	16	23.9	31	33.7

エ 学校へ行きたくないと思った経験

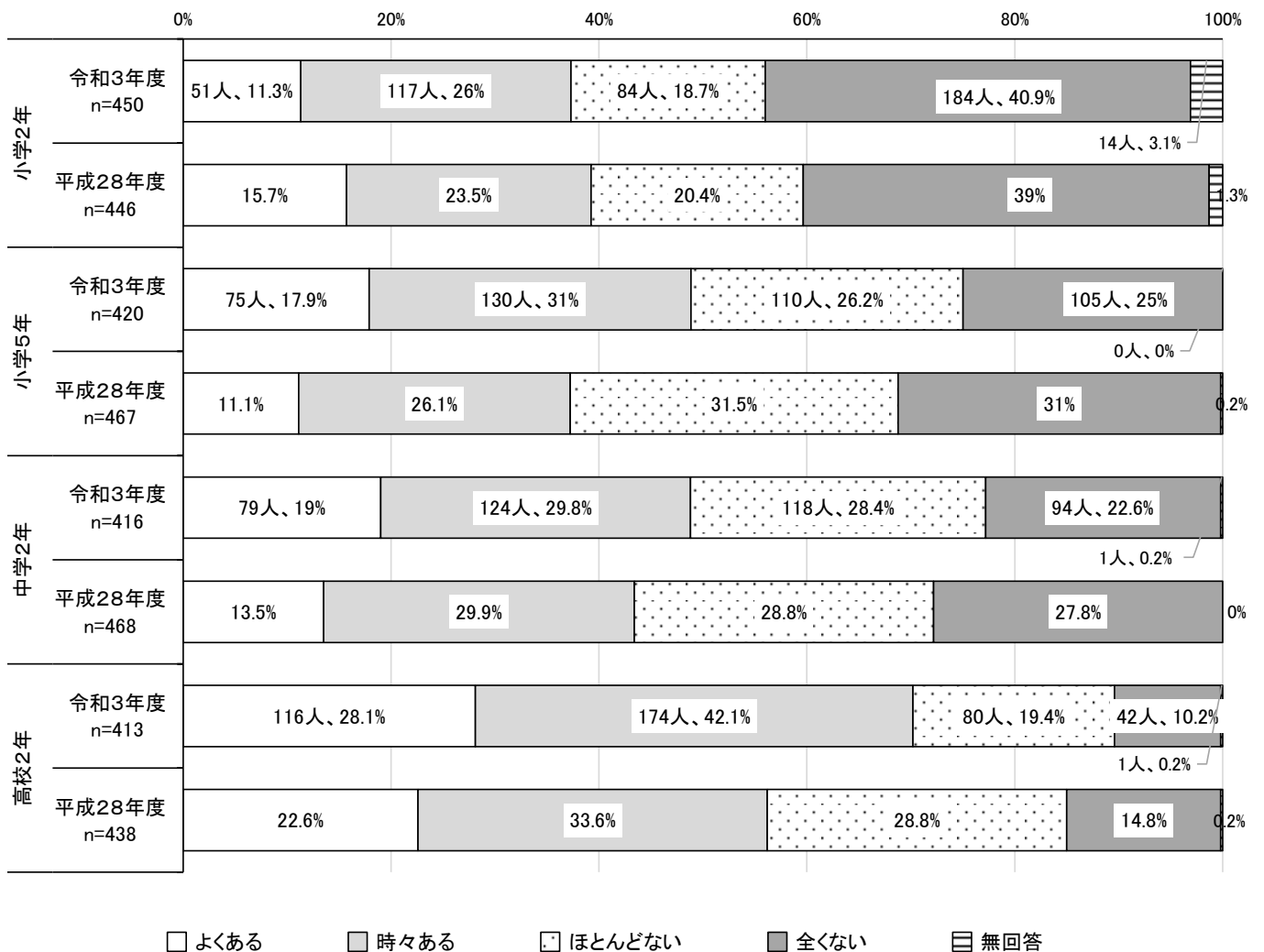
問 あなたは登校前に、「学校に行きたくない」と思うことがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「よくある」と「時々ある」の合計割合は、小学2年で3割、小学5年と中学2年で4割、高校2年で7割を占めている。

平成28年度調査と比較すると、「よくある」と「時々ある」の合計割合は、小学2年以外で増加している。

【図表】



オ 学校へ行きたくないと思った時の行動

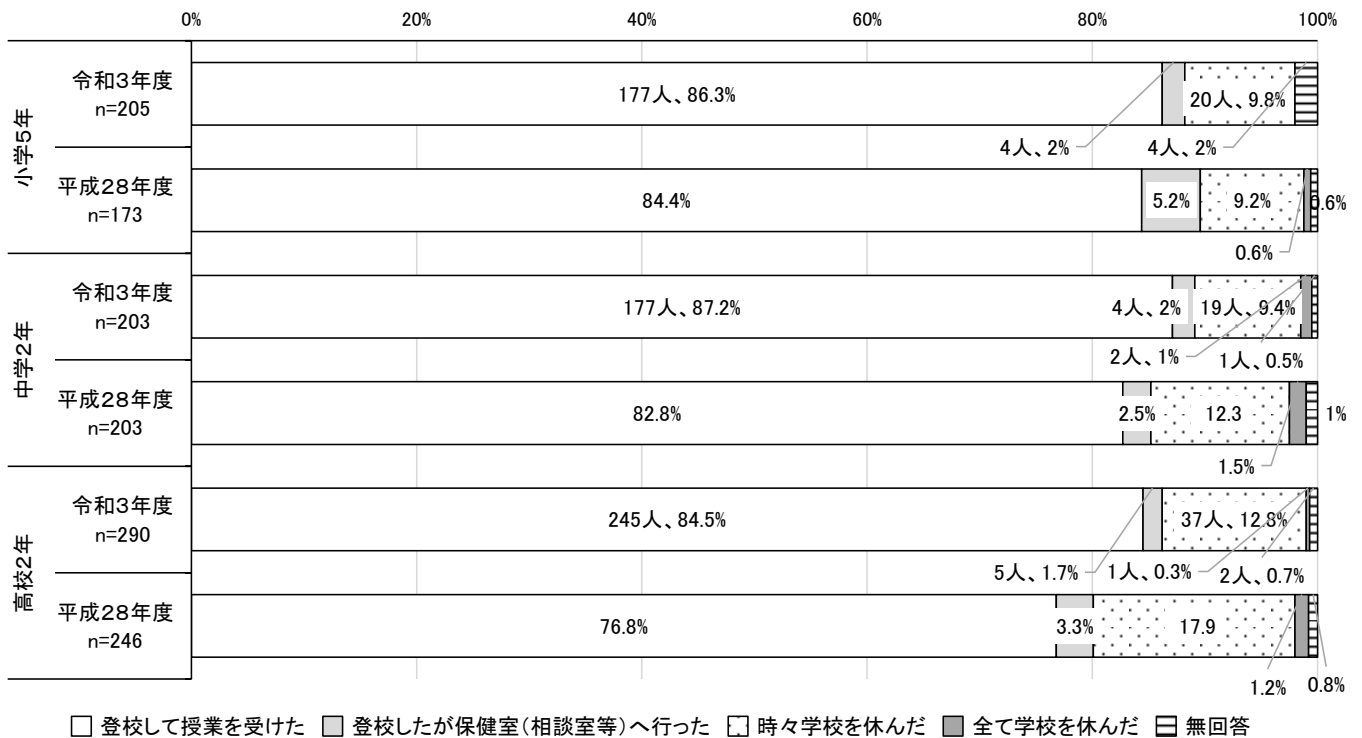
問 1 (7) エ「学校へ行きたくないと思った経験」で「1 よくある」、「2 時々ある」を選んだ人に質問します。

あなたは、その時どうしましたか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「登校して授業を受けた」が全ての年代で8割を超えている。また、「時々学校を休んだ」は、全ての年代で1割程度を占めている。

【図表】



カ 学校へ行きたくないと思った理由

問 1 (7) エ「学校へ行きたくないと思った経験」で「1 よくある」、「2 時々ある」を選んだ人に質問します。

学校に行きたくない理由は何ですか。当てはまる番号をいくつでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「特に原因はないが何となく行きたくないから」が小学5年で39.0%、中学2年55.2%、高校2年で55.5%と最も高く、「勉強が面白くないから」が3～4割を占め、全ての年代で2番目に高くなっている。

平成28年度調査と比較すると、「特に原因はないが何となく行きたくないから」と「勉強が面白くないから」の割合が増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	小学5年(n=205)		中学2年(n=203)		高校2年(n=290)		小学5年 (n=310)	中学2年 (n=421)	高校2年 (n=446)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
発熱、腹痛などの病気のため	31	15.1	34	16.7	47	16.2	6.5	11.4	11.2
勉強が面白くないから	64	31.2	94	46.3	117	40.3	20.6	17.3	18.2
先生との人間関係がうまくいかないから	13	6.3	15	7.4	13	4.5	4.5	4.5	2.7
友達との人間関係がうまくいかないから	41	20.0	47	23.2	49	16.9	11.0	10.7	7.4
いじめられるから	29	14.1	8	3.9	2	0.7	11.0	2.4	0.4
親に怒られたから	6	2.9	7	3.4	2	0.7	3.2	1.9	0.9
兄弟・姉妹と喧嘩したから	5	2.4	4	2.0	0	0.0	2.3	0.7	0.2
特に原因はないが何となく行きたくないから	80	39.0	112	55.2	161	55.5	18.7	24.2	31.2
他にやりたいことがある	25	12.2	33	16.3	35	12.1	8.1	9.0	10.5
夜更かしをしたから	7	3.4	25	12.3	30	10.3	5.2	8.1	9.9
その他	42	20.5	28	13.8	43	14.8	8.1	9.7	7.4
無回答	5	2.4	4	2.0	2	0.7	1.0	0.0	0.0

キ いじめの経験（加害経験）

問 あなたは、最近1年ぐらいの間に（※）、友達をいじめたことがありますか。

（※）小2、小5の間は「今までに」。

【集計結果の概要】

「ある」は、全ての年代で1割に満たず、「少しある」は、小学2年で22.2%、小学5年で32.6%、であり、中学2年の11.3%、高校2年の3.4%より高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	14	3.1	28	6.7	11	2.6	6	1.5
少しある	100	22.2	137	32.6	47	11.3	14	3.4
ない	300	66.7	249	59.3	354	85.1	392	94.9
無回答	36	8.0	6	1.4	4	1.0	1	0.2

※参考（平成28年度）

選択肢	平成28年度			
	小学2年 (n=444)	小学5年 (n=468)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
ときどきある	11.6	11.3	3.0	1.4
1~2度ある	23.3	25.3	14.3	8.7
ない	62.6	62.1	82.1	89.7
無回答	2.5	1.3	0.6	0.2

ク いじめの経験（被害経験）

問 あなたは、最近1年ぐらゐの間に（※）、いじめられたことがありますか。

（※）小2、小5の間は「今までに」。

【集計結果の概要】

「ある」は、小学2年と小学5年で2割弱から2割、中学2年と高校2年では1割に満たない。「少しある」は、小学2年で30.0%、小学5年で27.6%であり、中学2年の14.9%、高校2年の8.0%より高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	89	19.8	101	24.0	28	6.7	19	4.6
少しある	135	30.0	116	27.6	62	14.9	33	8.0
ない	199	44.2	193	46.0	323	77.6	360	87.2
無回答	27	6.0	10	2.4	3	0.7	1	0.2

※参考（平成28年度）

選択肢	平成28年度			
	小学2年 (n=444)	小学5年 (n=468)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
ときどきある	30.6	19.7	4.5	4.6
1～2度ある	32.2	28.4	16.5	8.9
ない	35.8	50.9	79.1	86.3
無回答	1.4	1.1	0.0	0.2

(8) 進路・職業観

(調査対象：小5、中2、高2)

ア 希望する職業や仕事の有無

問 あなたは、今、なりたい職業・やりたい仕事がありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※小学5年は令和3年度から新たに調査を実施したため、平成28年度調査との比較は行っていない。

【集計結果の概要】

「ある」は、小学5年で6割、中学2年と高校2年で5割を占めている。「ない」は、各年代で1割程度を占め、平成28年度調査と比較すると、中学2年、高校2年で割合が増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		小学5年	中学2年	高校2年
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
ある	266	63.3	210	50.5	220	53.3	-	54.3	60.0
ない	48	11.4	70	16.8	54	13.1	-	11.1	8.7
考えているが、まだ決めていない	94	22.4	127	30.5	134	32.4	-	34.0	29.9
無回答	12	2.9	9	2.2	5	1.2	-	0.6	1.4

(調査対象：小5、中2、高2)

イ 職業選択の基準

問 あなたは、将来どのような職場で働きたいと思いますか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

各年代で回答が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「自分の才能が生かせる職場（46.4%）」、「世の中や人のためになる仕事をしている職場（40.7%）」
- ・中学2年：「人間関係・雰囲気の良い職場（51.0%）」、「自分の才能が生かせる職場（45.9%）」
- ・高校2年：「人間関係・雰囲気の良い職場（63.0%）」、「収入が多い職場（41.2%）」

平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「自分の才能が生かせる職場」、「休暇がきちんと取れたり、残業があまりない職場」の割合が増加し、「定年退職まで働ける雇用が安定した職場」の割合が減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		小学5年	中学2年	高校2年
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
世の中や人のためになる仕事をしている職場	171	40.7	143	34.4	146	35.4	39.9	63.0	53.9
自分の才能が生かせる職場	195	46.4	191	45.9	136	32.9	43.1	17.6	15.5
人間関係・雰囲気の良い職場	90	21.4	212	51.0	260	63.0	27.7	35.7	36.3
定年退職まで働ける雇用が安定した職場	38	9.0	28	6.7	46	11.1	10.2	22.7	15.8
休暇がきちんと取れたり、残業があまりない職場	45	10.7	131	31.5	155	37.5	9.6	8.1	10.0
収入が多い職場	136	32.4	183	44.0	170	41.2	40.7	17.9	19.2
仕事が楽な職場	38	9.0	30	7.2	21	5.1	8.1	19.6	23.1
分からない	40	9.5	30	7.2	14	3.4	9.8	9.8	10.5
その他	32	7.6	8	1.9	5	1.2	6.8	5.2	6.8
無回答	8	1.9	20	4.8	18	4.4	1.1	0.4	5.5

ウ 青年の職業選択の基準

問 あなたは、仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。当てはまる番号をいくつでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年では、「収入の額（66.2%）」が最も高く、次に「職場の人間関係や雰囲気（62.7%）」、「労働時間と休暇（60.7%）」と続いている。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度
	青年(n=397)		青年 (n=383)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
仕事の社会的意義	72	18.1	21.4
職場の人間関係や雰囲気	249	62.7	57.7
事業や雇用の安定性	175	44.1	50.4
労働時間と休暇	241	60.7	62.4
収入の額	263	66.2	66.3
専門的な知識や技能を生かせること	99	24.9	28.2
仕事の内容が楽かどうか	33	8.3	-
将来性	80	20.2	25.1
交通の便	90	22.7	39.2
能力を高める機会があること	84	21.2	20.9
自分を生かすこと	127	32.0	28.7
分からない	2	0.5	0.8
その他	16	4.0	0.6
無回答	7	1.8	0.8

エ 希望する最終学歴

問 あなたの進学の見学目標はどこですか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※小学5年は令和3年度から新たに調査を実施したため、平成28年度調査との比較は行っていない。

【集計結果の概要】

各年代で回答が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「まだ決めていない (28.6%)」、「大学 (20.0%)」
- ・中学2年：「大学 (28.6%)」、「まだ決めていない (21.4%)」
- ・高校2年：「大学 (42.4%)」、「専門学校 (19.1%)」

平成28年度調査と比較すると、高校2年で「大学」の割合が増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度	
	小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		中学2年 (n=468)	高校2年 (n=429)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
高等学校	44	10.5	54	13.0	13	3.1	14.3	9.8
高等専門学校	11	2.6	18	4.3	-	-	-	-
専門学校	44	10.5	45	10.8	79	19.1	15.2	21.0
各種学校	1	0.2	2	0.5	2	0.5	0.2	0.0
短期大学	17	4.0	7	1.7	26	6.3	3.6	5.9
大学	84	20.0	119	28.6	175	42.4	30.6	36.5
大学院	19	4.5	5	1.2	6	1.5	1.9	2.1
まだ決めていない	120	28.6	89	21.4	57	13.8	20.3	14.4
分からない	60	14.3	63	15.1	38	9.2	12.2	8.2
その他	5	1.2	2	0.5	7	1.7	1.1	0.7
無回答	15	3.6	12	2.9	10	2.4	0.6	1.4

(調査対象：保護者)

オ 子どもの最終学歴に関する保護者の意向

問 あなたは、お子さんの最終の進学先について、どう考えていますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【集計結果の概要】

子どもの最終学歴に関する保護者の意向については、「大学 (36.7%)」が最も高く、次に「こだわらない (34.4%)」が続いている。

【図表】

選択肢	令和3年度 (n=1577)		平成28年度 (n=1661)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
こだわらない	543	34.4	33.8
高等学校	178	11.3	17.6
高等専門学校	23	1.5	-
専門学校	133	8.4	8.1
各種学校	35	2.2	1.9
短期大学	31	2.0	2.3
大学	578	36.7	30.2
大学院	10	0.6	0.7
その他	32	2.0	4.3
無回答	14	0.9	1.1

カ 青年の働くことについての考え方

問 次の問に関して、あなた自身に当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- ・ いくつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う
- ・ いくつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい
- ・ 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない
- ・ 定職に就かない方が自由でいいと思う

【集計結果の概要】

各問における状況は、次のとおりとなっている。

なお、全体の傾向については、平成28年度調査と大きな変化はない。

○いくつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う

「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計割合は、7割を占めている。

○いくつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい

「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計割合は、7割を占めている。

○仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない

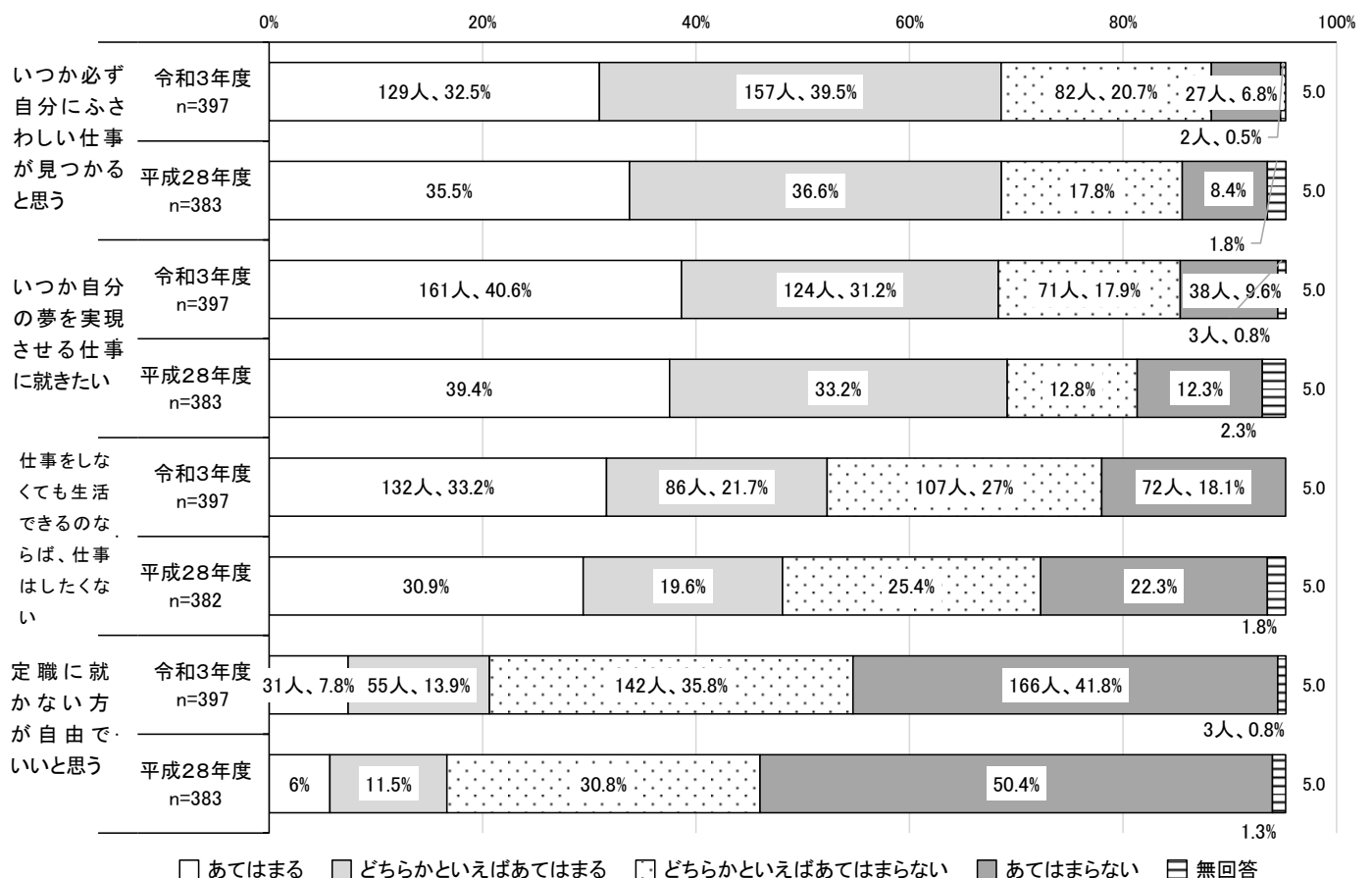
「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計割合は、5割を占めている。

○定職に就かない方が自由でいいと思う

「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計割合は、2割を占めている。

平成28年度調査と比較すると、「あてはまらない」の割合が減少している。

【図表】



(9) 地域との関わり・地域での活動

(調査対象：小5、中2、高2、青年)

ア 地域活動への参加状況

問 地域の活動の中で、この1年間にあなたが参加したものはどれですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

各年代で回答が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「祭り (43.1%)」、「子ども会の活動 (40.7%)」
- ・中学2年：「参加したことはない (46.4%)」、「祭り (28.4%)」
- ・高校2年：「参加したことはない (63.4%)」、「祭り (22.5%)」
- ・青年：「参加したことはない (66.2%)」、「一斉清掃などの活動 (18.6%)」

新型コロナウイルス感染症のため、地域活動が開催されていないことが影響していると考えられるが、平成28年度調査と比較すると、「参加したことはない」の割合が大きく増加し、各地域活動へ参加したとの回答割合が減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		小学5年 (n=470)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
祭り	181	43.1	118	28.4	93	22.5	70.0	59.2	53.7
一斉清掃などの活動	70	16.7	71	17.1	57	13.8	24.9	21.8	16.0
公民館の活動	84	20.0	35	8.4	24	5.8	36.6	14.7	10.0
地域のスポーツ活動(○ ○教室、クラブ、スポーツ 団体の活動など)	30	7.1	59	14.2	20	4.8	13.4	16.9	9.6
青少年団体の活動(バン チャースカウト、ガールス カウト、海洋少年団)	30	7.1	4	1.0	4	1.0	11.7	1.7	0.9
地震・風水害などの災害 復旧の手伝い	-	-	4	1.0	2	0.5	-	1.1	2.1
子ども会の活動	171	40.7	45	10.8	-	-	64.9	13.7	
参加したことはない	77	18.3	193	46.4	262	63.4	4.5	25.4	35.2
その他	16	3.8	15	3.6	6	1.5	1.5	2.1	0.5
無回答	15	3.6	8	1.9	9	2.2	1.9	1.5	1.1

選択肢	令和3年度		平成28年度
	青年(n=397)		青年 (n=383)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
祭り	39	9.8	41.3
一斉清掃などの活動	74	18.6	20.6
公民館の活動	19	4.8	7.6
地域のスポーツ活動(○○教室、クラブ、スポーツ団体の活動など)	23	5.8	9.9
青少年団体の活動(バンチャースカウト、ガールスカウト、海洋少年団)	5	1.3	1.3
子ども会の活動	9	2.3	5.5
地域のレクリエーション活動	13	3.3	8.1
消防団	5	1.3	2.1
少年の非行防止活動	1	0.3	0.8
参加したことはない	263	66.2	40.2
その他	11	2.8	1.8
無回答	5	1.3	2.1

(参考)海洋少年団：海上での訓練を通して社会性を培い、健康で自立性のある青少年育成を目的とするボランティア団体

イ ボランティア活動への参加

問 あなたは、この1年間に何回程度ボランティア活動（学校での奉仕活動を除く）に参加しましたか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

全ての年代で、「参加していない」を除けば、「1、2回」が最も高くなっている。
新型コロナウイルス感染症が影響していると考えられるが、平成28年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が大きく増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度								平成28年度			
	小学5年 (n=420)		中学2年 (n=416)		高校2年 (n=413)		青年 (n=397)		小学5年 (n=468)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)	青年 (n=383)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
10回以上	24	5.7	6	1.4	5	1.2	4	1.0	9.6	1.1	2.5	2.1
6～9回	24	5.7	8	1.9	3	0.7	4	1.0	11.5	3.4	1.6	1
3～5回	1	19.3	37	8.9	13	3.1	11	2.8	25.2	11.1	3.7	5.7
1～2回	8	23.3	2	22.1	8	16.5	2	15.6	27.8	33.3	27.4	21.1
参加していない	6	41.9	8	64.4	318	77.0	2	78.6	24.6	50.6	64.4	68.4
無回答	17	4.0	5	1.2	6	1.5	4	1.0	1.3	0.4	0.5	1.6

ウ ボランティア活動への関心

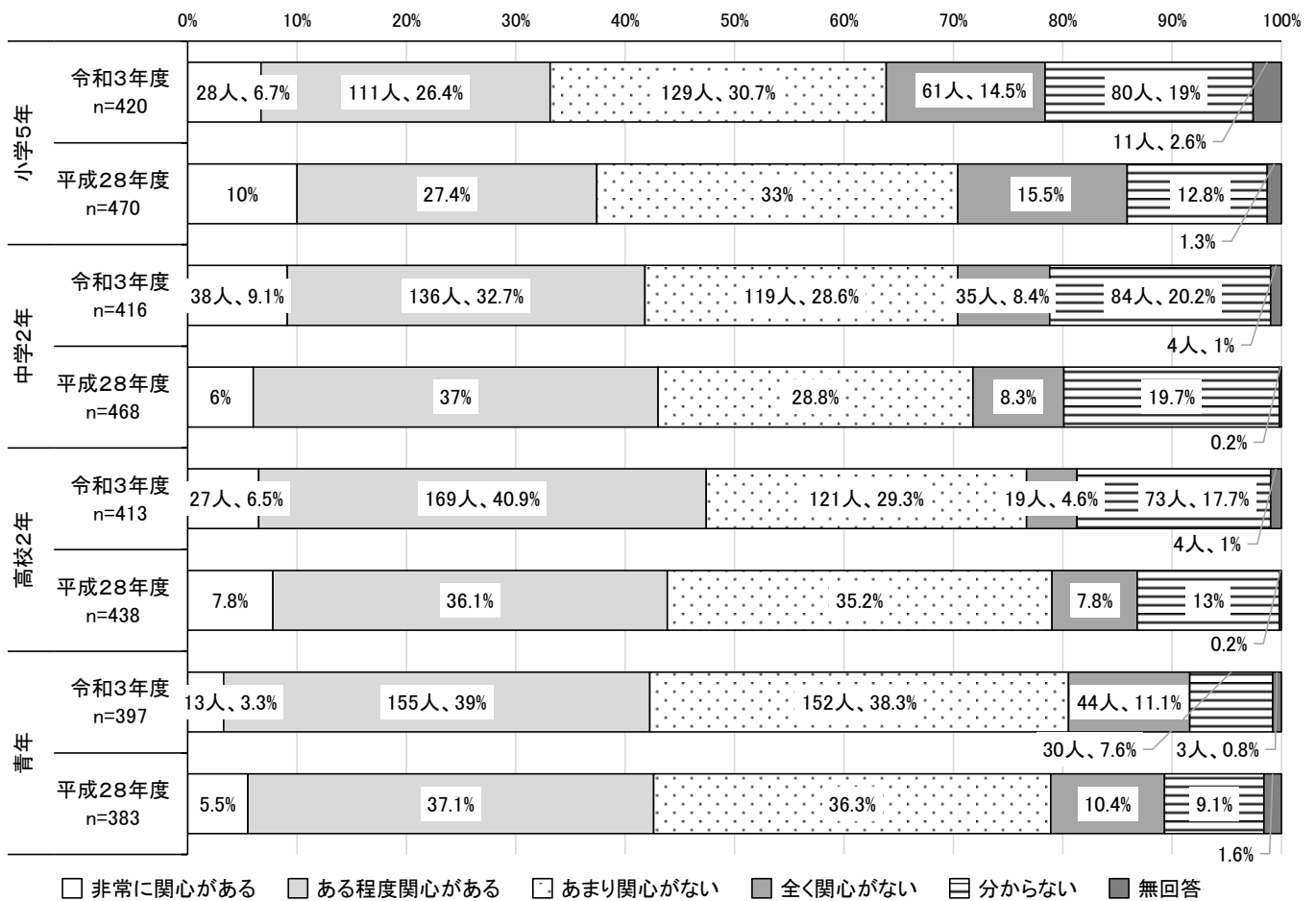
問 あなたは、ボランティア活動に対して、どの程度関心がありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

小学5年で「あまり関心がない (30.7%)」、中学2年、高校2年、青年で「ある程度関心がある」の割合が最も高くなっている。

平成28年度調査と比較すると、高校2年で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した割合が3.5%増加し、「全く関心がない」、「あまり関心がない」の割合が9.1%減少している。

【図表】



エ 関心のあるボランティア活動の内容

問 1 (9) ウで「1 非常に関心がある」、「2 ある程度関心がある」を選んだ人に質問します。
 今後、参加してみたいボランティア活動は、どれですか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

各年代で回答が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「自然保護の活動 (59.7%)」、「環境美化・リサイクル活動 (36.7%)」、「募金活動、チャリティーバザーなど (25.2%)」
- ・中学2年：「イベント・行事開催の手伝い (43.1%)」、「環境美化・リサイクル活動 (30.5%)」、「自然保護の活動 (27.6%)」
- ・高校2年：「イベント・行事開催の手伝い (36.2%)」、「環境美化・リサイクル活動 (35.2%)」、「病院・老人ホームなどの施設での活動 (25.0%)」

新型コロナウイルス感染症の状況が影響していると考えられるが、平成28年度調査と比較すると、「募金活動、チャリティーバザー」、「イベント・行事開催の手伝い」の回答割合が全ての年代で減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	小学5年(n=139)		中学2年(n=174)		高校2年(n=196)		小学5年 (n=173)	中学2年 (n=190)	高校2年 (n=182)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
環境美化・リサイクル活動	51	36.7	53	30.5	69	35.2	35.3	30.0	18.7
自然保護の活動	83	59.7	48	27.6	33	16.8	58.4	20.5	18.7
病院・老人ホームなどの施設での活動	11	7.9	16	9.2	49	25.0	7.5	13.7	20.9
募金活動、チャリティーバザーなど	35	25.2	15	8.6	12	6.1	28.9	20	19.8
あいさつ運動など青少年の健全育成活動	-	-	5	2.9	10	5.1	-	5.3	1.6
地震・風水害などの災害復旧活動	-	-	25	14.4	19	9.7	-	8.9	9.3
イベント・行事開催の手伝い	-	-	75	43.1	71	36.2	-	54.2	54.9
社会福祉に関する活動(高齢者や障がいのある方との交流など)	23	16.5	-	-	-	-	14.5	-	-
その他	3	2.2	2	1.1	3	1.5	3.5	1.1	3.8
無回答	5	3.6	16	9.2	20	10.2	1.7	1.6	1.6

オ 青年が関心のあるボランティア活動の内容

問 1 (9) ウで「1 非常に関心がある」、「2 ある程度関心がある」を選んだ人に質問します。
 今後、参加してみたいボランティア活動は、どれですか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「自然保護の活動 (22.0%)」の割合が最も高く、次いで「イベント・行事開催の手伝い (17.3%)」「学校での活動 (交流活動、得意分野での指導など) (16.7%)」の割合が高い。

熊本地震や鳥取県中部地震が発生した平成28年度調査と比較すると、「地震・風水害などの災害復旧活動」の割合が9.2%減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度
	青年 (n=168)		青年 (n=149)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
環境美化・リサイクル活動	-	-	18.1
自然保護の活動	37	22.0	-
病院・老人ホームなどの施設での活動	22	13.1	12.8
募金活動、チャリティーバザーなど	9	5.4	8.1
地震・風水害などの災害復旧活動	15	8.9	18.1
イベント・行事開催の手伝い	29	17.3	19.5
学校での活動(交流活動、得意分野での指導など)	28	16.7	19.5
公民館など公共施設での活動(講演会の託児スタッフ、博物館の展示説明員など)	17	10.1	10.1
青少年育成に関する活動(子ども会、ボーイスカウト・ガールスカウトなど)	5	3.0	5.4
体育・スポーツ・文化に関する活動(スポーツ・レクリエーション指導など)	22	13.1	16.1
地域の人々の学習活動に関する指導(料理、英語、書道など)	18	10.7	8.7
国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、技術援助、留学生援助など)	16	9.5	8.7
社会福祉に関する活動(高齢者や障がいのある方との交流など)	23	13.7	18.8
交通安全に関する活動(子どもの登下校時の指導など)	5	3.0	6.7
その他	4	2.4	2
無回答	17	10.1	2.7

カ 地域の大人との親密度

問 あなたは、近所の大人とどの程度親しいですか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

全ての年代で「会えばあいさつをする」の割合が最も高く、各年代で回答が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学2年：「会えばあいさつをする (34.7%)」、「時々話をする (22.2%)」
- ・小学5年：「会えばあいさつをする (51.0%)」、「時々話をする (20.2%)」
- ・中学2年：「会えばあいさつをする (49.5%)」、「時々話をする (15.1%)」
- ・高校2年：「会えばあいさつをする (46.2%)」、「会釈をする程度で、あいさつをしないときもある (23.2%)」

平成28年度と比べると、「顔は知っているけれどあいさつをしない」の割合が全ての年代で増加し、小学2年で「会えばあいさつをする」が5.1%減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
あまり会わないので顔も知らない	76	16.9	34	8.1	34	8.2	29	7.0
顔は知っているけれどあいさつをしない	39	8.7	36	8.6	33	7.9	27	6.5
会釈をする程度で、あいさつをしないときもある	-	-	-	-	59	14.2	96	23.2
会えばあいさつをする	156	34.7	214	51.0	206	49.5	191	46.2
時々話をする	100	22.2	85	20.2	63	15.1	55	13.3
学校のことや家のこと、友達のことをよく話す	55	12.2	36	8.6	12	2.9	7	1.7
無回答	24	5.3	15	3.6	9	2.2	8	1.9

※参考（平成28年度）

選択肢	平成28年度			
	小学2年 (n=435)	小学5年 (n=466)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
あまり会わないので顔も知らない	13.1	10.9	9.1	8.7
顔は知っているけれどあいさつをしない	7.4	7.7	5.2	4.8
会釈をする程度で、あいさつをしないときもある	-	-	12.5	19.6
会えばあいさつをする	39.8	54.3	48.8	48.2
時々話をする	25.5	18.5	18.6	16.4
学校のことや家のこと、友達のことをよく話す	13.3	7.1	5.4	1.6
無回答	0.9	1.5	0.4	0.7

キ 保護者の地域の子どもの親密度

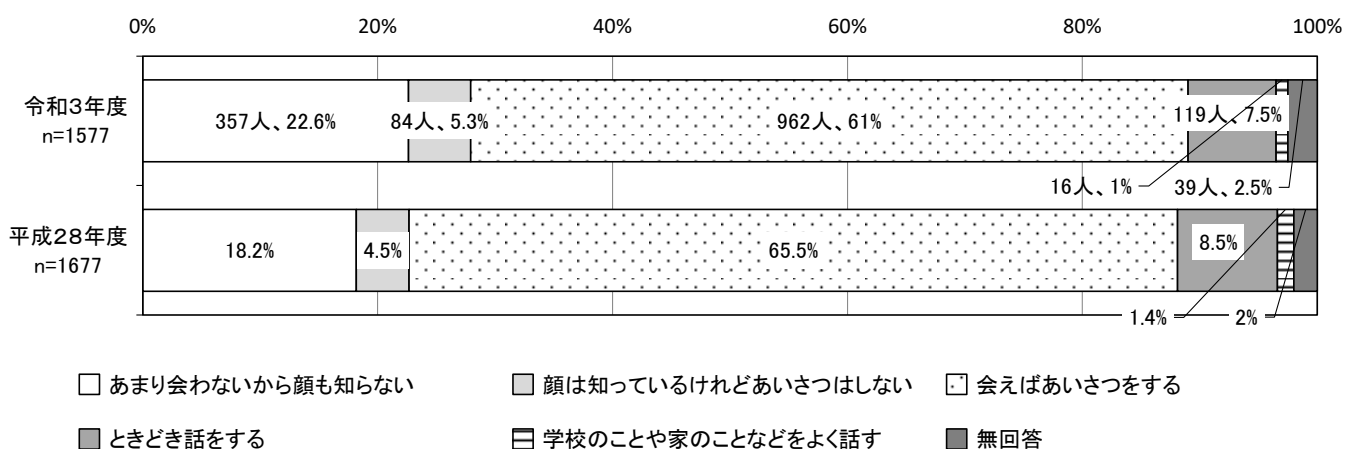
問 あなたは、近所の中学生・高校生とどんなつきあいをしていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「会えばあいさつをする(61.0%)」の割合が最も高く、次いで「あまり会わないから顔も知らない(22.6%)」の割合が高かった。

平成28年度調査と比較すると、「会えばあいさつをする」の割合が4.5%減少している一方、「あまり会わないから顔も知らない」の割合が4.4%増加している。

【図表】



ク 体験的活動の経験

問 あなたが、これまでに学校の勉強や行事以外で体験したことがあるものについて、当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

全ての年代で「海、山、湖、川で遊んだこと」、「包丁やナイフを使って料理をしたこと」の割合が高く、小学2年で5割、小学5年、中学2年、高校2年で7～8割を占めている。

平成28年度調査と比べると、「包丁やナイフを使って料理をしたこと」「のこぎりや金槌を使って何か作ったこと」の割合が全ての年代で減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度							
	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
海、山、湖、川で遊んだこと	261	58.0	330	78.6	339	81.5	331	80.1
動物を飼ったり、花や野菜を育てたりしたこと	223	49.6	250	59.5	267	64.2	248	60.0
体の不自由な人や高齢者など困っている人の手助けをしたこと	93	20.7	50	11.9	85	20.4	128	31.0
包丁やナイフを使って料理をしたこと	259	57.6	321	76.4	334	80.3	338	81.8
のこぎりや金槌を使って何か作ったこと	-	-	160	38.1	160	38.5	172	41.6
大勢の友だちと集団で遊んだこと	-	-	-	-	314	75.5	308	74.6
その他	-	-	15	3.6	7	1.7	5	1.2
無回答	44	9.8	20	4.8	9	2.2	7	1.7

※参考（平成28年度）

選択肢	平成28年度			
	小学2年 (n=448)	小学5年 (n=470)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
海、山、湖、川で遊んだこと	54.5	77.9	81.0	85.6
動物を飼ったり、花や野菜を育てたりしたこと	46.0	61.1	63.9	69.9
体の不自由な人や高齢者など困っている人の手助けをしたこと	16.5	20.9	24.6	34.0
包丁やナイフを使って料理をしたこと	61.4	80.0	83.1	82.6
のこぎりや金槌を使って何か作ったこと	-	45.5	48.7	51.4
大勢の友だちと集団で遊んだこと	93.8	93.2	72.6	76.7
その他	-	1.7	2.1	0.7

ケ 青年の体験的活動の経験

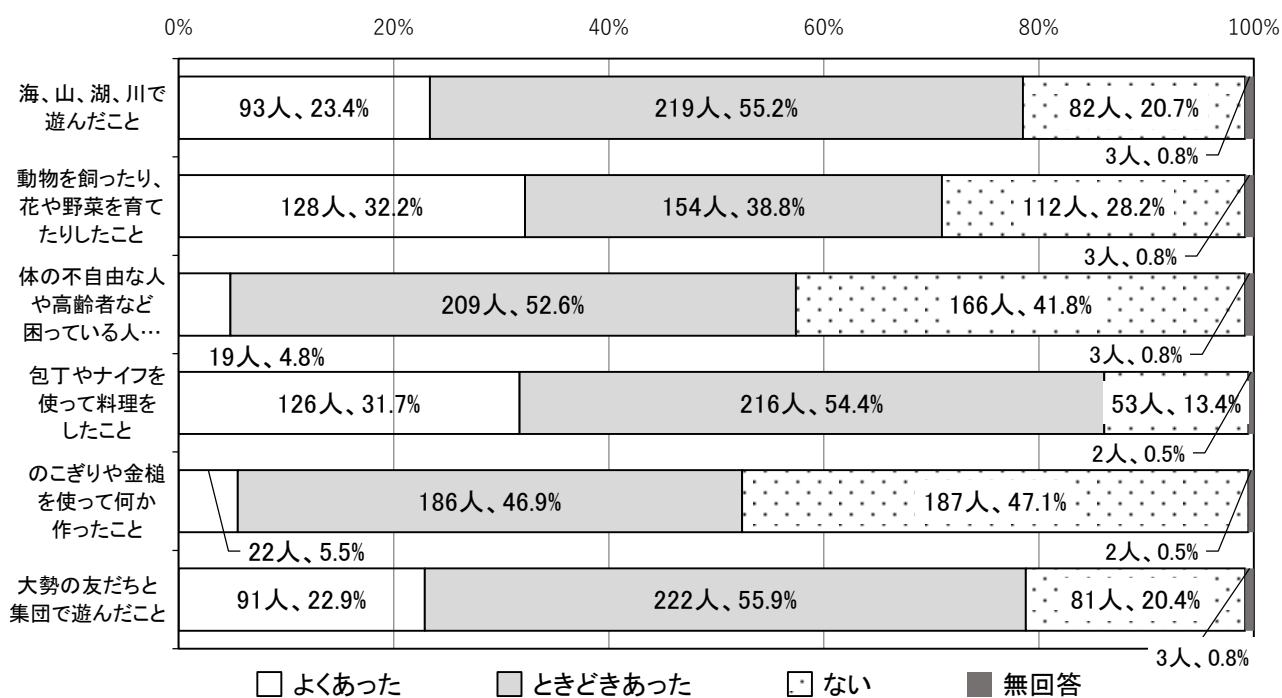
問 あなたは、18歳（高校卒業）までに以下の（ア）から（カ）までのことについて、経験したことがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- （ア） 海、山、湖、川で遊んだこと
- （イ） 動物を飼ったり、花や野菜を育てたりしたこと
- （ウ） 体の不自由な人や高齢者など困っている人の手助けをしたこと
- （エ） 包丁やナイフを使って料理をしたこと
- （オ） のこぎりや金づちを使って何か作ったこと
- （カ） 大勢の友達と集団で遊んだこと

【集計結果の概要】

「ない」と回答した割合は「のこぎりや金づちを使って何か作ったこと（47.1%）」が最も高く、次いで「体の不自由な人や高齢者など困っている人の手助けをしたこと（41.8%）」が高い。

【図表】



コ 地域への居住意向

問 あなたは、鳥取県に、将来も住みたいと思いますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

小学2年、小学5年、青年で「ずっと住みたい」、中学2年では「分からない」、高校2年では「住むのはどこでもよい」の割合が最も高かった。各年代で回答の割合が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学2年：「ずっと住みたい (58.9%)」、「分からない (30.2%)」
- ・小学5年：「ずっと住みたい (36.0%)」、「分からない (19.0%)」
- ・中学2年：「分からない (22.1%)」、「他の土地へ移り住みたい (20.0%)」
- ・高校2年：「住むのはどこでもよい (23.0%)」、「一度他の土地へ出て、また鳥取県へ帰って住みたい (21.5%)」
- ・青年：「ずっと住みたい (45.8%)」、「住むのはどこでもよい (17.4%)」

平成28年度と比べると、「他の土地へ移り住みたい」の割合が全ての年代で減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度									
	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		青年(n=397)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ずっと住みたい	265	58.9	151	36.0	78	18.8	62	15.0	182	45.8
他の土地へ移り住みたい	38	8.4	49	11.7	83	20.0	75	18.2	39	9.8
一度他の土地へ出て、また鳥取県へ帰って住みたい	-	-	77	18.3	81	19.5	89	21.5	49	12.3
住むのはどこでもよい	-	-	51	12.1	77	18.5	95	23.0	69	17.4
分からない	136	30.2	80	19.0	92	22.1	88	21.3	53	13.4
無回答	11	2.4	12	2.9	5	1.2	4	1.0	5	1.3

※参考 (平成28年度)

選択肢	平成28年度				
	小学2年 (n=448)	小学5年 (n=470)	中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)	青年 (n=382)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
ずっと住みたい	58.7	31.8	17.9	11.4	36.9
他の土地へ移り住みたい	18.7	19.6	24.4	28.1	16.2
一度他の土地へ出て、また鳥取県へ帰って住みたい	-	17.5	18.2	18.9	11.5
住むのはどこでもよい	-	14.3	17.7	21.7	17.8
分からない	22.5	15.8	21.4	19.6	15.7
無回答	0.2	1.1	0.4	0.2	1.8

サ 子どもの居住先についての保護者の意向

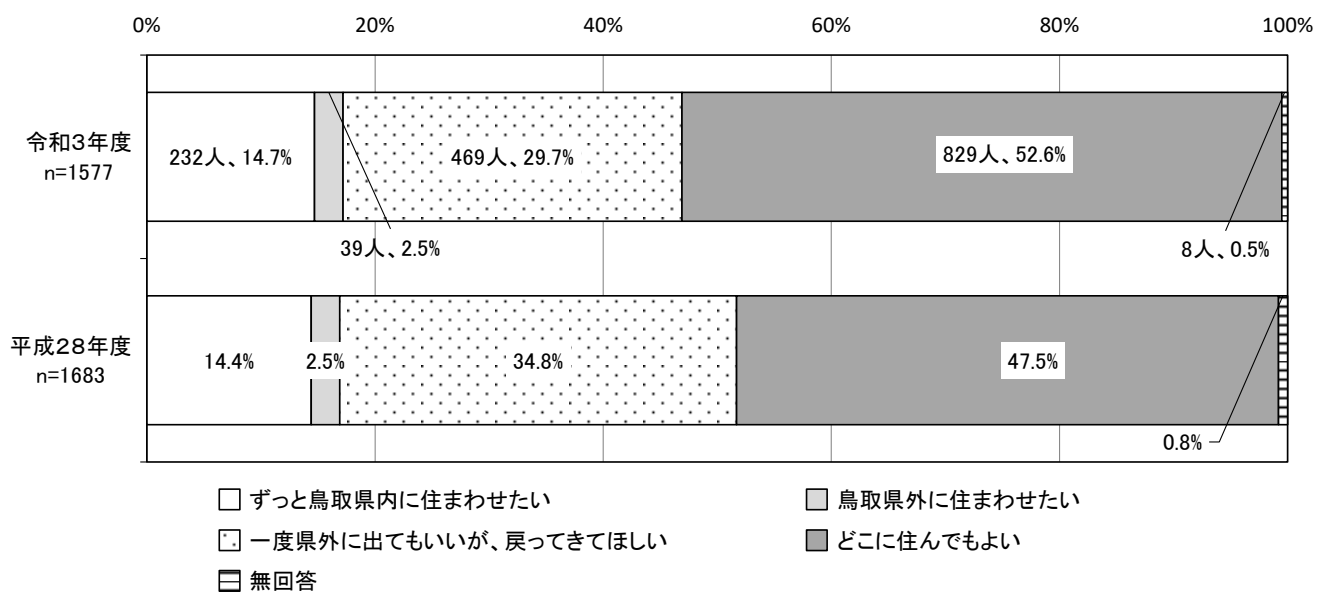
問 あなたは、お子さんを将来も県内に住ませたいと思いますか。当てはまる番号に1つ○をつけてください。

【集計結果の概要】

「どこに住んでも良い(52.6%)」の割合が最も高く、次いで「一度県外に出てもいいが、戻ってきてほしい29.7%」が高かった。

平成28年度調査と比較すると、「どこに住んでも良い」の割合が5.1%増加する一方、「一度県外に出てもいいが、戻ってきてほしい」の割合が5.1%減少した。「ずっと鳥取県内に住ませたい」「鳥取県外に住ませたい」の割合は横ばいであった。

【図表】



シ 青年と保護者から見た地域の良い点

問 あなたが住んでいる地域の良い面を、次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年、保護者ともに「自然体験をする場や機会が豊富」が最も高く、それぞれで回答の割合が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・青年：「自然体験をする場や機会が豊富（36.5%）」、「分からない（24.2%）」
 - ・保護者：「自然体験をする場や機会が豊富（47.7%）」、「地域の人とのふれあいが多（31.1%）」
- 平成28年度調査と比較すると、青年、保護者ともに「地域の人とのふれあいが多」「友人や仲間が多い」の割合が減少する一方、「子育て支援の体制が整っている」の割合が増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度				平成28年度	
	青年(n=397)		保護者(n=1577)		青年 (n=383)	保護者 (n=1683)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
自然体験をする場や機会が豊富	145	36.5	752	47.7	45.7	43.2
地域の人とのふれあいが多	90	22.7	490	31.1	28.2	35.2
友人や仲間が多い	81	20.4	360	22.8	23.5	29.1
教育環境がよい	32	8.1	219	13.9	11.0	11.1
働く場が多い	14	3.5	24	1.5	2.6	0.9
青少年の健全育成に関する関心が高い	8	2.0	57	3.6	1.8	4.1
地域の団体や少年団の活動が盛ん	15	3.8	98	6.2	2.9	8.1
子育て支援の体制が整っている	70	17.6	335	21.2	12.8	15.0
社会福祉環境にすぐれている	21	5.3	65	4.1	5.5	2.4
文化施設が豊富	16	4.0	54	3.4	2.9	2.7
レジャー施設・娯楽が豊富	18	4.5	26	1.6	3.1	1.8
特に良い点はない	34	8.6	217	13.8	11.2	16.0
分からない	96	24.2	-	-	15.9	0.0
その他	10	2.5	31	2.0	3.9	1.8
無回答	4	1.0	26	1.6	1.6	2.3

ス 青年と保護者が考える地域を良くするために必要なこと

問 あなたが住んでいる地域がより良くなるために必要なことについて、次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年、保護者ともに「娯楽・レジャー施設の充実」が最も高く、次いで「働く場を増やす」が高い。青年、保護者で回答割合が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・青年：「娯楽・レジャー施設の充実 (52.9%)」、「働く場を増やす (34.0%)」、「子育て支援体制の充実 (20.9%)」
- ・保護者：「娯楽・レジャー施設の充実 (37.3%)」、「働く場を増やす (35.1%)」、「子育て支援体制の充実 (24.9%)」、「教育環境の改善・充実 (20.9%)」

【図表】

選択肢	令和3年度			
	青年(n=397)		保護者(n=1577)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
自然体験をする場や機会を増やす	40	10.1	169	10.7
地域の人とのふれあいを増やす	47	11.8	184	11.7
孤独や孤立を感じている人への支援	61	15.4	281	17.8
教育環境の改善・充実	52	13.1	329	20.9
働く場を増やす	135	34.0	554	35.1
青少年の健全育成に関する関心を高める	12	3.0	112	7.1
地域の団体や少年団の活動の活発化・活性化	19	4.8	102	6.5
子育て支援体制の充実	83	20.9	393	24.9
社会福祉環境の充実	47	11.8	174	11.0
文化施設の充実	76	19.1	271	17.2
娯楽・レジャー施設の充実	210	52.9	588	37.3
特に不満な点はない	26	6.5	192	12.2
分からない	68	17.1	138	8.8
その他	18	4.5	46	2.9
無回答	5	1.3	23	1.5

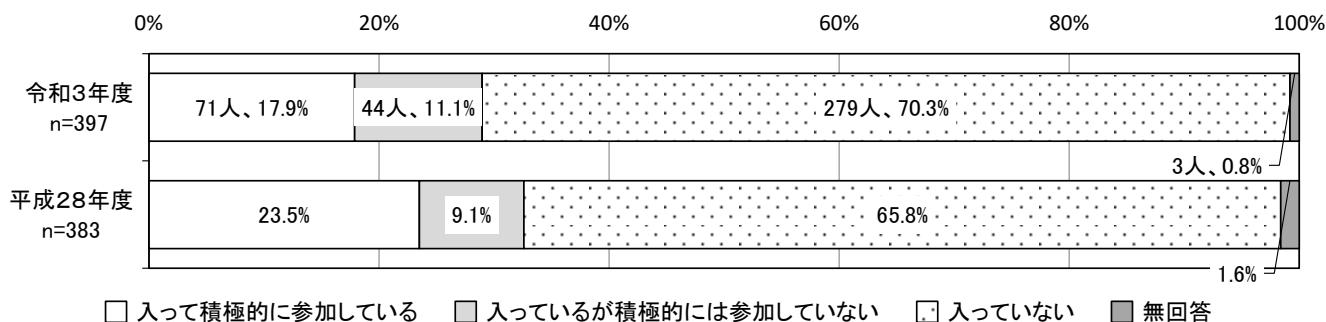
セ 青年のサークル活動への参加

問 あなたは、仕事以外で、何か団体、グループ、サークルなどに入っていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「入っていない（70.3%）」の割合が最も高く、平成28年度調査と比較すると「入って積極的に参加している」の割合が5.6%減少している。

【図表】



ソ 青年が参加するサークル活動の内容

問 1 (9) シ「青年のサークル活動への参加」で「1 入って積極的に参加している」に○をつけた方のみお答えください。

その団体・グループ・サークルなどは具体的にはどのような内容の活動をしていますか。あなたが特に力を入れているものを次の中から1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「スポーツ（53.5%）」の割合が最も高く、次いで「趣味・教養（19.7%）」の割合が高かった。平成28年度調査と比較すると、「スポーツ」、「社会奉仕活動（ボランティア、青少年育成指導）」の割合が減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度
	青年(n=71)		青年(n=88)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
スポーツ	38	53.5	60.2
趣味・教養	14	19.7	18.2
親睦・情報交換	2	2.8	3.4
職業のための技術訓練	2	2.8	0.0
社会奉仕活動(ボランティア、青少年育成指導)	4	5.6	9.1
祭りの開催	2	2.8	1.1
その他	7	9.9	6.8
無回答	2	2.8	1.1

タ 青年のサークル活動参加のきっかけ

問 1 (9) シ「青年のサークル活動への参加」で「1 入って積極的に参加している」に○をつけられた方のみお答えください。

その団体・グループ・サークルに入ったきっかけは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「内容に興味があったから (45.1%)」の割合が最も高く、次いで「友達に誘われたから (35.2%)」が高かった。

平成28年度調査と比較すると、「内容に興味があったから」の割合が24.9%減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度
	青年(n=71)		青年 (n=90)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
友だちに誘われたから	25	35.2	32.2
家族や親戚に誘われたから	8	11.3	8.9
内容に興味があったから	32	45.1	70.0
社会のために必要だと思ったから	7	9.9	8.9
同じ考えの友人を作るため	8	11.3	11.1
交際相手を探すため	2	2.8	4.4
その他	10	14.1	10.0
無回答	1	1.4	0.0

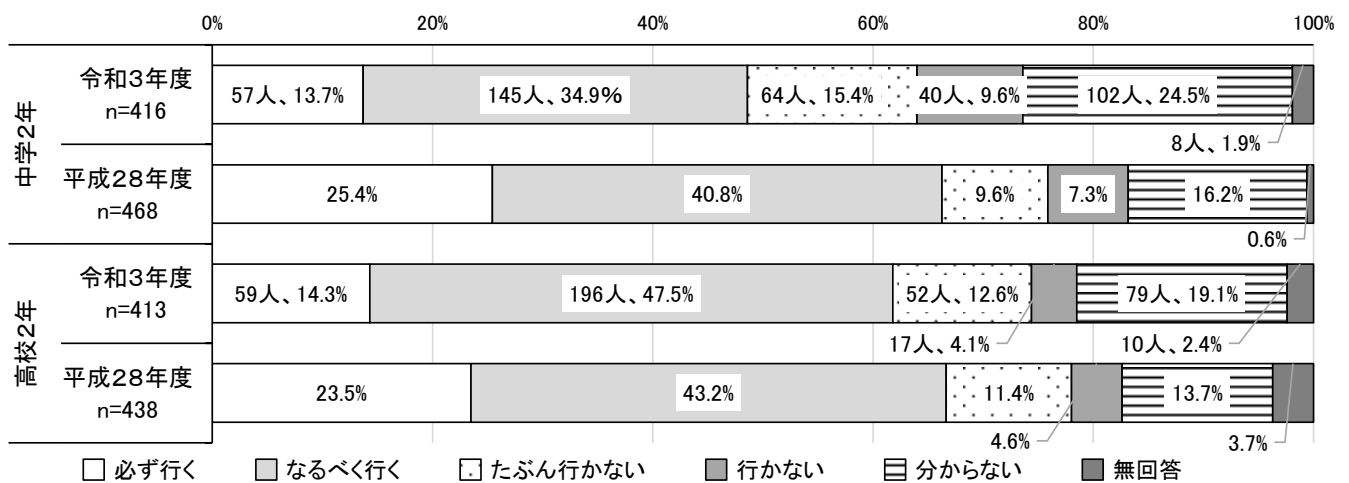
チ 選挙における投票に対する意識

問 あなたは、18歳になったら選挙の投票に行きたいと思いますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「必ず行く」、「なるべく行く」と回答した割合は、中学2年で48.6%、高校2年で61.8%であった。平成28年度調査と比較すると、「必ず行く」と回答した中学2年、高校2年の割合が減少し、「たぶん行かない」、「分からない」の割合が増加している。

【図表】



(調査対象：青年)

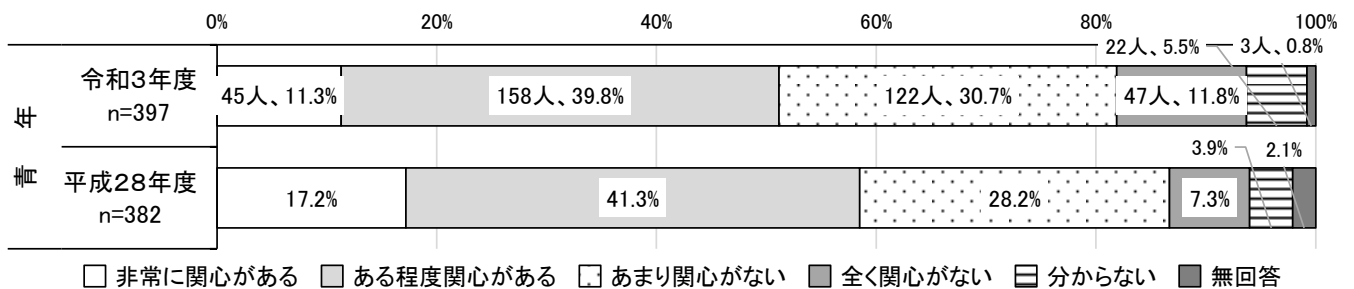
ツ 青年の選挙における投票に対する意識

問 あなたは、選挙の投票を通じて国や地域の政策決定に参加することに関心がありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「非常に関心がある(11.3%)」、「ある程度関心がある(39.8%)」と回答した割合は全体の半数を超えたが、平成28年度調査と比較すると「あまり関心がない」「全く関心がない」の割合が7%増加した。

【図表】



(10) 心の状態

(調査対象：小2、小5、中2、高2、青年)

ア 自己肯定感

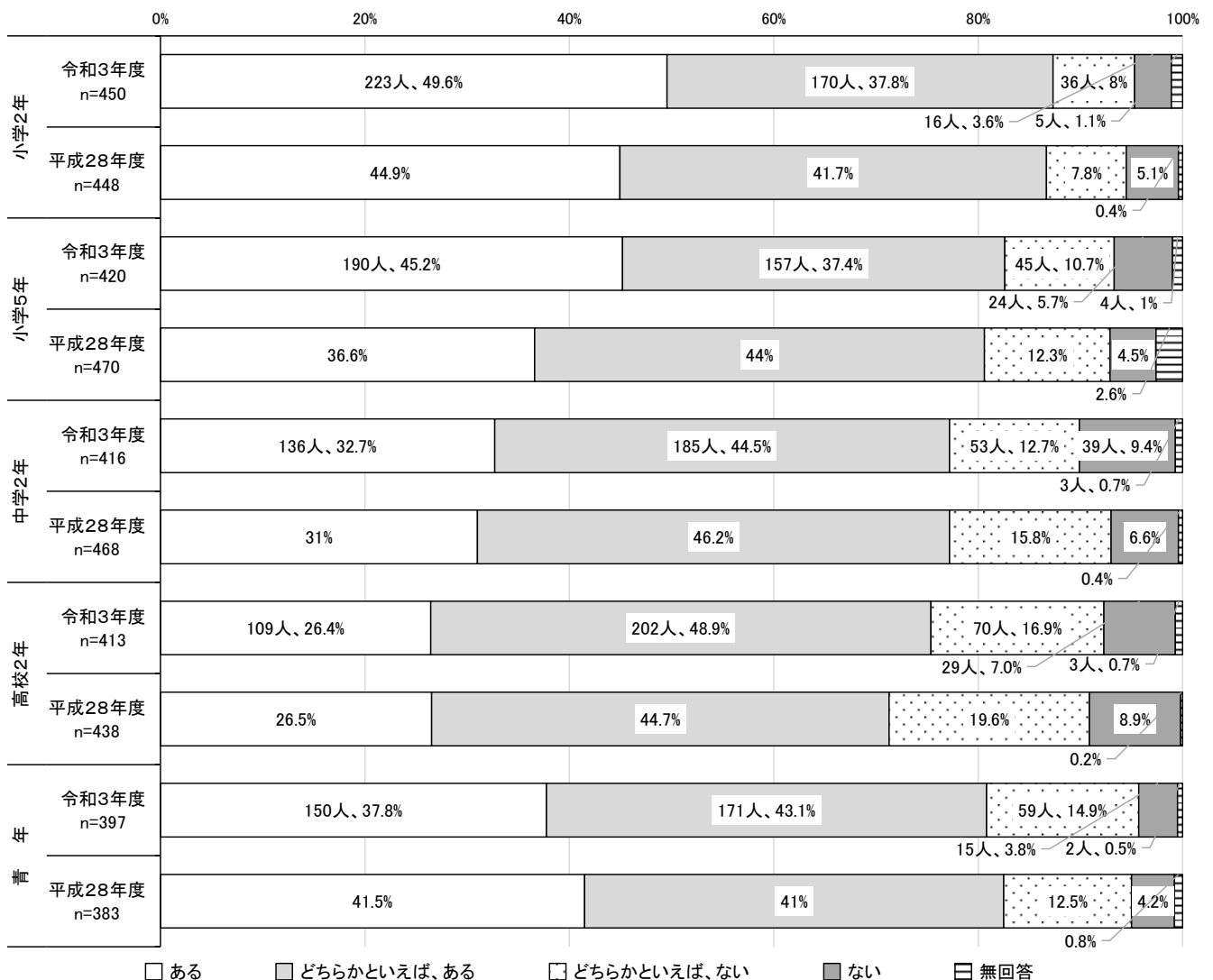
問 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「ある」「どちらかといえば、ある」と回答した割合は、小学2年、小学5年、青年で8割、中学2年、高校2年で7割を占めている。

平成28年度調査と比較すると、小学2年、小学5年、高校2年で「ある」と「どちらかといえば、ある」を合わせた割合が増加している。

【図表】



(調査対象：小2、小5、中2、高2、青年)

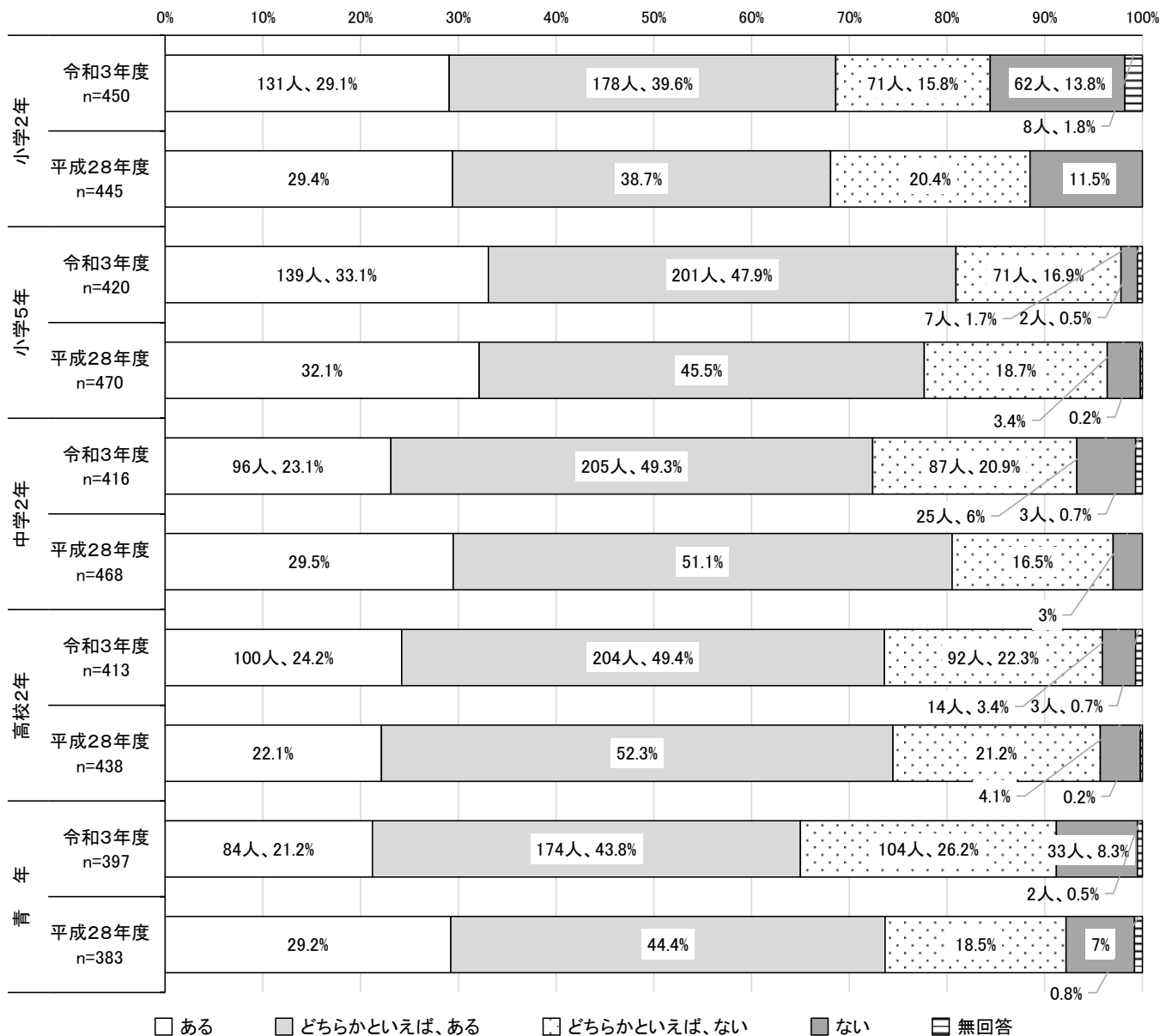
イ 不安等

問 あなたは、いらいらしたり、おこりっぽくなったりすることがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「ある」との回答は、小学生で約3割、中学2年、高校2年、青年で2割を占めている。
 平成28年度調査と比較すると、「ある」、「どちらかといえば、ある」を合わせた割合が小学2年、小学5年で増加し、中学生以上の年代で減少している。

【図表】



ウ 疲労

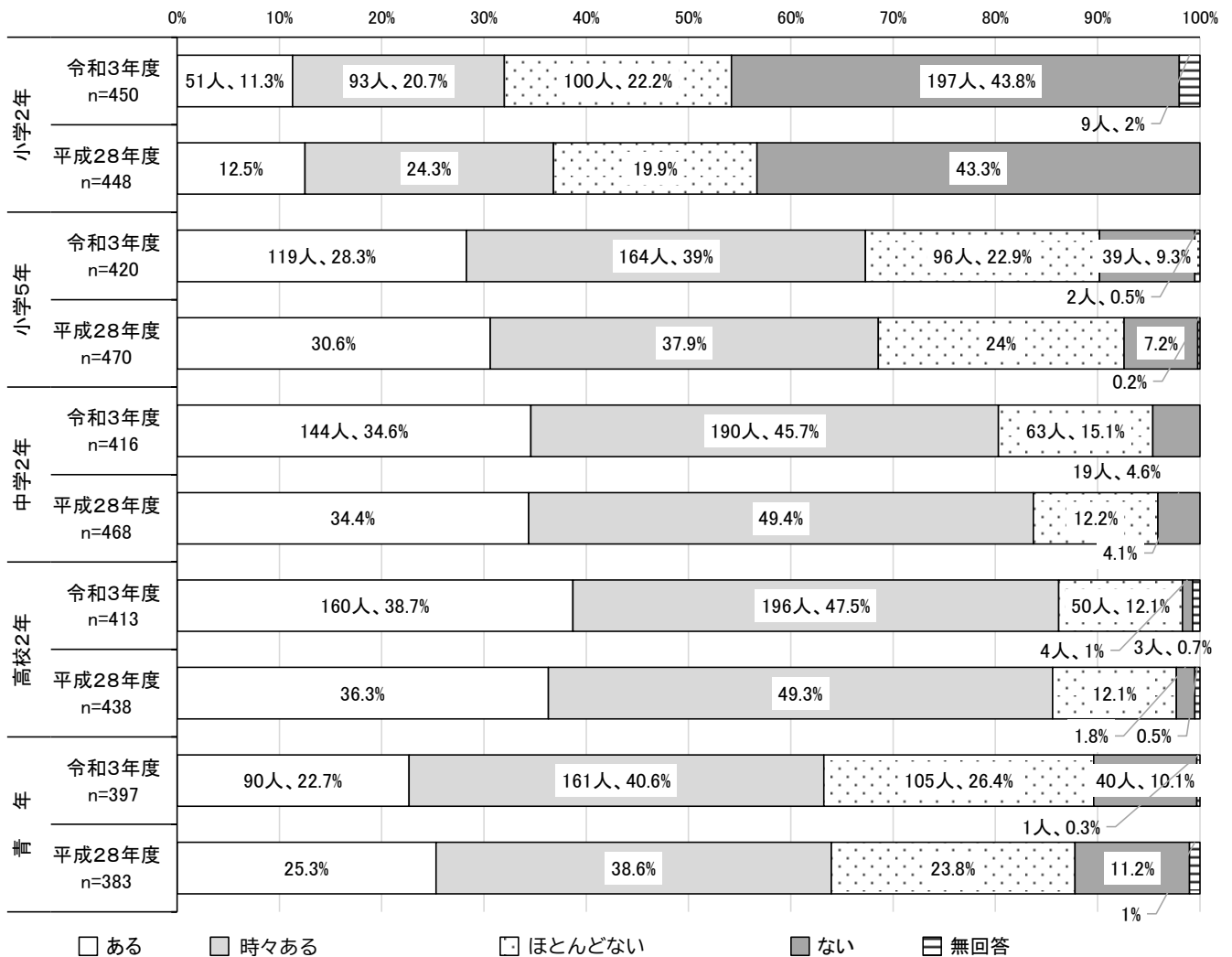
問 あなたは、いつも疲れた感じがしますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「ある」と「時々ある」を合計した割合は、小学2年では3割だが、年代が上がるにつれ上昇し、小学5年で6割、中学2年と高校2年で8割を占める。青年では6割を占めている。

平成28年度と比較すると、「ある」、「時々ある」を合計した割合は、高校2年以外の年代で減少している。

【図表】



工 悩み

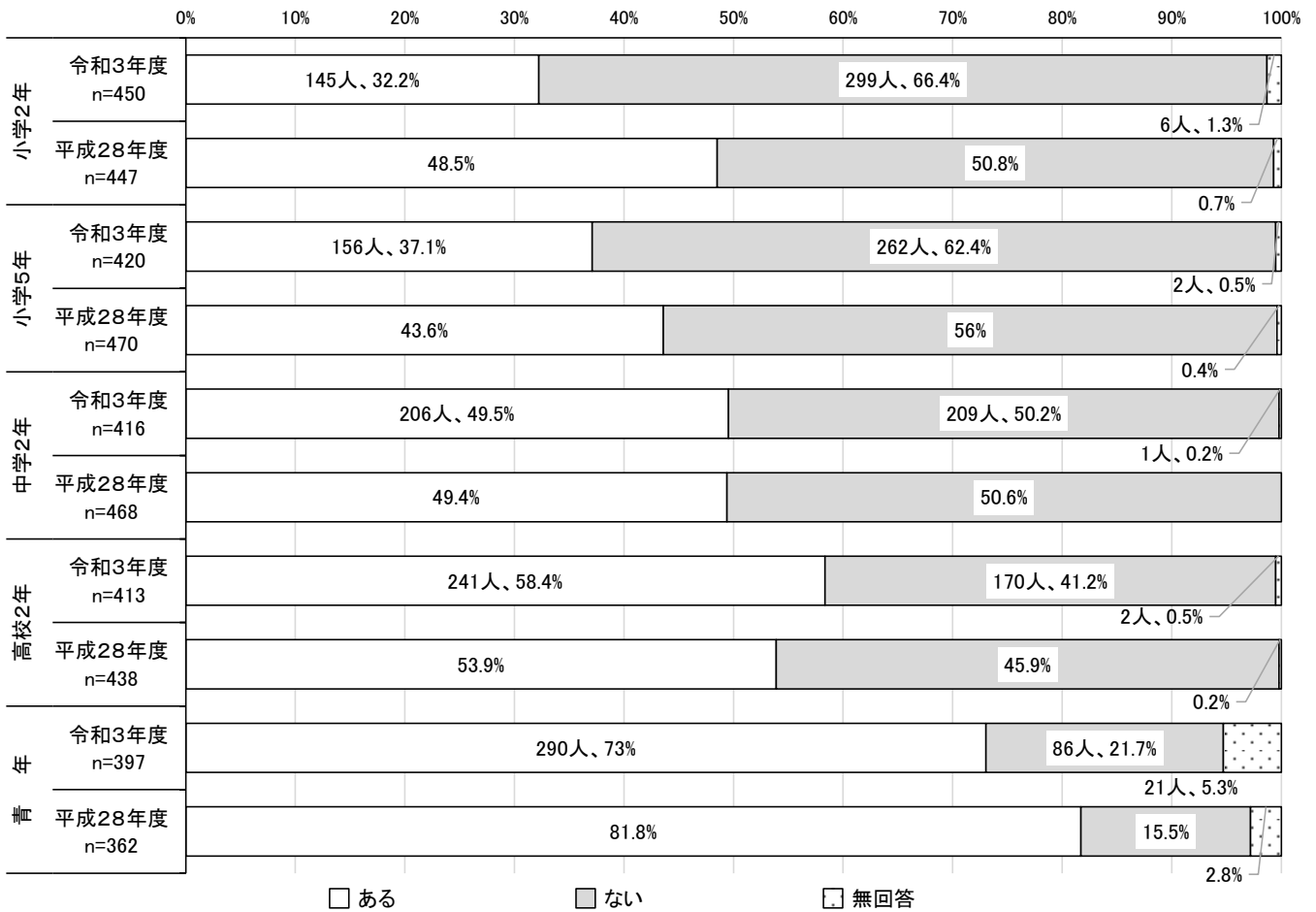
問 あなたは、悩みや心配なことがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

悩みや心配なことが「ある」と回答した割合は年代が上がるにつれ高くなり、青年では7割を占めている。

平成28年度調査と比較すると、中学生、高校生で「ある」と回答した者の割合が増加している一方、小学生、青年では減少しており、小学2年では「ある」の割合が16.3%減っている。

【図表】



オ 悩みの内容

問 1 (9) エ「悩み」で「1 ある」を選んだ人に質問します。

それはどんなことについてですか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

悩みや心配なこととして、小学生、中学生、高校生において「勉強や成績のこと」と回答した割合が高くなっている。各年代で回答の割合が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学2年：「勉強や成績のこと (38.6%)」、「友達のこと (37.2%)」
- ・小学5年：「友達のこと (33.3%)」、「勉強や成績のこと (29.5%)」
- ・中学2年：「勉強や成績のこと (54.9%)」、「進学や就職のこと (36.9%)」
- ・高校2年：「進学や就職のこと (60.6%)」、「勉強や成績のこと (50.2%)」

平成28年度と比べると、「友達のこと」と回答した小学2年の割合が約1割増加している一方、「勉強や成績のこと」と回答した小学5年、「部活動のこと」と回答した高校2年がそれぞれ約1割減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度								平成28年度			
	小学2年(n=145)		小学5年(n=156)		中学2年(n=206)		高校2年(n=241)		小学2年 (n=216)	小学5年 (n=201)	中学2年 (n=223)	高校2年 (n=236)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
進学や就職のこと	-	-	38	24.4	76	36.9	146	60.6	-	19.9	39.5	66.1
勉強や成績のこと	56	38.6	46	29.5	113	54.9	121	50.2	35.2	41.8	63.2	57.2
友達のこと	54	37.2	52	33.3	52	25.2	41	17.0	26.9	36.8	29.6	18.6
家族のこと	34	23.4	29	18.6	12	5.8	11	4.6	31.0	12.9	9.9	7.6
先生のこと	9	6.2	7	4.5	9	4.4	5	2.1	4.2	4.5	1.3	2.1
家庭の経済のこと	-	-	9	5.8	7	3.4	8	3.3	-	9.0	4.5	7.6
自分の性格のこと	39	26.9	42	26.9	39	18.9	54	22.4	21.3	22.9	16.6	18.6
自分の体のこと	37	25.5	29	18.6	23	11.2	26	10.8	22.2	19.4	12.6	12.7
恋愛に関すること	-	-	13	8.3	26	12.6	29	12.0	-	13.4	18.8	19.1
部活動のこと	-	-	19	12.2	49	23.8	40	16.6	-	16.9	27.4	25.8
遊びのこと	20	13.8	12	7.7	-	-	-	-	12.5	6.0	-	-
その他	7	4.8	12	7.7	10	4.9	6	2.5	15.3	7.0	3.1	2.5
無回答	6	4.1	5	3.2	18	8.7	14	5.8	0.5	-	1.3	0.4

カ 青年の悩みの内容

問 最近、あなたが悩んでいることは何についてですか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

悩んでいることについて、青年では「仕事 (31.0%)」の割合が最も高く、次いで「金銭 (23.9%)」、「就職や転職 (23.2%)」が高くなっている。

平成28年度と比べると、悩みの内容に大きな変動はみられないが、「悩みはない」と回答した割合が6.2%増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度
	青年(n=311)		青年 (n=362)
	人数(人)	割合(%)	割合(%)
友達のこと	16	4.0	3.6
家族のこと	-	-	9.7
恋愛に関すること	34	8.6	9.7
悩みはない	86	21.7	15.5
結婚	36	9.1	9.4
就職や転職	92	23.2	24.6
仕事	123	31.0	32.0
金銭	95	23.9	25.7
親子関係	13	3.3	-
配偶者の親との関係	5	1.3	-
夫婦関係	7	1.8	-
その他	28	7.1	14.1
無回答	21	5.3	2.8

キ 悩みの相談先

問 あなたは、悩みや心配なことを、誰に相談していますか。
 当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

年代別に一番回答が多かった項目を見ていくと、小学2年、小学5年は「母」であり、中学2年、高校2年、青年では「身近な友達」となっている。

各年代で回答の割合が高い項目は、次のとおり。

- ・小学2年：「母 (74.4%)」、「父 (47.8%)」、「先生 (27.8%)」
- ・小学5年：「母 (67.9%)」、「身近な友達 (29.8%)」、「父 (27.6%)」
- ・中学2年：「身近な友達 (48.3%)」、「母 (47.1%)」、「誰かに相談しようとは思わない (15.4%)」
- ・高校2年：「身近な友達 (60.3%)」、「母 (44.1%)」、「父 (14.0%)」
- ・青年：「身近な友達 (47.4%)」、「母 (46.9%)」、「恋人・配偶者 (25.4%)」

【図表】

<小2、小5、中2、高2>

選択肢	小学2年(n=450)		小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
父	215	47.8	116	27.6	62	14.9	58	14.0
母	335	74.4	285	67.9	196	47.1	182	44.1
兄弟、姉妹	69	15.3	51	12.1	47	11.3	41	9.9
祖父、祖母	69	15.3	29	6.9	20	4.8	4	1.0
おじ、おば	12	2.7	5	1.2	4	1.0	3	0.7
担任の先生	125	27.8	61	14.5	23	5.5	17	4.1
保健室の先生	-	-	8	1.9	3	0.7	8	1.9
その他の先生(教育相談、部活動などの先生)	-	-	2	0.5	19	4.6	10	2.4
先輩	-	-	6	1.4	24	5.8	41	9.9
身近な友達	61	13.6	125	29.8	201	48.3	249	60.3
インターネット上の友達	2	0.4	3	0.7	16	3.8	17	4.1
医師、看護師など医療関係者	-	-	1	0.2	0	0.0	2	0.5
役所の相談機関	-	-	-	-	1	0.2	0	0.0
その他の相談機関	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0
電話相談	-	-	2	0.5	0	0.0	0	0.0
相談機関のSNS相談	-	-	-	-	1	0.2	2	0.5
相談相手がいない	-	-	7	1.7	9	2.2	6	1.5
誰かに相談しようとは思わない	24	5.3	43	10.2	64	15.4	52	12.6
その他	5	1.1	8	1.9	9	2.2	2	0.5
無回答	35	7.8	15	3.6	29	7.0	21	5.1

<青年>

選択肢	青年(n=397)	
	人数(人)	割合(%)
父	54	13.6
母	186	46.9
兄弟、姉妹	60	15.1
祖父、祖母	9	2.3
おじ、おば	12	3.0
担任の先生	9	2.3
先輩	2	0.5
身近な友達	188	47.4
医師、看護師など医療関係者	4	1.0
相談機関のSNS相談	0	0.0
相談相手がない	12	3.0
誰かに相談しようとは思わない	30	7.6
恋人・配偶者	101	25.4
職場の上司	31	7.8
職場の同僚	47	11.8
公的相談機関	4	1.0
民間の相談機関	3	0.8
悩みはない	13	3.3
その他	3	0.8
無回答	19	4.8

ク 自死を考えた経験

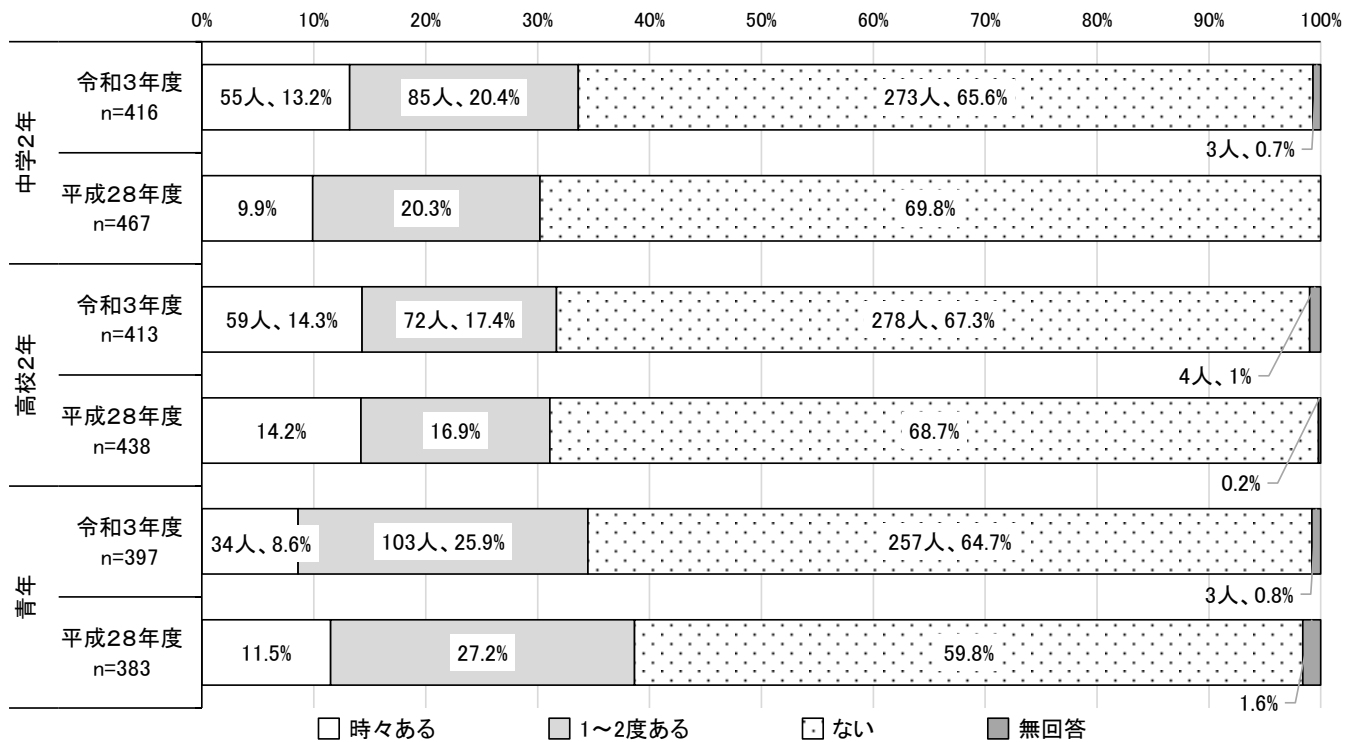
問 あなたは、最近1年ぐらいの間(※)に「死にたいと思ったこと」がありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

(※) 青年の間は「18歳(高校卒業)までに」。

【集計結果の概要】

「時々ある」は、中学2年、高校2年で1割以上となっている。
平成28年度調査と比較すると、「ない」との回答は、中学2年、高校2年が増え、青年では減少している。

【図表】



ケ 青年の対人関係に関する意識

問 次の問に関して、当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

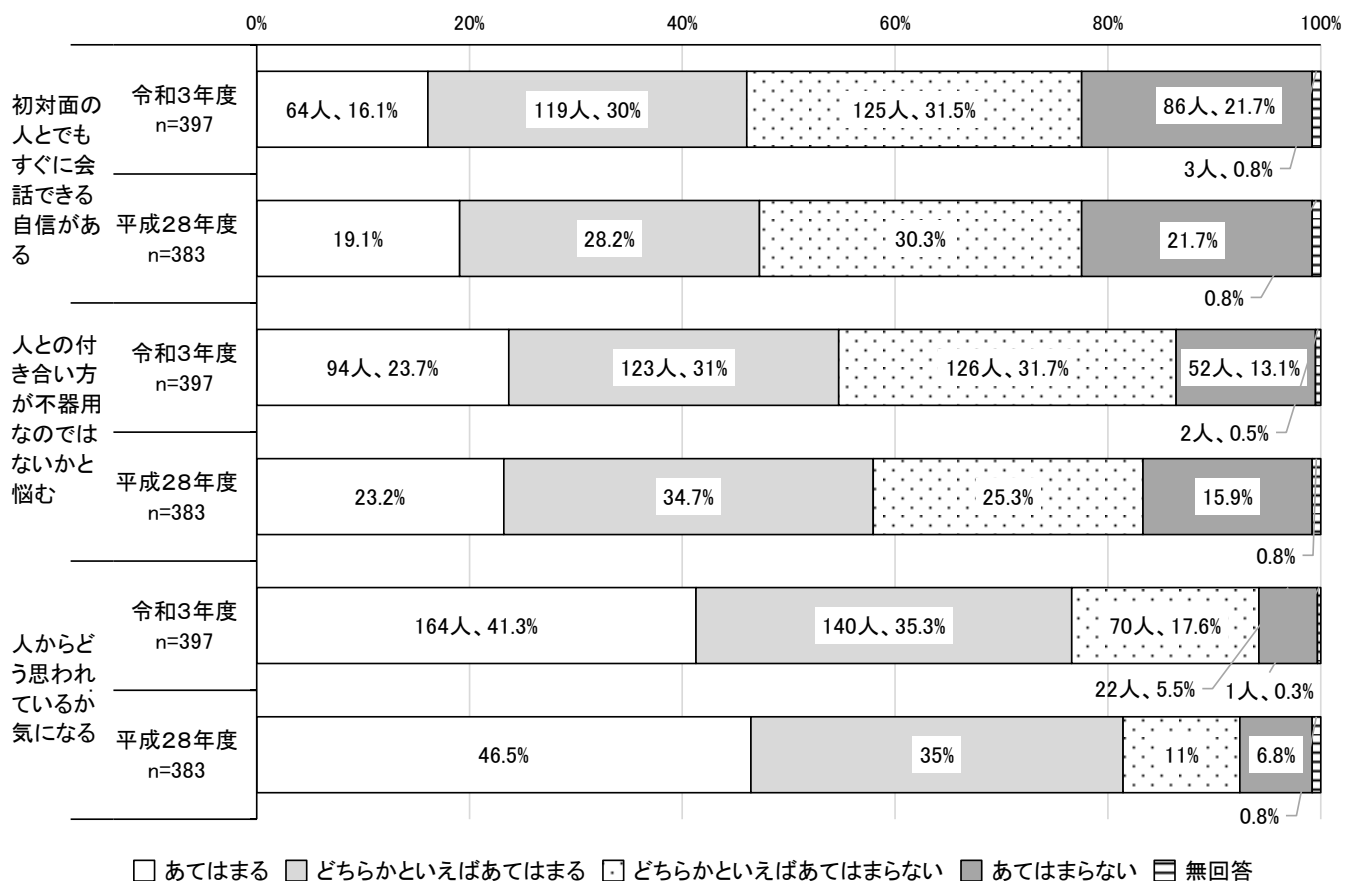
- ・初対面の人とすぐに会話できる自信がある
- ・人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む
- ・人からどう思われているか気になる

【集計結果の概要】

「初対面の人とすぐに会話できる自信がある」では46.1%、「人との付き合い方が不器用なのではないかと悩む」では54.7%、「人からどう思われているか気になる」では76.6%の青年が「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」と回答した。

平成28年度調査と比較すると、「人からどう思われているか気になる」について「あてはまらない」、「どちらかといえばあてはまらない」と回答した割合が5.3%増加している。

【図表】



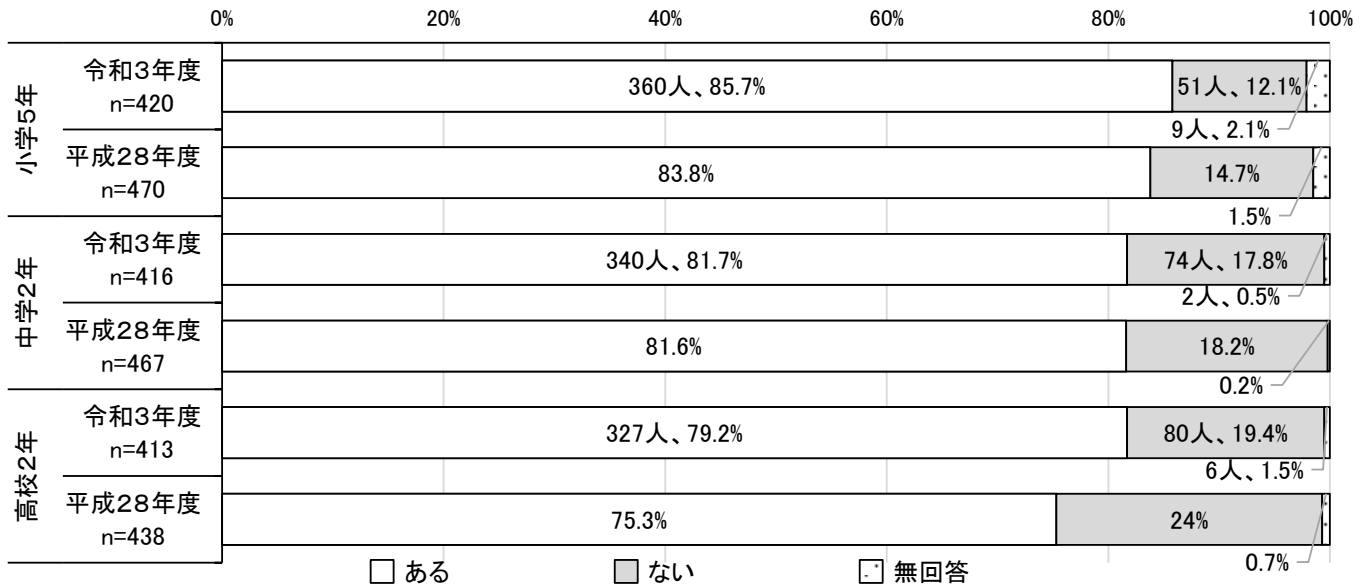
コ やればできると思った体験の有無

問 あなたは「自分もやればできるんだ」と思えるような体験をしたことがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「ある」と回答した割合は各年代とも8割程度を占めている。
平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「ある」の割合が増加している。

【図表】



(調査対象：青年)

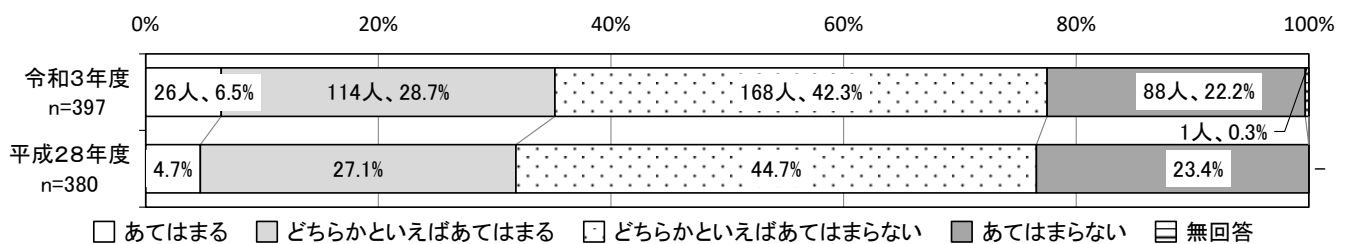
サ 青年の自分自身に関する意識

問 次の間に関して、当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。
・自分は何でもうまくやれる

【集計結果の概要】

「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」と回答した者の割合は6割を占めている。
平成28年度調査と比較すると、「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の割合は減少している。

【図表】



シ やればできると思った体験の内容

問 1 (10) コ「やればできると思った体験の有無」で「1 ある」を選んだ人に質問します。
 どんなことで「自分もやればできるんだ」と思いましたか。当てはまる番号を選んで○をつけてください。(小5：単一回答、中2、高2：複数回答)

【集計結果の概要】

全ての年代で「学校の勉強」と回答した割合が高くなっている。各年代で回答の割合が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・小学5年：「学校の勉強 (23.1%)」、「特技や技能の習得 (英会話や音楽など) (15.8%)」
- ・中学2年：「部活動 (60.9%)」、「学校の勉強 (53.5%)」
- ・高校2年：「学校の勉強 (55.0%)」、「部活動 (48.9%)」

平成28年度と比べると、全ての年代で「学校の行事 (文化祭、運動会など)」、「塾などの勉強」、「趣味や遊び」が増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	小学5年(n=360)		中学2年(n=340)		高校2年(n=327)		小学5年 (n=394)	中学2年 (n=381)	高校2年 (n=330)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
学校の勉強	83	23.1	182	53.5	180	55.0	25.4	46.7	51.5
学校の行事(文化祭、運動会など)	36	10.0	72	21.2	54	16.5	5.6	17.1	15.8
クラブ活動、部活動	52	14.4	207	60.9	160	48.9	22.8	62.2	51.2
塾などの勉強	12	3.3	47	13.8	12	3.7	3.0	12.6	2.7
友達との付き合い	6	1.7	74	21.8	42	12.8	1.8	15.7	9.7
趣味や遊び	41	11.4	138	40.6	105	32.1	10.4	32.3	28.8
学校外での行事、活動(祭り、地域の活動、ボランティア活動など)	1	0.3	19	5.6	15	4.6	2.0	5.0	5.5
特技や技能の習得(英会話や音楽など)	57	15.8	55	16.2	33	10.1	16.5	17.6	10.6
家での手伝い	-	-	60	17.6	21	6.4	4.6	10.5	5.8
ゲーム	22	6.1	-	-	-	-	-	-	-
TwitterやLINEなどのSNS	0	0.0	-	-	-	-	-	-	-
その他	7	1.9	16	4.7	7	2.1	1.3	4.7	3.3
無回答	43	11.9	1	0.3	0	0.0	6.6	0.3	0.0

ス 青年と保護者が考える若いうちにすべきこと

問 あなたが、「これだけは若いうちに是非やっておくべきだ」と考えていることを次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

青年、保護者ともに「若いうちにすべき」こととして「いろいろなことを経験すること」の割合が最も高かった。それぞれで回答の割合が高い項目は、次のとおりとなっている。

- ・青年：「いろいろなことを経験すること(69.3%)」、「長くつきあえる友人を作ること(67.5%)」、「趣味や楽しいことを思う存分にしておくこと(64.7%)」
- ・保護者：「いろいろなことを経験すること(74.3%)」、「いろいろな人とつきあって人間関係を豊かにしておくこと(60.1%)」、「強い精神力を身につけること(53.4%)」

平成28年度調査と比較すると、「趣味や楽しいことを思う存分にしておくこと」が増加している一方、「苦勞をして自分をみがくこと」が減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度				平成28年度	
	青年(n=397)		保護者(n=1577)		青年 (n=383)	保護者 (n=1683)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
長くつきあえる友人を作ること	268	67.5	783	49.7	64.0	47.3
いろいろな人とつきあって人間関係を豊かにしておくこと	227	57.2	948	60.1	59.8	63.2
将来役に立つ技術や資格を身につけること	223	56.2	796	50.5	58.7	53.2
若いからこそできる冒険をすること	167	42.1	443	28.1	38.6	25.3
人生の方向をじっくりと考えておくこと	117	29.5	263	16.7	31.9	15.4
困難なことに負けない体力を作ること	96	24.2	406	25.7	19.3	19.6
強い精神力を身につけること	142	35.8	842	53.4	37.3	54.1
いろいろな本を読んだりして、自分の内面を豊かにすること	149	37.5	574	36.4	35.2	40.3
いろいろなことを経験すること	275	69.3	1171	74.3	70.2	74.9
趣味や楽しいことを思う存分にしておくこと	257	64.7	708	44.9	58.2	35.4
社会を良くするための努力をすること	32	8.1	105	6.7	8.4	6.8
恋愛をすること	167	42.1	379	24.0	47.5	24.2
結婚相手を見つけること	54	13.6	40	2.5	19.1	3.8
外国へ行って見聞を広めること	85	21.4	186	11.8	17.0	11.1
仕事や勉強に打ち込むこと	123	31.0	342	21.7	33.4	25.8
お金をもうけること	78	19.6	107	6.8	18.5	5.8
苦勞をして自分をみがくこと	90	22.7	298	18.9	30.8	27.3
特にない	7	1.8	13	0.8	1.8	0.5
その他	4	1.0	22	1.4	1.8	1.1
無回答	2	0.5	6	0.4	1.8	0.7

セ 居心地が良いと思う「場所、時間」

問 あなたが居心地が良いと思う「ところ」・「とき」はどれですか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

全ての年代で「自分の家」の割合が最も高く、8割を超えている。「学校の休憩時間」、「海や山など自然の中」も2～3割を占め、各年代で高くなっている。

平成28年度調査と比較すると、「学校の部活動」、「図書館など公共施設」等の割合が減少し、「海や山など自然の中」の割合が増加した。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	小学5年(n=420)		中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		小学5年 (n=456)	中学2年 (n=462)	高校2年 (n=435)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
ない	8	1.9	13	3.1	12	2.9	-	-	-
自分の家	339	80.7	343	82.5	345	83.5	87.9	85.1	85.1
学校の授業	18	4.3	8	1.9	9	2.2	4.6	1.7	3.0
学校の部活動	32	7.6	75	18.0	68	16.5	9.9	24.9	24.4
学校の休憩時間	138	32.9	137	32.9	99	24.0	31.4	29.9	22.5
ボランティアやサークルなど、家庭や学校以外の活動に参加している時	2	0.5	4	1.0	2	0.5	1.3	1.3	2.1
塾や習い事	36	8.6	15	3.6	9	2.2	8.3	6.9	1.8
友達の部屋	58	13.8	61	14.7	51	12.3	14	18.4	16.6
ゲームセンター・カラオケなど	27	6.4	33	7.9	28	6.8	8.6	10.2	13.1
街の中	26	6.2	13	3.1	9	2.2	6.4	5.8	5.1
海や山など自然の中	146	34.8	105	25.2	100	24.2	33.8	22.5	19.5
図書館など公共施設	65	15.5	30	7.2	25	6.1	27.4	11.0	5.7
アルバイト先	-	-	-	-	1	0.2	-	-	0.9
その他	33	7.9	20	4.8	24	5.8	6.4	10.4	5.7
無回答	20	4.8	15	3.6	19	4.6	1.5	0.9	3.0

ソ ひきこもりに係る親和性

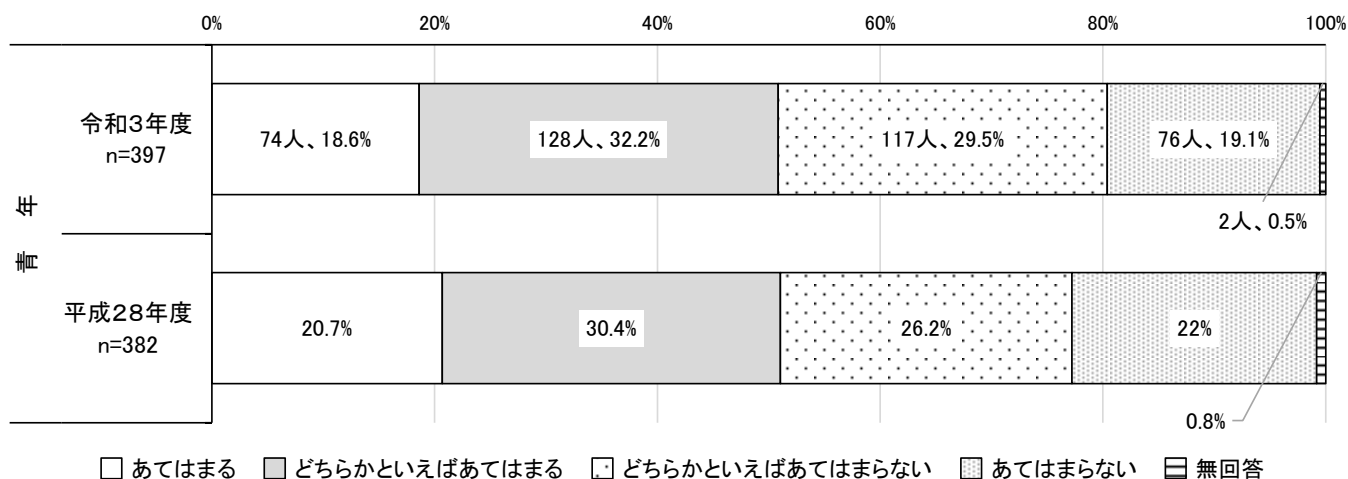
問 あなた自身に当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

(ア) 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

【集計結果の概要】

「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」を合わせると約半数を占め、平成28年度調査から大きな変動はみられなかった。

【図表】

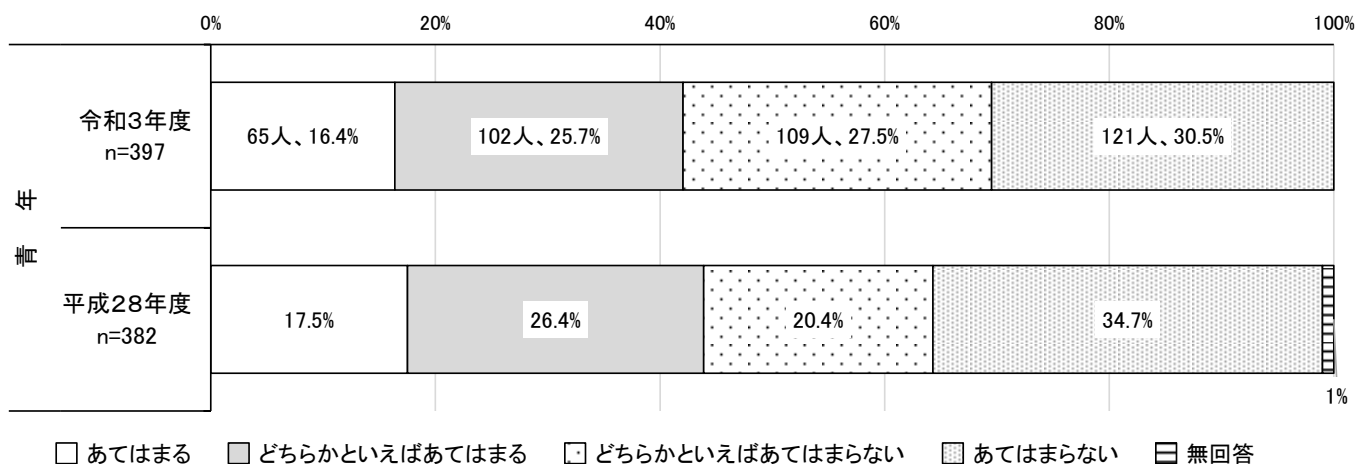


(イ) 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

【集計結果の概要】

「あてはまらない」、「どちらかといえばあてはまらない」を合わせると6割弱を占め、平成28年度調査から大きな変動はみられなかった。

【図表】

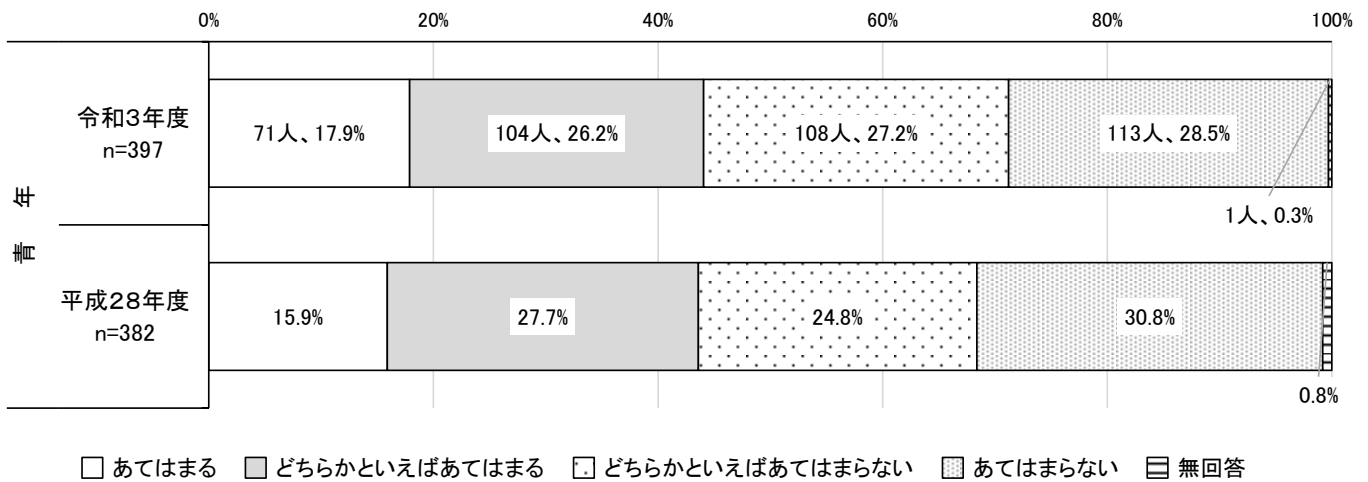


(ウ) 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

【集計結果の概要】

「あてはまらない」、「どちらかといえばあてはまらない」を合わせると55.7%となり、平成28年度調査から大きな変動はみられなかった。

【図表】

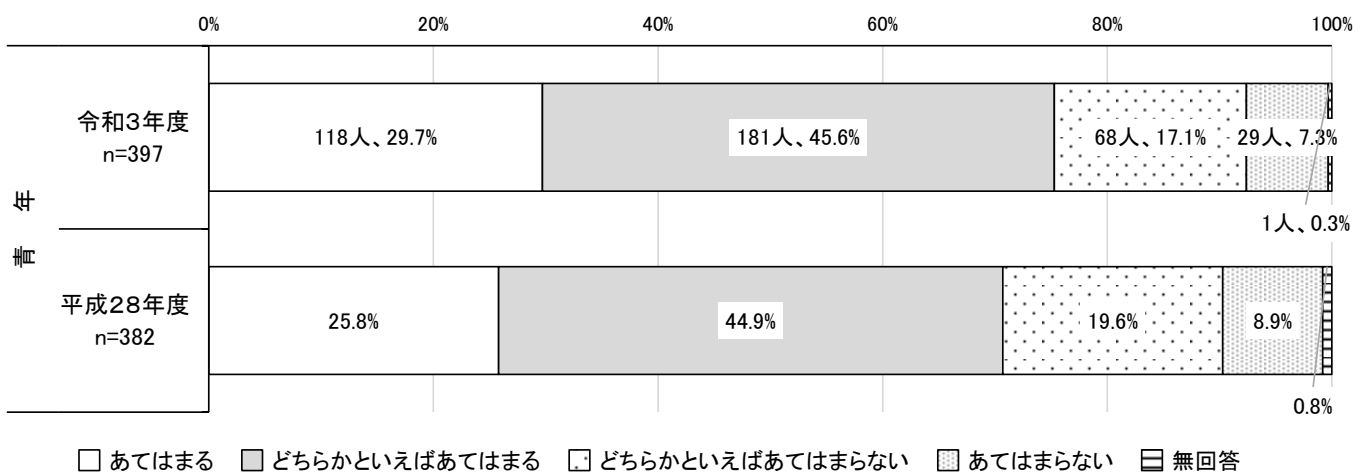


(エ) 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

【集計結果の概要】

「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は全体の4分の3になり、平成28年度調査と比較するとやや増加した。

【図表】



タ 外出頻度

問 あなたは、普段どのくらい外出しますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「仕事や学校で平日は毎日外出する（74.1%）」の割合が最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する（12.1%）」の割合が高い。

平成28年度調査から大きな変動はみられなかった。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度	
	青年(n=397)		青年(n=379)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
仕事や学校で平日は毎日外出する	294	74.1	290	76.5
仕事や学校で週に3～4日外出する	48	12.1	30	7.9
遊び等で頻繁に外出する	6	1.5	16	4.2
人付き合いのためにときどき外出する	14	3.5	16	4.2
普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	14	3.5	14	3.7
普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	7	1.8	8	2.1
自室からは出るが、家からは出ない	2	0.5	3	0.8
自室からほとんど出ない	1	0.3	0	0.0
無回答	11	2.8	2	0.5

(調査対象：青年)

チ 外出頻度（現在の状態となった期間）

問 1 (10) タ「外出頻度」で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」を選んだ人に質問します。

現在の状態となってどのくらい経ちますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【集計結果の概要】

現在の状態となった期間については、「6か月未満（37.5%）」と回答した割合が最も高かった。期間が5年以上に及んでいる割合は12.5%であった。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度	
	青年(n=24)		青年(n=25)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
6ヶ月未満	9	37.5	7	28.0
6ヶ月～1年未満	2	8.3	8	32.0
1年～3年未満	6	25	8	32.0
3年～5年未満	2	8.3	1	4.0
5年～7年未満	1	4.2	1	4.0
7年以上	2	8.3	0	0.0
無回答	2	8.3	0	0.0

ツ 外出頻度（現在の状態となったきっかけ）

問 1 (10) タ「外出頻度」で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」を選んだ人に質問します。

現在の状態になったきっかけは何ですか。次の中からあてはまる番号をいくつでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

現在の状態に至ったきっかけについては、「その他」、「無回答」を除くと、「人間関係がうまくいかなかった（20.8%）」の割合が最も高く、次いで「病気（16.7%）」が高かった。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度	
	青年(n=24)		青年(n=25)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
不登校(小学校・中学校・高校)	2	8.3	1	4.0
大学になじめなかった	1	4.2	1	4.0
受験に失敗した(高校・大学)	1	4.2	1	4.0
就職活動がうまくいかなかった	2	8.3	2	8.0
職場になじめなかった	1	4.2	5	20.0
病気	4	16.7	4	16.0
妊娠した	3	12.5	8	32.0
人間関係がうまくいかなかった	5	20.8	2	8.0
その他	9	37.5	6	24.0
無回答	4	16.7	2	8.0

(調査対象：青年)

テ 外出頻度（現在の状態となったきっかけ・人間関係）

問 1 (10) ツ「外出頻度」（現在の状態となったきっかけ）で「人間関係がうまくいかなかった」を選んだ人に質問します。

その相手を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

現在の状態に至ったきっかけとなった「人間関係」について、その相手は「友人」、「職場の関係者」、「その他の人」とする回答があった。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度	
	青年(n=5)		青年(n=25)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
友人	1	20.0	0	0.0
父	0	0.0	0	0.0
母	0	0.0	0	0.0
兄弟・姉妹	0	0.0	0	0.0
職場の関係者	1	20.0	3	12.0
その他の人	1	20.0	0	0.0
無回答	2	40.0	22	88.0

ト 外出頻度（関係機関への相談）

問 1 (10) タ「外出頻度」で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」を選んだ人に質問します。

現在の状態について、関係機関に相談したことがありますか。次の中からあてはまる番号をいくつか選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

「相談したことはない（45.8%）」が最も高く、次いで「病院・診療所（12.5%）」が高い。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度	
	青年(n=24)		青年(n=25)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
教育支援センター(適応指導教室)(不登校児童生徒の学校復帰に向けた指導・支援等を行う機関)	2	8.3	0	0.0
教育相談所・相談室などの相談機関	1	4.2	0	0.0
児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関	0	0.0	0	0.0
ハローワーク・若者サポートステーション	2	8.3	4	16.0
保健所・保健センター	1	4.2	1	4.0
精神保健福祉センター(地域住民の精神的健康の保持増進、精神障がい予防、精神医療の推進、社会復帰の促進等を行う施設)	2	8.3	0	0.0
病院・診療所	3	12.5	8	32.0
発達障がい者支援センター(発達障がい児(者)への支援を総合的に行うことを目的とした地域の拠点施設)	0	0.0	0	0.0
民間の相談機関	1	4.2	0	0.0
とっとりひきこもり生活支援センター(ひきこもりの状態にある方やその家族へ相談支援、地域における関係機関とのネットワークの構築等を行う施設)	0	0.0	-	-
民間施設(フリースクールなど)	1	4.2	0	0.0
相談したことはない	11	45.8	10	40.0
その他	1	4.2	1	4.0
無回答	4	16.7	4	16.0

ナ 外出頻度（関係機関への相談希望）

問 1 (10) タ「外出頻度」で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」を選んだ人に質問します。

現在の状態について、今後、関係機関に相談したいと思いませんか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【集計結果の概要】

平成28年度調査と同様に「思わない（54.2%）」が最も高く、半数を超えている。

【図表】

選択肢	令和3年度		平成28年度	
	青年(n=24)		青年(n=25)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
非常に思う	2	8.3	1	4.0
思う	1	4.2	3	12.0
少し思う	2	8.3	6	24.0
思わない	13	54.2	11	44.0
無回答	6	25.0	4	16.0

(11) 不良行為・非行等

ア 不良行為等

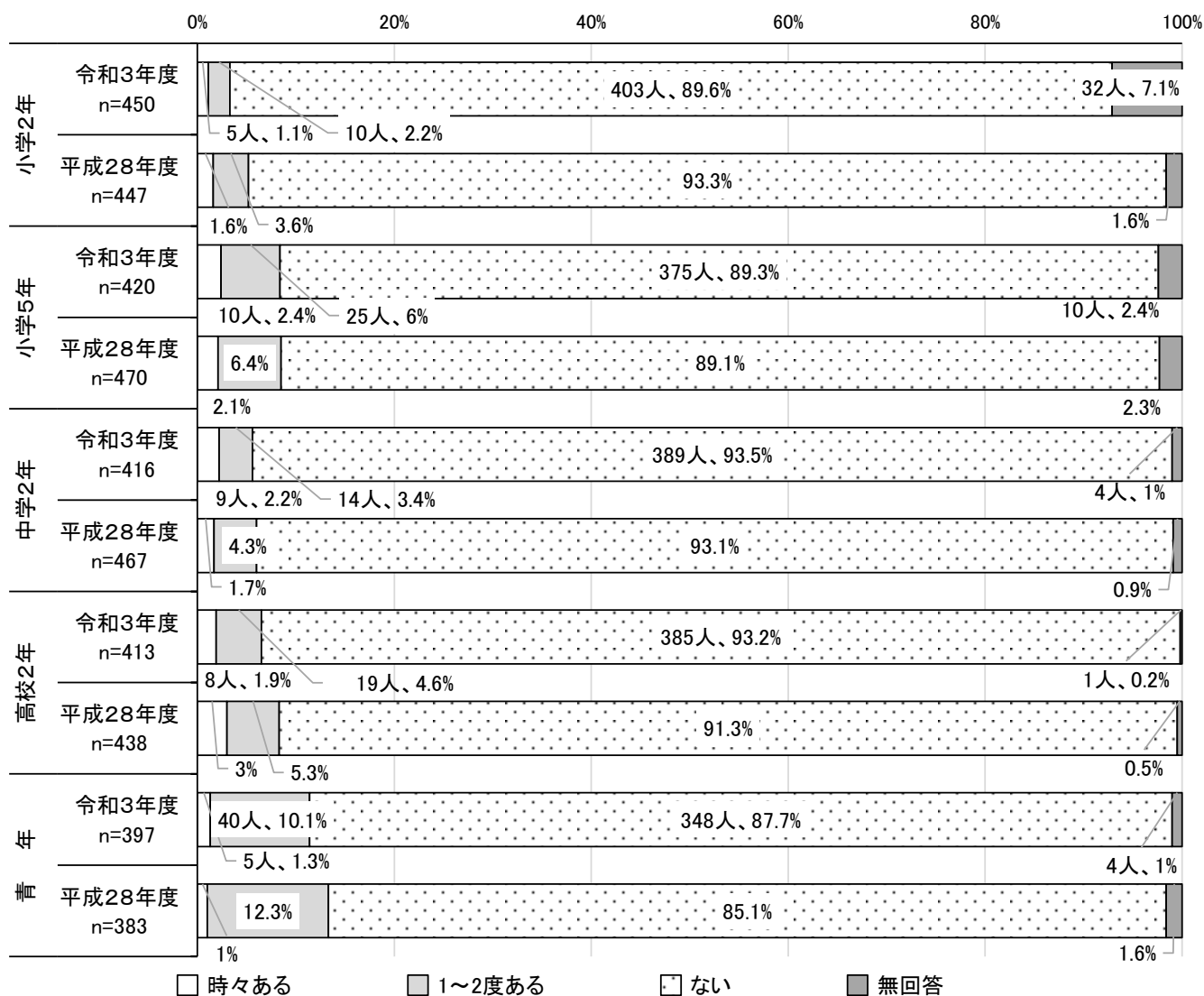
問 あなたは、最近1年ぐらいの間に(※)以下の(ア)から(ソ)までのことについて、したことがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。
 (※) 青年の間は「18歳(高校卒業)までに」。

(ア) 家のお金を、だまって持ち出したことがある(調査対象：小2、小5、中2、高2、青年)

【集計結果の概要】

全ての年代の9割前後が「ない(なかった)」と回答している。
 平成28年度調査と比べると、「時々ある(あった)」と「1～2度ある(あった)」の回答を合わせた割合が全ての年代で減少している。

【図表】



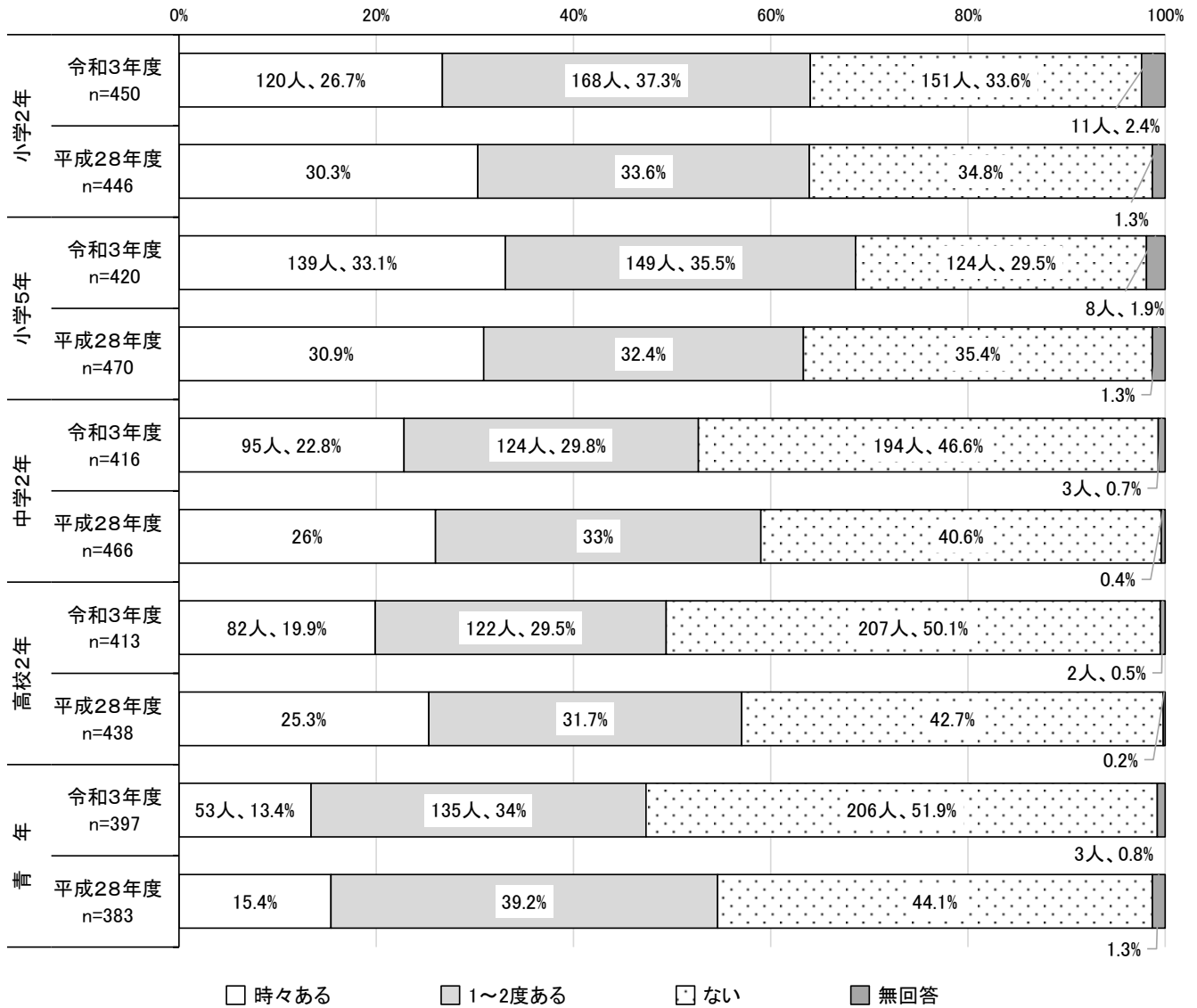
(イ) 家の人にひどく反抗したことがある（調査対象：小2、小5、中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

小学生は3割前後が、中学2年、高校2年、青年は5割前後が「ない（なかった）」と回答している。

平成28年度調査と比べると、「時々ある（あった）」と「1～2度ある（あった）」の回答を合わせた割合が小学生で増加している。

【図表】



(ウ) 学校の先生に暴力で反抗したことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

どの年代でも9割以上が「ない」と回答している。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		青年(n=397)		中学2年 (n=468)	高校2年 (n=438)	青年 (n=383)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
時々ある	2	0.5	3	0.7	0	0.0	1.1	0.5	0.3
1～2度ある	7	1.7	7	1.7	8	2.0	2.1	1.6	1.8
ない	402	96.6	401	97.1	385	97.0	95.3	97.7	96.3
無回答	5	1.2	2	0.5	4	1.0	1.5	0.2	1.6

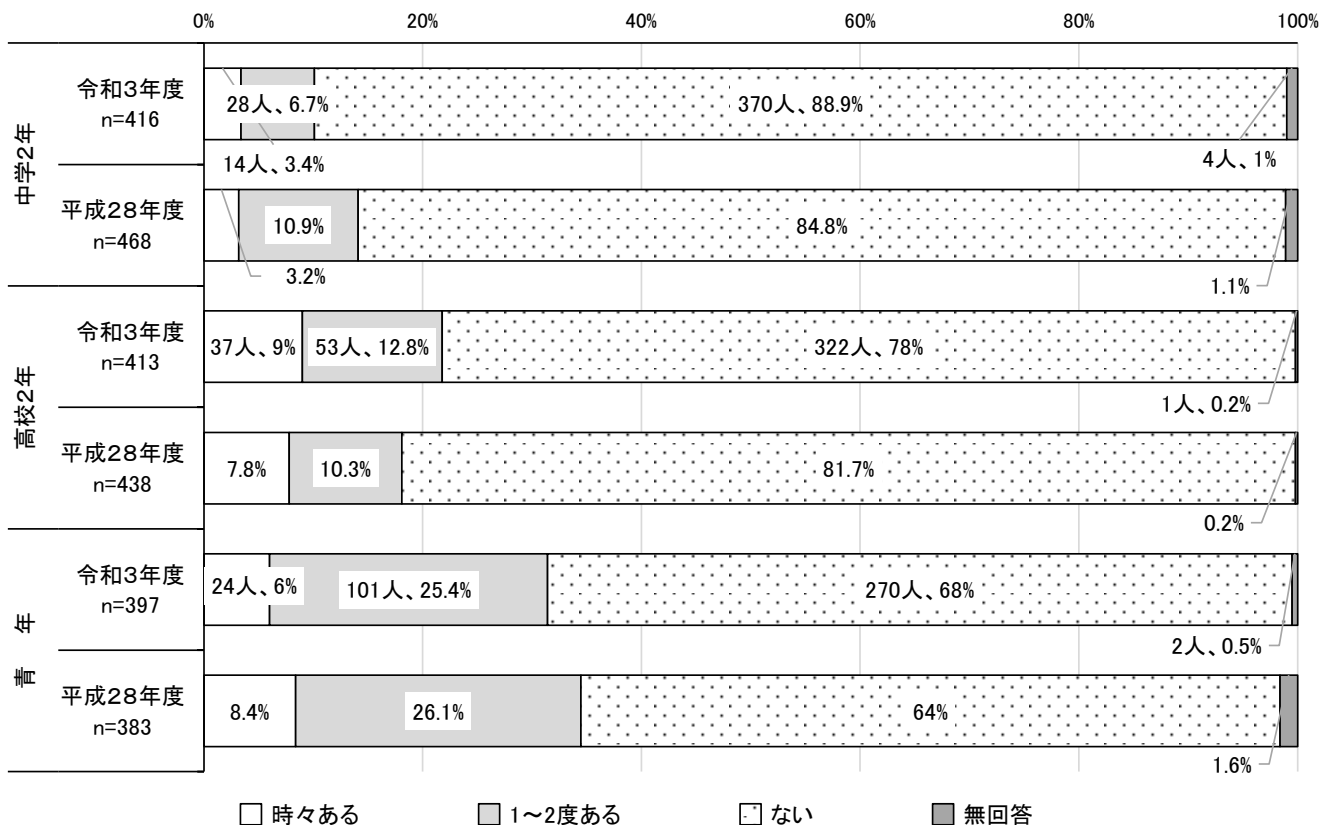
(エ) 学校の授業をさぼったことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

年代別に見ると、「時々ある」と「1～2度ある」を合わせた割合は年代が上がるにしたがい高くなっている。

平成28年度調査と比較すると、「時々ある」と「1～2度ある」を合わせた割合は高校2年で増加している。

【図表】



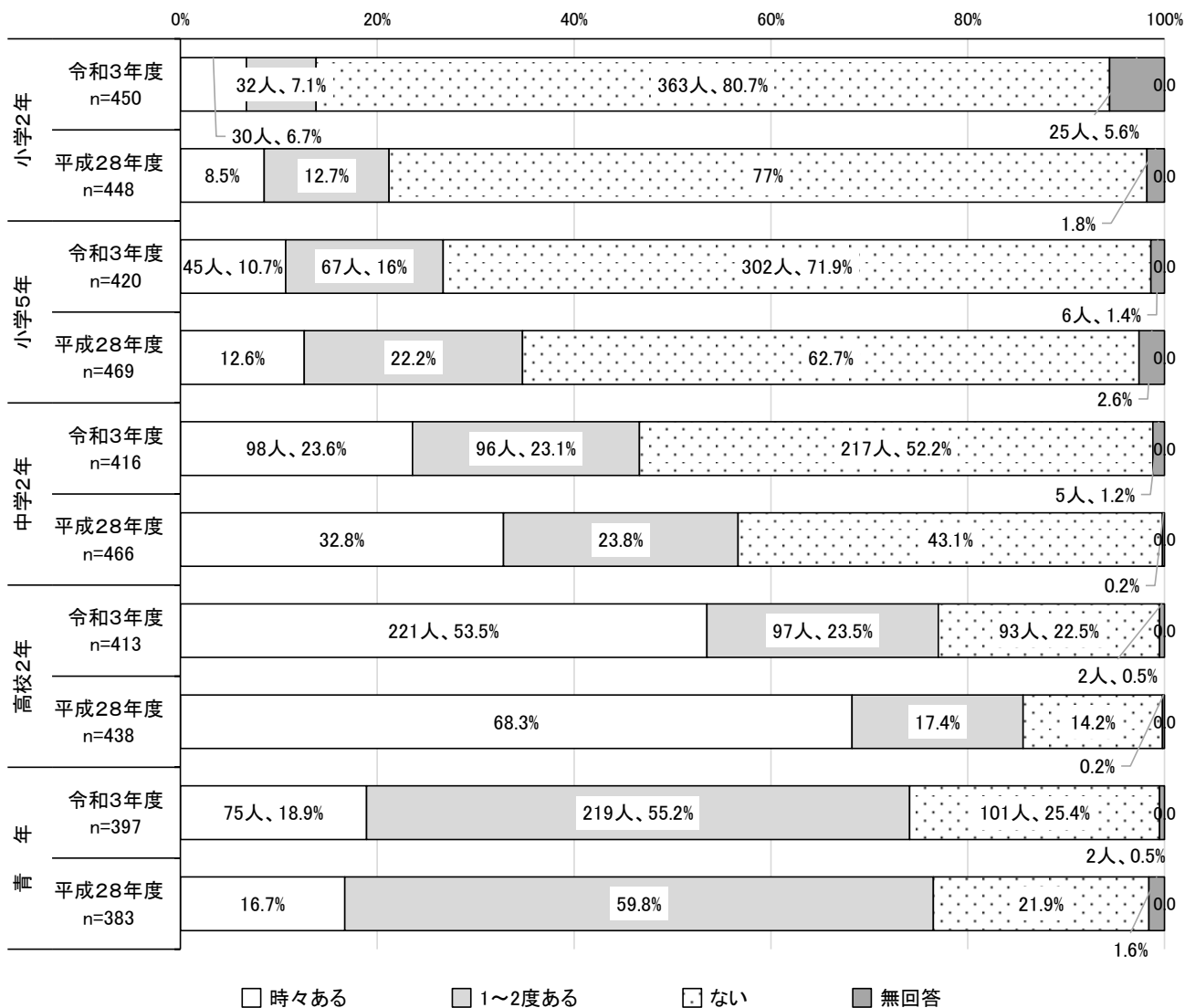
(オ) 友達とゲームセンターに行ったことがある（調査対象：小2、小5、中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

「時々ある（あった）」と「1～2度ある（あった）」を合わせた割合は、小学2年の13.8%、小学5年の26.7%、中学2年の約46.7%、高校2年の77.0%、青年の74.1%であった。

平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「時々ある（あった）」と「1～2度ある（あった）」を合わせた割合が減少している。

【図表】

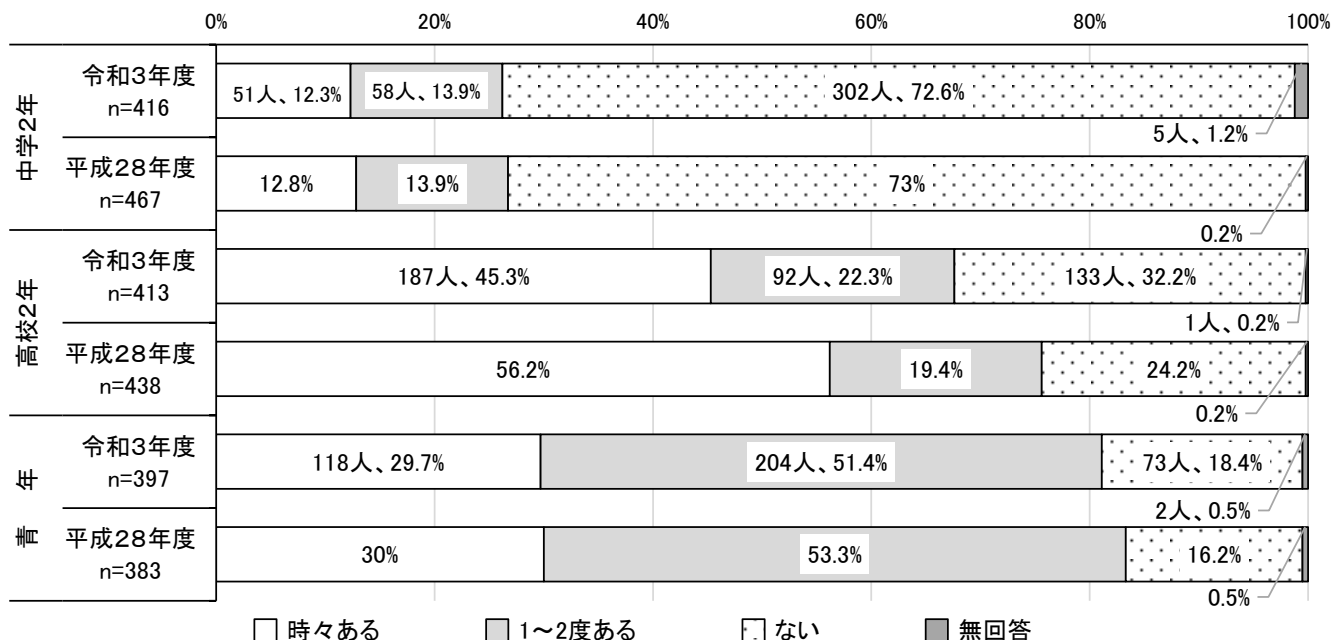


(カ) 友達とカラオケボックスに行ったことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

「時々ある（あった）」と回答した割合が最も高いのは高校2年で、45.3%を占めた。
 平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「時々ある（あった）」と「1～2度ある（あった）」を合わせた割合が減少している。

【図表】

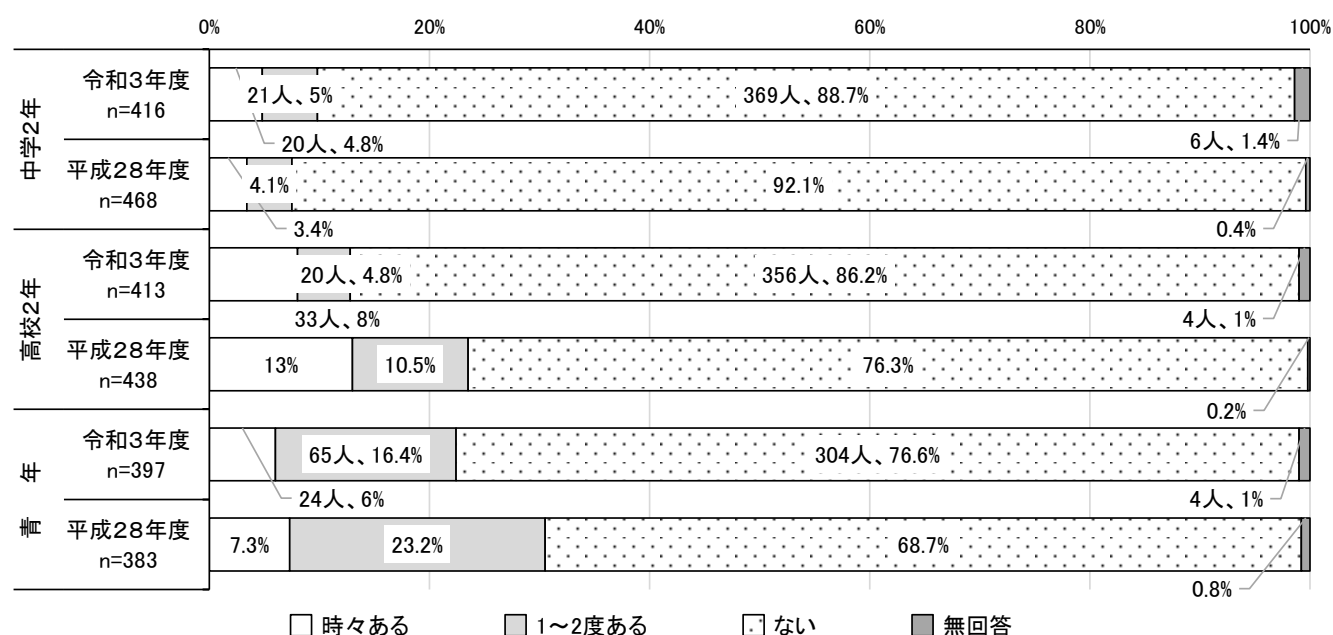


(キ) アダルト（ポルノ）雑誌やアダルトDVDを見たことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

「時々ある」、「1～2度ある」の割合は、年代が上がるにつれ増加している。
 平成28年度調査と比較すると、高校2年と青年で「ない」の割合が増加している。

【図表】

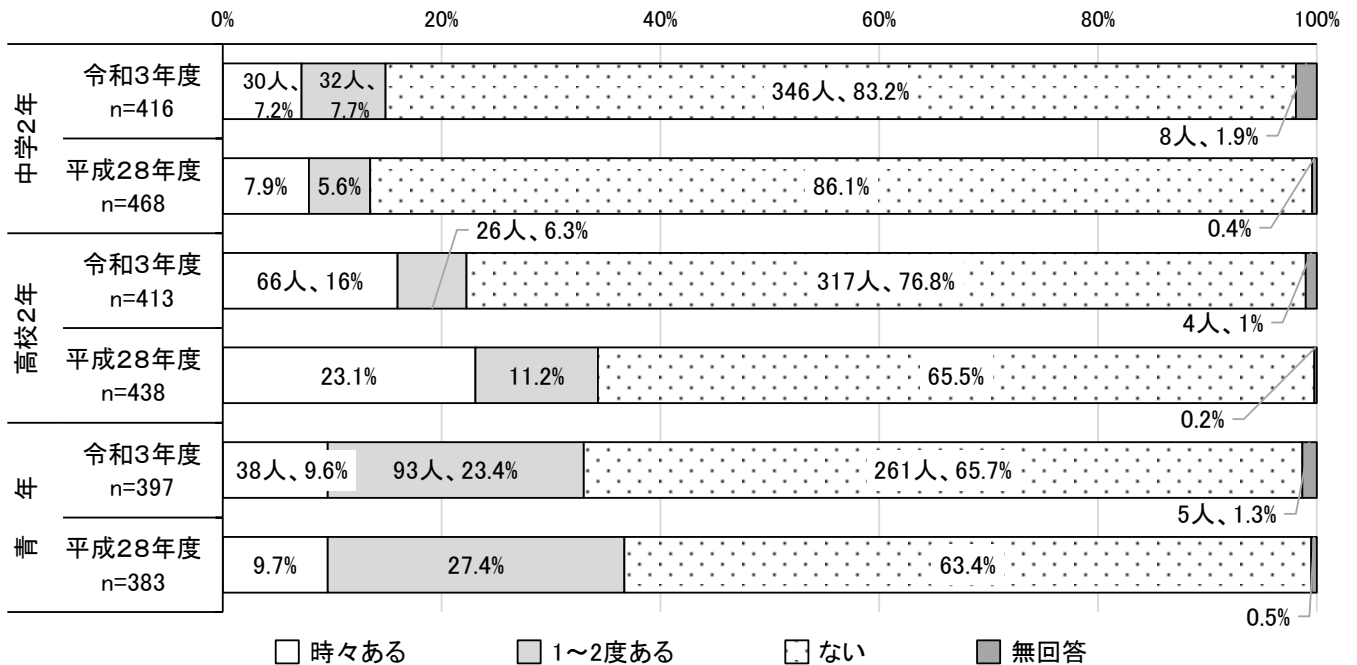


(ク) インターネットのアダルトサイト（動画・画像）を見たことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

全ての年代で「ない」との回答が最も高く、6～8割を占めている。
 平成28年度調査と比較すると、高校2年で「時々ある」と「1～2度ある」を合計した割合が約1割減少している。

【図表】

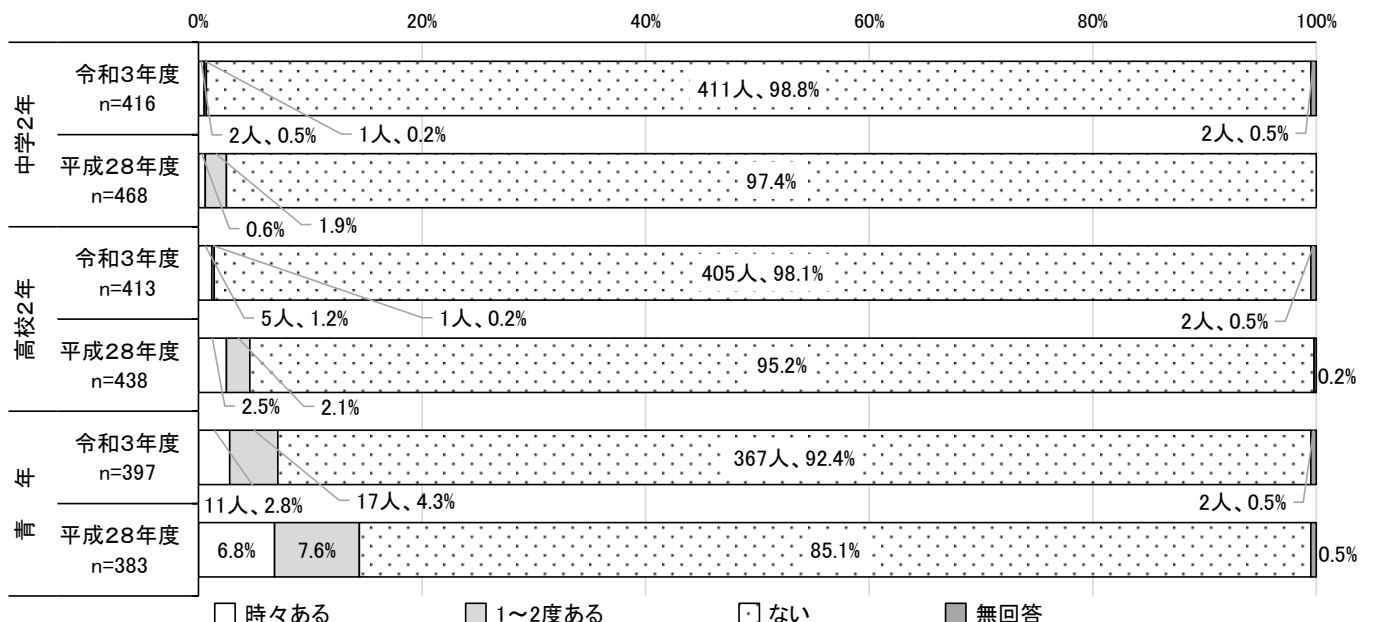


(ケ) タバコを吸ったことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

年代別に見ると、中学2年と高校2年で98%以上が「ない」と回答している。
 平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「時々ある（あった）」、「1～2度ある（あった）」を合計した割合は減少している。

【図表】

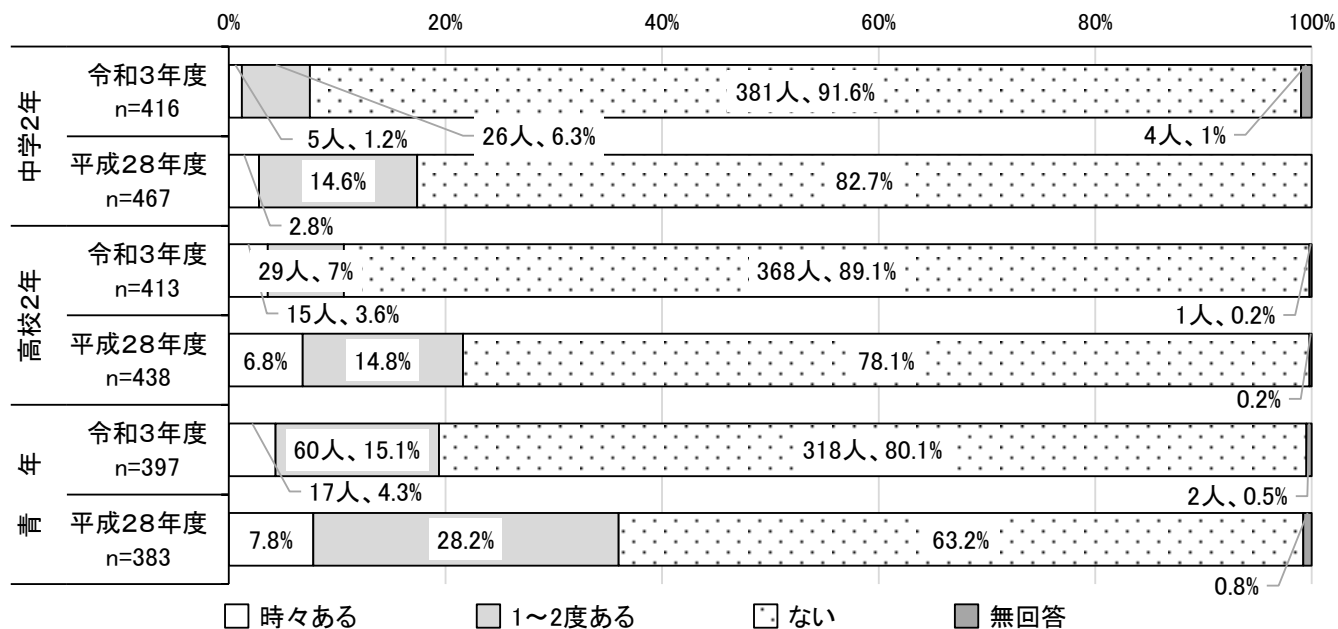


(コ) 酒を飲んだことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

中学2年、高校2年の9割前後、青年の8割が「ない（なかった）」と回答している。
 平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「時々ある（あった）」、「1～2度ある（あった）」を合計した割合は減少している。

【図表】

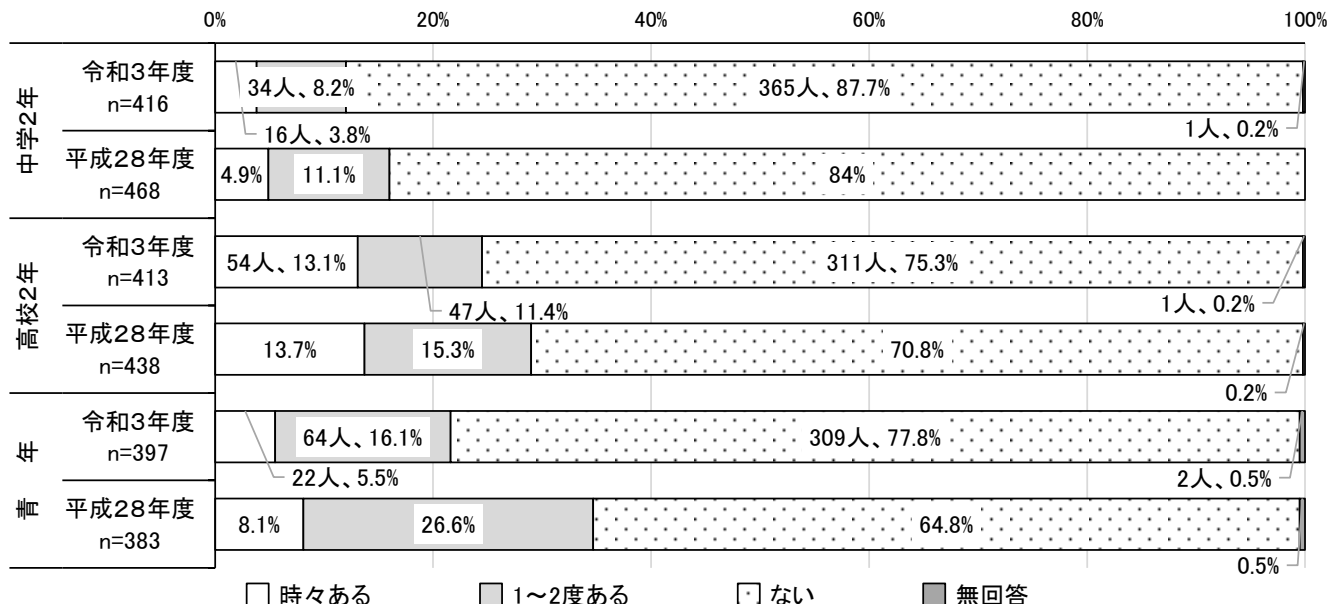


(ク) 友達と深夜まで遊んでいたことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

「時々ある（よくあった）」と「1～2度ある（時々あった）」を合わせた割合は、中学2年の12.0%、高校2年の24.5%、青年の21.6%であった。
 平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「時々ある（あった）」、「1～2度ある（あった）」を合計した割合は減少している。

【図表】

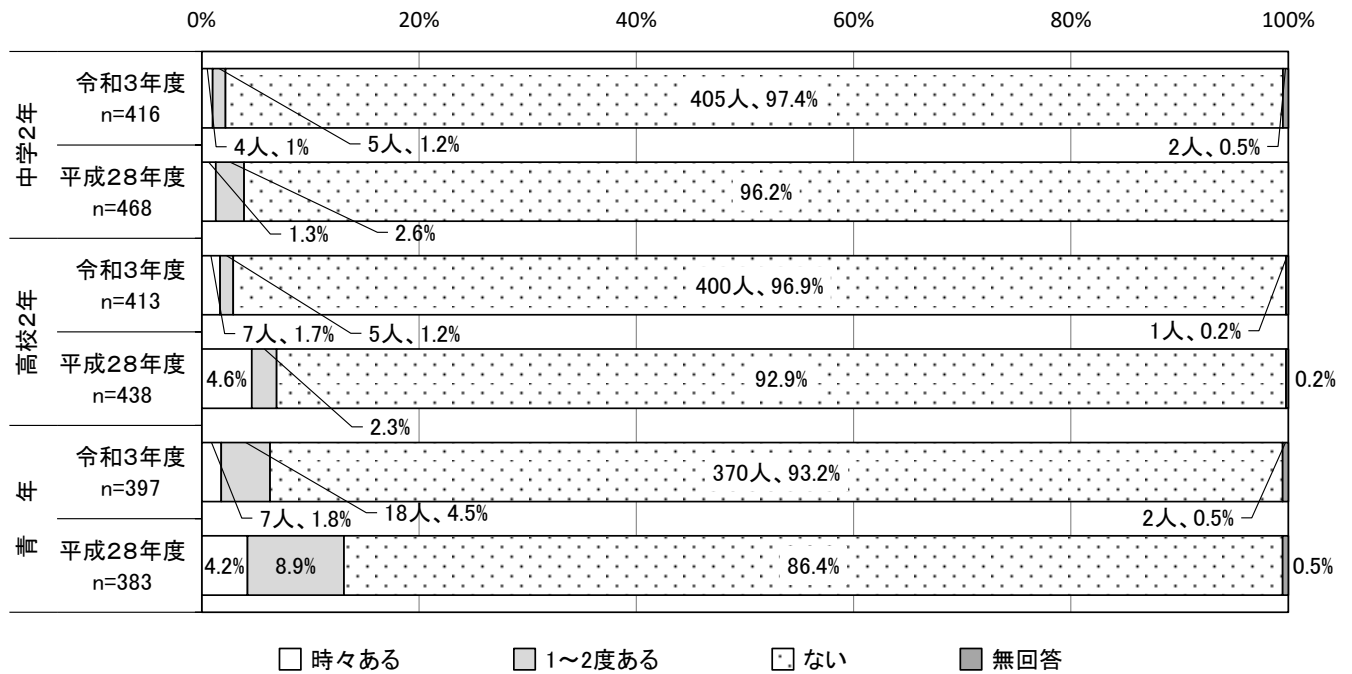


(シ) 家の人にだまって外泊をしたことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

全ての年代で「ない」との回答が、9割を占めている。
 平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「時々ある（あった）」、「1～2度ある（あった）」を合計した割合は減少している。

【図表】

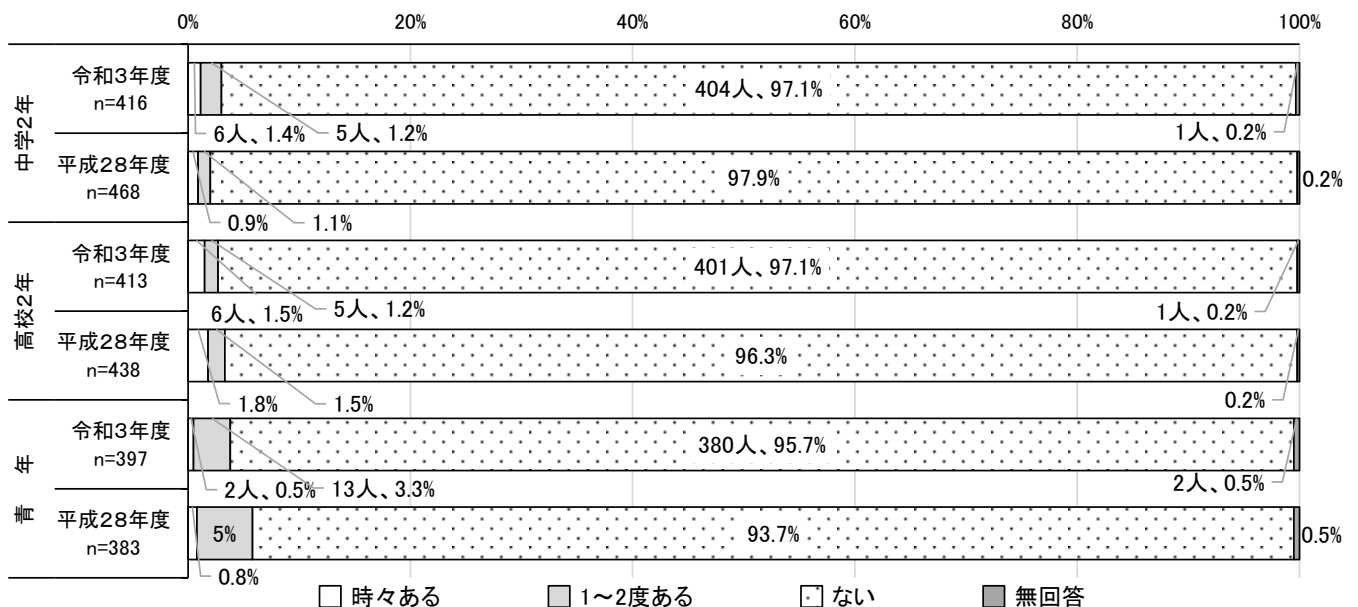


(ス) 出会い系サイト・アプリを使ったことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

全ての年代で95%以上が「ない」と回答している。

【図表】

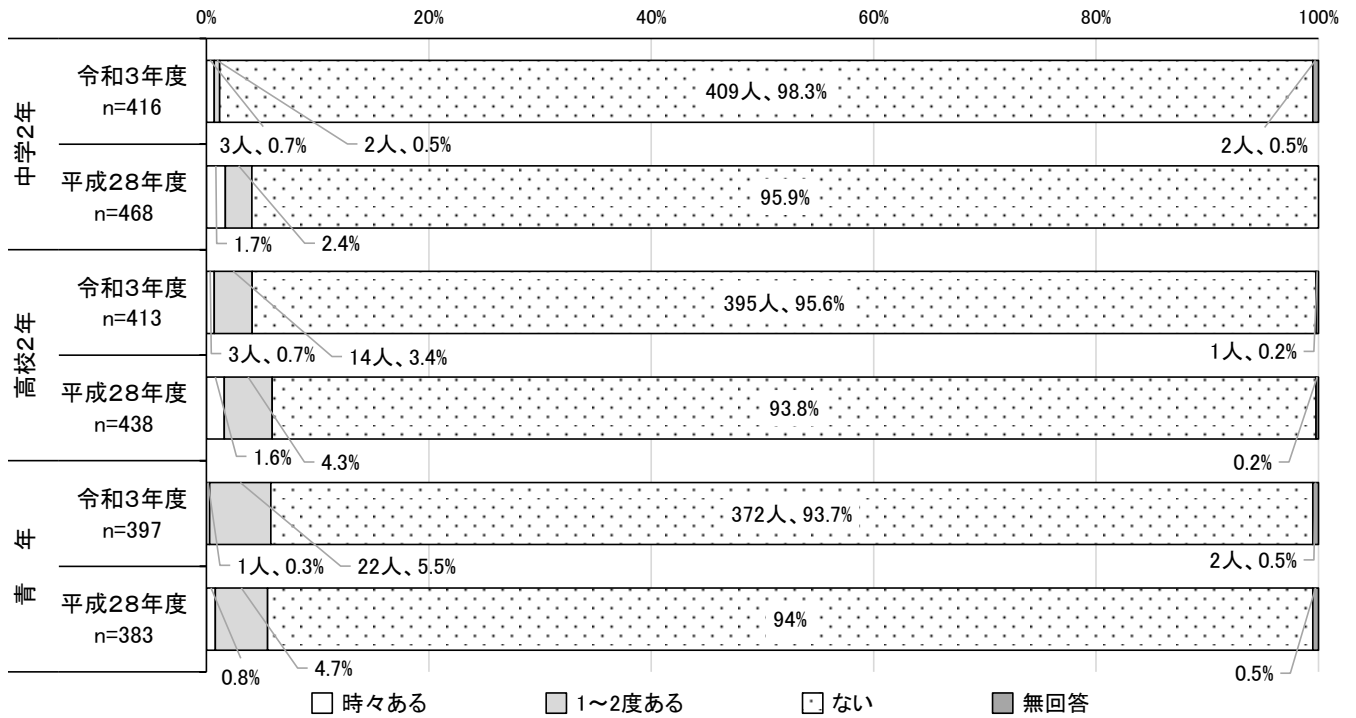


(セ) SNS、掲示板などインターネット上で他人の悪口などの書き込みをしたことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

全ての年代で9割以上が「ない」と回答している。「時々ある」と「1～2度ある」を合わせた割合は、青年が5.8%で最も高い。

【図表】

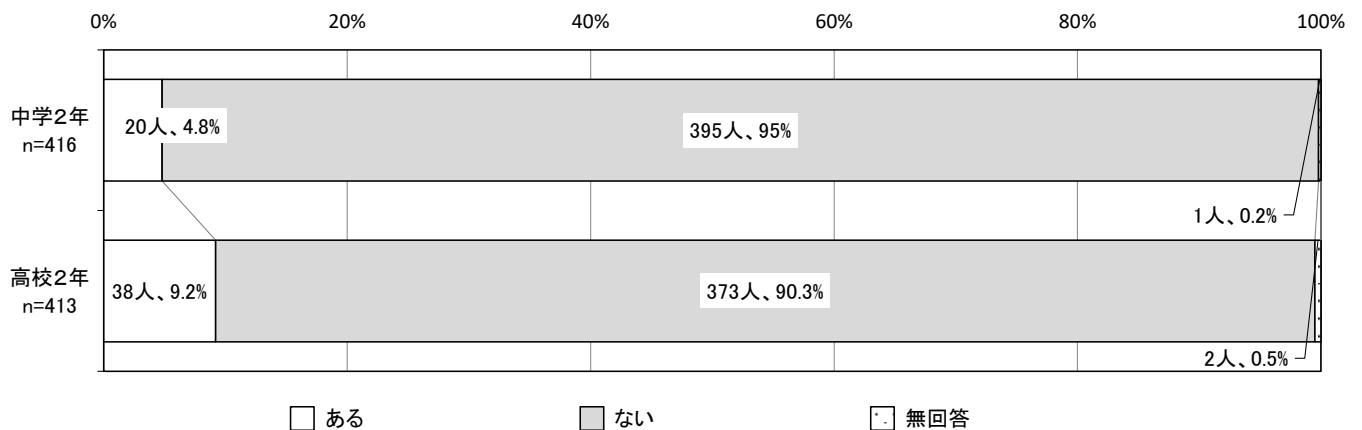


(ソ) SNSで知り合った人に会ったことがある（調査対象：中2、高2）（R3：新規設問）

【集計結果の概要】

中2、高2とも9割以上が「ない」と回答しているが、「ある」の割合が高2は中2に比べて4%あまり高くなっている。

【図表】



イ 非行等

問 あなたは、最近1年ぐらいの間に(※)以下の(ア)から(コ)までのことについて、したことがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

(※) 青年の間は「18歳(高校卒業)までに」。

(※) 青年の回答は「よくあった」「時々あった」の合計数を「ある」に計上した。

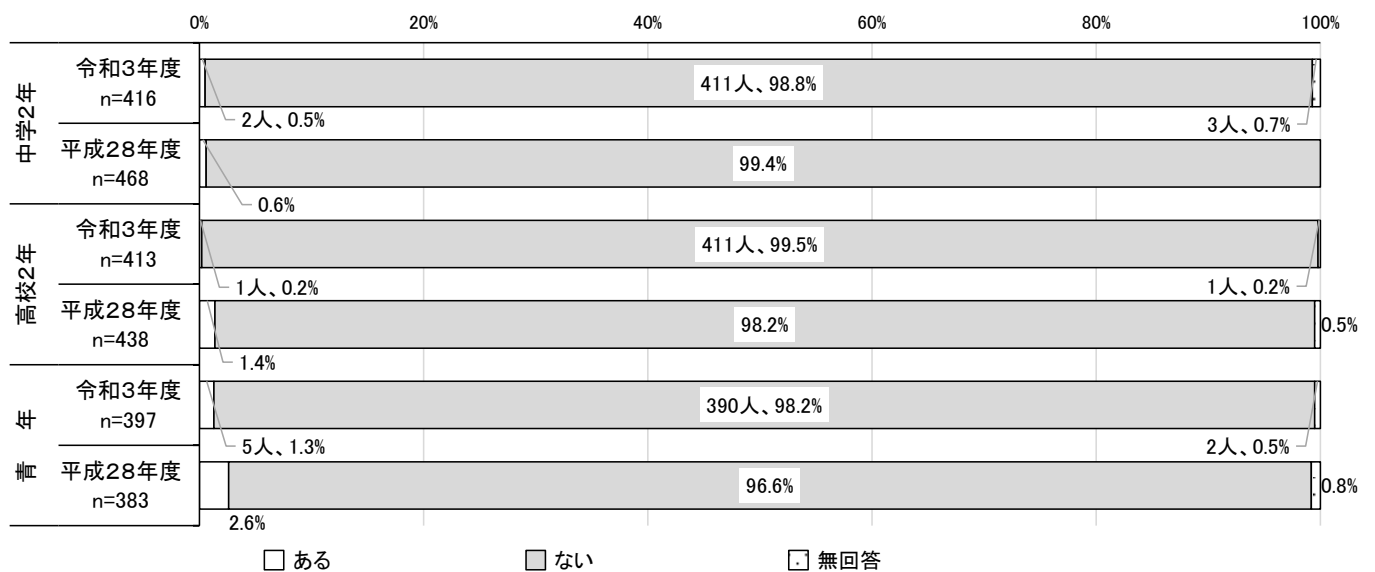
(ア) 他人の自転車やオートバイを無断で乗りまわしたことがある(調査対象：中2、高2、青年)

【集計結果の概要】

全ての年代において98%以上が「ない」と回答している。

平成28年度調査と比較すると、横ばいの結果であった。

【図表】

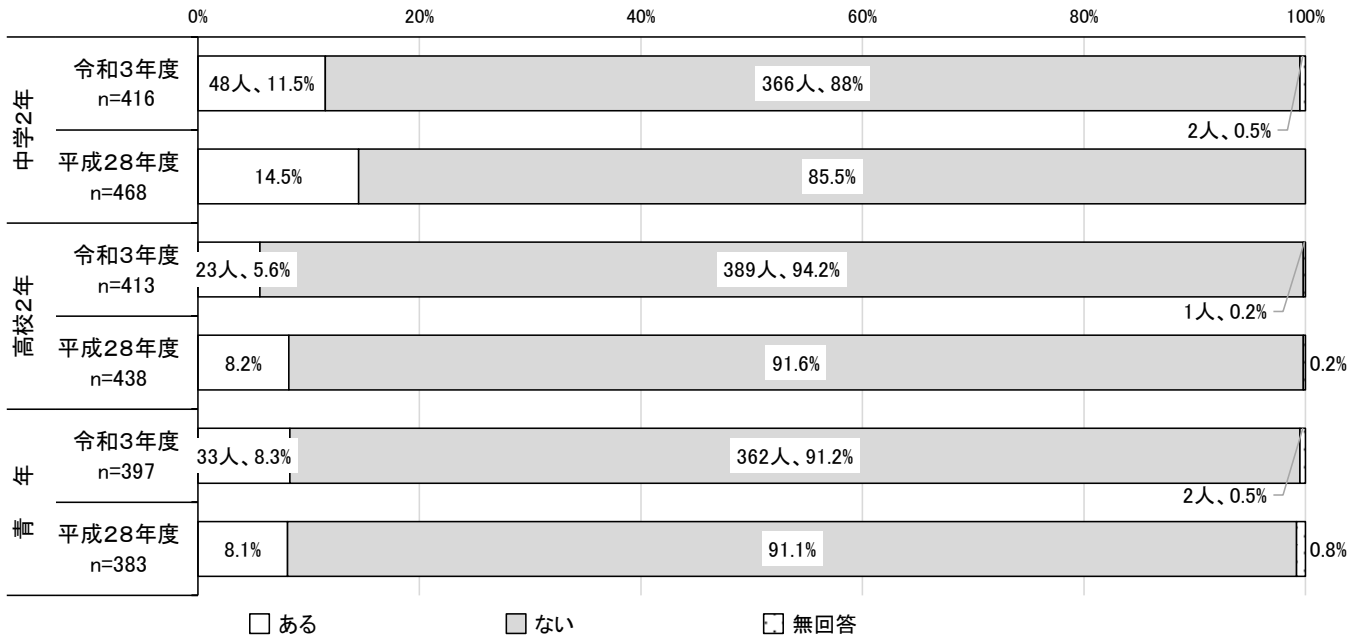


(イ) けんかをして、人を殴ったことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

「ない」と回答した人の割合が9割弱から9割を占めている。年代別に見ると「ある」の回答が最も多いのは中学2年（11.5%）であり、青年（8.3%）、高校2年（5.6%）と続いている。
平成28年度調査と比較すると、中学2年、高校2年では「ある」の割合が減少している。

【図表】

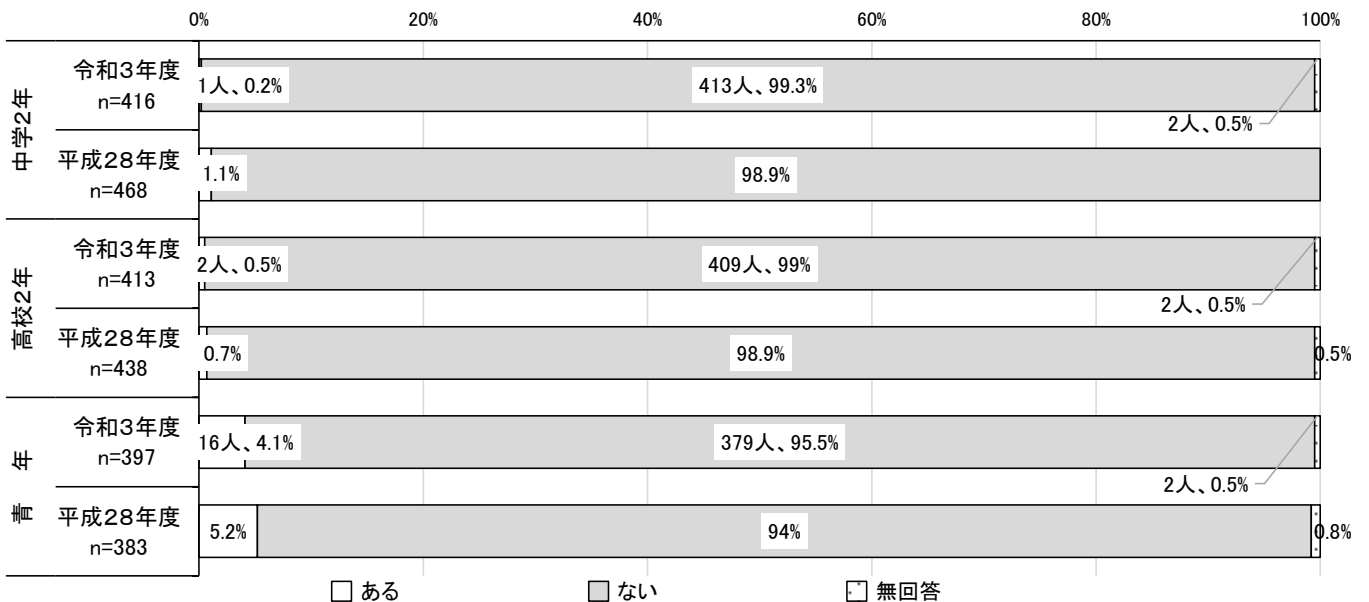


(ウ) 店の品物をお金を払わずに持って出たことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

中学2年と高校2年の99%程度が「ない」と回答している。
平成28年度調査と比較すると、全ての年代で「ある」と回答した割合が減少している。

【図表】

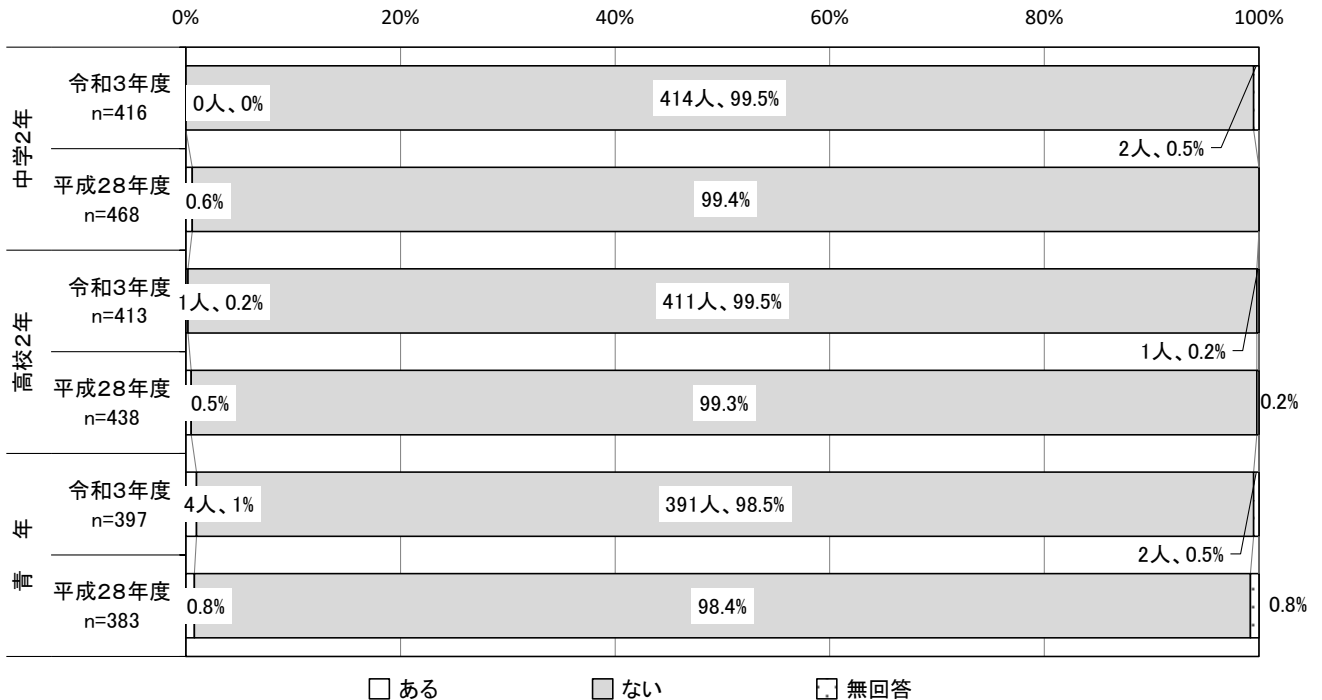


(工) むりやり人からお金や品物を取り上げたことがある (調査対象：中2、高2、青年)

【集計結果の概要】

全ての年代において99%前後が「ない」と回答しており、平成28年度調査と比較しても横ばいの結果であった。

【図表】

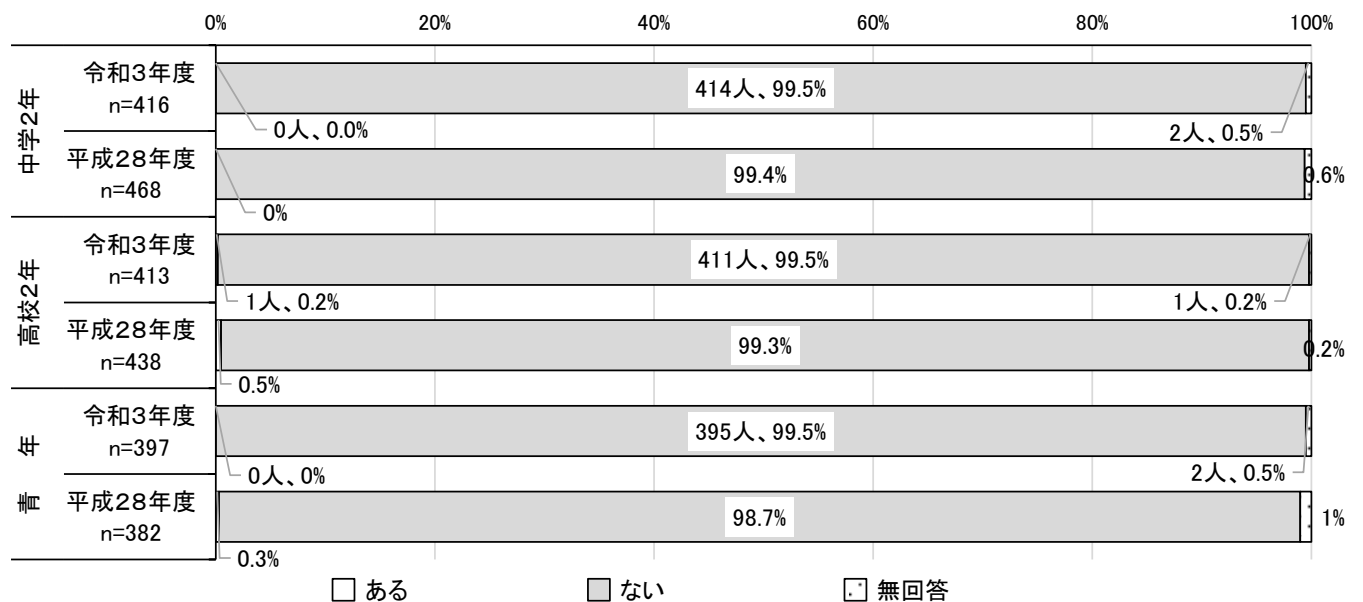


(オ) 大麻・覚醒剤・危険ドラッグなどの違法薬物を使ったことがある (調査対象：中2、高2、青年)

【集計結果の概要】

全ての年代において、99%以上が「ない」と回答しており、平成28年度調査と比較して「ない」の割合が微増している。

【図表】



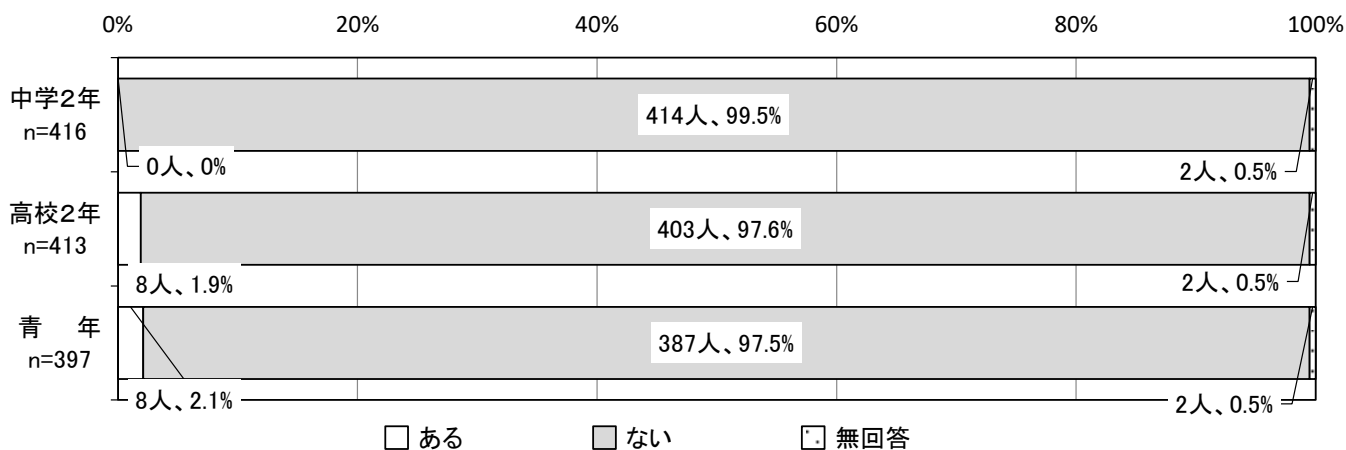
(力) 市販されている薬を本来の用途と異なる目的で使用したことがある (調査対象：中2、高2、青年)

(R3：新規設問)

【集計結果の概要】

中学2年の99%以上、高校2年、青年の97%以上が「ない」と回答している。「ある」と回答した割合は年代が上がるにつれて増加している。

【図表】



(キ) あなたは、違法薬物についてどのように考えますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(調査対象：中2、高2、青年)

【集計結果の概要】

「少し興味がある」、「大いに興味がある」と回答した割合は、中学2で1.9%、高校2年で0.9%、青年で1.3%であった。

平成28年度調査と比較すると、全ての年代において「よく知らない」の割合が減少し、「怖さをよく理解しているため、使用しない」の割合が増加している。

【図表】

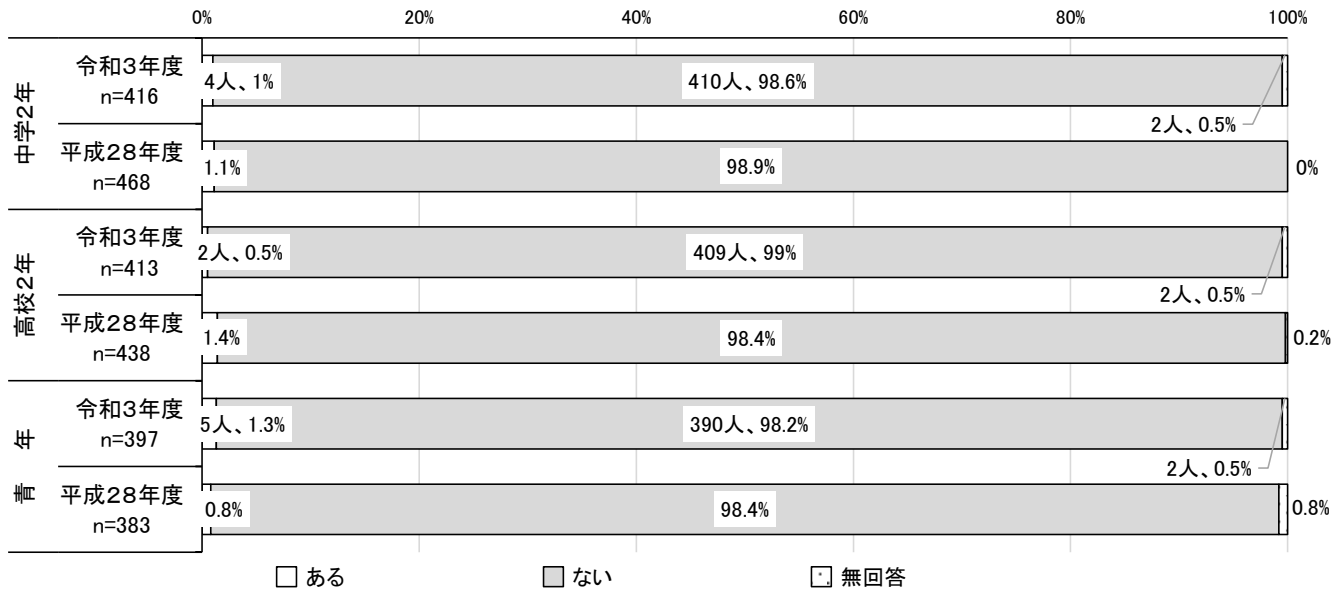
選択肢	令和3年度						平成28年度		
	中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		青年(n=397)		中学2年 (n=465)	高校2年 (n=437)	青年 (n=381)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
怖さをよく理解しているため、使用しない	266	63.9	286	69.2	251	63.2	56.6	66.6	61.4
よく知らない	26	6.3	24	5.8	25	6.3	12.7	8.9	8.7
知っているが全く興味がない	112	26.9	97	23.5	115	29.0	28.8	21.7	28.1
少し興味がある	5	1.2	3	0.7	4	1.0	0.6	1.6	0.8
大いに興味がある	3	0.7	1	0.2	1	0.3	0.9	0.9	0.0
無回答	4	1.0	2	0.5	1	0.3	0.4	0.2	1.0

(ク) ファッションや護身のためにナイフを持ち歩いたことがある（調査対象：中2、高2、青年）

【集計結果の概要】

全ての年代において98%以上が「ない」と回答しており、平成28年度調査と比較しても横ばいの結果であった。

【図表】



(ケ) 一方的に暴力を振るったことがある（調査対象：中2、高2、青年）

（参考）平成28年度調査の質問内容

頭の中が真っ白になって暴力を振るったことがある（調査対象：中2、高2、青年）

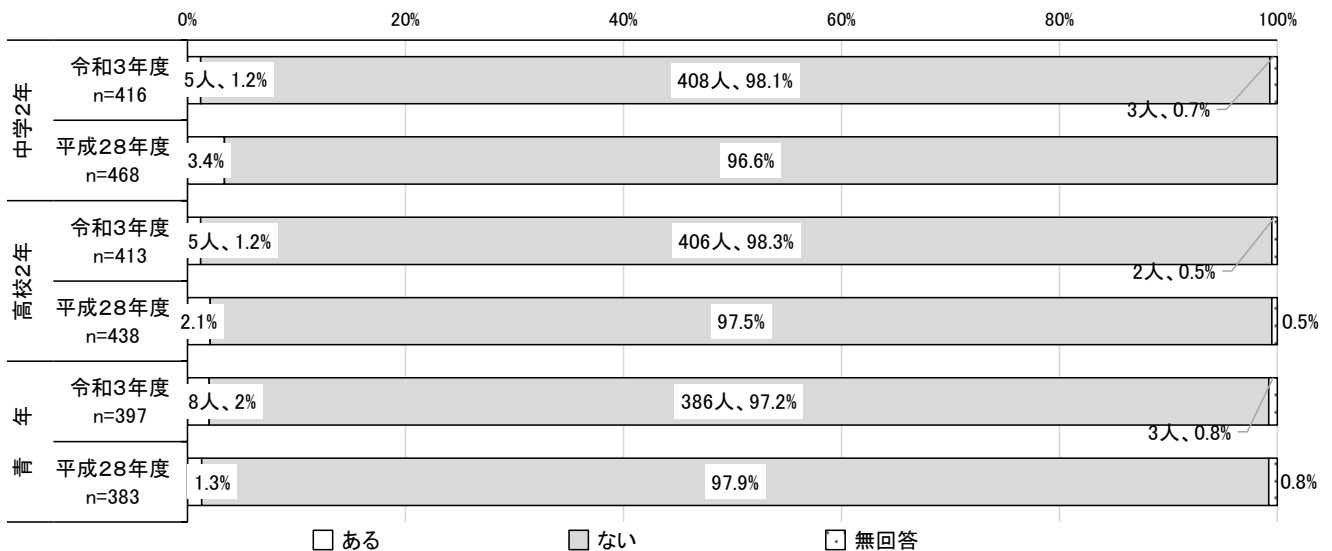
※令和3年度調査は表現を変更している。

【集計結果の概要】

全ての年代で97%以上が「ない」と回答している。「ある」の割合が最も高かったのは青年（2.0%）であり、中学2年、高校2年は1.2%であった。

平成28年度調査と比較すると、青年のみ「ある」の割合が増加している。

【図表】

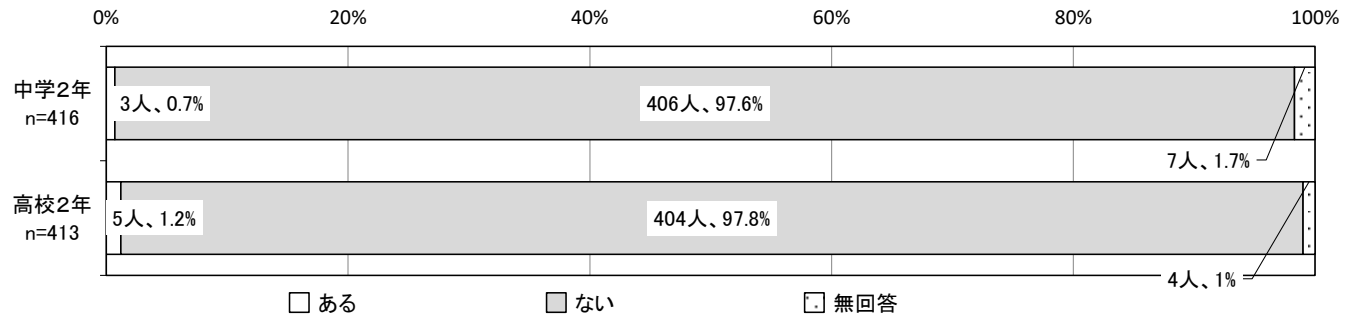


(コ) 誰かに下着姿や裸の写真等の画像を求めたことがある (調査対象：中2、高2) (R3：新規設問)

【集計結果の概要】

中学2年、高校2年において97%以上が「ない」と回答している。

【図表】



ウ 恋愛（交際）関係にある者との行動

問 恋愛（交際）関係について、今のあなた自身の年齢で（※）、してもよいと思うものをすべて選んで○をつけてください。

（※）青年の間は「高校生の年齢で」。

【集計結果の概要】

「キスをする」を選んだ割合は中学2年では約3割、高校2年では約6割であった。また、「性関係を持つ」を選んだのは高校2年の23.0%であった。

平成28年度調査と比較すると、全ての項目で高校2年が自身の年齢でもよいと思う割合が減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度						平成28年度		
	中学2年(n=416)		高校2年(n=413)		青年(n=397)		中学2年 (n=468)	高校2年 (n=402)	青年 (n=383)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
二人で散歩したり登下校したりする	327	78.6	350	84.7	352	88.7	72.2	90.8	85.9
二人でファストフード店等の飲食店や映画館に行く	237	57.0	344	83.3	346	87.2	54.3	89.6	84.9
相手の家に行ったり自分の家に呼んだりする	248	59.6	309	74.8	313	78.8	50.2	82.8	77.8
相手の部屋や自分の部屋で二人だけで過ごす	193	46.4	276	66.8	289	72.8	35.5	75.1	73.9
手を握る	272	65.4	331	80.1	333	83.9	59.8	85.6	83.8
肩を抱く	189	45.4	276	66.8	284	71.5	31.4	74.4	71.5
抱き合う	172	41.3	277	67.1	284	71.5	29.1	71.4	69.7
キスをする	122	29.3	247	59.8	287	72.3	25	72.9	76
二人で泊りがけの旅行に行く	26	6.3	109	26.4	97	24.4	6	33.1	15.7
性的関係を持つ	28	6.7	95	23.0	153	38.5	-	29.1	35.5
どれもしてはいけない	8	1.9	4	1.0	1	0.3	2.6	1.7	0.8
分からない	65	15.6	51	12.3	25	6.3	22.6	12.9	9.1
その他	6	1.4	2	0.5	-	-	2.8	0.7	-
無回答	8	1.9	4	1.0	2	0.5	0.4	0.7	0.8

(12) 被害の経験

問 あなたは、最近1年ぐらいの間に(※)以下の(ア)から(エ)までのことについて、体験したことがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

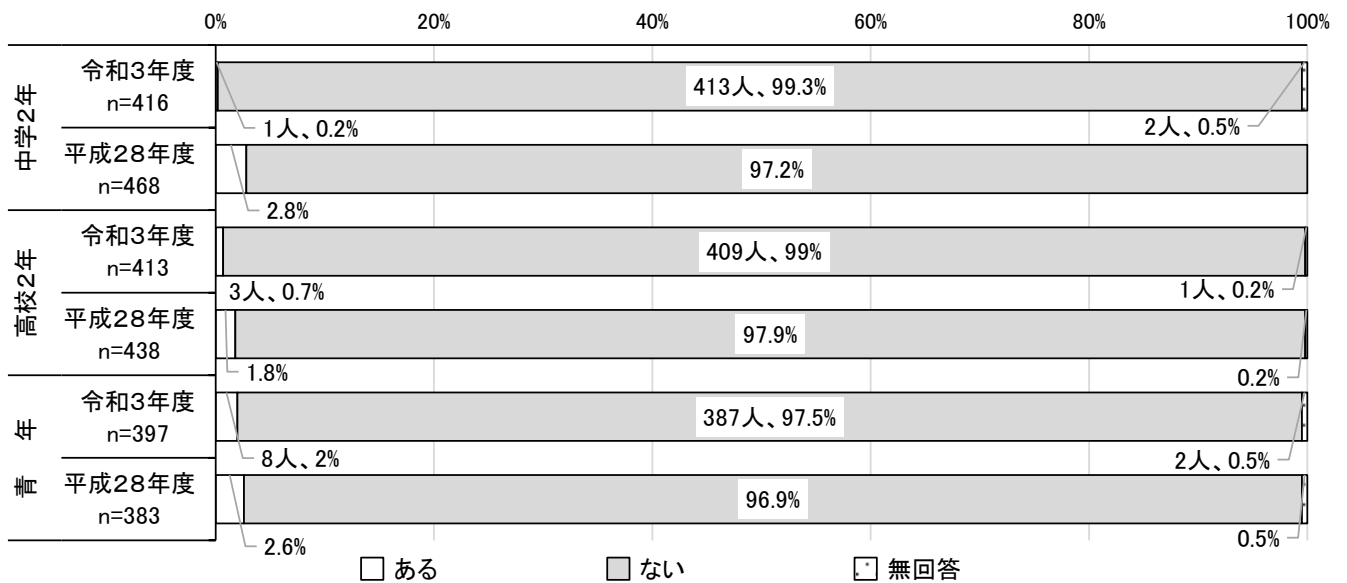
(※) 青年の間は「18歳(高校卒業)までに」。

(ア) 脅されて、お金や物をとられたことがある(調査対象：中2、高2、青年)

【集計結果の概要】

全ての年代において「ない」と回答した人の割合が97%を超えており、平成28年度調査と比較しても「ない」の割合が増加している。

【図表】



(イ) 公共の場所や乗り物の中で体を触られるなどの痴漢にあったことがある（調査対象：中2、高2、青年）

（参考）平成28年度調査の質問内容

列車や人混みの中で、痴漢にあったことがある。（調査対象：中2、高2、青年）

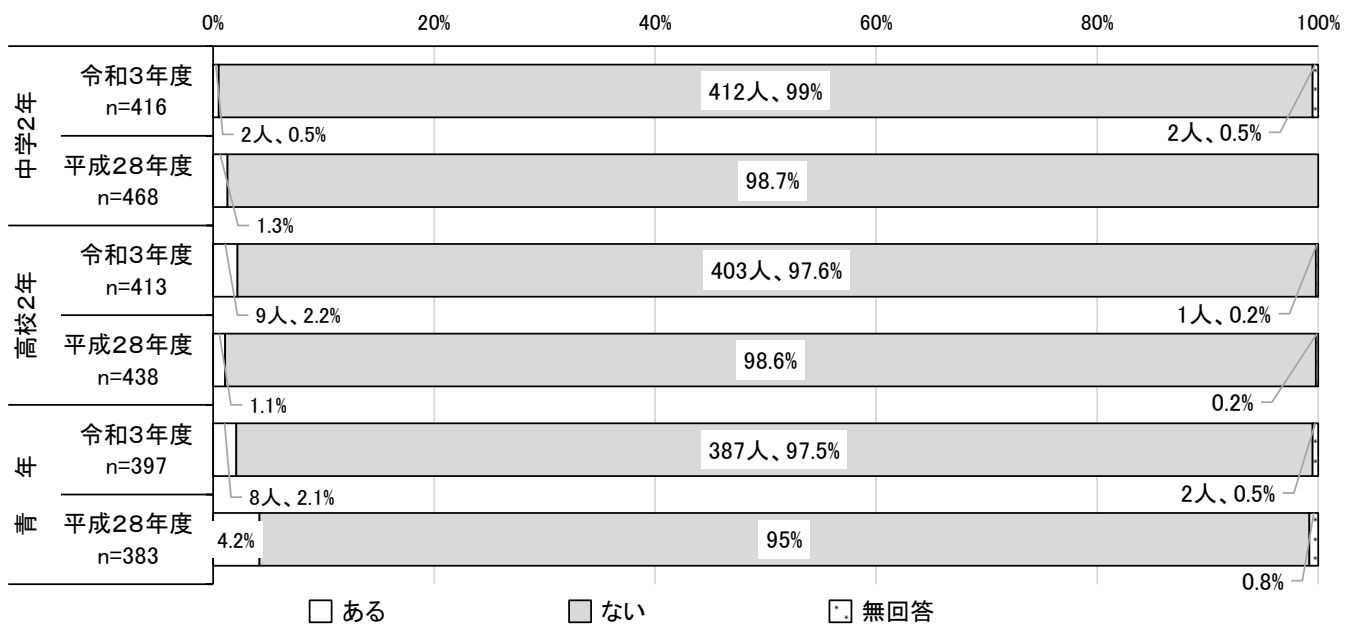
※令和3年度調査は表現を変更している。

【集計結果の概要】

全ての年代において97%以上が「ない」と回答している。「ある」と回答した割合が最も高かったのは高校2年（2.2%）であった。

平成28年度調査と比較すると、横ばいの結果であった。

【図表】

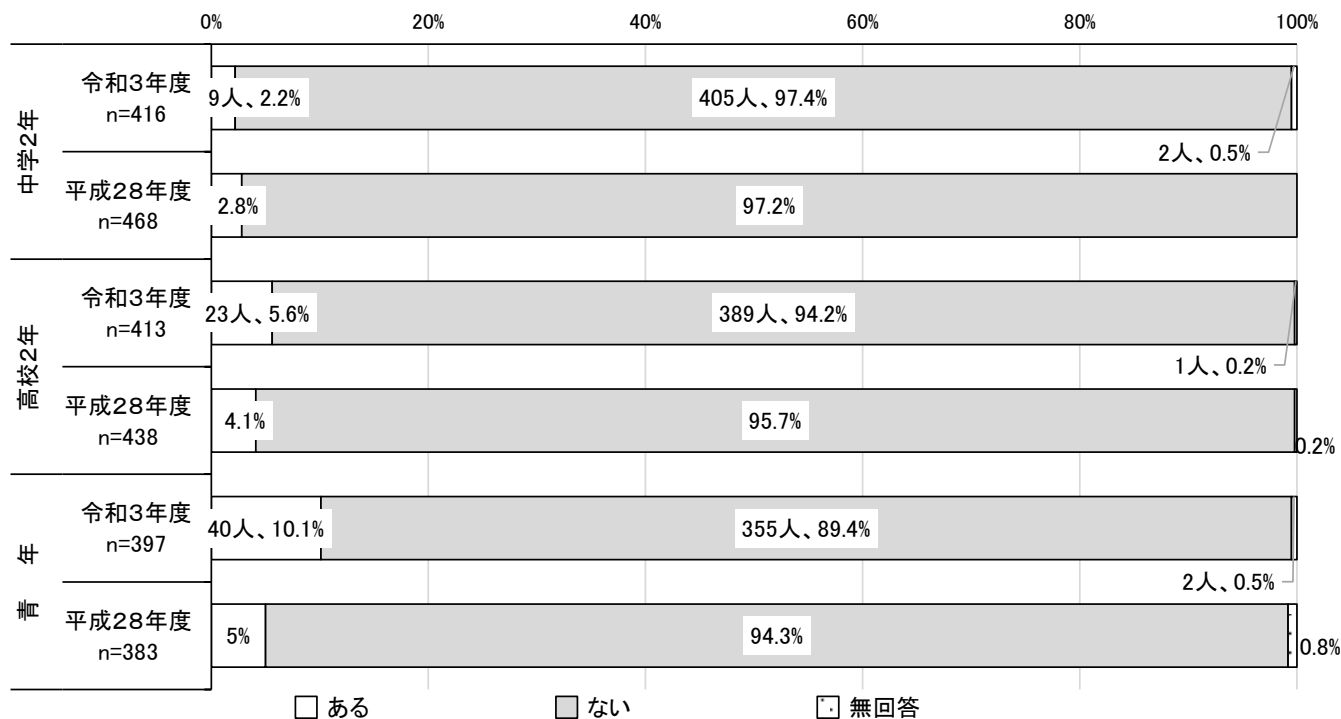


(ウ) インターネット上の掲示板などで自分の悪口などの書き込みをされたことがある(調査対象: 中2、高2、青年)

【集計結果の概要】

全ての年代で約9割が「ない」と回答している。「ある」と回答した割合が最も高かったのは青年(10.1%)であった。
 平成28年度調査と比較すると、高校2年、青年で「ある」の割合が増加している。

【図表】

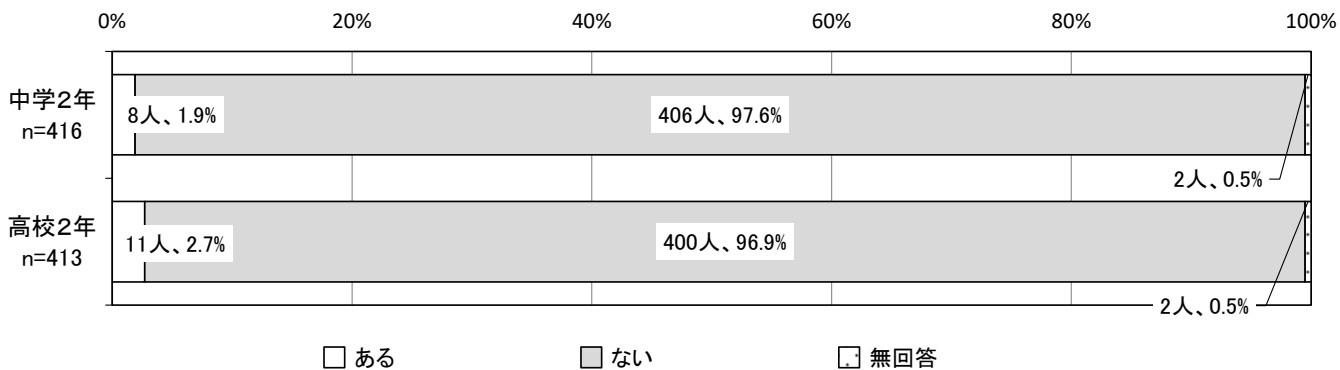


(エ) 自分で撮影した下着姿や裸の写真等を人から求められたことがある(調査対象: 中2、高2、青年)

【集計結果の概要】

「ある」と回答した割合は中学2年で1.9%、高校2年で2.7%であった。

【図表】



2 青少年について（クロス集計）

<クロス集計について>

青少年に対する質問について、2つの質問をかけあわせ、その結果を細分化、絞込みをするクロス集計を行った。

（補足）

- ・分析軸となる質問（比較元となる質問）からは、無回答者数を除いているため、単純集計結果とクロス集計結果で回答者数が異なる場合がある。
- ・集計に際しては、各質問における同区分の回答を集約した上で、細分化、絞込みを行った。
 （例）「肯定的な回答」を集約：「よくある」と「どちらかといえばある」を集約 ⇒ 「ある」
 「否定的な回答」を集約：「ほとんどない」と「ない」を集約 ⇒ 「ない」
- ・集計の細分化、絞込みにより回答者数が少なくなる場合もあるが、その場合も参考値として掲載している。

(1) 「自己肯定感」に係るクロス集計

「1 (10) ア あなたは、自分には良いところがあると思いますか」

ア 「基本的生活習慣の状況」による細分化

【集計結果の概要】

「あなたは、自分には良いところがあると思いますか」について、「ある」と回答した者は、「ない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。

- ・「朝起きる時、自分一人で起きること」、「身の回りや部屋の片づけをすること」、「家の手伝いをすること」、「家で勉強すること」
 ⇒ 「できる」又は「する」と回答した割合が全ての年代で多くみられた。

【図表】

○自己肯定感 × 基本的生活習慣の状況（1（4）（ア）－a 朝起きる時、自分一人で起きる）

	朝起きる時、自分一人で起きる											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
自己肯定感	できる	できない	無回答	できる	できない	無回答	できる	できない	無回答	できる	できない	無回答
ある	286人	104人	3人	275人	68人	4人	257人	64人	0人	265人	45人	1人
	72.8%	26.5%	0.8%	79.3%	19.6%	1.2%	80.1%	19.9%	0.0%	85.2%	14.5%	0.3%
ない	33人	18人	1人	45人	23人	1人	61人	31人	0人	74人	25人	0人
	63.5%	34.6%	1.9%	65.2%	33.3%	1.4%	66.3%	33.7%	0.0%	74.7%	25.3%	0.0%
割合差 (ポイント)	9.3	△ 8.1		14.1	△ 13.7		13.8	△ 13.8		10.5	△ 10.8	

○自己肯定感 × 基本的生活習慣の状況（1（4）（イ）－a 身の回りや部屋の片づけをする）

	身の回りや部屋の片づけをする											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
自己肯定感	する	しない	無回答	する	しない	無回答	する	しない	無回答	する	しない	無回答
ある	318人	70人	5人	253人	93人	1人	247人	73人	1人	260人	50人	1人
	80.9%	17.8%	1.3%	72.9%	26.8%	0.3%	76.9%	22.7%	0.3%	83.6%	16.1%	0.3%
ない	36人	14人	2人	41人	27人	1人	68人	23人	1人	65人	34人	0人
	69.2%	26.9%	3.8%	59.4%	39.1%	1.4%	73.9%	25.0%	1.1%	65.7%	34.3%	0.0%
割合差 (ポイント)	11.7	△ 9.1		13.5	△ 12.3		3.0	△ 2.3		17.9	△ 18.2	

○自己肯定感 × 基本的な生活習慣の状況（1（4）（ウ）－a 家の手伝いをする）

	家の手伝いをする											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
自己肯定感	する	しない	無回答	する	しない	無回答	する	しない	無回答	する	しない	無回答
ある	296人	92人	5人	274人	71人	2人	234人	87人	0人	224人	86人	1人
	75.3%	23.4%	1.3%	79.0%	20.5%	0.6%	72.9%	27.1%	0.0%	72.0%	27.7%	0.3%
ない	33人	18人	1人	50人	19人	0人	52人	38人	2人	66人	33人	0人
	63.5%	34.6%	1.9%	72.5%	27.5%	0.0%	56.5%	41.3%	2.2%	66.7%	33.3%	0.0%
割合差 (ポイント)	11.8	△ 11.2		6.5	△ 7.0		16.4	△ 14.2		5.3	△ 5.6	

○自己肯定感 × 基本的な生活習慣の状況（1（4）（キ）－a 家で勉強する）

	家で勉強する											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
自己肯定感	する	しない	無回答	する	しない	無回答	する	しない	無回答	する	しない	無回答
ある	352人	36人	5人	332人	12人	3人	258人	61人	2人	198人	112人	1人
	89.6%	9.2%	1.3%	95.7%	3.5%	0.9%	80.4%	19.0%	0.6%	63.7%	36.0%	0.3%
ない	41人	10人	1人	57人	12人	0人	61人	30人	1人	57人	42人	0人
	78.8%	19.2%	1.9%	82.6%	17.4%	0.0%	66.3%	32.6%	1.1%	57.6%	42.4%	0.0%
割合差 (ポイント)	10.8	△ 10.0		13.1	△ 13.9		14.1	△ 13.6		6.1	△ 6.4	

イ 「心の状態」による細分化

【集計結果の概要】

「あなたは、自分には良いところがあると思いますか」について、「ある」と回答した者は、「ない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。

- ・「不安等」
⇒ 「ある」と回答した割合が小学2年、小学5年で少なく、中学2年、高校2年で多くみられた。
- ・「疲労」、「悩み」⇒ 「ある」と回答した割合が全ての年代で少ない傾向がみられた。
- ・「自死を考えた経験（死にたいと思ったことがある）」
⇒ 「ある」と回答した割合が中学2年、高校2年で少ない傾向がみられた。

【図表】

○自己肯定感 × 不安等（1（10）イ あなたは、いろいろな事、おこりっぽくなったりすることがありますか）

	不安等											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
自己肯定感	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	271人	118人	4人	278人	67人	2人	235人	85人	1人	232人	78人	1人
	69.0%	30.0%	1.0%	80.1%	19.3%	0.6%	73.2%	26.5%	0.3%	74.6%	25.1%	0.3%
ない	38人	14人	0人	59人	10人	0人	65人	27人	0人	71人	28人	0人
	73.1%	26.9%	0.0%	85.5%	14.5%	0.0%	70.7%	29.3%	0.0%	71.7%	28.3%	0.0%
割合差 (ポイント)	△ 4.1	3.1		△ 5.4	4.8		2.5	△ 2.8		2.9	△ 3.2	

○自己肯定感 × 疲労（1（10）ウ あなたは、いつも疲れた感じがしますか）

	疲労											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
自己肯定感	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	120人	269人	4人	231人	115人	1人	254人	67人	0人	265人	45人	1人
	30.5%	68.4%	1.0%	66.6%	33.1%	0.3%	79.1%	20.9%	0.0%	85.2%	14.5%	0.3%
ない	24人	28人	0人	50人	18人	1人	77人	15人	0人	90人	9人	0人
	46.2%	53.8%	0.0%	72.5%	26.1%	1.4%	83.7%	16.3%	0.0%	90.9%	9.1%	0.0%
割合差 (ポイント)	△ 15.7	14.6		△ 5.9	7.0		△ 4.6	4.6		△ 5.7	5.4	

○自己肯定感 × 悩み (1 (10) エ あなたは、悩みや心配なことがありますか)

自己肯定感	悩み											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	122人 31.0%	269人 68.4%	2人 0.5%	112人 32.3	234人 67.4	1人 0.3	144人 44.9	176人 54.8	1人 0.3	172人 55.3	139人 44.7	0人 0
ない	23人 44.2%	29人 55.8%	0人 0.0%	42人 60.9	26人 37.7	1人 1.4	61人 66.3	31人 33.7	0人 0	68人 68.7	31人 31.3	0人 0
割合差 (ポイント)	△ 13.2	12.6		△ 28.6	29.7		△ 21.4	21.1		△ 13.4	13.4	

○自己肯定感 × 自死を考えた経験 (1 (10) ク あなたは、最近1年ぐらいの間に「死にたいと思ったこと」がありますか)

自己肯定感	自死を考えた経験					
	中学2年			高校2年		
	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	89人 27.7%	230人 71.7%	2人 0.6%	82人 26.4%	228人 73.3%	1人 0.3%
ない	50人 54.3%	41人 44.6%	1人 1.1%	49人 49.5%	48人 48.5%	2人 2.0%
割合差 (ポイント)	△ 26.6	27.1		△ 23.1	24.8	

ウ 「家族・家庭」、「学校生活」による細分化

【集計結果の概要】

「あなたは、自分には良いところがあると思いますか」について、「ある」と回答した者は、「ない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。

- ・「家庭生活（満足度）」⇒「満足」と回答した割合が、全ての年代で多くみられた。
- ・「学校生活（満足度）」⇒「満足」と回答した割合が、全ての年代で多くみられた。

【図表】

○自己肯定感 × 家庭生活（満足度）(1 (2) ウ あなたは、家庭での生活に満足していますか)

自己肯定感	家庭生活(満足度)											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答
ある	364人 92.6%	22人 5.6%	7人 1.8%	326人 93.9%	20人 5.8%	1人 0.3%	288人 89.7%	31人 9.7%	2人 0.6%	286人 92.0%	25人 8.0%	0人 0.0%
ない	44人 84.6%	7人 13.5%	1人 1.9%	57人 82.6%	10人 14.5%	2人 2.9%	66人 71.7%	26人 28.3%	0人 0.0%	70人 70.7%	28人 28.3%	1人 1.0%
割合差 (ポイント)	8.0	△ 7.9		11.3	△ 8.7		18.0	△ 18.6		21.3	△ 20.3	

○自己肯定感 × 学校生活（満足度）(1 (7) ア あなたは、学校生活に満足していますか)

自己肯定感	学校生活(満足度)											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答
ある	364人 92.6%	19人 4.8%	10人 2.5%	315人 90.8%	26人 7.5%	6人 1.7%	280人 87.2%	37人 11.5%	4人 1.2%	259人 83.3%	51人 16.4%	1人 0.3%
ない	40人 76.9%	11人 21.2%	1人 1.9%	40人 58.0%	27人 39.1%	2人 2.9%	59人 64.1%	30人 32.6%	3人 3.3%	58人 58.6%	41人 41.4%	0人 0.0%
割合差 (ポイント)	15.7	△ 16.4		32.8	△ 31.6		23.1	△ 21.1		24.7	△ 25.0	

(2) 「地域活動への参加状況」に係るクロス集計

「1 (9) ア 地域の活動の中で、この1年間にあなたが参加したものはどれですか」

※集計に際しては、「地域活動への参加状況」における回答者を「参加」、「不参加」に分類し、細分化を行った。

- ・参加：「祭り」、「一斉清掃などの活動」、「公民館の活動」、「地域のスポーツ活動」、「青少年団体の活動」等のいずれかに参加したと回答した者。
- ・不参加：「参加したことはない」と回答した者。

「自己肯定感」による細分化

【集計結果の概要】

「地域活動への参加状況」について、「参加」している者は、「不参加」の者に比べ、次の傾向がみられた。

- ・「あなたは、自分には良いところがあると思いますか」⇒「ある」と回答した割合が、中学2年で少なく、小学5年、高校2年で多くみられた。

【図表】

○地域活動への参加状況 × 自己肯定感 (1 (10) ア あなたは、自分には良いところがあると思いますか)

地域活動への参加状況	自己肯定感								
	小学5年			中学2年			高校2年		
	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
参加	277人	48人	3人	163人	51人	1人	113人	29人	0人
	84.5%	14.6%	0.9%	75.8%	23.7%	0.5%	79.6%	20.4%	0.0%
不参加	61人	15人	1人	150人	41人	2人	192人	68人	2人
	79.2%	19.5%	1.3%	77.7%	21.2%	1.0%	73.3%	26.0%	0.8%
割合差 (ポイント)	5.3	△ 4.9		△ 1.9	2.5		6.3	△ 5.6	

(3) 「青年の体験的活動の経験 (調査対象：青年)」に係るクロス集計

- ・「1 (9) ケ (ア) あなたは、18歳 (高校卒業) までに海、山、湖、川で遊んだことがありますか。」
- ・「1 (9) ケ (カ) あなたは、18歳 (高校卒業) までに大勢の友達と集団で遊んだことがありますか。」

「自己肯定感」による細分化

【集計結果の概要】

- 「青年の体験的活動の経験」(海、山、湖、川で遊んだこと) について、「ある」と回答した者は、「ない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。
 - ・「あなたは、自分には良いところがあると思いますか」⇒「ある」と回答した割合が多くみられた。
- 「青年の体験的活動の経験」(大勢の友達と集団で遊んだこと) について、「ある」と回答した者は、「ない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。
 - ・「あなたは、自分には良いところがあると思いますか」⇒「ある」と回答した割合が多くみられた。

【図表】

○海、山、湖、川で遊んだこと × 自己肯定感 (1 (10) ア あなたは、自分には良いところがあると思いますか)

海、山、湖、川で遊んだこと	自己肯定感		
	ある	ない	無回答
ある	260人	52人	0人
	83.3%	16.7%	0.0%
ない	58人	22人	2人
	70.7%	26.8%	2.4%
割合差 (ポイント)	12.6	△ 10.1	

○大勢の友達と集団で遊んだこと × 自己肯定感 (1 (10) ア あなたは、自分には良いところがあると思いますか)

大勢の友達と集団で遊んだこと	自己肯定感		
	ある	ない	無回答
ある	267人	45人	1人
	85.3%	14.4%	0.3%
ない	51人	29人	1人
	63.0%	35.8%	1.2%
割合差 (ポイント)	22.3	△ 21.4	

(4) 「インターネットの利用時間」に係るクロス集計

「1 (6) ウ あなたは、一日平均どれくらいの時間インターネットを利用していますか」

ア 「心の状態」による細分化

【集計結果の概要】

「インターネットの利用時間」で利用時間が長い回答者には、次の傾向がみられた。

・「自己肯定感（あなたは、自分には良いところがあると思いますか）」

⇒小学5年で「利用時間：3時間以上4時間未満（62.0%）」、「利用時間：4時間以上（67.7%）」、
 中学2年で「利用時間：4時間以上（67.1%）」、高校2年で「利用時間：4時間以上（63.8%）」
 の場合、「あなたは、自分には良いところがあると思いますか」が「ある」と回答した割合が
 少ない傾向がみられた。

・「不安等」、「疲労」、「悩み」

⇒一定の傾向はみられなかった。

・「自死を考えた経験（死にたいと思ったことがある）」

⇒中学2年で「利用時間：3時間以上4時間未満（45.5%）」、「利用時間：4時間以上（46.0%）」、
 高校2年で「利用時間：4時間以上（44.0%）」の場合、「死にたいと思ったことがある」が「あ
 る」と回答した割合が多くみられた。

【図表】

○インターネットの利用時間 × 自己肯定感（1 (10) ア あなたは、自分には良いところがあると思
 いますか）

インターネットの 利用時間	自己肯定感								
	小学5年			中学2年			高校2年		
	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
30分未満	25人 86.2%	4人 13.7%	0人 0.0%	5人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
30分以上 1時間未満	59人 84.3%	9人 12.8%	2人 2.9%	29人 82.9%	6人 17.2%	0人 0.0%	5人 71.5%	2人 28.6%	0人 0.0%
1時間以上 2時間未満	87人 82.9%	18人 17.2%	0人 0.0%	56人 82.3%	12人 17.7%	0人 0.0%	38人 77.5%	11人 22.5%	0人 0.0%
2時間以上 3時間未満	48人 92.3%	4人 7.7%	0人 0.0%	58人 76.3%	16人 21.1%	2人 2.6%	57人 79.2%	15人 20.8%	0人 0.0%
3時間以上 4時間未満	18人 62.0%	9人 31.0%	2人 6.9%	36人 81.9%	8人 18.2%	0人 0.0%	31人 77.5%	9人 22.5%	0人 0.0%
4時間以上	23人 67.7%	11人 32.3%	0人 0.0%	51人 67.1%	25人 32.9%	0人 0.0%	58人 63.8%	32人 35.2%	1人 1.1%

○インターネットの利用時間 × 不安等（1 (10) イ あなたは、いろいろしたり、おこりっぽくなっ
 たりすることがありますか）

インターネットの 利用時間	不安等								
	小学5年			中学2年			高校2年		
	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
30分未満	21人 72.4%	7人 24.1%	1人 3.4%	4人 80.0%	1人 20.0%	0人 0.0%	2人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
30分以上 1時間未満	50人 71.5%	20人 28.6%	0人 0.0%	23人 65.7%	12人 34.3%	0人 0.0%	5人 71.5%	2人 28.6%	0人 0.0%
1時間以上 2時間未満	86人 81.9%	18人 17.2%	1人 1.0%	49人 72.0%	19人 28.0%	0人 0.0%	36人 73.5%	13人 26.5%	0人 0.0%
2時間以上 3時間未満	42人 80.8%	10人 19.2%	0人 0.0%	52人 68.4%	22人 29.0%	2人 2.6%	52人 72.2%	20人 27.8%	0人 0.0%
3時間以上 4時間未満	25人 86.2%	4人 13.8%	0人 0.0%	33人 75.0%	11人 25.0%	0人 0.0%	28人 70.0%	11人 27.5%	1人 2.5%
4時間以上	27人 79.4%	7人 20.5%	0人 0.0%	61人 80.2%	15人 19.8%	0人 0.0%	73人 80.2%	18人 19.8%	0人 0.0%

○インターネットの利用時間 × 疲労（1（10）ウ あなたは、いつも疲れた感じがしますか）

インターネットの利用時間	疲労								
	小学5年			中学2年			高校2年		
	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
30分未満	19人 65.5%	10人 34.4%	0人 0.0%	5人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
30分以上 1時間未満	40人 57.1%	30人 42.9%	0人 0.0%	21人 60.0%	14人 40.0%	0人 0.0%	6人 85.7%	1人 14.3%	0人 0.0%
1時間以上 2時間未満	69人 65.7%	35人 33.4%	1人 1.0%	53人 77.9%	15人 22.0%	0人 0.0%	40人 81.7%	8人 16.3%	1人 2.0%
2時間以上 3時間未満	39人 75.0%	13人 25.0%	0人 0.0%	60人 78.9%	16人 21.0%	0人 0.0%	63人 87.5%	9人 12.5%	0人 0.0%
3時間以上 4時間未満	20人 69.0%	9人 31.0%	0人 0.0%	39人 88.7%	5人 11.4%	0人 0.0%	35人 87.5%	5人 12.5%	0人 0.0%
4時間以上	26人 76.5%	7人 20.6%	1人 2.9%	67人 88.2%	9人 11.8%	0人 0.0%	82人 90.2%	9人 9.9%	0人 0.0%

○インターネットの利用時間 × 悩み（1（10）エ あなたは、悩みや心配なことがありますか）

インターネットの利用時間	悩み								
	小学5年			中学2年			高校2年		
	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
30分未満	13人 44.8%	16人 55.2%	0人 0.0%	1人 20.0%	4人 80.0%	0人 0.0%	2人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
30分以上 1時間未満	22人 31.4%	47人 67.1%	1人 1.4%	20人 57.1%	15人 42.9%	0人 0.0%	6人 85.7%	1人 14.3%	0人 0.0%
1時間以上 2時間未満	34人 32.4%	70人 66.7%	1人 1.0%	39人 57.4%	29人 42.6%	0人 0.0%	35人 71.4%	14人 28.6%	0人 0.0%
2時間以上 3時間未満	17人 32.7%	35人 67.3%	0人 0.0%	35人 46.1%	41人 53.9%	0人 0.0%	36人 50.0%	36人 50.0%	0人 0.0%
3時間以上 4時間未満	19人 65.5%	10人 34.5%	0人 0.0%	23人 52.3%	21人 47.7%	0人 0.0%	23人 57.5%	17人 42.5%	0人 0.0%
4時間以上	12人 35.3%	22人 64.7%	0人 0.0%	39人 51.3%	36人 47.4%	1人 1.3%	57人 62.6%	34人 37.4%	0人 0.0%

○インターネットの利用時間 × 自死を考えた経験（1（10）ク あなたは、最近1年ぐらいの間に「死にたいと思ったこと」がありますか）

インターネットの利用時間	自死を考えた経験					
	中学2年			高校2年		
	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
30分未満	2人 40.0%	3人 60.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 100.0%	0人 0.0%
30分以上 1時間未満	9人 25.7%	26人 74.3%	0人 0.0%	2人 28.6%	4人 57.1%	1人 14.3%
1時間以上 2時間未満	15人 22.0%	52人 76.5%	1人 1.5%	14人 28.6%	35人 71.4%	0人 0.0%
2時間以上 3時間未満	23人 30.3%	52人 68.4%	1人 1.3%	16人 22.2%	56人 77.8%	0人 0.0%
3時間以上 4時間未満	20人 45.5%	24人 54.5%	0人 0.0%	11人 27.5%	29人 72.5%	0人 0.0%
4時間以上	35人 46.0%	40人 52.6%	1人 1.3%	40人 44.0%	51人 56.0%	0人 0.0%

イ 「家族・家庭」、「学校生活」による細分化

【集計結果の概要】

「インターネットの利用時間」で利用時間が長い回答者には、次の傾向がみられた。

・「家庭生活（満足度）」

⇒中学2年で「利用時間：4時間以上（76.3%）」、高校2年で「利用時間：4時間以上（77.0%）」の場合、「満足」と回答した割合が少ない傾向がみられた。

・「学校生活（満足度）」

⇒中学2年で「利用時間：4時間以上（69.7%）」、高校2年で「利用時間：4時間以上（71.5%）」の場合、「満足」と回答した割合が少ない傾向がみられた。

・「学校へ行きたくないと思った経験」

⇒小学5年、高校2年で「利用時間：4時間以上」の場合に「ある」と回答した割合が最も多くみられた。

【図表】

○インターネットの利用時間 × 家庭生活（満足度）（1（2）ウ あなたは、家庭での生活に満足していますか）

インターネットの利用時間	家庭生活(満足度)								
	小学5年			中学2年			高校2年		
	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答
30分未満	26人 89.6%	3人 10.3%	0人 0.0%	5人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
30分以上 1時間未満	65人 92.8%	5人 7.1%	0人 0.0%	33人 94.3%	2人 5.7%	0人 0.0%	7人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
1時間以上 2時間未満	97人 92.4%	7人 6.7%	1人 1.0%	60人 88.2%	8人 11.8%	0人 0.0%	44人 89.8%	5人 10.2%	0人 0.0%
2時間以上 3時間未満	48人 92.3%	3人 5.8%	1人 1.9%	63人 82.9%	13人 17.1%	0人 0.0%	68人 94.4%	4人 5.6%	0人 0.0%
3時間以上 4時間未満	26人 89.6%	3人 10.3%	0人 0.0%	40人 91.0%	3人 6.8%	1人 2.3%	35人 87.5%	5人 12.5%	0人 0.0%
4時間以上	31人 91.1%	3人 8.8%	0人 0.0%	58人 76.3%	18人 23.7%	0人 0.0%	70人 77.0%	20人 22.0%	1人 1.1%

○インターネットの利用時間 × 学校生活（満足度）（1（7）ア あなたは、学校生活に満足していますか）

インターネットの利用時間	学校生活(満足度)								
	小学5年			中学2年			高校2年		
	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答
30分未満	23人 79.3%	5人 17.2%	1人 3.4%	4人 80.0%	1人 20.0%	0人 0.0%	2人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
30分以上 1時間未満	62人 88.6%	6人 8.5%	2人 2.9%	31人 88.5%	4人 11.5%	0人 0.0%	6人 85.7%	1人 14.3%	0人 0.0%
1時間以上 2時間未満	93人 88.6%	10人 9.5%	2人 1.9%	55人 80.8%	11人 16.2%	2人 2.9%	38人 77.6%	11人 22.4%	0人 0.0%
2時間以上 3時間未満	43人 82.7%	8人 15.4%	1人 1.9%	67人 88.2%	9人 11.8%	0人 0.0%	63人 87.5%	8人 11.1%	1人 1.4%
3時間以上 4時間未満	21人 72.4%	8人 27.5%	0人 0.0%	36人 81.8%	7人 15.9%	1人 2.3%	30人 75.0%	10人 25.0%	0人 0.0%
4時間以上	28人 82.4%	6人 17.6%	0人 0.0%	53人 69.7%	22人 28.9%	1人 1.3%	65人 71.5%	26人 28.6%	0人 0.0%

○インターネットの利用時間 × 学校へ行きたくないと思った経験（1（7）エ あなたは登校前に、「学校へ行きたくない」と思うことがありますか）

	学校へ行きたくないと思った経験								
	小学5年			中学2年			高校2年		
インターネットの利用時間	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
30分未満	13人 44.8%	16人 55.2%	0人 0.0%	4人 80.0%	1人 20.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 100.0%	0人 0.0%
30分以上～1時間未満	24人 34.3%	46人 65.7%	0人 0.0%	11人 31.5%	24人 68.6%	0人 0.0%	5人 71.5%	2人 28.6%	0人 0.0%
1時間以上～2時間未満	45人 42.8%	60人 57.2%	0人 0.0%	27人 39.7%	41人 60.3%	0人 0.0%	34人 69.4%	15人 30.6%	0人 0.0%
2時間以上～3時間未満	24人 46.2%	28人 53.8%	0人 0.0%	35人 46.1%	41人 53.9%	0人 0.0%	44人 61.1%	28人 38.9%	0人 0.0%
3時間以上～4時間未満	19人 65.5%	10人 34.5%	0人 0.0%	24人 54.5%	20人 45.4%	0人 0.0%	30人 75.0%	10人 25.0%	0人 0.0%
4時間以上	23人 67.6%	11人 32.3%	0人 0.0%	54人 71.1%	22人 28.9%	0人 0.0%	70人 77.0%	21人 23.1%	0人 0.0%

(5) 「学校へ行きたくないと思った経験」に係るクロス集計

「1（7）エ あなたは登校前に、「学校へ行きたくない」と思うことがありますか」

ア 「心の状態」による細分化

【集計結果の概要】

「学校へ行きたくないと思ったこと」について、「ある」と回答した者は、「ない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。

- ・「自己肯定感（あなたは、自分には良いところがあると思いますか）」
⇒ 「ある」と回答した割合が全ての年代で少ない傾向がみられた。
- ・「不安等」、「疲労」、「悩み」
⇒ 「ある」と回答した割合が全ての年代で多くみられた。
- ・「自死を考えた経験（死にたいと思ったことがある）」
⇒ 「ある」と回答した割合が中学2年、高校2年で多くみられた。

【図表】

○学校へ行きたくないと思った経験 × 自己肯定感（1（10）ア あなたは、自分には良いところがあると思いますか）

	自己肯定感											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
学校へ行きたくないと思った経験	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	138人 82.1%	30人 17.9%	0人 0.0%	153人 74.6%	51人 24.9%	1人 0.5%	144人 70.9%	59人 29.1%	0人 0.0%	208人 71.7%	81人 27.9%	1人 0.3%
ない	242人 90.3%	21人 7.8%	5人 1.9%	194人 90.2%	18人 8.4%	3人 1.4%	176人 83.0%	33人 15.6%	3人 1.4%	103人 84.4%	18人 14.8%	1人 0.8%
割合差 (ポイント)	△ 8.2	10.1		△ 15.6	16.5		△ 12.1	13.5		△ 12.7	13.1	

○学校へ行きたくないと思った経験 × 不安等 (1 (10) イ あなたは、いらいらしたり、おこりっぽくなったりすることがありますか)

	不安等											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
学校へ行きたくないと思った経験	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	132人	35人	1人	183人	20人	2人	169人	34人	0人	236人	53人	1人
	78.6%	20.8%	0.6%	89.3%	9.8%	1.0%	83.3%	16.7%	0.0%	81.4%	18.3%	0.3%
ない	165人	96人	7人	157人	58人	0人	131人	78人	3人	68人	53人	1人
	61.6%	35.8%	2.6%	73.0%	27.0%	0.0%	61.8%	36.8%	1.4%	55.7%	43.4%	0.8%
割合差 (ポイント)	17.0	△ 15.0		16.3	△ 17.2		21.5	△ 20.1		25.7	△ 25.1	

○学校へ行きたくないと思った経験 × 疲労 (1 (10) ウ あなたは、いつも疲れた感じがしますか)

	疲労											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
学校へ行きたくないと思った経験	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	76人	91人	1人	166人	39人	0人	188人	15人	0人	267人	22人	1人
	45.2%	54.2%	0.6%	81.0%	19.0%	0.0%	92.6%	7.4%	0.0%	92.1%	7.6%	0.3%
ない	61人	199人	8人	117人	96人	2人	145人	67人	0人	89人	32人	1人
	22.8%	74.3%	3.0%	54.4%	44.7%	0.9%	68.4%	31.6%	0.0%	73.0%	26.2%	0.8%
割合差 (ポイント)	22.4	△ 20.1		26.6	△ 25.7		24.2	△ 24.2		19.1	△ 18.6	

○学校へ行きたくないと思った経験 × 悩み (1 (10) エ あなたは、悩みや心配なことがありますか)

	悩み											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
学校へ行きたくないと思った経験	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	71人	97人	0人	100人	103人	2人	119人	83人	1人	190人	99人	1人
	42.3%	57.7%	0.0%	48.8%	50.2%	1.0%	58.6%	40.9%	0.5%	65.5%	34.1%	0.3%
ない	69人	193人	6人	56人	159人	0人	87人	125人	0人	51人	71人	0人
	25.7%	72.0%	2.2%	26.0%	74.0%	0.0%	41.0%	59.0%	0.0%	41.8%	58.2%	0.0%
割合差 (ポイント)	16.6	△ 14.3		22.8	△ 23.8		17.6	△ 18.1		23.7	△ 24.1	

○学校へ行きたくないと思った経験 × 自死を考えた経験 (1 (10) ク あなたは、最近1年ぐらいの間に「死にたいと思ったこと」がありますか)

	自死を考えた経験					
	中学2年			高校2年		
学校へ行きたくないと思った経験	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	97人	103人	3人	117人	171人	2人
	47.8%	50.7%	1.5%	40.3%	59.0%	0.7%
ない	43人	169人	0人	14人	107人	1人
	20.3%	79.7%	0.0%	11.5%	87.7%	0.8%
割合差 (ポイント)	27.5	△ 29.0		28.8	△ 28.7	

イ 「家族・家庭」、「学校生活」による細分化

【集計結果の概要】

「学校へ行きたくないと思ったこと」について、「ある」と回答した者は、「ない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。

・「家庭生活（満足度）」

⇒「満足」と回答した割合が全ての年代で少ない傾向がみられた。特に小学5年で、その差が△11.4ポイントと大きくなっている。

・「学校生活（満足度）」

⇒「満足」と回答した割合が全ての年代で少ない傾向がみられた。特に中学2年、高校2年では、その差が△20ポイント以上と大きくなっている。

【図表】

○学校へ行きたくないと思った経験 × 家庭生活（満足度）（1（2）ウ あなたは、家庭での生活に満足していますか）

	家庭生活(満足度)											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
学校へ行きたくないと思った経験	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答
ある	153人	14人	1人	177人	25人	3人	167人	35人	1人	246人	43人	1人
	91.1%	8.3%	0.6%	86.3%	12.2%	1.5%	82.3%	17.2%	0.5%	84.8%	14.8%	0.3%
ない	249人	14人	5人	210人	5人	0人	189人	23人	0人	112人	10人	0人
	92.9%	5.2%	1.9%	97.7%	2.3%	0.0%	89.2%	10.8%	0.0%	91.8%	8.2%	0.0%
割合差(ポイント)	△ 1.8	3.1		△ 11.4	9.9		△ 6.9	6.4		△ 7.0	6.6	

○学校へ行きたくないと思った経験 × 学校生活（満足度）（1（7）ア あなたは、学校生活に満足していますか）

	学校生活(満足度)											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
学校へ行きたくないと思った経験	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答
ある	146人	21人	1人	154人	48人	3人	144人	56人	3人	202人	87人	1人
	86.9%	12.5%	0.6%	75.1%	23.4%	1.5%	70.9%	27.6%	1.5%	69.7%	30.0%	0.3%
ない	257人	9人	2人	203人	7人	5人	198人	11人	3人	117人	5人	0人
	95.9%	3.4%	0.7%	94.4%	3.3%	2.3%	93.4%	5.2%	1.4%	95.9%	4.1%	0.0%
割合差(ポイント)	△ 9.0	9.1		△ 19.3	20.1		△ 22.5	22.4		△ 26.2	25.9	

(6) 「いじめの経験（被害経験）」に係るクロス集計

「1 (7) ク あなたは、最近1年ぐらいの間に（小2、小5の間は「今までに」）、いじめられたことがありますか」

ア 「心の状態」による細分化

【集計結果の概要】

「いじめの経験（被害経験）」について、「ある」と回答した者は、「ない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。

- ・「自己肯定感（あなたは、自分には良いところがあると思いますか）」
⇒「ある」と回答した割合が全ての年代で少ない傾向がみられた。小学2年では大きな差はないが、その他の年代では、△10ポイント以上の差が生じている。
- ・「不安等」、「疲労」、「悩み」
⇒「ある」と回答した割合が全ての年代で多くみられた。
- ・「自死を考えた経験（死にたいと思ったことがある）」
⇒「ある」と回答した割合が中学2年、高校2年で多くみられた。

【図表】

○いじめの経験（被害経験） × 自己肯定感（1 (10) ア あなたは、自分には良いところがあると思いますか）

	自己肯定感											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
いじめ（被害経験）	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	196人 87.5%	27人 12.1%	1人 0.4%	168人 77.4%	46人 21.2%	3人 1.4%	60人 66.7%	29人 32.2%	1人 1.1%	34人 65.4%	18人 34.6%	0人 0.0%
ない	176人 88.4%	20人 10.1%	3人 1.5%	172人 89.1%	20人 10.4%	1人 0.5%	259人 80.2%	62人 19.2%	2人 0.6%	277人 76.9%	81人 22.5%	2人 0.6%
割合差（ポイント）	△ 0.9	2.0		△ 11.7	10.8		△ 13.5	13.0		△ 11.5	12.1	

○いじめの経験（被害経験） × 不安等（1 (10) イ あなたは、いろいろしたり、おこりっぽくなったりすることがありますか）

	不安等											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
いじめ（被害経験）	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	173人 77.2%	48人 21.4%	3人 1.3%	180人 82.9%	36人 16.6%	1人 0.5%	79人 87.8%	11人 12.2%	0人 0.0%	45人 86.5%	7人 13.5%	0人 0.0%
ない	117人 58.8%	79人 39.7%	3人 1.5%	153人 79.3%	39人 20.2%	1人 0.5%	219人 67.8%	101人 31.3%	3人 0.9%	259人 71.9%	99人 27.5%	2人 0.6%
割合差（ポイント）	18.4	△ 18.3		3.6	△ 3.6		20.0	△ 19.1		14.6	△ 14.0	

○いじめの経験（被害経験） × 疲労（1 (10) ウ あなたは、いつも疲れた感じがしますか）

	疲労											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
いじめ（被害経験）	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	75人 33.5%	147人 65.6%	2人 0.9%	164人 75.6%	52人 24.0%	1人 0.5%	82人 91.1%	8人 8.9%	0人 0.0%	47人 90.4%	5人 9.6%	0人 0.0%
ない	59人 29.6%	135人 67.8%	5人 2.5%	111人 57.5%	81人 42.0%	1人 0.5%	249人 77.1%	74人 22.9%	0人 0.0%	309人 85.8%	49人 13.6%	2人 0.6%
割合差（ポイント）	3.9	△ 2.2		18.1	△ 18.0		14.0	△ 14.0		4.6	△ 4.0	

○いじめの経験（被害経験） × 悩み（1（10）エ あなたは、悩みや心配なことがありますか）

	悩み											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
いじめ （被害経験）	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	94人 42.0%	128人 57.1%	2人 0.9%	102人 47.0%	114人 52.5%	1人 0.5%	61人 67.8%	29人 32.2%	0人 0.0%	40人 76.9%	12人 23.1%	0人 0.0%
ない	46人 23.1%	151人 75.9%	2人 1.0%	47人 24.4%	145人 75.1%	1人 0.5%	144人 44.6%	178人 55.1%	1人 0.3%	201人 55.8%	158人 43.9%	1人 0.3%
割合差 （ポイント）	18.9	△ 18.8		22.6	△ 22.6		23.2	△ 22.9		21.1	△ 20.8	

○いじめの経験（被害経験） × 自死を考えた経験（1（10）ク あなたは、最近1年ぐらいの間に「死にたいと思ったこと」がありますか）

	自死を考えた経験					
	中学2年			高校2年		
いじめ （被害経験）	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	56人 62.2%	33人 36.7%	1人 1.1%	36人 69.2%	16人 30.8%	0人 0.0%
ない	83人 25.7%	240人 74.3%	0人 0.0%	95人 26.4%	262人 72.8%	3人 0.8%
割合差 （ポイント）	36.5	△ 37.6		42.8	△ 42.0	

イ 「家族・家庭」、「学校生活」による細分化

【集計結果の概要】

「いじめられたこと」について、「ある」と回答した者は、「ない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。

・「家庭生活（満足度）」

⇒「満足」と回答した割合が小学2年以外で少ない傾向がみられた。特に高校2年で、その差が△15.8ポイントと大きくなっている。

・「学校生活（満足度）」

⇒「満足」と回答した割合が小学2年以外で少なく、その差が小学5年で△13.4ポイント、高校2年で△27.0ポイントと大きくなっている。

・「学校へ行きたくないと思った経験」

⇒「ある」と回答した割合が全ての年代で多く、その差が小学5年で20.8ポイント、中学2年で17.6ポイント、高校2年で18.4ポイントと差が大きくなっている。

【図表】

○いじめの経験（被害経験） × 家庭生活（満足度）（1（2）ウ あなたは、家庭での生活に満足していますか）

	家庭生活（満足度）											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
いじめ （被害経験）	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答
ある	206人 92.0%	18人 8.0%	0人 0.0%	198人 91.2%	18人 8.3%	1人 0.5%	72人 80.0%	17人 18.9%	1人 1.1%	38人 73.1%	14人 26.9%	0人 0.0%
ない	183人 92.0%	11人 5.5%	5人 2.5%	179人 92.7%	12人 6.2%	2人 1.0%	281人 87.0%	41人 12.7%	1人 0.3%	320人 88.9%	39人 10.8%	1人 0.3%
割合差 （ポイント）	0.0	2.5		△ 1.5	2.1		△ 7.0	6.2		△ 15.8	16.1	

○いじめの経験（被害経験） × 学校生活（満足度）（1（7）ア あなたは学校生活に満足していますか）

	学校生活（満足度）											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
いじめ（被害経験）	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答	満足	不満足	無回答
ある	204人	14人	6人	170人	45人	2人	67人	21人	2人	28人	23人	1人
	91.1%	6.3%	2.7%	78.3%	20.7%	0.9%	74.4%	23.3%	2.2%	53.8%	44.2%	1.9%
ない	180人	16人	3人	177人	10人	6人	272人	46人	5人	291人	69人	0人
	90.5%	8.0%	1.5%	91.7%	5.2%	3.1%	84.2%	14.2%	1.5%	80.8%	19.2%	0.0%
割合差（ポイント）	0.6	△ 1.7		△ 13.4	15.5		△ 9.8	9.1		△ 27.0	25.0	

○いじめの経験（被害経験） × 学校へ行きたくないと思った経験（1（7）エ あなたは登校前に、「学校へ行きたくない」と思うことがありますか）

	学校へ行きたくないと思った経験											
	小学2年			小学5年			中学2年			高校2年		
いじめ（被害経験）	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
ある	91人	124人	9人	126人	91人	0人	56人	34人	0人	45人	7人	0人
	40.6%	55.4%	4.0%	58.1%	41.9%	0.0%	62.2%	37.8%	0.0%	86.5%	13.5%	0.0%
ない	69人	127人	3人	72人	121人	0人	144人	178人	1人	245人	115人	0人
	34.7%	63.8%	1.5%	37.3%	62.7%	0.0%	44.6%	55.1%	0.3%	68.1%	31.9%	0.0%
割合差（ポイント）	5.9	△ 8.4		20.8	△ 20.8		17.6	△ 17.3		18.4	△ 18.4	

(7) 「ケアラーへの該当（調査対象：青年）」に係るクロス集計

「1（3）ア あなたは自分がケアラーに当てはまる、または過去に当てはまっていたと思いますか」

ア 「心の状態」による細分化

【集計結果の概要】

「ケアラーへの該当（青年に対する質問）」について、「ケアラーに該当する」と回答した者は、「ケアラーに該当しない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。

・「不安等」、「疲労」⇒「ある」と回答した割合が多くみられた。

【図表】

○ケアラーへの該当 × 不安等（1（10）イ あなたは、いろいろなしたり、おこりっぽくなったりすることがありますか）

ケアラーへの該当	不安等		
	ある	ない	無回答
ケアラーに該当する	13人	7人	0人
	65.0%	35.0%	0.0%
ケアラーに該当しない	203人	118人	1人
	63.1%	36.6%	0.3%
分からない	40人	10人	1人
	78.5%	19.6%	2.0%

○ケアラーへの該当 × 疲労（1（10）ウ あなたは、いつも疲れた感じがしますか）

ケアラーへの該当	疲労		
	ある	ない	無回答
ケアラーに該当する	13人	7人	0人
	65.0%	35.0%	0.0%
ケアラーに該当しない	200人	122人	0人
	62.1%	37.9%	0.0%
分からない	36人	14人	1人
	70.6%	27.4%	2.0%

イ 「家族・家庭」による細分化

【集計結果の概要】

「ケアラーへの該当（青年に対する質問）」について、「ケアラーに該当する」と回答した者は、「ケアラーに該当しない」と回答した者に比べ、次の傾向がみられた。

- ・「家庭生活（満足度）」、「家族との会話の頻度」
⇒「満足又はあてはまる」と回答した割合が少ない傾向がみられた。
- ・「家族への意識（家族から十分に愛されている）」
⇒「あてはまる」と回答した割合が多くみられた。

【図表】

○ケアラーへの該当 × 家庭生活（満足度）（1（2）ウ あなたは、家庭での生活に満足していますか）

ケアラーへの該当	家庭生活(満足度)		
	満足	不満足	無回答
ケアラーに該当する	15人 75.0%	5人 25.0%	0人 0.0%
ケアラーに該当しない	273人 84.8%	49人 15.2%	0人 0.0%
分からない	42人 82.4%	9人 17.7%	0人 0.0%

○ケアラーへの該当 × 家族への意識（1（2）カ 家族から十分に愛されている）

ケアラーへの該当	家族への意識(家族から十分に愛されている)		
	あてはまる	あてはまらない	無回答
ケアラーに該当する	19人 95.0%	1人 5.0%	0人 0.0%
ケアラーに該当しない	299人 92.9%	23人 7.1%	0人 0.0%
分からない	46人 90.2%	5人 9.8%	0人 0.0%

○ケアラーへの該当 × 家族との会話の頻度（1（2）キ 家族とはよく話をしている）

ケアラーへの該当	家族との会話の頻度(家族とはよく話をする)		
	あてはまる	あてはまらない	無回答
ケアラーに該当する	17人 85.0%	3人 15.0%	0人 0.0%
ケアラーに該当しない	277人 86.0%	45人 14.0%	0人 0.0%
分からない	43人 84.3%	8人 15.6%	0人 0.0%

3 保護者について

(1) 属性

ア 回答の対象とした子どもの学年

問 お子さん（このアンケートを受け取った）の通学先を次の中から1つ選んで○をつけてください。

【図表】

選択肢	人数(人)	割合(%)
小学2年	421	26.7
小学5年	388	24.6
中学2年	389	24.7
高校2年	379	24.0
総計	1,577	100.0

イ 回答した保護者の続柄

問 この調査票（アンケート）に回答して下さる方は、どなたですか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。なお、父や母などとはこの調査票を持ち帰ったお子さんから見た父や母などを表します。

【図表】

(※無回答を除く)

選択肢	小学2年		小学5年		中学2年		高校2年		総計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
父	46	11.0	30	7.7	26	6.7	45	11.9	147	9.4
母	371	88.5	356	91.8	358	92.5	326	86.5	1411	89.8
兄	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
姉	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.8	3	0.2
祖父	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
祖母	0	0.0	2	0.5	1	0.3	3	0.8	6	0.4
その他	2	0.0	0	0.0	2	0.5	0	0.0	4	0.3
総計	419	100.0	388	100.0	387	100.0	377	100.0	1571	100.0

ウ 回答した保護者の年齢

問 あなたの年齢に○をつけてください。

【図表】

選択肢	小学2年(n=421)		小学5年(n=388)		中学2年(n=389)		高校2年(n=379)		総計(n=1577)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
10~20歳代	15	3.6	0	0.0	10	2.6	7	1.8	32	2.0
30歳代	208	49.4	157	40.5	66	17.0	35	9.2	466	29.5
40歳代	190	45.1	213	54.9	263	67.6	237	62.5	903	57.3
50歳代	6	1.4	10	2.6	42	10.8	84	22.2	142	9.0
60歳代	0	0.0	2	0.5	1	0.3	3	0.8	6	0.4
70歳以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	1	0.1
無回答	2	0.5	6	1.5	7	1.8	12	3.2	27	1.7

(2) 悩み

ア 子どもについての保護者の悩み

問 あなたは、お子さんについて、悩みや不安はありますか。次の中からあてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

保護者全体で、「ゲーム・スマホ・携帯電話の利用（34.2%）」が、平成28年度調査（24.5%）と比較して、大きく増加しており、学校種別ごとでも増加している。次いで、「学校の成績（32.7%）」、「友達との関係（25.6%）」、「進学（23.0%）」の割合が高くなっている。

「ゲーム・スマホ・携帯電話の利用」以外に平成28年度調査から大きく増減した項目はみられなかった。

【図表】

選択肢	令和3年度										平成28年度
	小学2年 (n=421)		小学5年 (n=388)		中学2年 (n=389)		高校2年 (n=379)		総計 (n=1577)		総計 (n=1670)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)
発育・健康・体力	107	25.4	91	23.5	51	13.1	40	10.6	289	18.3	22.2
学校の成績	124	29.5	110	28.4	182	46.8	100	26.4	516	32.7	39.6
進学	9	2.1	34	8.8	135	34.7	184	48.5	362	23.0	26.7
就職	9	2.1	14	3.6	28	7.2	69	18.2	120	7.6	10.4
結婚	0	0.0	5	1.3	2	0.5	4	1.1	11	0.7	0.3
不登校	6	1.4	6	1.5	6	1.5	1	0.3	19	1.2	1.3
いじめ	14	3.3	12	3.1	10	2.6	2	0.5	38	2.4	4.1
ひきこもり	2	0.5	1	0.3	1	0.3	1	0.3	5	0.3	0
家庭内暴力	2	0.5	2	0.5	0	0.0	1	0.3	5	0.3	0.1
マスコミの影響	5	1.2	5	1.3	6	1.5	1	0.3	17	1.1	1.3
親子の考え方の違い	7	1.7	10	2.6	11	2.8	12	3.2	40	2.5	2.9
非行	1	0.2	3	0.8	3	0.8	3	0.8	10	0.6	0.5
生活態度	79	18.8	50	12.9	57	14.7	36	9.5	222	14.1	20.7
友達との関係	145	34.4	116	29.9	85	21.9	57	15.0	403	25.6	30.9
ゲーム・スマホ・携帯電話の利用	98	23.3	160	41.2	173	44.5	109	28.8	540	34.2	24.5
家族との関係	17	4.0	22	5.7	10	2.6	10	2.6	59	3.7	5.7
学校での生活	92	21.9	34	8.8	35	9.0	31	8.2	192	12.2	16.8
特になし	81	19.2	71	18.3	45	11.6	74	19.5	271	17.2	20
その他	11	2.6	12	3.1	9	2.3	8	2.1	40	2.5	2.2
無回答	5	1.2	2	0.5	8	2.1	12	3.2	27	1.7	-

イ 保護者の悩みの対応法

問 お子さんに対する悩みがあるときはどのようにしていますか。次の中からあてはまる番号をいくつかでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

保護者全体で、「配偶者に相談する（71.8%）」が最も多く、次いで「友人に相談する（46.5%）」、「自分の親や親戚に相談する（43.6%）」が多かった。また、「家族で話し合う（35.4%）」が平成28年度調査（30.8%）と比較して増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度										平成28年度
	小学2年 (n=421)		小学5年 (n=388)		中学2年 (n=389)		高校2年 (n=379)		総計 (n=1577)		総計 (n=1670)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)
配偶者(夫・妻)に相談する	338	80.3	292	75.3	264	67.9	238	62.8	1132	71.8	72.5
自分の親や親戚に相談する	233	55.3	188	48.5	144	37.0	123	32.5	688	43.6	42.4
友人に相談する	213	50.6	189	48.7	181	46.5	151	39.8	734	46.5	48
本などで勉強する	94	22.3	75	19.3	56	14.4	51	13.5	276	17.5	14.9
家族で話し合う	141	33.5	127	32.7	150	38.6	141	37.2	559	35.4	30.8
学校の先生に相談する	183	43.5	152	39.2	114	29.3	65	17.2	514	32.6	30.7
相談機関や医師等の専門家に相談する	52	12.4	40	10.3	33	8.5	37	9.8	162	10.3	7
講演会や研修会で勉強する	12	2.9	10	2.6	7	1.8	13	3.4	42	2.7	4.9
何もしない	3	0.7	5	1.3	10	2.6	7	1.8	25	1.6	1.7
その他	14	3.3	11	2.8	15	3.9	26	6.9	66	4.2	4.9
無回答	2	0.5	2	0.5	5	1.3	5	1.3	14	0.9	-

(3) 保護者から見た子どもの様子

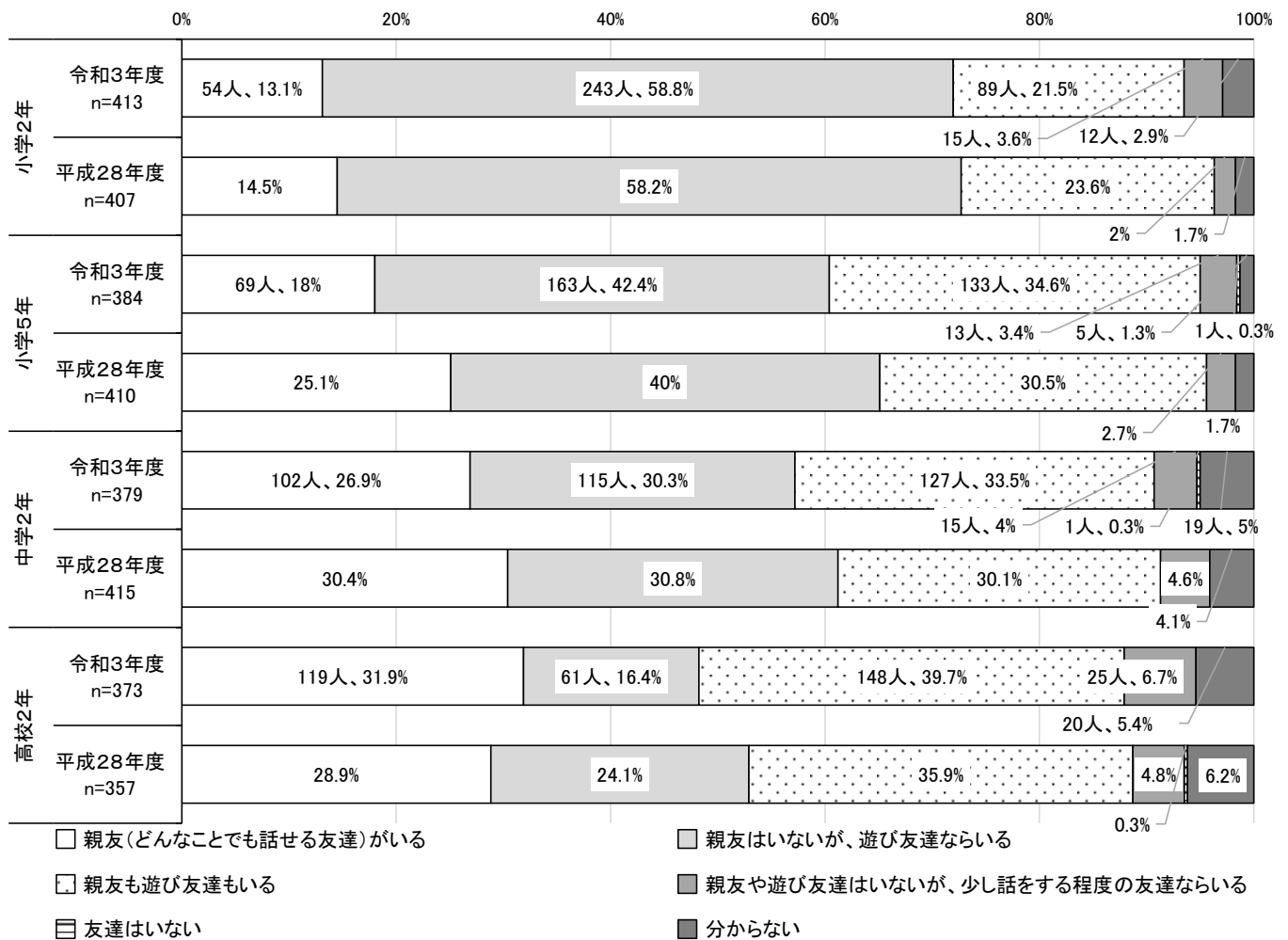
ア 保護者が把握する子どもの交友関係

問 お子さんの友達について、あなたが把握しているものに近い番号を、次の中から1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

どの学校種別でも「友達はいない」と答える保護者はほとんどいなかった。
 平成28年度調査と比較して大きな増減はみられないが、「親友（どんなことでも話せる友達）がいる」と回答した小学5年の保護者、「親友はいないが、遊び友達ならいる」と回答した高校2年の保護者の減少割合がやや大きくなっている。

【図表】



イ 保護者が考える子どもの悩みの相談先

問 お子さんが、学校生活のことで悩んでいることや困ったことがあれば、まず誰に相談すると思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【集計結果の概要】

いずれの学校種別でも「母親」が最も多い。年代が上がるにつれて、「友達」の割合が増加している一方で、「父親」の割合は年代が上がるにつれて減少している。

平成28年度調査と比較して大きな増減はみられないが、高校2年の保護者では「母親」の割合が前回から8.7ポイント増加している一方で、「友達」の割合が5.5ポイント減少している。

【図表】

選択肢	小学2年(n=395)		小学5年(n=375)		中学2年(n=379)		高校2年(n=367)		総計(n=1516)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
父親	42	10.6	35	9.3	25	6.6	16	4.4	118	7.8
母親	297	75.2	272	72.5	216	57.0	174	47.4	959	63.3
兄弟・姉妹	11	2.8	12	3.2	16	4.2	19	5.2	58	3.8
祖父・祖母	9	2.3	10	2.7	12	3.2	8	2.2	39	2.6
学校の先生	23	5.8	12	3.2	4	1.1	8	2.2	47	3.1
友達	7	1.8	31	8.3	99	26.1	135	36.8	272	17.9
先輩・後輩	0	0.0	0	0.0	1	0.3	3	0.8	4	0.3
相談機関のSNS相談	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	6	1.5	3	0.8	6	1.6	4	1.1	19	1.3

※参考（平成28年度）

選択肢	小学2年 (n=401)	小学5年 (n=424)	中学2年 (n=418)	高校2年 (n=359)	総計 (n=1602)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
父親	8.7	9.7	6.2	6.7	7.9
母親	76.1	70.3	53.3	38.7	60.2
兄弟・姉妹	3.2	2.4	5.7	5.3	4.1
祖父・祖母	3.5	3.5	3.6	1.1	3.0
学校の先生	3.5	4.0	1.2	1.1	2.5
友達	3.0	7.8	26.6	42.3	19.2
先輩・後輩	0.0	0.0	0.5	1.7	0.5
相談機関のSNS相談	0.0	0.0	0.7	1.1	0.4
その他	2.0	2.4	2.2	1.9	2.1

(4) 保護者から見た家庭環境

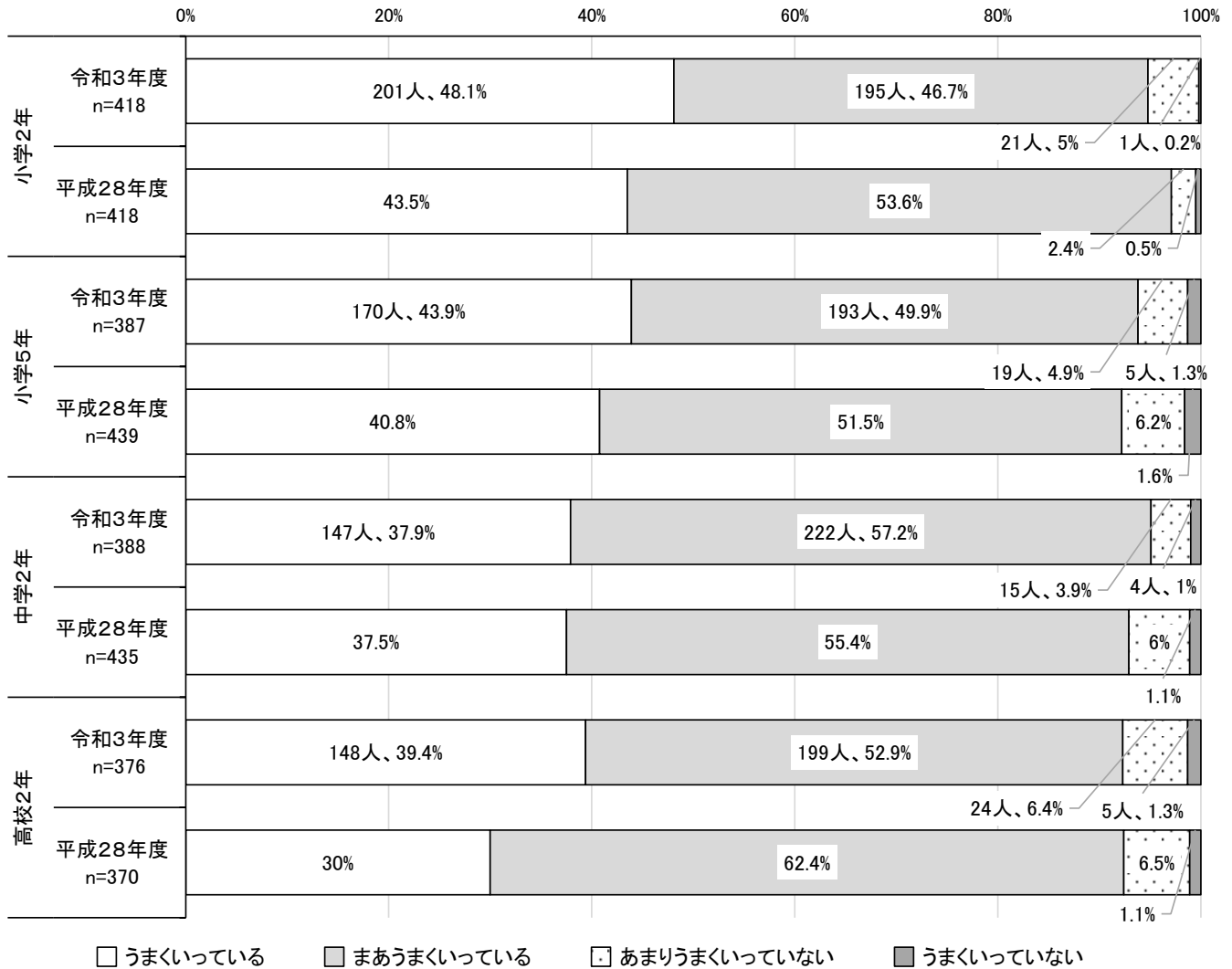
ア 保護者が感じる家庭の状況

問 あなたの家庭の家族関係について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

【集計結果の概要】

いずれの学校種別でも9割以上の保護者が「うまくいっている」または「まあうまくいっている」と答えている。平成28年度調査と比較するといずれの学校種別でも「うまくいっている」の割合が増加しており、特に高校2年の保護者で9.4ポイント増えている。

【図表】



イ 保護者が家庭で心がけていること

問 あなたの家庭で特に気をつけていることはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

保護者全体で、「子どもと会話するようにしている（68.7%）」の割合が最も多く、次いで「食事は家族で一緒にとるようにしている（39.7%）」、「子どもの気持ちを尊重するようにしている（31.0%）」が続く。

【図表】

選択肢	令和3年度										平成28年度
	小学2年 (n=412)		小学5年 (n=373)		中学2年 (n=373)		高校2年 (n=369)		総計 (n=1527)		総計 (n=1670)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)
子どもと会話するようにしている	277	67.2	243	65.1	270	72.4	259	70.2	1049	68.7	73.1
子どもと一緒に遊ぶようにしている	67	16.3	28	7.5	23	6.2	15	4.1	133	8.7	7.6
子どもに家庭内の仕事を与えるようにしている	38	9.2	59	15.8	49	13.1	45	12.2	191	12.5	14.9
休日は家族で一緒に過ごすようにしている	86	20.9	72	19.3	34	9.1	22	6.0	214	14.0	12.8
食事は家族で一緒にとるようにしている	147	35.7	146	39.1	156	41.8	157	42.5	606	39.7	40.5
子どもの気持ちを尊重するようにしている	112	27.2	121	32.4	119	31.9	122	33.1	474	31.0	25.7
特に気をつけてはいない	14	3.4	17	4.6	14	3.8	17	4.6	62	4.1	4.4
その他	4	1.0	6	1.6	5	1.3	3	0.8	18	1.2	1.8

ウ ペアレンタル・コントロール⁴の状況

問 あなたの家庭で、お子様のインターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン・ゲーム機・音楽プレーヤー等による）の使用状況について、あてはまる番号をいくつでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

保護者のペアレンタル・コントロールの状況として、保護者全体で、「インターネットの危険性を教えている（40.2%）」と回答した保護者の割合が最も高く、次いで「利用できる時間（長さ）を決めている（38.6%）」、「フィルタリング⁵を設定している（28.9%）」の割合が高かった。

平成28年度調査と比較すると、「インターネットは利用させない（5.9%）」と回答した保護者の割合が10.3ポイント減少し、「特にルールはない（11.7%）」と回答した保護者の割合が3.9ポイント減少している。

【図表】

選択肢	令和3年度										平成28年度
	小学2年 (n=412)		小学5年 (n=383)		中学2年 (n=383)		高校2年 (n=376)		総計 (n=1554)		総計 (n=1683)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)
インターネットは利用させない	67	15.9	17	4.4	7	1.8	7	1.8	93	5.9	16.2
利用できる時間(長さ)を決めている	222	52.7	214	55.2	139	35.7	138	36.4	608	38.6	27.1
利用できる時間帯を決めている	86	20.4	113	29.1	128	32.9	129	34.0	369	23.4	14.1
利用できる場所を決めている	117	27.8	121	31.2	128	32.9	127	33.5	408	25.9	22.2
保護者と一緒に利用している	114	27.1	54	13.9	35	9.0	35	9.2	218	13.8	17.8
フィルタリングを設定している	86	20.4	115	29.6	144	37.0	144	38.0	455	28.9	26.2
インターネットの危険性を教えている	113	26.8	169	43.6	188	48.3	188	49.6	634	40.2	34.2
特にルールはない	20	4.8	19	4.9	40	10.3	41	10.8	184	11.7	15.6
その他	11	2.6	9	2.3	9	2.3	10	2.6	42	2.7	3.3
無回答	3	0.7	6	1.5	2	0.5	2	0.5	14	0.9	1.1

⁴ ペアレンタル・コントロール：子どものスマートフォンやタブレット等の利用状況を保護者が把握したり、安全管理を行ったりする仕組み。

⁵ フィルタリング：インターネット上の有害情報を画面に表示しないように制限する機能。

(5) 青少年に関する問題

ア 青少年に関する問題への保護者の関心

問 あなたは、青少年に関係するどのようなことについて関心を持っていますか。次の中からあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

保護者全体で、「インターネットの利用（36.6%）」の割合が最も高く、次いで「生命の大切さ（19.9%）」、「いじめ（17.4%）」、「青少年が被害者となる犯罪（17.4%）」の割合が高くなっている。

【図表】

選択肢	令和3年度										平成28年度
	小学2年 (n=410)		小学5年 (n=374)		中学2年 (n=378)		高校2年 (n=369)		総計 (n=1532)		総計 (n=1670)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)
若者の流行・ファッション	34	8.3	36	9.6	33	8.7	51	13.8	154	10.1	5.1
生命の大切さ	99	24.1	67	17.9	70	18.5	69	18.6	305	19.9	27.7
体格・体力	26	6.3	16	4.3	18	4.8	10	2.7	70	4.6	3.2
受験	40	9.8	44	11.8	80	21.2	55	14.9	219	14.3	13.3
就職	30	7.3	37	9.9	52	13.8	64	17.3	183	11.9	14.1
不登校	24	5.9	19	5.1	26	6.9	21	5.7	90	5.9	5.1
いじめ	96	23.4	85	22.7	47	12.4	38	10.3	266	17.4	23.2
家庭内暴力	2	0.5	2	0.5	2	0.5	1	0.3	7	0.5	0.7
性非行	2	0.5	7	1.9	7	1.9	5	1.4	21	1.4	2.6
ひきこもり	13	3.2	10	2.7	18	4.8	18	4.9	59	3.9	2.5
青少年による犯罪	34	8.3	53	14.2	42	11.1	31	8.4	160	10.4	17.5
薬物の使用	11	2.7	10	2.7	8	2.1	10	2.7	39	2.5	4.4
インターネットの利用	139	33.9	144	38.5	162	42.9	115	31.1	560	36.6	35
青少年が被害者となる犯罪	73	17.8	59	15.8	70	18.5	65	17.6	267	17.4	17.3
交通事故	46	11.2	25	6.7	11	2.9	11	3.0	93	6.1	3.8
特にない	45	11.0	38	10.2	21	5.6	51	13.8	155	10.1	7.2
その他	6	1.5	5	1.3	7	1.9	4	1.1	22	1.4	1.4

イ 保護者が考える非行の理由

問 あなたは、青少年が犯罪をしたり、非行に走ったりする主な原因はどこにあると思いますか。次の中からあなたの感じ方に近い番号を3つまで選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

保護者全体で、「自分のことを理解してくれる人が周りにいないこと（64.3%）」を非行の原因と考える保護者の割合が最も高く、次いで「家族間で心のつながりがないこと（61.6%）」、「友人・仲間に誘われること（46.5%）」と続いている。

平成28年度調査と比較すると「友人・仲間に誘われること」が9.6ポイント増加している。

【図表】

選択肢	令和3年度										平成28年度
	小学2年 (n=421)		小学5年 (n=384)		中学2年 (n=384)		高校2年 (n=368)		総計 (n=1547)		総計 (n=1670)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)
本人の性格が弱いこと	39	9.5	71	18.5	67	17.4	61	16.6	238	15.4	21.9
友人・仲間に誘われること	202	49.1	183	47.7	188	49.0	147	39.9	720	46.5	36.9
家庭でのしつけがよくないこと	55	13.4	44	11.5	42	10.9	38	10.3	179	11.6	17.3
家族間で心のつながりがないこと	259	63.0	246	64.1	231	60.2	217	59.0	953	61.6	63.4
友人間で心のつながりがないこと	55	13.4	44	11.5	41	10.7	45	12.2	185	12.0	13.2
学校での勉強が分からないこと	22	5.4	12	3.1	22	5.7	13	3.5	69	4.5	4.3
学校の決まりが厳しすぎること	3	0.7	6	1.6	9	2.3	8	2.2	26	1.7	1.1
地域社会の環境が悪いこと	23	5.6	36	9.4	28	7.3	27	7.3	114	7.4	5.7
大人の社会が悪いこと	20	4.9	32	8.3	26	6.8	30	8.2	108	7.0	9.9
マスメディアの情報	58	14.1	61	15.9	51	13.3	51	13.9	221	14.3	7.4
将来に希望がもてないこと	66	16.1	50	13.0	58	15.1	57	15.5	231	14.9	11.6
自分のことを理解してくれる人が周りにいないこと	277	67.4	246	64.1	242	63.0	229	62.2	994	64.3	60.2
分からない	8	1.9	4	1.0	6	1.6	11	3.0	29	1.9	3.8
その他	11	2.7	6	1.6	6	1.6	9	2.4	32	2.1	1.9

ウ 保護者が考える子どもの非行傾向

問 お子さんについて、あなたの感じ方に近いものはどれですか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

子どもの年代が高くなるほど、「絶対に非行に走らない」と回答した保護者の割合が高くなっている。平成28年度調査と比較すると、全ての学校種別で「絶対に非行に走らない」と回答した保護者の割合が減少し、「友達と一緒になら、非行に走るかもしれない」が増加している。

【図表】

選択肢	小学2年(n=412)		小学5年(n=383)		中学2年(n=383)		高校2年(n=376)		総計(n=1554)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
絶対に非行に走らない	150	36.4	182	47.5	221	57.7	277	73.7	830	53.4
友達と一緒になら、非行に走るかもしれない	246	59.7	179	46.7	149	38.9	96	25.5	670	43.1
友達と一緒になら、かなりの非行でもしてしまう	3	0.7	3	0.8	2	0.5	0	0.0	8	0.5
ひとりでも非行に走るかもしれない	13	3.2	19	5.0	10	2.6	3	0.8	45	2.9
ひとりでもかなりの非行に走る	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	1	0.1

※参考（平成28年度）

選択肢	小学2年 (n=409)	小学5年 (n=430)	中学2年 (n=427)	高校2年 (n=369)	総計 (n=1635)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
絶対に非行に走らない	47.2	55.8	70.0	78.9	62.6
友達と一緒になら、非行に走るかもしれない	48.2	39.3	26.7	19.2	33.7
友達と一緒になら、かなりの非行でもしてしまう	3.4	2.6	2.1	1.1	2.3
ひとりでも非行に走るかもしれない	1.2	2.3	0.7	0.5	1.2
ひとりでもかなりの非行に走る	0.0	0	0.5	0.3	0.2

エ 子どもの行為について保護者がしても良いと考える年齢

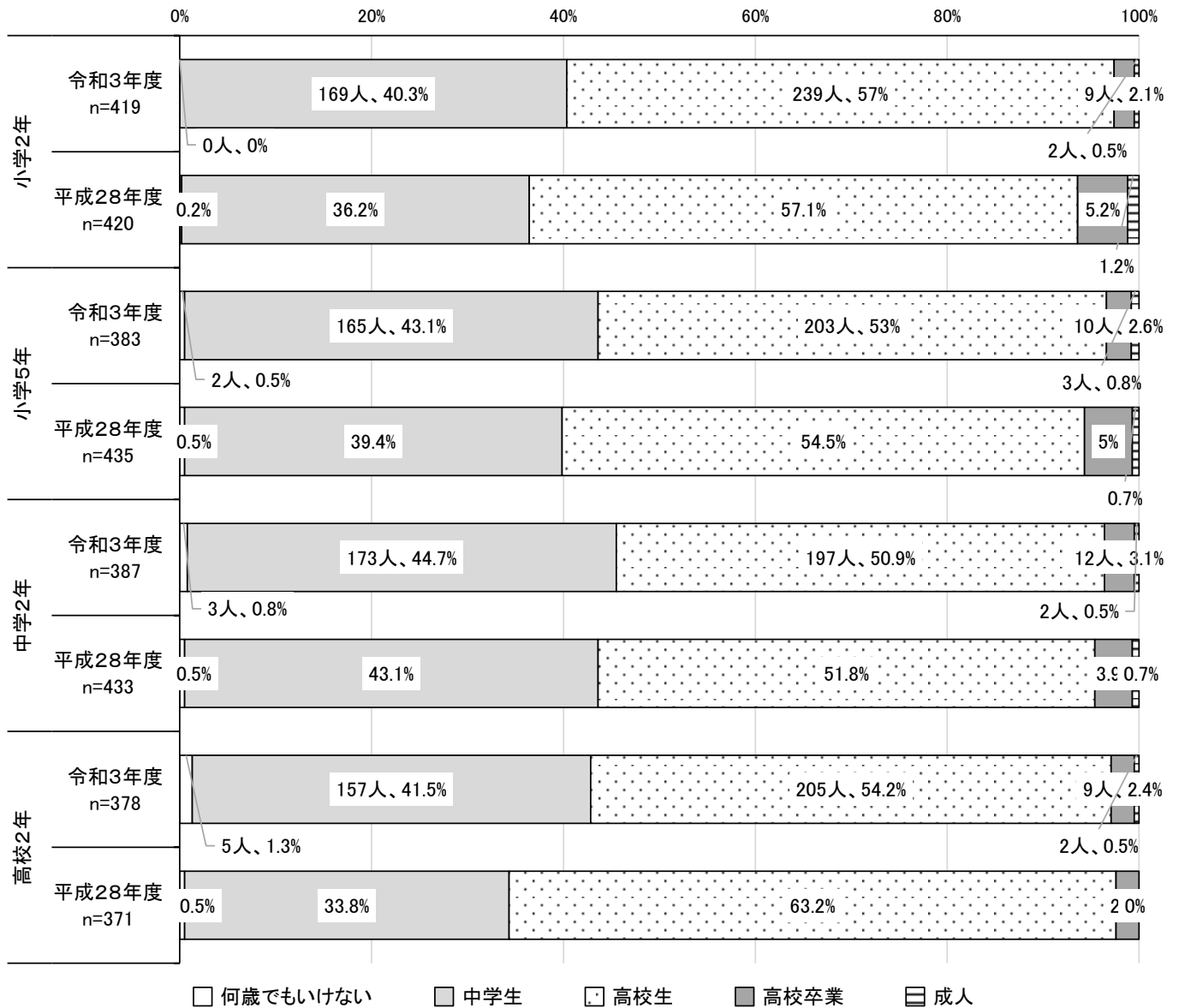
問 お子さんは、次の（ア）から（サ）までのことについて、どのくらいの年齢になったらしてもよいと思いますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

（ア）子どもだけでファストフード店等の飲食店に行っても良いと考える年齢

【集計結果の概要】

「高校生」と回答した保護者の割合が最も高く、次いで「中学生」が多かった。

【図表】

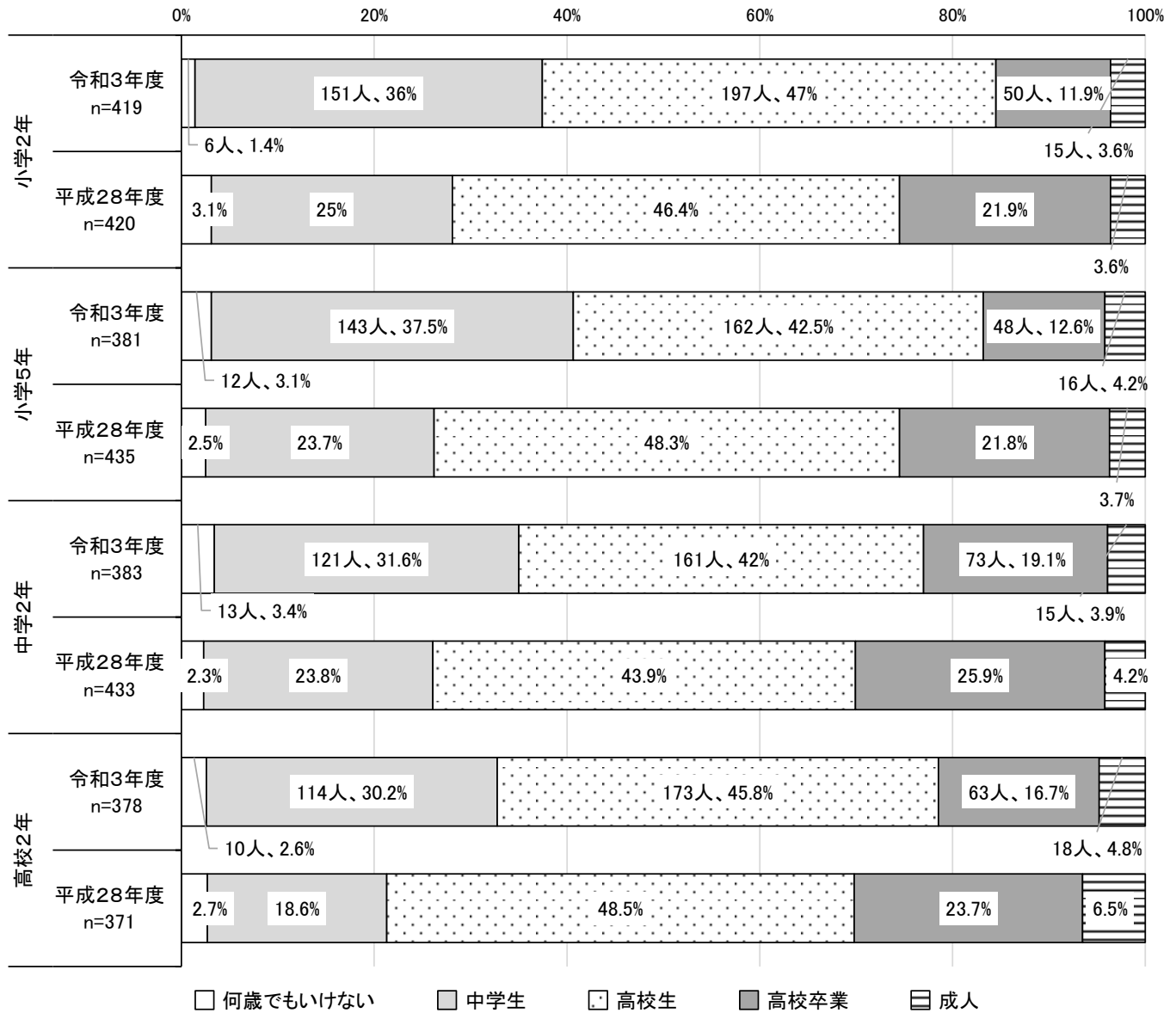


(イ) ゲームセンターで遊んでも良いと考える年齢

【集計結果の概要】

「高校生」と回答した保護者の割合が全ての学校種別で最も高かった。
 平成28年度調査と比較すると、全ての学校種別で「中学生」の割合が1割あまり増加し、「高校卒業」の割合が減少している。

【図表】

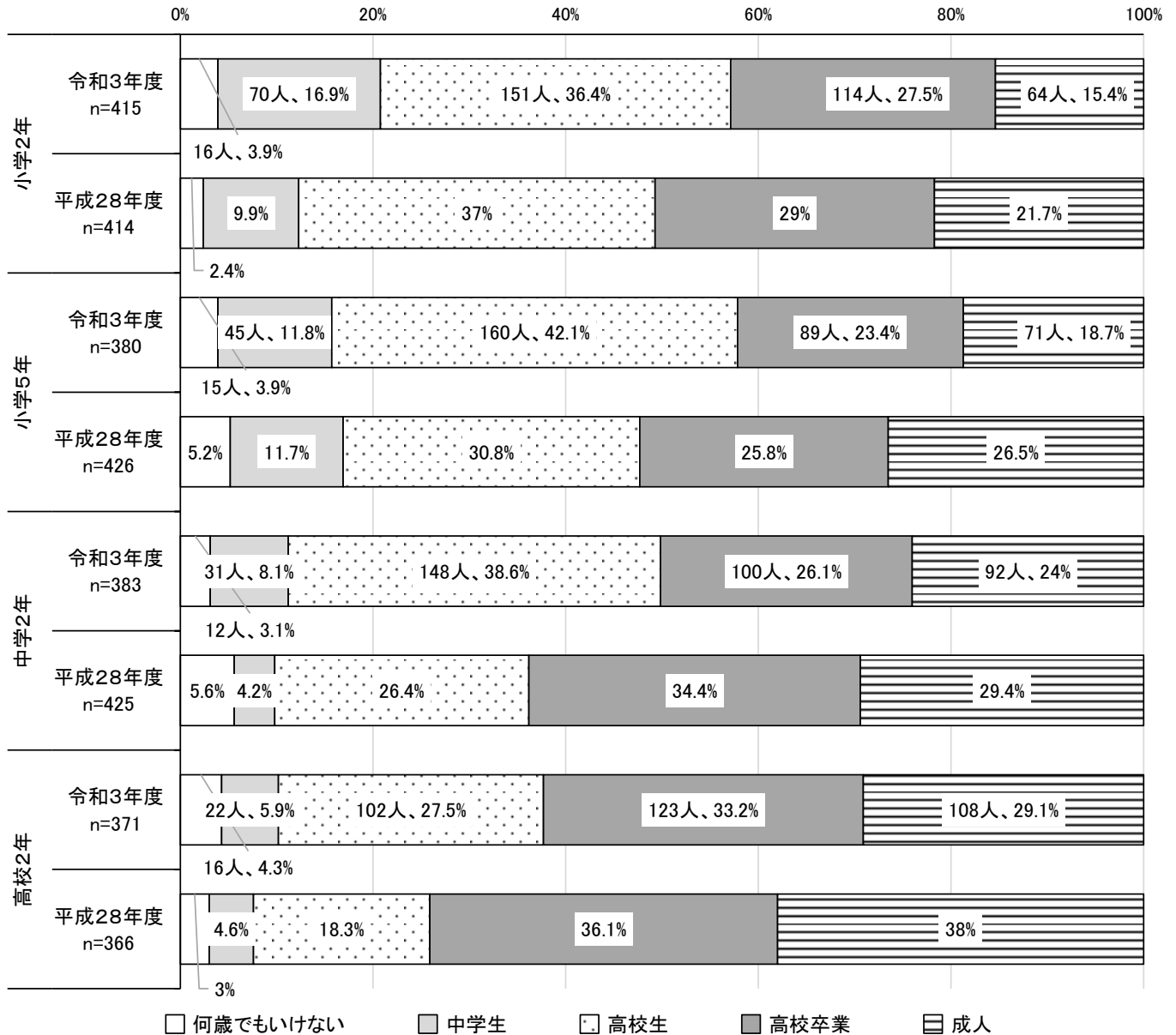


(ウ) アダルト（ポルノ）雑誌やアダルトDVDを見ても良いと考える年齢

【集計結果の概要】

平成28年度調査と比較すると、アダルト（ポルノ）雑誌やアダルトDVDを見ても良い年齢を「高校卒業」、「成人」と考える保護者の割合が減少し、「中学生」、「高校生」と考える保護者の割合が増加する傾向にある。

【図表】

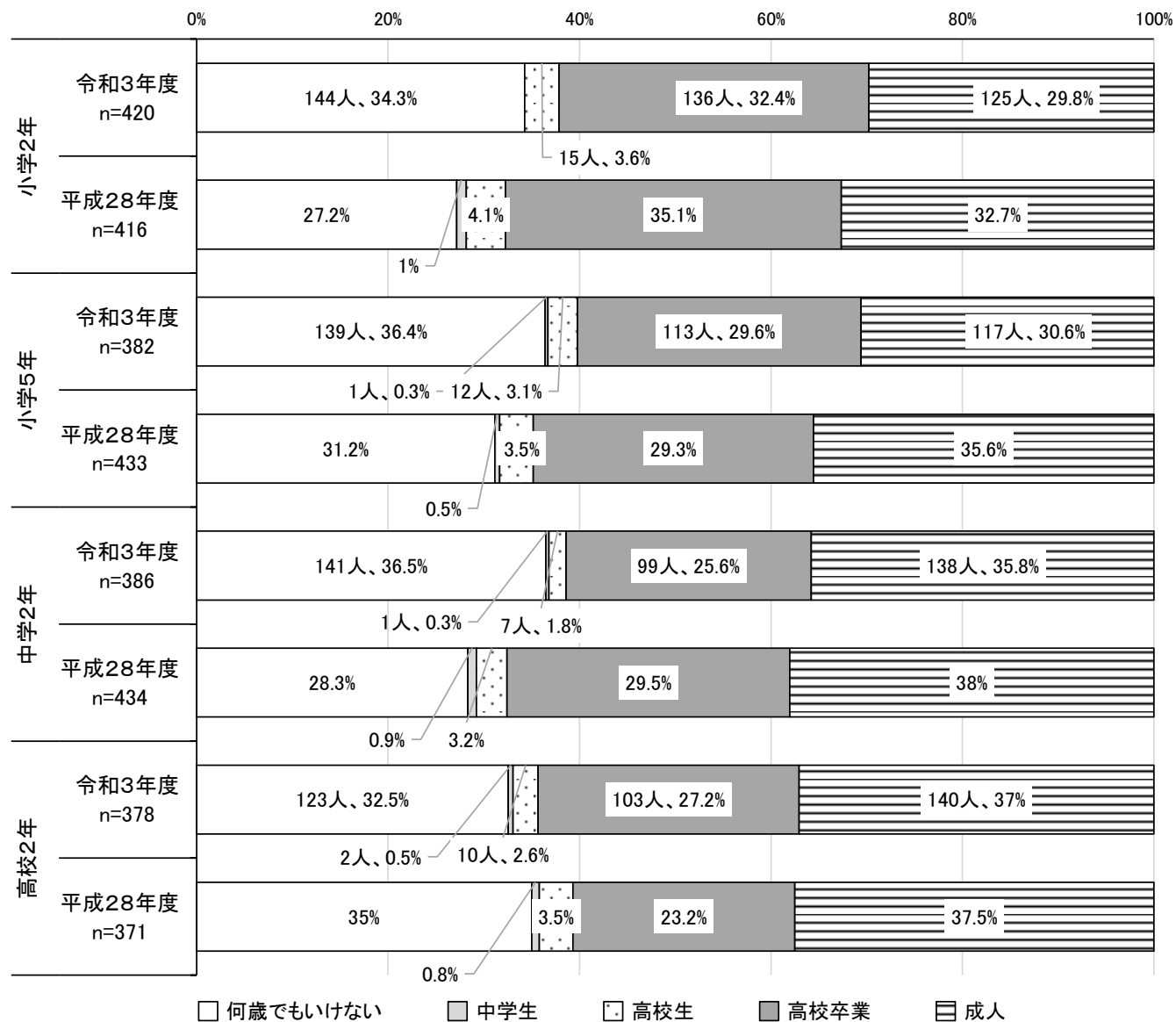


(工) 無断で外泊をしても良いと考える年齢

【集計結果の概要】

「何歳でもいけない」と答えた保護者の割合は、高校2年以外の保護者で最も高かった。
 平成28年度と比較すると、「何歳でもいけない」の割合は高校2年の保護者以外の全ての学校種別で増加している。

【図表】

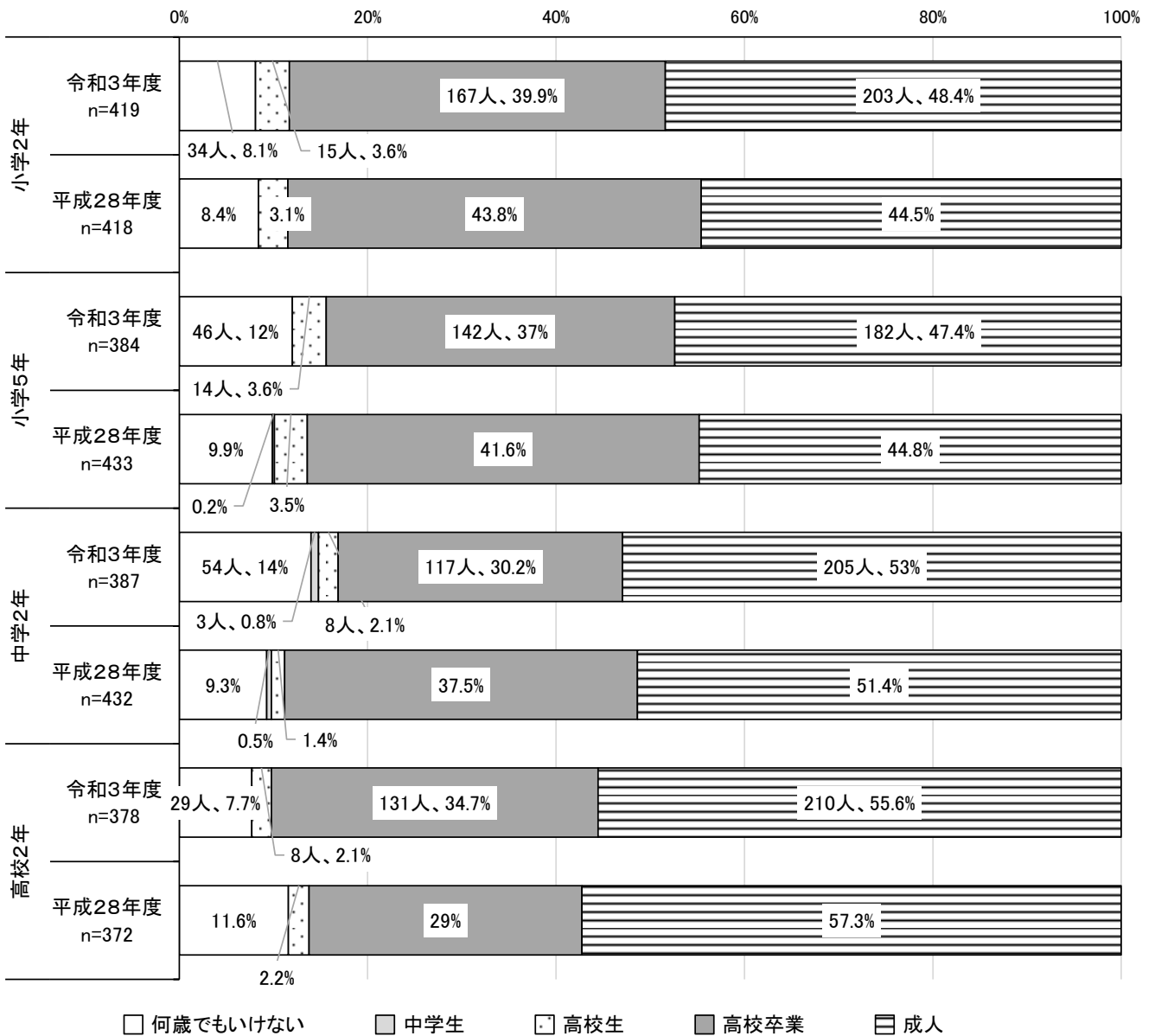


(オ) 深夜まで外で遊んでも良いと考える年齢

【集計結果の概要】

「成人」と答えた保護者の割合が、全ての学校種別において最も高かった。
 「中学生」、「高校生」と答えた保護者の割合は低く、平成28年度調査と比較すると、横ばいの結果であった。

【図表】



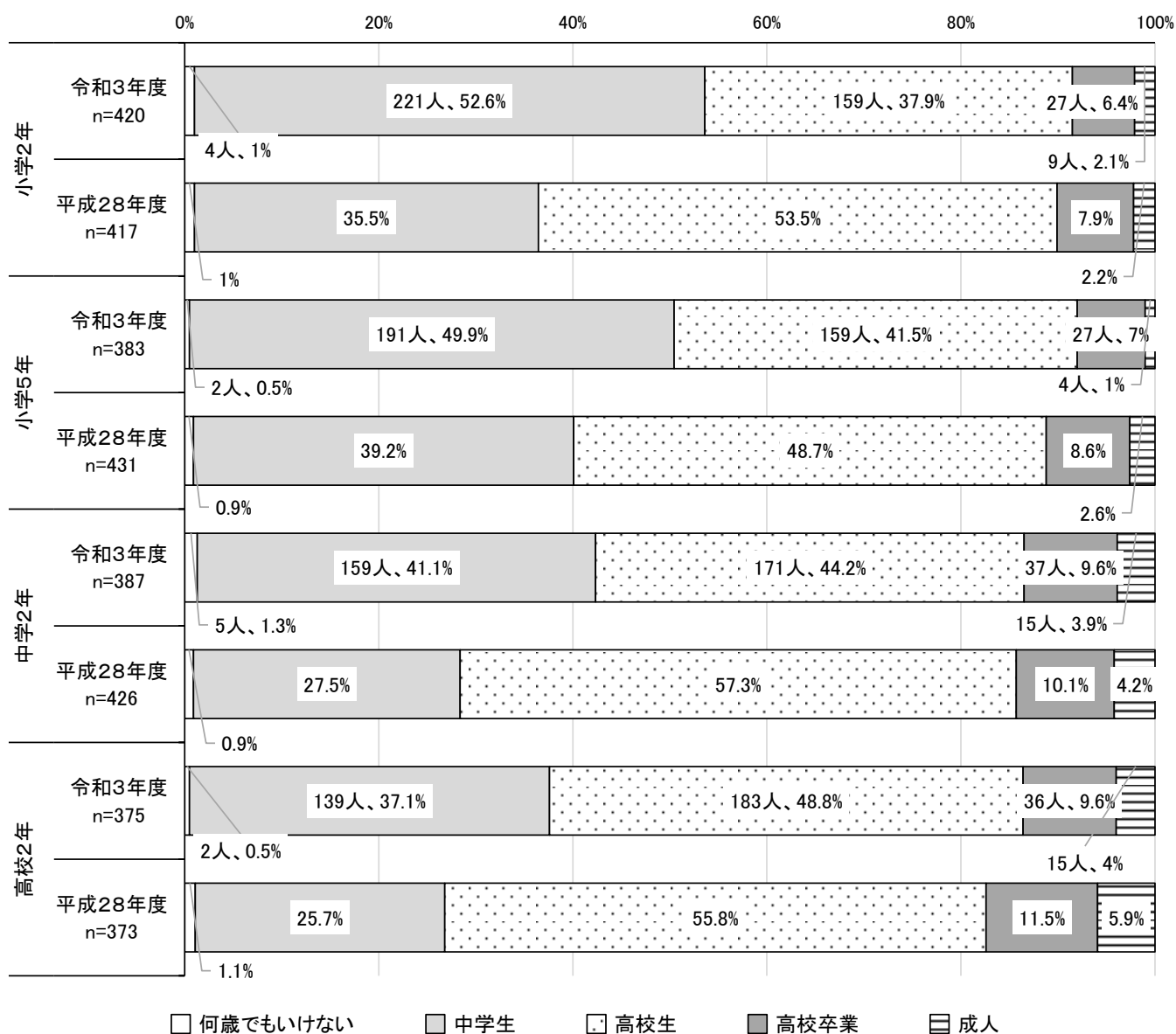
(カ) 交際相手と二人で歩いても良いと考える年齢

【集計結果の概要】

小学2年と小学5年の保護者では、「中学生」と答えた割合が最も高く、中学2年と高校2年の保護者では、「高校生」と答えた割合が最も高かった。

平成28年度調査と比較すると、全ての学校種別の保護者において「中学生」と答えた割合が増加している一方、「高校生」と答えた割合は減少している。

【図表】



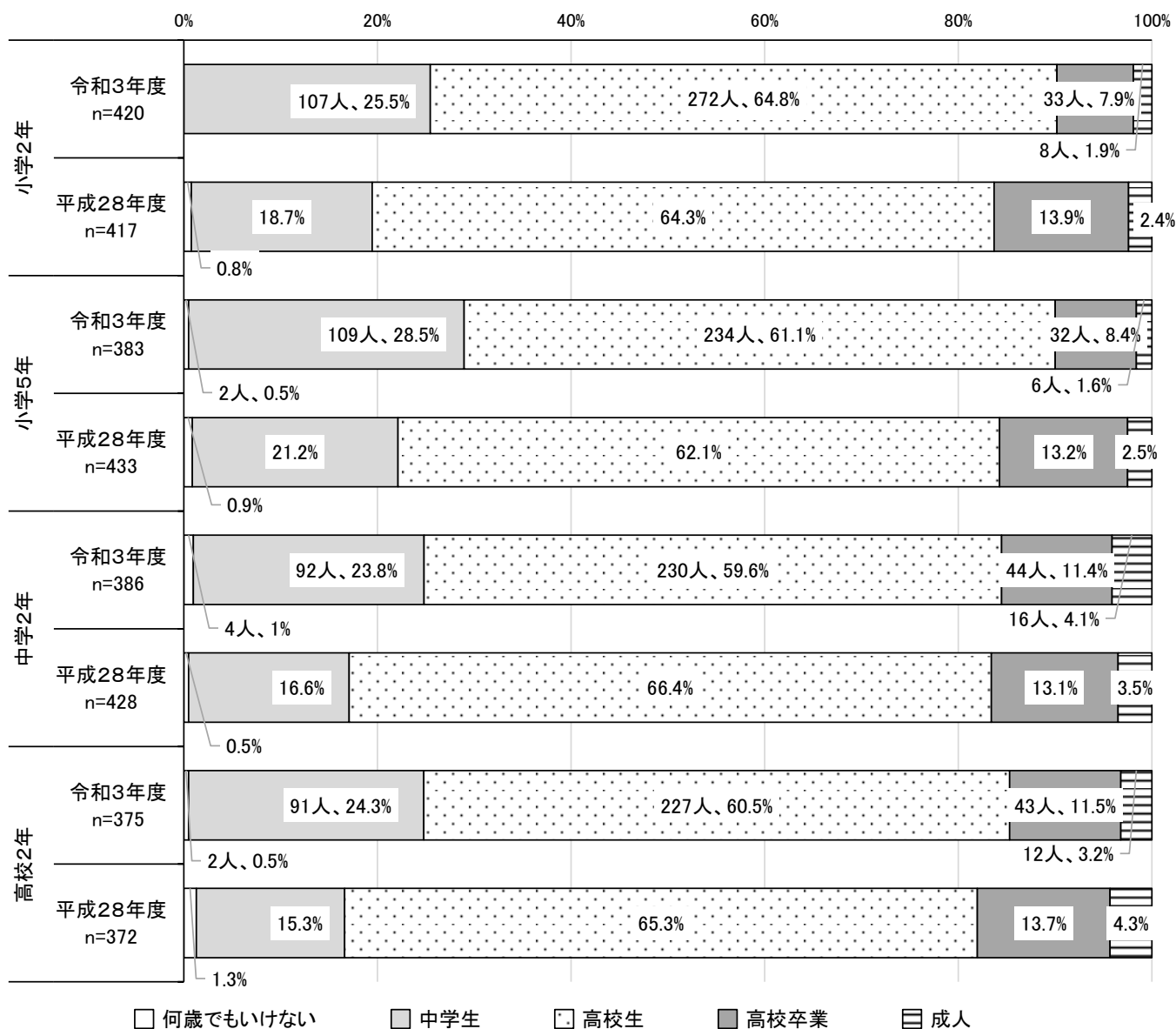
(キ) 交際相手と二人でファストフード店等の飲食店や映画館に行っても良いと考える年齢

【集計結果の概要】

全ての学校種別において、「高校生」と回答した保護者の割合が最も高く、次に「中学生」と回答した割合が続いている。

平成28年度調査と比較すると、全ての学校種別で「中学生」の割合が増加している。

【図表】

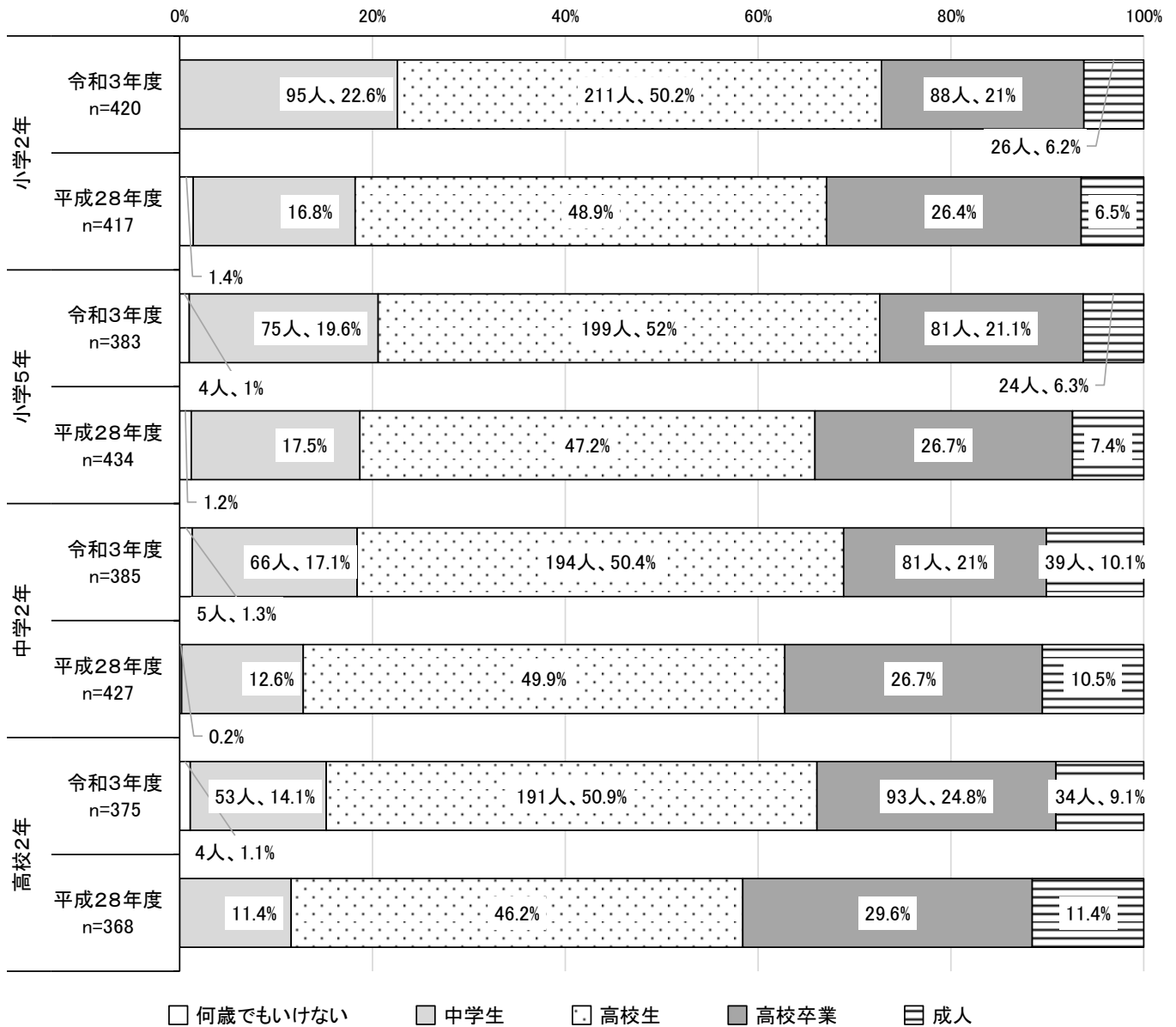


(ク) 交際相手の家に行ったり自分の家に呼んだりしても良いと考える年齢

【集計結果の概要】

全ての学校種別において、「高校生」と回答した保護者の割合が最も高くなっている。
 平成28年度調査と比較すると、全ての学校種別で「高校卒業」、「成人」と回答した割合が減少し、「中学生」、「高校生」と割合した割合が増加している。

【図表】

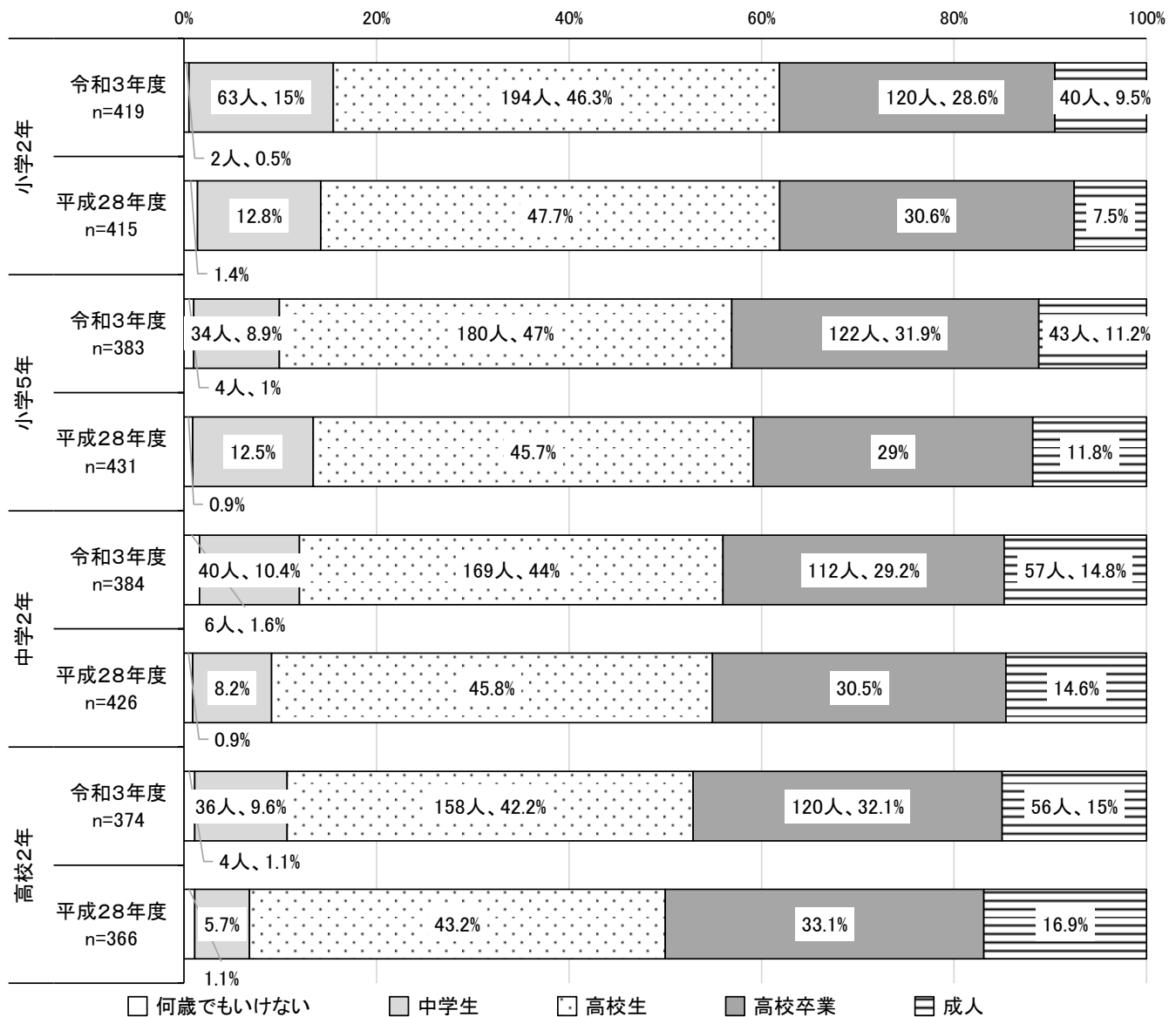


(ケ) 交際相手の部屋や自分の部屋で二人だけで過ごしても良いと考える年齢

【集計結果の概要】

全ての学校種別において、「高校生」と回答した保護者の割合が最も高く、次いで「高校卒業」と回答した割合が高くなっているが、平成28年度調査と比較して、大きな増減はなかった。

【図表】



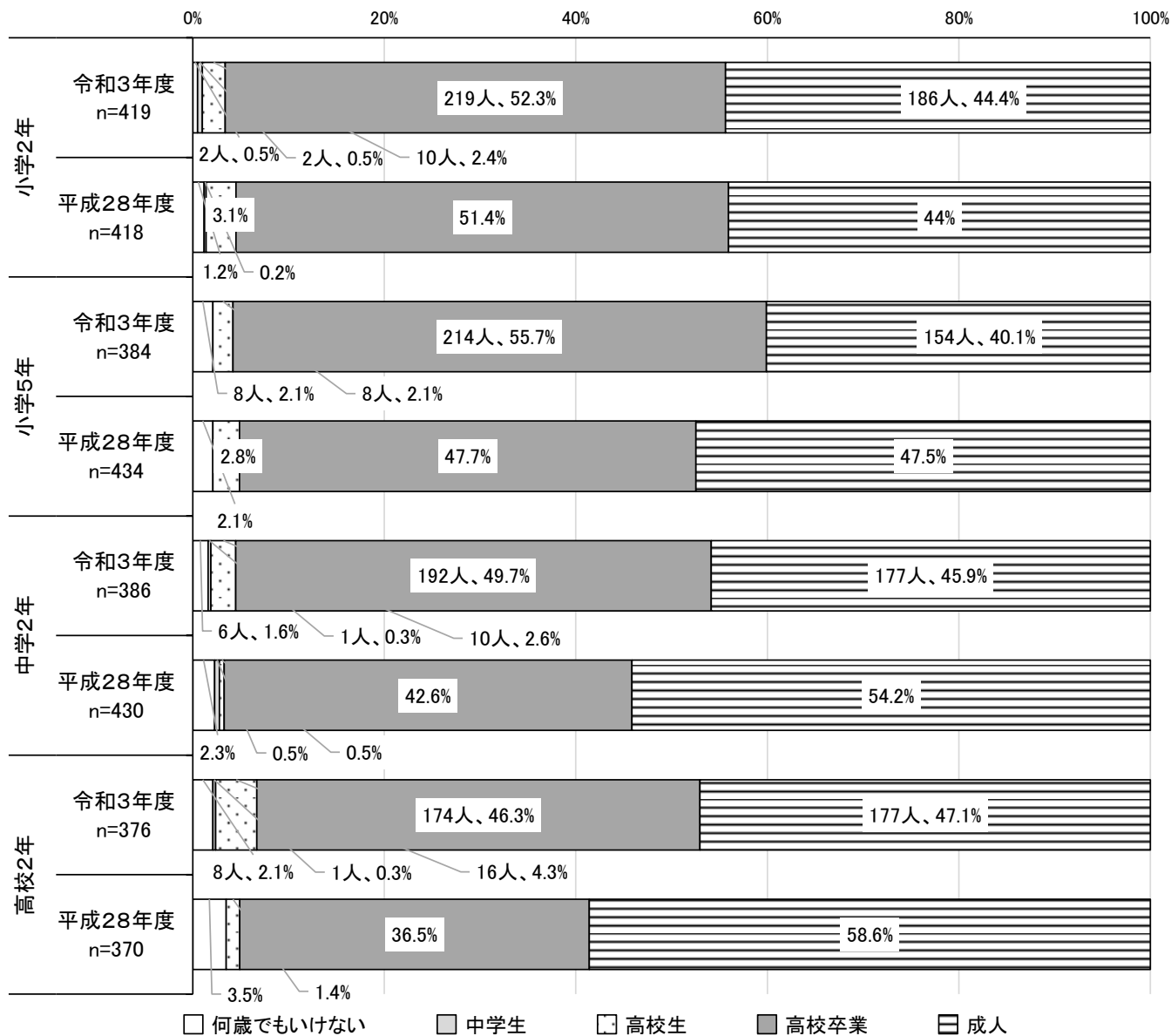
(コ) 交際相手と二人で泊まりがけの旅行に行っても良いと考える年齢

【集計結果の概要】

高校2年以外の保護者では、「高校卒業」と答えた割合が最も高く、高校2年の保護者では、「成人」と答えた割合が最も高かった。「何歳でもいいけない」、「中学生」、「高校生」と答えた保護者は少数であった。

平成28年度調査と比べると、「高校卒業」と答えた割合が全ての学校種別で増加している。

【図表】



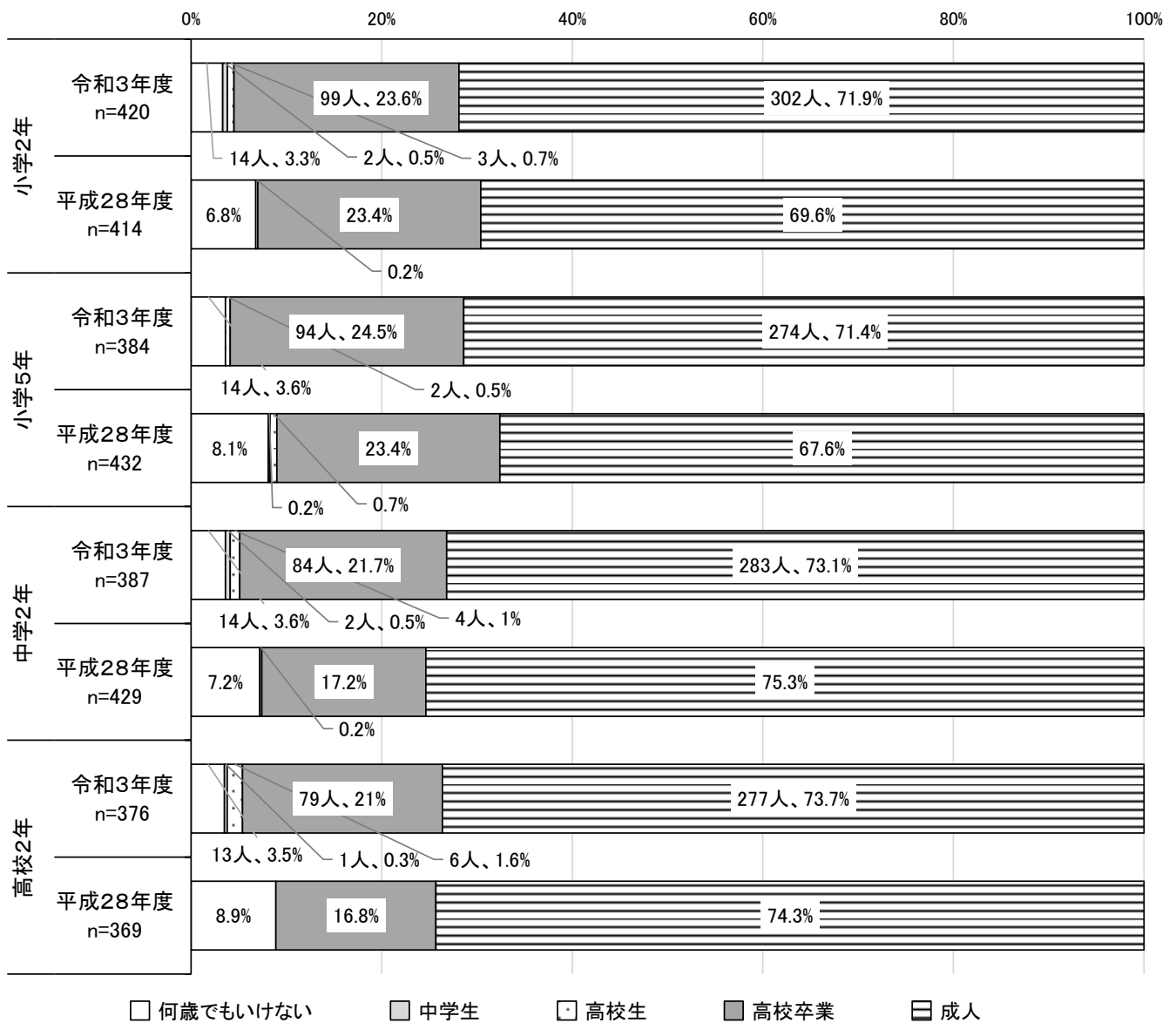
(サ) 交際相手と二人で同じ部屋で生活をしていても良いと考える年齢

【集計結果の概要】

全ての学校種別において、「成人」と回答した保護者の割合が7割を占め最も高く、次に「高校卒業」が高く、2割を占めている。

平成28年度調査と比較すると、「何歳でもいけない」と回答した保護者の割合は全ての学校種別で減少している。

【図表】



(6) 学校や地域との関わり

ア 保護者活動への参加意識

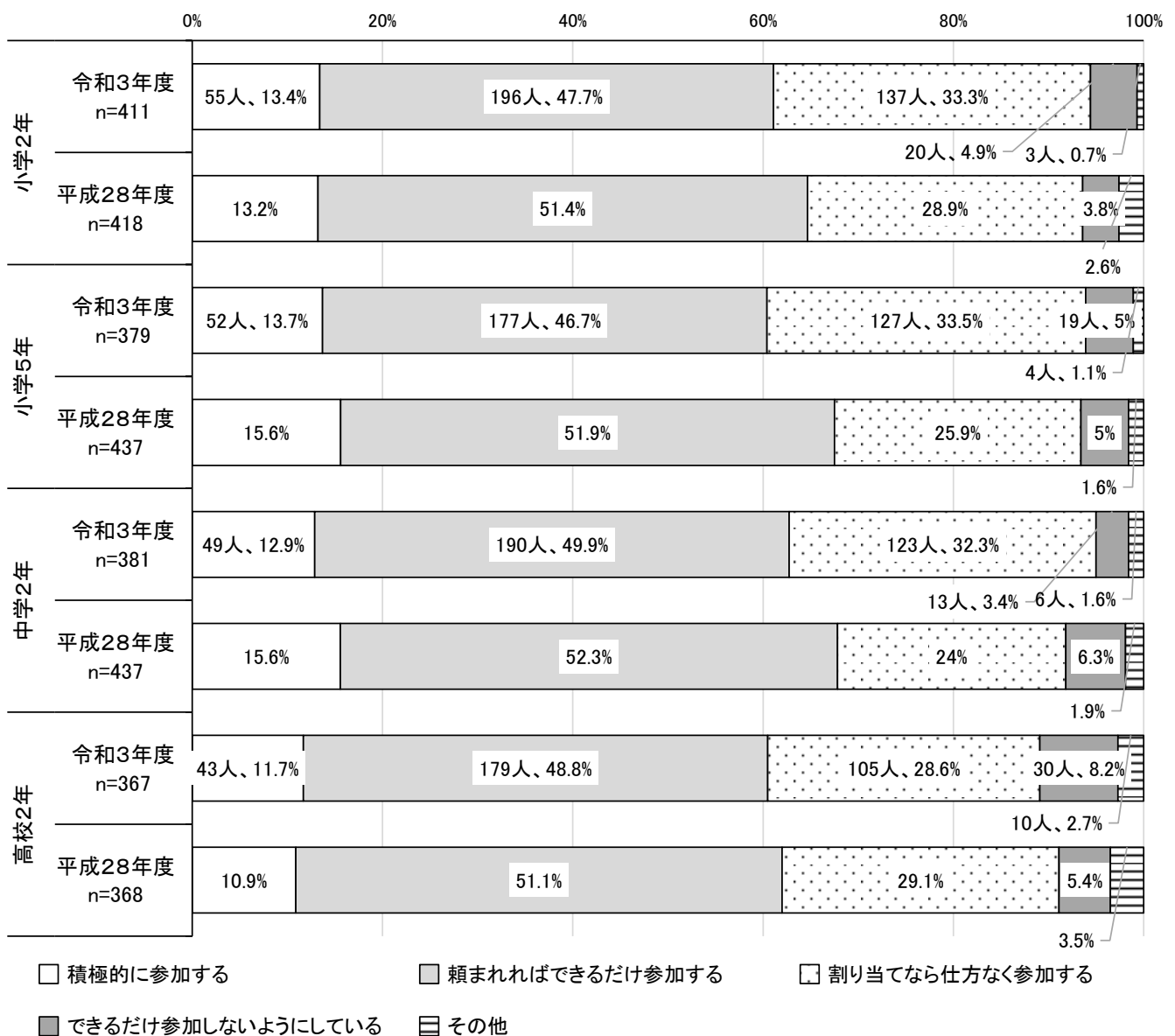
問 あなたは、PTAなどの保護者活動にどのようにかかわっていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

全ての学校種別において、「頼まれればできるだけ参加する」の割合が最も高く、次に「割り当てなら仕方なく参加する」の割合が高くなっている。

平成28年度調査と比較すると、高校2年以外の保護者で、「割り当てなら仕方なく参加する」と回答した保護者の割合が増加する一方で、「頼まれればできるだけ参加する」と回答した保護者の割合が全ての学校種別で減少している。

【図表】



イ 保護者の地域活動への参加状況

問 あなたは、地域でどんな活動に参加していますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

【集計結果の概要】

保護者全体で、「子ども会活動（57.8%）」の割合が最も高く、次いで「地区一斉清掃（52.5%）」、「スポーツ大会、運動会（41.4%）」の割合が高くなっている。特に小学2年、小学5年の保護者の7割以上が「子ども会活動」に参加していると回答している。今回調査から選択肢に追加した「地域学校協働活動⁶」は、中学生の保護者で比較的高い割合（20.7%）であった。

平成28年度調査と比較すると、「祭りの行事」、「地区一斉清掃」、「スポーツ大会、運動会」の割合が全ての学校種別で減少している。

【図表】

選択肢	小学2年(n=420)		小学5年(n=384)		中学2年(n=387)		高校2年(n=376)		総計(n=1567)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ボランティア・奉仕活動	69	16.8	46	12.1	63	16.5	66	17.8	244	15.8
祭りの行事	128	31.2	138	36.4	128	33.6	107	28.9	501	32.5
地区一斉清掃	212	51.7	185	48.8	210	55.1	201	54.3	808	52.5
子ども会活動	291	71.0	294	77.6	200	52.5	105	28.4	890	57.8
スポーツ大会、運動会	165	40.2	164	43.3	172	45.1	137	37.0	638	41.4
地域学校協働活動	59	14.4	63	16.6	79	20.7	57	15.4	258	16.8
参加しない	28	6.8	33	8.7	43	11.3	62	16.8	166	10.8
その他	7	1.7	8	2.1	8	2.1	20	5.4	43	2.8

※参考（平成28年度）

選択肢	小学2年 (n=421)	小学5年 (n=440)	中学2年 (n=436)	高校2年 (n=373)	総計 (n=1670)
	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
ボランティア・奉仕活動	15.0	17.0	17.0	14.7	16.0
祭りの行事	46.1	43.4	38.3	34.9	40.8
地区一斉清掃	52.5	54.5	57.3	56.0	55.1
子ども会活動	77.9	75.7	47.5	30.6	58.8
スポーツ大会、運動会	57.0	55.2	52.5	39.9	51.6
地域学校協働活動	-	-	-	-	-
参加しない	6.7	8.0	10.3	15.8	10.0
その他	2.1	1.1	3.0	3.5	2.4

⁶ 地域学校協働活動：地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。

[発行]

鳥取県子育て・人財局子育て王国課

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目 220 番地

電話：0857-26-7076

ファクシミリ：0857-26-7863

電子メール：kosodate@pref.tottori.lg.jp

ホームページアドレス：

<https://www.pref.tottori.lg.jp/303114.htm>

(調査票、単純集計結果はホームページに掲載しています)
